

公表文献に関する報告書
有効成分名：グリホサート

株式会社ハート 提出
提出日：令和4年 6月29日
修正日：令和4年10月31日

農薬取締法に基づく農薬有効成分の再評価制度に係る公表文献調査
有効成分名：グリホサート

目次

1. 農薬の種類	1
2. 検索に用いたデータベース、データベースに関する情報	1
3. 検索に使用したキーワード、検索に用いた条件	2
4. 評価目的との適合性評価（第一段階、第二段階）及び信頼性評価で設定した判断基準	5
5. 検索結果のまとめ	9
6. 適合性評価の第二段階で「適合しない」と判断した論文リストとその理由	17
7. 適合性評価の第二段階で「区分a」「区分b」「区分c」と判断した論文リストとその理由	34
8. EFSA, USEPA, JMPRの評価において評価書に結果が引用されている場合は、引用した期間、引用された評価書名、発行年等の情報	132

1. 農薬の種類

グリホサートイソプロピルアミン塩液剤

2. 検索に用いたデータベース、データベースに関する情報

表1 文献検索に用いたデータベースの概要

データ ベース名	データベースの特長	収集範囲	更新頻度	検索日	検索対象 期間
PubMed	米国国立医学図書館が提供する医学、看護、歯学、獣医学保健医療分野から全臨床領域の文献を収集	1946～現在 3000 万件 (2019 年 8 月時点)	週 6 回	2022 年 5 月 9 日 ～ 6 月 1 日	指定なし ～現在ま で
AGRICOLA	農業関連分野を広範に収載 生物学、生物工学、生態学、 植物学等	1970～現在 710 万件 (2020 年 9 月時点)	月一回	2022 年 5 月 9 日 ～ 6 月 1 日	指定なし ～現在ま で
CiNiiArticles	国立情報学研究所が提供する 日本国内の学術論文、学協会 誌等を収載	1950～現在 2063 万件	週一回	2022 年 5 月 9 日 ～ 6 月 1 日	指定なし ～現在ま で
J-STAGE	科学技術振興機構が提供す る、日本国内の科学技術情報 のジャーナルプラットフォーム。自然科学から人文・社会 科学、さらに学際領域等の分 野について、国内の 1500 を 超える発行期間が、3000 誌以 上のジャーナルや会議録等の 刊行物を公開	1998～現在 540 万件 (2022 年 6 月時点)	随時	2022 年 5 月 9 日 ～ 6 月 1 日	指定なし ～現在ま で
Web of Science	科学技術分野(1900～)、社会 科学分野(1900～)及び人文科 学分野(1975～)の主要な学術 雑誌に掲載された文献の書 誌・引用文献情報、1990 年以 降の世界の重要会議、シンポ ジウム、セミナー等で発行さ れた会議録の情報を収録。	1900～現在 約 21100 誌 1 億 7100 万 件(Core Collection)	毎週	2022 年 7 月 25 日～ 2022 年 7 月 26 日	指定なし ～現在ま で

	254 の専門分野に分類、収載されている。				
--	-----------------------	--	--	--	--

3. 検索に使用したキーワード、検索に用いた条件

(1) 対象とする農薬

表 2.1 検索に用いたキーワード：有効成分グリホサート、

一般名/農薬名	glyphosate グリホサート
IUPAC/CAS 名	N-(phosphonomethyl)glycine N-ホスホノメチルグリシン
CAS 番号	1071-83-6

表 2.2 検索に用いたキーワード：製剤グリホエース PRO、グリホエース AL

製剤名	グリホエース PRO グリホエース AL
その他名称	-

(2)評価対象となる影響

表 3 4 分野に関連する文献の検索に用いたキーワード

ヒトに対する毒性	mortality, skin irritation, eye irritation, sensitization, allergy, hypersensitivity metabolism, distribution, absorption, excretion, kinetic, PK, TK, cytochrome, enzyme mutagen, DNA, genotoxicity, carcinogen, cancer, tumor, oncology, immune, neurotoxicity, endocrine disruption/disruptors, hormone, development, developmental toxicity, reproduction, malformation, maternal toxicity, pregnancy, embryo, fetus, offspring dermal, epidermal, exposure, operator, worker, occupant, biomonitoring, medical, poison, apoptosis, necrosis, cytotoxic, cohort, epidemiology adverse effect, case control
農作物及び畜産物への残留	死亡率, 皮膚刺激性, 眼刺激性, 感作性, アレルギー, 過敏症, 代謝, 分布, 吸収, 排泄, 動態, PK, TK, チトクロム, 酵素, 変異原, DNA, 遺伝子毒性, 発がん性, がん, 腫瘍, がん免疫, 神経毒性, 内分泌攪乱物質, ホルモン, 発達, 発達毒性, 生殖, 奇形, 母体毒性, 妊娠, 胚, 胎児, 子孫, 皮膚, 表皮, 暴露, 作業員, 居住者, バイオモニタリング, 医療, 毒, アポトーシス, 壊死, 細胞毒性, コホート, 疫学, 悪影響, ケースコントロール
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	uptake, metabolism, metabolic, breakdown, translocation, degradation storage, stability residue, process, preharvest, postharvest, preplant, pre-/post-emergence processing factor, conversion factor hydroxylation, photolysis, rotation, succeed, supervised trial, field trial dietary exposure, MRL, maximum residue level/limit 吸収, 代謝, 分解, 翻訳, 分解, 貯蔵, 安定性, 残留物, プロセス, 収穫前, 収穫後, 移植前, 発生前後, 加工因子, 変換因子, 水酸化, 光分解, 回転, 成功, 監視下試験, 野外試験, 食事暴露, MRL, 最大残留レベル/限度量 bioaccumulation, bioconcentration, biomagnification, effect, biodiversity, protection goals, eco, impact, population, pest, endocrine disrupt, acute, chronic, long-term, ecotoxicology colony, hive, aquatic, freshwater macro-organism, micro-organism, microbial, biodegradation 生物蓄積性, 生体濃縮性, 生体凝集性, 影響, 生物多様性, 保護目標, エコ, 影響, 人口, 害虫, 内分泌かく乱性, 急性, 慢性, 長期, 生態毒性, コロニー, 蜂巣, 水生, 淡水, マクロ生物, 微生物, 生分解性

環境動態	degradation, photo, hydrolysis, accumulate, dissipation, vapor pressure mobility, adsorption, desorption, persistent, pollution, contamination aged residue, column leaching, leach, lysimeter, drift, run-off, atmosphere, transport, long-range transport, short-range transport monitoring, surveillance, environmental, exposure, fate, residue
	分解, 写真, 加水分解, 蓄積, 消散, 蒸気圧, 移動性, 吸着, 脱着, 難分解性, 汚染, 汚染残留物, カラム溶出, 浸出, ライシメーター, 漂流, 流出, 大気, 輸送, 長距離輸送, 短距離輸送, モニタリング, 監視, 環境, 暴露, 運命, 残留物

(3) 評価対象の生物種等

表 4 評価対象となる生物種のキーワード

ヒトに対する毒性	rat, mouse, dog, rabbit, monkey, pig, human, hen, S. typhimurium, E. coli
	ラット, マウス, イヌ, ウサギ, サル, ブタ, ニワトリ, サルモネラ菌, 大腸菌
農作物及び畜産物への残留	crop, commodity, feed, livestock, hen, cattle, goat, pig, ruminant, cow, poultry
	作物, 商品, 飼料, 家畜, 牛, 家禽
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	avian, bird, mallard duck, quail, bobwhite, lemna, algae, fish,
	鳥類, 鳥類, マガモ, ウズラ, コリンウズラ, レムナ, 藻類, 魚類, 甲殻類, 水生, ユスリカ, マルハナバチ, ミツバチ, 送粉者, セイヨウミツバチ
環境動態	soil, water, sediment
	土壌, 水, 堆積物

4. 評価目的との適合性評価（第一段階、第二段階）及び信頼性評価で設定した判断基準

第一段階：文献の表題及び概要に基づく適合性評価

第一段階として文献の表題に基づき、下記の①から⑮に該当する者は明らかに評価の目的とは適合しないとみなした。

- ① 当該農薬と関係しない論文（当該農薬の代替剤等）
- ② 政策、社会、経済分析に関する論文
- ③ 農産物等の生産、流通に関する論文
- ④ 薬効、薬害、物理的・化学的性状に関する論文
- ⑤ 分析法やその開発に関する論文
- ⑥ 新規合成法や基礎化学の観点で記載された論文
- ⑦ 特許関連文献
- ⑧ リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書
- ⑨ リスク評価に使用できる新規のデータが提示されていない意見書
- ⑩ 科学論文や規制についての総説を含む二次情報において、当該文献が参照する一次資料（原著）の確認ができないもの
- ⑪ 一般的な農薬の暴露に関する論文（当該農薬に限定せず、広範囲の農薬について記載されたもの）
- ⑫ 異なる有効成分に由来する混合製剤の毒性に関する論文
- ⑬ IV. の2. の②に掲げる4分野に関係しない論文
- ⑭ 日本で登録されている処方以外の製剤に関する論文
- ⑮ コンピュータシミュレーション等を用いたドライラボのみの論文

第二段階：文献の内容に基づく適合性評価

第一段階で除外した以外の公表文献については、文献の内容に基づいて、評価目的との適合性を検証し、その結果により分類した。

（ア） 評価の目的と適合しない文献の除外

文献全文の内容に基づき、下記の①から⑰に該当するものは明らかに評価の目的と適合しない文献と見なし、その論文リストと判断理由を表8に示した。

- ① 当該農薬と関係しない論文（当該農薬の代替剤等）
- ② 政策、社会、経済分析に関する論文
- ③ 農産物等の生産、流通に関する論文
- ④ 薬効、薬害、物理的・化学的性状に関する論文
- ⑤ 分析法やその開発に関する論文
- ⑥ 新規合成法や基礎化学の観点で記載された論文
- ⑦ 特許関連文献
- ⑧ リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書
- ⑨ リスク評価に使用できる新規のデータが提示されていない意見書
- ⑩ 科学論文や規制についての総説を含む二次情報において、当該文献が参照する一次資料（原著）の確認ができないもの
- ⑪ 一般的な農薬の暴露に関する論文（当該農薬に限定せず、広範囲の農薬について記載されたもの）
- ⑫ 異なる有効成分に由来する混合製剤の毒性に関する論文
- ⑬ IV. の2. の②に掲げる4分野に関係しない論文
- ⑭ 日本で登録されている処方以外の製剤に関する論文
- ⑮ コンピュータシミュレーション等を用いたドライラボのみの論文
- ⑯ 試験設計、試験系、試験種、被験物質、暴露経路等が評価に活用する観点で妥当でないもの
 - a) 試験方法が記載されていないもの
 - b) 適切に評価できる試験種で実施されていないもの
 - c) 適切な経路で投与／処理されていないもの
 - d) 投与又は処理した被験物質量が明記されていないもの
 - e) 添加に用いた媒体が確認できないもの
 - f) 分析法が記載されていないもの
- ⑰ 日本の代表的な使用方法／使用条件における評価に活用できない文献（ほ場条件、土性等）

(イ) 評価の目的と適合した文献の分類

(ア) で除外した以外の文献については、適合性があると判断した文献とし、下記の分類基準に従って、全文をレビューし 3 つの区分に分類した。

① 分類基準

1. 実施している試験環境がテストガイドライン (TG) で定める条件と合っていること
2. 投与又は処理した被験物質の純度が明記されていること
3. 統計解析が可能な動物数／例数が確保されていること
4. 複数の用量で実施されていること (最低 3 用量で実施)
5. 無処理区 (コントロール区) が設定されており、TG に照らしその結果が適正であること
6. 解析方法及び結果が報告されていること

ヒトに対する毒性に関して、区分 a に該当するかどうかについては、食品安全委員会で示された「定量的データ」として分類される下記基準を参考とした。

- ・公表文献で用いられた用量が、研究内容と同等である安全性試験で用いられた最低用量よりも低いこと
- ・公表文献の研究結果が、他の試験結果と比較できる単位を用いて報告されていること
- ・研究の結論、エンドポイント及び用量が正確で、信頼でき、妥当であることを実証するための十分な情報が公表文献中に提供されており、研究結果が再現される可能性があることと判断できること

② 分類区分

区分	該当する文献
a	リスク評価パラメーター (ADI、ARFD、AOEL、残留基準、生活環境動植物の登録基準、水産 PEC 等) を設定又は見直すために利用可能と判断される文献
b	リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
c	a 又は b に分類されない文献

結果の信頼性に基づく分類

評価目的との適合性において、区分 a に分類した文献については Klimisch 基準における分類を参考として、下記の分類基準に基づき、信頼性を評価した。

Klimisch 基準の概要

分類	信頼性	判断基準
1	信頼性あり (制限なし)	以下のいずれかの試験/データに該当する場合。 ・有効性が確認された方法又は国際的に認められたテストガイドラインに基づいて実施されている（GLP 適合が望ましい）。 ・試験項目（評価パラメーター）が特定（国レベル）のテストガイドラインに基づいている。 ・全ての試験項目がテストガイドラインに示された方法と関連性が強い/同党により報告されている。
2	信頼性あり (制限あり)	以下のいずれかの試験/データに該当する場合（大抵は非 GLP 試験）。 ・試験項目は特定の試験ガイドラインに完全には準拠していないが、内容が受け入れ可能である。 ・試験方法がテストガイドラインから逸脱しているものの、詳細な方法に基づき科学的に受け入れ可能な結果が示されている。
3	信頼性なし	試験系、被験物質又は暴露経路の妥当性、試験情報の不十分さ等の観点から、エキスパートジャッジのためには許容できないと考えられる試験/データ
4	評価不能	試験の詳細が不明であり、要約のみの記載又は二次情報（書籍、総論等）として記載された試験/データ

ヒトに対する毒性については、Klimisch 基準に基づくデータの信頼性評価ツールとして、ToxRtool を分類基準として活用した。

それ以外の 3 分野については、試験設計および試験項目が OECD ガイドラインに示された方法を基に、①試験系の条件が明記されているか、②試験物質、試験試料の調製・保管が適当か、③試験物質の投与、暴露期間は適切かを信頼性評価の基準とした。これに準拠しているならば評価 1、ガイドラインからの逸脱があるものの試験結果へ影響がなく受け入れ可能なものならば評価 2、試験項目、設定に妥当性が見られない場合は評価 3、判定が不可能な場合は評価 4 とした。

5. 検索結果のまとめ

表 5.1.1 AGRICOLA を用いて検索した結果のまとめ

データベース名	AGRICOLA		
検索日	2022/5/17～2022/5/19		
検索対象期間	1970-2022		
検索に用いたキーワード	①AND②AND③		
	①	②	③
ヒトに対する毒性	Glyphosate グリホエース PRO グリホエース AL	mortality OR skin irritation OR eye irritation OR sensitization OR allergy OR hypersensitivity OR metabolism OR distribution OR absorption OR excretion OR kinetic OR PK OR TK OR cytochrome OR enzyme OR mutagen OR DNA OR genotoxicity OR carcinogen OR cancer OR tumor OR oncology OR immune OR neurotoxicity OR endocrine disruption/disruptors OR hormone OR development OR developmental toxicity OR reproduction OR malformation OR maternal toxicity OR pregnancy OR embryo OR fetus OR offspring OR dermal OR epidermal OR exposure OR operator OR worker OR occupant OR biomonitoring OR medical OR poison OR apoptosis OR necrosis OR cytotoxic OR cohort OR epidemiology OR adverse effect OR case control	rat OR mouse OR dog OR rabbit OR monkey OR pig OR hen OR S.typhimurium OR E.coli
農作物及び畜産物への残留	Glyphosate グリホエース PRO グリホエース AL	Uptake OR metabolism OR metabolic OR breakdown OR translocation OR degradation OR storage OR stability OR residue OR process OR preharvest OR postharvest OR preplant OR pre-/post-emergence OR processing factor OR conversion factor OR hydroxylation OR photolysis OR rotation OR succeed OR supervised trial OR field trial OR dietary exposure OR MRL OR maximum residue level/limit	crop OR commodity OR feed OR livestock OR cattle OR cow OR poultry

生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Glyphosate グリホエース PRO グリホエース AL	bioaccumulation OR bioconcentration OR biomagnification OR effect OR biodiversity OR protection goals OR eco OR impact OR population OR pest OR endocrine disrupt OR acute OR chronic OR long-term OR ecotoxicology OR colony OR hive OR aquatic OR freshwater OR macro-organism OR micro-organism OR microbial OR biodegradation	avian OR bird OR mallard duck OR quail OR bobwhite OR lemna OR algae OR fish OR crustacean OR aquatic OR chironomus OR bumblebee OR honeybee OR pollinator OR apis
環境動態	Glyphosate グリホエース PRO グリホエース AL	degradation OR photo OR hydrolysis OR accumulate OR dissipation OR vapor pressure OR mobility OR adsorption OR desorption OR persistent OR pollution OR contamination OR aged residue OR column leaching OR leach OR lysimeter OR drift OR run-off OR atmosphere OR transport OR long-range transport OR short-range transport OR monitoring OR surveillance OR environmental OR exposure OR fate OR residue	soil OR water OR sediment

表 5.1.2 CiNii を用いて検索した結果のまとめ

データベース名	CiNii		
検索日	2022/5/19～2022/5/20, 2022/12/9		
検索対象期間	1950-2022		
検索に用いたキーワード	①AND②AND③		
	①	②	③
ヒトに対する毒性	日本語検索キーワードとしてグリホサート、グリホエース PRO、グリホエース AL を追加した以外は AGRICOLA	日本語検索キーワードとして AGRICOLA の各分野のキーワードを日本語訳したものを追加	日本語検索キーワードとして AGRICOLA の各分野のキーワードを日本語訳したものを追加
農作物及び畜産物への残留			
生活環境動植物及び家畜に対する毒性			

環境動態	と同様		
------	-----	--	--

表 5.1.3 J-STAGE を用いて検索した結果のまとめ

データベース名	J-STAGE		
検索日	2022/5/20, 23～26, 2022/12/9		
検索対象期間	1998-2022		
検索に用いたキーワード	①AND②AND③		
	①	②	③
ヒトに対する毒性	①にグリホサートを追加した以外は AGRICOLA と同様	日本語検索キーワードとして AGRICOLA の各分野のキーワードを日本語訳したものを追加	日本語検索キーワードとして AGRICOLA の各分野のキーワードを日本語訳したものを追加
農作物及び畜産物への残留			
生活環境動植物及び家畜に対する毒性			
環境動態			

表 5.1.4 MEDLINE (Pubmed) を用いて検索した結果のまとめ

データベース名	MEDLINE (PubMed)		
検索日	2022/5/26, 27, 30, 6/1, 2, 3, 2022/12/9		
検索対象期間	1946-2022		
検索に用いたキーワード	①AND②AND③		
	①	②	③
ヒトに対する毒性	AGRICOLA と同様		
農作物及び畜産物への残留			
生活環境動植物及び家畜に対する毒性			
環境動態			

表 5.1.5 Web of Science を用いて検索した結果のまとめ

データベース名	Web of Science		
検索日	2022/8/1		
検索対象期間	1990-2022		
検索に用いたキーワード	①	② 分類/フィールド名	③
農作物及び畜産物への残留	glyphosate	Environmental Science	Soil, Water, Sediment
環境動態		Environmental Science	

分類フィールド Environmental Science はガイドライン別添 1（p 13）のグリホサートの検索結果例に農産物及び畜産物の例として記載があるため、使用している。

検索キーワード Water は広範な種類の文献がヒットし、農作物及び畜産物への残留の分野の文献は主にこのキーワードから分類したものである。

表 5.2.1 AGRICOLA の検索結果

AGRICOLA 検索結果			
検索条件（キーワード）	①	①AND②	①AND②AND③
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	7412	NA	NA
ヒトに対する毒性	NA	3910	12
農作物及び畜産物への残留	NA	2483	696
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	NA	3438	31
環境動態	NA	4666	3534

（絞り込みのヒット数は分野間で重複した結果を含む）

表 5.2.2 CiNii の検索結果

CiNii 検索結果			
検索条件（キーワード）	①	①AND②	①AND②AND③
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	1348	NA	NA
対象とする農薬名の日本語での検索数	314	NA	NA
ヒトに対する毒性	NA	412 (99)	43 (14)
農作物及び畜産物への残留	NA	156 (40)	51 (5)
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	NA	450 (88)	14 (0)
環境動態	NA	384 (75)	111 (37)

（括弧内はキーワードの日本語訳で検索したヒット数を示す）

（絞り込みのヒット数は分野間で重複した結果を含む）

表 5.2.3 J-STAGE の検索結果

J-STAGE 検索結果			
検索条件 (キーワード)	①	①AND②	①AND②AND③
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	765	NA	NA
対象とする農薬名の日本語での検索数	666	NA	NA
ヒトに対する毒性	NA	605 (563)	198 (281)
農作物及び畜産物への残留	NA	400 (479)	247 (356)
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	NA	581 (605)	86 (97)
環境動態	NA	500 (552)	390 (418)

(括弧内はキーワードの日本語訳で検索したヒット数を示す)

(絞り込みのヒット数は分野間で重複した結果を含む)

表 5.2.4 Pubmed の検索結果

Pubmed 検索結果			
検索条件 (キーワード)	①	①AND②	①AND②AND③
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	4734	NA	NA
ヒトに対する毒性	NA	3900	1285
農作物及び畜産物への残留	NA	2229	419
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	NA	3946	383
環境動態	NA	3908	1746

(絞り込みのヒット数は分野間で重複した結果を含む)

表 5.2.5 Web of Science の検索結果

Web of Science 検索結果			
検索条件（キーワード）	農薬名/分類フィールド	文献数	文献数（生物種での絞り込み後）
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	glyphosate	14216	—
ヒトに対する毒性	—	—	—
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	—	—	—
農作物及び畜産物への残留	Environmental Science	2477	1418
環境動態	Environmental Science		709

（絞り込みのヒット数は分野間で重複した結果を含む）

表 5.3 製剤名に関するデータベースごとの検索結果

データベース	グリホエース PRO 文献数	グリホエース AL 文献数
AGRICOLA	0	0
CiNii	0	0
J-stage	0	0
Pubmed	0	0
Web of Science	0	0

製剤名「グリホエース PRO」および「グリホエース AL」を、各データベースを用いて検索しヒットした文献はなかった。

表 5.4 全てのデータベースの検索結果を統合したまとめ

対象とする農薬名で検索抽出した総論文数（各データベースの合計）＊	28475（980）
ヒトに対する毒性	1538（288）
農作物及び畜産物への残留	2831（360）
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	1223（97）
環境動態	5781（431）

＊（各分野の論文数は同一文献が複数のキーワードでヒットするため、総論文数とは一致しない）
（括弧内はキーワードの日本語訳で検索したヒット数を示す）

適合性評価と収集した文献の分類の結果は以下のようになった。

表 6 評価目的との適合性評価（第一段階、第二段階）の結果のまとめ

分野	該当する論文数	第 1 段階		第 2 段階	
		適合性なし	それ以外 (第 2 段階へ)	適合性なし	適合性あり
ヒトに対する毒性	1538	1480	58	0	58 (1)
農作物及び畜産物への残留	2831	2775	56	24 (1)	32 (3)
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	1223	1191	32	0	32 (1)
環境動態	5781	5644	137	52 (1)	85 (2)
合計	11373	11090	283	76 (2)	207 (7)

(括弧内はその結果の数に含まれる日本語文献の数を示す。)

表 7 適合性評価第二段階で適合性ありとされた文献と分類の結果

分野	該当する論文数			
	区分 a	区分 b	区分 c	合計
ヒトに対する毒性	11	12	35 (1)	58 (1)
農作物及び畜産物への残留	0	3 (1)	29 (2)	32 (3)
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	3	6	23 (1)	32 (1)
環境動態	6	4	75 (2)	85 (2)
合計	20	25 (1)	162 (6)	207 (7)

(括弧内はその結果の数に含まれる日本語文献の数を示す。)

6. 適合性評価の第二段階で「適合しない」と判断した論文リストとその理由

表 8 適合性評価の第二段階で「適合しない」と判断した論文とその理由

リスト	データ要求	著者	出版年	論文表題	掲載紙名、号、ページ等	判断理由
6-1	IIA7 .3.2	Mohanty , Satya Sundar	2022	A Systematic Study on the Microbial Degradation of Glyphosate: A Review	Geomicrobiology journal. 2022 May 2, v. 39, no. 3-5 p. 316-327.	ミニレビューであり、リスク評価に係るデータの記載はないため。
6-2	IIA7 .1.1	Kaczynski, Piotr	2020	Complex study of glyphosate and metabolites influence on enzymatic activity and microorganisms association in soil enriched with Pseudomonas fluorescens and sewage sludge	Journal of hazardous materials. 2020 July 05, v. 393	Pseudomonas fluorescens と下水汚泥を混合した土壌におけるグリホサートの分解が通常の代謝経路とは異なることを示した文献。下水汚泥を含むなど試験条件が環境動態のリスク評価とは異なるため除外。
6-3	IIA7 .1.1	N. A. Kulikova	2020	The Degradation of Glyphosate and Its Effect on the Microbial Community of Agro-Sod-Podzolic Soil under Short-Term Model Experiment Conditions	Moscow University soil science bulletin. 2020 July, v. 75, no. 3 p. 138-145.	農耕地、ポドゾル土壌中のグリホサートの分解、菌類の総量、分解関連遺伝子の発現についての研究。遺伝子発現量の結果が主であり、リスク評価に活用可能なデータはないため。
6-4	IIA7 .1.1	Singh, Simranjeet	2020	Glyphosate uptake, translocation, resistance emergence in crops,	Environmental chemistry letters. 2020 May, v. 18, no. 3 p. 663-702.	グリホサートの環境運命に関するレビューであり、利用可能なデータの記載はないため。

				analytical monitoring, toxicity and degradation: a review		
6-5	IIA7 .3.2	Duke, Stephen O.	2020	Glyphosate: Environmental Fate and Impact	Weed science. 2020 May 21, v. 68, no. 3 p. 201-207.	グリホサートが自然環境に対して与える影響と環境運命についての総説。レビューのため新規データは見られず、除外。
6-6	IIA7 .3.2	Karasaki, Helen	2019	Investigation of the presence of glyphosate and its major metabolite AMPA in Greek soils	Environmental science and pollution research international. 2019 Dec., v. 26, no. 36 p. 36308-36321.	ギリシャの農地を対象とした3年間にわたるモニタリング調査。調査であり試験に該当しないため除外した。
6-7	IIA7 .1.1	Fiona H.M. Tang	2019	Microcosm experiments and kinetic modeling of glyphosate biodegradation in soils and sediments	Science of The Total Environment Volume 658, 25 March 2019, Pages 105-115	土壌、堆積物の微生物群に対して添加したグリホサートが受ける代謝、分解についての研究。直接土壌動態を測定している試験ではないため除外とした。
6-8	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Flores, Federico M.	2018	Some aspects of the adsorption of glyphosate and its degradation products on montmorillonite	Environmental science and pollution research international. 2018 June, v. 25, no. 18 p. 18138-18146.	モンモリロナイトへのグリホサート及びAMPAの吸着についての考察。リスク評価に関連するデータの記載は見られないため除外。
6-9	IIA7 .1.1	Donald, David B.	2018	Concentrations of Herbicides in Wetlands on Organic and Minimum-Tillage Farms	Journal of environmental quality. 2018 Nov., v. 47, no. 6 p. 1554-1565.	カナダの農場で用いられている農薬が近隣の湿地帯へ輸送されることをモニタリング、検証した論文。モニタリング試験のためリスク評価には関与しないとして除外。

6-10	IIA7 .3.2	la Cecilia , Daniele	2018	Glyphosate dispersion, degradation, and aquifer contamination in vineyards and wheat fields in the Po Valley, Italy	Water research. 2018 Dec. 01, v. 146 p. 37-54.	グリホサートがブドウ畑、小麦畑における生分解についてシミュレーションによる算出を行った論文。シミュレーションのためリスク評価には活用できないとして除外。
6-11	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Castro Berman, M.	2018	Occurrence and levels of glyphosate and AMPA in shallow lakes from the Pampean and Patagonian regions of Argentina	Chemosphere. 2018 June, v. 200 p. 513-522.	アルゼンチンの除草剤使用地域に存在する湖沼におけるグリホサートの残留を測定した研究。リスク評価に活用可能なデータではないため除外とした。
6-12	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Huntsch a, Sebastian	2018	Seasonal Dynamics of Glyphosate and AMPA in Lake Greifensee: Rapid Microbial Degradation in the Epilimnion During Summer	Environmental science & technology. 2018 Mar. 27, v. 52, no. 8 p. 4641-4649.	スイスのグライフェンゼー湖におけるグリホサート及び AMPA の動態の調査研究。リスク評価に活用可能なデータではないため除外。
6-13	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Ozbay, Bilge	2018	Sorption and desorption behaviours of 2,4 - D and glyphosate in calcareous soil from Antalya, Turkey	Water and environment journal. 2018 Feb., v. 32, no. 1 p. 141-148.	グリホサートの脱着について実験室スケールで測定を行った研究。リスク評価への関連は少ないため除外とした。
6-14	IIA7 .5	Grandco in, Alexis	2017	AminoMethylPhosphonic acid (AMPA) in natural waters: Its sources, behavior and environmental fate	Water research. 2017 June 15, v. 117 p. 187-197.	グリホサート分解物 AMPA の自然水中の環境運命についてのレビュー。総説であるため。新規のデータの記載はないと考えられるため除外・

6-15	IIA7 .1.1	Gill, Jatinder Pal Kaur	2017	Analysis of the glyphosate herbicide in water, soil and food using derivatising agents	Environmental chemistry letters. 2017 Mar., v. 15, no. 1 p. 85-100.	土壌、水、食品中に存在するグリホサートの 検出法に関するレビュー。分析法のレビ ューであるため、除外した。
6-16	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Maqueda , C.	2017	Behaviour of glyphosate in a reservoir and the surrounding agricultural soils	Science of the total environment. 2017 Sept. 01, v. 593-594 p. 787- 795.	オリーブ作物に使用されているグリホサートが貯水池に残留することを示した論文。 リスク評価への関連性は薄いため除外。
6-17	IIA7 .5	JunhaoQ in	2017	Potential effects of rainwater-borne H2O2 on competitive degradation of herbicides and in the presence of humic acid	Chemosphere Volume 170, March 2017, Pages 146- 152	雨水に含まれる過酸化水素が除草剤の分解 に係ることを示した論文。リスク評価に利 用可能なデータではないため除外。
6-18	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Tush, Daniel	2016	Polyoxyethylene Tallow Amine, a Glyphosate Formulation Adjuvant: Soil Adsorption Characteristics, Degradation Profile, and Occurrence on Selected Soils from Agricultural Fields in Iowa, Illinois, Indiana, Kansas, Mississippi, and Missouri	Environmental Science & Technology. 2016 June 07, v. 50, no. 11 p. 5781-5789.	グリホサート製剤に添加されるポリオキシ エチレン牛脂アミンの土壌への吸着に係る 研究。グリホサートのリスク評価へは関与 しないとして除外。

6-19	IIA7 .1.1	Sviridov, A. V.	2015	Microbial degradation of glyphosate herbicides (Review)	Applied biochemistry and microbiology. 2015 Mar., v. 51, no. 2 p. 188-195.	グリホサートの微生物分解に関する総説。新規データの記載はないため除外。
6-20	IIA7 .3.2	Gwenaël Imfeld	2013	Transport and attenuation of dissolved glyphosate and AMPA in a stormwater wetland	Chemosphere Volume 90, Issue 4, January 2013, Pages 1333-1339	雨水湿地の環境下でグリホサート及びAMPAが異なる輸送形態、減衰を受けることを示した論文。環境中の測定を主とした論文のため、リスク評価への関連性は薄いとして除外。
6-21	IIA7 .1.1	Shushkova, T. V.	2012	Biodegradation of glyphosate by soil bacteria: Optimization of cultivation and the method for active biomass storage	Microbiology. 2012 Feb., v. 81, no. 1 p. 44-50.	グリホサートを分解可能な細菌種について、活性バイオマスを入手するための条件検討についての論文。土壌中での試験ではないため除外。
6-22	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Pessagno, R.C.	2008	Glyphosate behavior at soil and mineral-water interfaces	Environmental pollution. 2008 May, v. 153, issue 1 p. 53-59.	グリホサートの土壌及び表層水における挙動についての論文。リスク評価に関連するデータは記載されていないため除外。
6-23	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Stenrod, M.	2005	Effect of freezing and thawing on microbial activity and glyphosate degradation in two Norwegian soils.	Pest management science. 2005 Sept., v. 61, issue 9 p. 887-898.	寒冷地におけるグリホサートの分解に関するシミュレーション研究。シミュレーションかつ特異的な環境のためリスク評価に寄与しないと判断。

6-24	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Kjær, Jeanne	2005	Leaching of Glyphosate and Amino-Methylphosphonic Acid from Danish Agricultural Field Sites	Journal of environmental quality. 2005 Mar., v. 34, no. 2 p. 608-620.	デンマークにおける農地からのグリホサート及び AMPA の浸出についての研究。モニタリング調査のため除外。
6-25	IIA7 .1.1	Malague rra, Flavio	2013	Assessment of the contamination of drinking water supply wells by pesticides from surface water resources using a finite element reactive transport model and global sensitivity analysis techniques	Journal of hydrology. 2013 Jan. 7, v. 476 p. 321-331.	表層水への農薬汚染が飲料水井戸への混入の可能性を評価した論文。グリホサートについて活用可能な情報が記載されていないと判断し除外した。
6-26	IIA7 .1.1	Benoit Sarrazi n	2022	Pesticide contamination of fish ponds in relation to crop area in a mixed farmland-pond landscape (Dombes area, France)	Environ Sci Pollut Res Int. 2022 May 5. doi: 10.1007/s11356-022-20492-8. Online ahead of print.	フランス農業用池の農薬による汚染を調べた研究。グリホサートの関連性は薄いとして除外した。
6-27	IIA7 .1.1	Harald Cederlu nd	2022	Environmental fate of glyphosate used on Swedish railways - Results from environmental monitoring conducted between 2007-2010 and 2015-2019	Sci Total Environ. 2022 Mar 10;811:152361. doi: 10.1016/j.scitotenv.2021.152361. Epub 2021 Dec 14.	スウェーデンの線路上に撒かれたグリホサートのモニタリング試験。モニタリングでありリスク評価に活用可能なデータはないと判断して除外。

6-28	IIA7 .3.2	Jose Luis Rodríguez-Gil	2021	Ecotoxicology of Glyphosate, Its Formulants, and Environmental Degradation Products	Rev Environ Contam Toxicol. 2021;255:129-205. doi: 10.1007/398_2020_56.	グリホサートの生体毒性、環境リスク評価についての総説。十分なデータを含まないと判断して除外。
6-29	IIA7 .1.1	Elena Okada	2020	Glyphosate and aminomethylphosphonic acid (AMPA) are commonly found in urban streams and wetlands of Melbourne, Australia	Water Res. 2020 Jan 1;168:115139. doi: 10.1016/j.watres.2019.115139. Epub 2019 Sep 30.	オーストラリアの河川、都市、農地等複数の表層水サンプルでグリホサートを測定した論文。モニタリングのためリスク評価に関わらないとして除外。
6-30	IIA7 .1.1	Nadine Tauchnitz	2020	Assessment of pesticide inputs into surface waters by agricultural and urban sources - A case study in the Querne/Weida catchment, central Germany	Environ Pollut. 2020 Dec;267:115186. doi: 10.1016/j.envpol.2020.115186. Epub 2020 Jul 11.	農業、都市環境それぞれにおける土壌サンプルにおける農薬量の測定。リスク評価への関連性は薄いと考え除外。
6-31	IIA7 .1.1	Cristiano Soares	2019	Is soil contamination by a glyphosate commercial formulation truly harmless to non-target plants? - Evaluation of oxidative damage and antioxidant responses in tomato	Environ Pollut. 2019 Apr;247:256-265. doi: 10.1016/j.envpol.2019.01.063. Epub 2019 Jan 17.	グリホサート製剤に対するトマトのストレス応答についての評価。環境動態分野とは外れるため除外とした。
6-32	IIA7 .4.1	Franca Giannini	2019	Site-specific data on herbicide soil retention and	Data Brief. 2019 Nov 2;27:104754. doi:	グリホサート及びアトラジンの土壌吸着定数を提供したデータ。リスク評価に関連する試験でないため除外。

	~7.4 .2	i Kurina		ancillary environmental variables	10.1016/j.dib.2019.10475 4. eCollection 2019 Dec.	
6-33	IIA7 .1.1	Mingjin g Sun	2019	Degradation of glyphosate and bioavailability of phosphorus derived from glyphosate in a soil-water system	Water Res. 2019 Oct 15;163:114840. doi: 10.1016/j.watres.2019.07 .007. Epub 2019 Jul 4. PMID: 31319360 DOI: 10.1016/j.watres.2019.07 .007	土壌中のグリホサートの分解産物について の同定およびリンの挙動に関する論文。リ スク評価に利用可能なデータは確認できな いため除外。
6-34	IIA7 .1.1	Keren Hernánd ez Guijarr o	2018	Soil microbial communities and glyphosate decay in soils with different herbicide application history	Sci Total Environ. 2018 Sep 1;634:974-982. doi: 10.1016/j.scitotenv.2018 .03.393. Epub 2018 Apr 11.	3種の土壌における圃場条件下でのグリホ サートの散逸を調べた研究。環境持続性に 深くかかわる印紙の特定を目的とした論文 のため、リスク評価とは関連しないとして 除外。
6-35	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Sirajum Munira	2017	Sorption and desorption of glyphosate, MCPA and tetracycline and their mixtures in soil as influenced by phosphate	J Environ Sci Health B. 2017 Dec 2;52(12):887- 895. doi: 10.1080/03601234.2017.13 61773. Epub 2017 Sep 29.	リン酸塩を含むグリホサート等の肥料、除 草剤の競合する収着についての論文。リス ク評価への関与は薄いため除外。
6-36	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Célia P M Bento	2017	Glyphosate and AMPA distribution in wind-eroded sediment derived from loess soil	Environ Pollut. 2017 Jan;220(Pt B):1079-1089. doi: 10.1016/j.envpol.2016.11 .033. Epub 2016 Nov 18.	グリホサート及び AMPA が風で侵食された 土壌微粒子への吸着により散逸する可能性 を示した論文。リスク評価に活用可能なデ ータは見られないため除外。

6-37	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Daniel Tush	2016	Polyoxyethylene Tallow Amine, a Glyphosate Formulation Adjuvant: Soil Adsorption Characteristics, Degradation Profile, and Occurrence on Selected Soils from Agricultural Fields in Iowa, Illinois, Indiana, Kansas, Mississippi, and Missouri	Environ Sci Technol . 2016 Jun 7;50(11):5781-9. doi: 10.1021/acs.est.6b00965. Epub 2016 May 18.	グリホサート製剤の補助成分牛脂アミンの吸着と毒性についての論文。グリホサートを対象としないため除外。
6-38	IIA7 .1.1	Pierre Sabatie r	2014	Long-term relationships among pesticide applications, mobility, and soil erosion in a vineyard watershed	Proc Natl Acad Sci U S A. 2014 Nov 4;111(44):15647-52. doi: 10.1073/pnas.1411512111. Epub 2014 Oct 13.	ブドウ畑に施用されたグリホサートの動態についてのレビュー。新規利用可能なデータは記載されていないため除外とした。
6-39	IIA7 .1.1	E Mateos- Naranjo	2013	Effects of sub-lethal glyphosate concentrations on growth and photosynthetic performance of non-target species <i>Bolboschoenus maritimus</i>	Chemosphere. 2013 Nov;93(10):2631-8. doi: 10.1016/j.chemosphere.2013.09.094. Epub 2013 Oct 22.	<i>B. maritimus</i> に対するグリホサートの影響。環境動態に対するリスク評価に関連しないため除外する。
6-40	IIA7 .1.1	Xuan Xu	2011	Degradation of glyphosate in soil photocatalyzed by Fe ₃ O ₄ /SiO ₂ /TiO ₂ under solar light	Int J Environ Res Public Health. 2011 Apr;8(4):1258-70. doi:	グリホサートの分解が光触媒と太陽光によって促進されることを調べた論文。リスク評価には関連性が薄いため除外とした。

					10.3390/ijerph8041258. Epub 2011 Apr 21.	
6-41	IIA7 .3.2	Tatyana Shushko va	2010	Glyphosate bioavailability in soil	Biodegradation. 2010 Jun;21(3):403-10. doi: 10.1007/s10532-009-9310- y. Epub 2009 Nov 10.	微生物層を含む土壌中のグリホサートの分解、輸送及び吸着についての研究。リスク評価への関連が薄いため除外。
6-42	IIA7 .1.1	Jérémy Doublet	2009	Delayed degradation in soil of foliar herbicides glyphosate and sulcotrione previously absorbed by plants: consequences on herbicide fate and risk assessment	Chemosphere . 2009 Oct;77(4):582-9. doi: 10.1016/j.chemosphere.20 09.06.044. Epub 2009 Jul 21.	植物に吸収された除草剤が土壌中での分解を遅らせたことを示した論文。リスク評価に関与する形態の試験ではないため、除外とした。
6-43	IIA7 .5	Robert M Zabloto wicz	2009	Soil depth and tillage effects on glyphosate degradation	J Agric Food Chem . 2009 Jun 10;57(11):4867-71. doi: 10.1021/jf900272w.	グリホサートの2種のシルトローム土壌中の吸着、分解等についての論文。リスク評価に関連する情報が確認できないため除外した。
6-44	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	M T K Tsui	2008	Environmental fate and non- target impact of glyphosate- based herbicide (Roundup) in a subtropical wetland	Chemosphere. 2008 Mar;71(3):439-46. doi: 10.1016/j.chemosphere.20 07.10.059. Epub 2007 Dec 26.	香港亜熱帯湿地におけるグリホサート製剤が非標的生物に与える影響についての評価。製剤のためグリホサート単体のリスク評価への活用はできないと考え除外。
6-45	IIA7 .4.1	Romina C	2008	Glyphosate behavior at soil and mineral-water interfaces	Environ Pollut. 2008 May;153(1):53-9. doi:	グリホサートの土壌及び表層水における挙動についての論文。リスク評価に関連するデータは記載されていないため除外。

	~7.4 .2	Pessagno			10.1016/j.envpol.2007.12.025. Epub 2008 Feb 14.	
6-46	IIA7 .1.1	K K Sailaja	2006	Degradation of glyphosate in soil and its effect on fungal population	J Environ Sci Eng . 2006 Jul;48(3):189-90. PMID: 17915782	グリホサートの施用と土壌中の細菌叢の変化が分解に与える変化についての論文。リスク評価への関連性が薄いため除外。
6-47	IIA7 .4.1 ~7.4 .2	Sebastian R Sørensen	2006	Sorption, desorption and mineralisation of the herbicides glyphosate and MCPA in samples from two Danish soil and subsurface profiles	Environ Pollut. 2006 May;141(1):184-94. doi: 10.1016/j.envpol.2005.07.023. Epub 2005 Oct 3.	デンマーク非農耕地におけるグリホサート及び AMPA の脱着、無機化についての研究。農耕地を対象としないためリスク評価に関わらないと判断した。
6-48	IIA7 .1.1	David Landry	2005	Leaching of glyphosate and AMPA under two soil management practices in Burgundy vineyards (Vosne-Romanée, 21-France)	Environ Pollut. 2005 Nov;138(2):191-200. doi: 10.1016/j.envpol.2005.04.007.	ブドウ畑における土壌管理の有無によってグリホサート、AMPA の浸出が変化することを占め壊死した論文。リスク評価と関連性は薄いとして除外。
6-49	IIA7 .1.1	Rikke Strange-Hansen	2004	Sorption, mineralization and mobility of N-(phosphonomethyl)glycine (glyphosate) in five different types of gravel	Pest Manag Sci. 2004 Jun;60(6):570-8. doi: 10.1002/ps.842.	砂利中におけるグリホサートの移動性、執着についての研究。リスク評価に活用可能なデータは見られないため除外とした。
6-50	IIA7 .1.1	鈴木 清一	2019	パルスドアンペロメトリック検出/イオンクロマトグラフィーによる環境水中アミノメチルホ	分析化学, 2019, 68 巻, 3 号, p. 179-187 doi.org/10.2116/bunsekikagaku.68.179	環境水中のグリホサート、グルホシネートの測定法の最適化を基に、2成分の定量化を行った論文。測定法が主であり、環境リスクへの関連は薄いとして除外。

				スホン酸, グルホシネート及び グリホサートの定量		
6-51	IIA7 .3.2	Miki AKAMATS U	2013	Pesticide Residue Analyses of Soils Collected from Suburban Agricultural Fields around Bangkok	Tropical Agriculture and Development, 2013, Volume 57, Issue 1, Pages 8-15	バンコクにおける土壌残留農薬と環境問題 のかかわりを調べた論文。グリホサートに ついての記載が少なく、関連性が薄いため 除外とした。
6-52	IIA7 .3.2	<u>Junping</u> <u>XIAO</u>	2004	Determination of Glyphosate in Water Samples by Alternating-Current Oscillopolarographic Titration	Analytical science October 2004 Volume 20 Issue 10 Pages 1415-1418	オシロポラログラフイーを用いたグリホサ ートの測定法についての論文。測定法につ いての解説であり、リスク評価に供するデ ータの記載がないため除外。
6-53	IIA6 .3	C.L. Stephen son	2016	An assessment of dietary exposure to glyphosate using refined deterministic and probabilistic methods	Food and Chemical Toxicology 95 (2016) 28- 41	残留レベル、加工情報、消費パターンを基 にした暴露の評価のため
6-54	IIA6 .2.1	Kleter, Gijs A et al	2011	The impact of altered herbicide residues in transgenic herbicide - resistant crops on standard setting for herbicide residues	Pest management science. 2011 Oct., v. 67, no. 10 p. 1193-1210.	グリホサートを含む除草剤への抵抗性と残 留性への影響についての概説であるため。
6-55	IIA6 .3	Harris, C.A. et al	2004	Effects of refining predicted chronic dietary intakes of pesticide	Food additives and contaminants. 2004 Sept., v. 21, no. 9 p. 857-864	残留農薬の接種の予測について、グリホサ ートの例を用いたケーススタディのため。

				residues: a case study using glyphosate.		
6-56	IIA6 .4	Philipp e Szternf eld et al	2016	A Robust Transferable Method for the Determination of Glyphosate Residue in Liver After Derivatization by Ultra-high Pressure Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry	Food analytical methods. 2016 May, v. 9, no. 5 p. 1173-1179.	肝臓内のグリホサート量の測定法の説明。リスク評価にはかかわらないため。
6-57	IIA6 .2.1	Toshiyu ki Katagi et al	2015	Toxicity, bioaccumulation and metabolism of pesticides in the earthworm	Journal of Pesticide Science 2015 Volume 40 Issue 3 69-81	ミミズに対する生体毒性、蓄積、代謝に関する総説、レビューであり、家畜代謝のリスク評価に対する新規のデータではないため。
6-58	IIA6 .2.2 - IIA6 .2.3	Toshiyu ki Katagi et al	2021	Acute toxicity and metabolism of pesticides in birds	Journal of Pesticide Science 2021 Volume 46 Issue 4 305-321	鳥類に対する生体毒性、蓄積、代謝に関する総説、レビューであり、家畜代謝のリスク評価に対する新規のデータではないため。
6-59	IIA6 .2.1	David M. OLSZYK et al	2004	Assessing the Risks to Non-Target Terrestrial Plants from Herbicides	Journal of Agricultural Meteorology 2004 Volume 60 Issue 4 221-242 doi.org/10.2480/agrmet.60.221	グリホサートの非標的作物に対するリスクアセスメントについての文献。新規リスク評価に対する利用可能なデータの記載がないため。

6-60	IIA6 .3	Mohammad Mehdizadeh et al	2021	Herbicide Residues in Agroecosystems: Fate, Detection, and Effect on Non-Target Plants	Reviews in Agricultural Science 2021 Volume 9 157-167 doi.org/10.7831/ras.9.0_157	除草剤の非標的植物に対する残留、動態についてのレビュー。リスク評価に利用可能なデータについての記載がないため。
6-61	IIA6 .2.1	Masahiko TSUJI, et al	1997	Simultaneous Determination of Glufosinate and Its Metabolite, and Glyphosate in Crops	Analytical Sciences 1997 Volume 13 Issue 2 283-285 doi.org/10.2116/analsci.13.283	グルホシネート及びグリホサートの分析方法についての論文。分析法のためリスク評価には関わらないと判断した。
6-62	IIA6 .2.1	Yuh-Lin CHEN et al	1989	Residues of Glyphosate in an Aquatic Environment after Control of Water Hyacinth (Eichhornia crassipes)	Journal of Weed Science and Technology 1989 Volume 34 Issue 2 Pages 117-122 doi.org/10.3719/weed.34.117	ホテイアオイを培養する前後でのグリホサート添加水における水域環境中濃度についての論文。水域環境中のグリホサート濃度についての論文であり、動植物残留への関与は薄いため。
6-63	IIA6 .2.1	d'Avignon DA et al	2018	In vivo NMR investigations of glyphosate influences on plant metabolism	J Magn Reson. 2018 Jul;292:59-72. doi: 10.1016/j.jmr.2018.03.008.	植物代謝へのグリホサートの分析法の紹介のため。
6-64	IIA6 .2.1	Ramu S Vemanna et al	2017	Aldo-keto reductase enzymes detoxify glyphosate and improve herbicide resistance in plants	Plant Biotechnol J. 2017 Jul;15(7):794-804.	植物体内でのグリホサート分解に特定の酵素が係ることを示した論文。グリホサートの代謝に直接かかわらないため。

6-65	IIA6 .2.2 - IIA6 .2.3	Malin Hultberg	2007	Cysteine turnover in human cell lines is influenced by glyphosate	Environ Toxicol Pharmacol. 2007 Jul;24(1):19-22.	グリホサートがヒト細胞のシステイン細胞代謝に影響を与えるという試験。試験種がヒト細胞のため。
6-66	IIA6 .3	Xiaojin g Wang et al	2022	Oxidative Stress and Metabolism: A Mechanistic Insight for Glyphosate Toxicology	Annu Rev Pharmacol Toxicol. 2022 Jan 6;62:617-639. doi: 10.1146/annurev-pharmtox-020821-111552.	試験でなくレビューのため
6-67	IIA6 .3	Ann- Katrin Heymann et al	2021	Effects of glyphosate residues and different concentrate feed proportions in dairy cow rations on hepatic gene expression, liver histology and biochemical blood parameters	PLoS One . 2021 Feb 12;16(2):e0246679.	飼料中のグリホサート残留が乳牛肝臓へ与える毒性学的パラメータの変化についての論文。代謝残留には直接的に関連しないため。
6-68	IIA6 .2.1	Chris J Meyer et al	2020	Uptake, translocation, and metabolism of glyphosate, glufosinate, and dicamba mixtures in Echinochloa crus-galli and Amaranthus palmeri	Pest Manag Sci. 2020 Sep;76(9):3078-3087.	E. crus-galli、Amaranthus Palmeri の2種においてグリホサート含む農薬混合物の取り込みと代謝について。グリホサート単体よりも混合物をメインとした論文のため。

6-69	IIA6 .3	Leah S Riter et al	2018	Novel Two-Stage Fine Milling Enables High-Throughput Determination of Glyphosate Residues in Raw Agricultural Commodities	J AOAC Int. 2018 May 1;101(3):867-875. doi: 10.5740/jaoacint.17- 0317. Epub 2017 Oct 6.	農産物中のグリホサート残留物の測定方法 について。分析法についての論文のため。
6-70	IIA6 .2.1	Candela rio Palma- Bautist a et al	2019	Low temperatures enhance the absorption and translocation of 14 C-glyphosate in glyphosate-resistant Conyza sumatrensis	J Plant Physiol . 2019 Sep;240:153009. doi: 10.1016/j.jplph.2019.153 009. Epub 2019 Jul 10.	低温環境が Conyza sumatrensis のグリホ サートの吸収、移行に与える変化について の論文。リスク評価にはかかわらないため 除外。
6-71	IIA6 .2.1	S Riede et al	2016	Investigations on the possible impact of a glyphosate-containing herbicide on ruminal metabolism and bacteria in vitro by means of the 'Rumen Simulation Technique'	J Appl Microbiol. 2016 Sep;121(3):644-56. doi: 10.1111/jam.13190. Epub 2016 Jul 21.	in vitro で牛反芻胃中の代謝及び細菌へ のグリホサートの与える影響についての論 文。製剤のみかつ動植物への代謝に係るも のではないため除外。
6-72	IIA6 .3	John L. Vicini et al	2021	Residues of glyphosate in food and dietary exposure	Compr Rev Food Sci Food Saf. 2021 Sep;20(5):5226-5257. doi: 10.1111/1541- 4337.12822. Epub 2021 Aug 16.	食品へのグリホサートの残留に関する総説 レビュー。リスク評価に活用できるデータ の収載がないため除外。

6-73	IIA6 .3	John L. Vicini et al	2019	Glyphosate in livestock: feed residues and animal health1	J Anim Sci. 2019 Nov 4;97(11):4509-4518. doi: 10.1093/jas/skz295.	食品へのグリホサート残留に係るレビュー。 リスク評価に直接かかわるものではないため。
6-74	IIA6 .3	Jiang Zhao et al	2018	Detection of glyphosate residues in companion animal feeds	Environ Pollut. 2018 Dec;243(Pt B):1113-1118. doi: 10.1016/j.envpol.2018.08 .100. Epub 2018 Sep 3.	動物飼料中のグリホサート残留についての論文。 代謝、残留について直接的には関与しないため。
6-75	IIA6 .3	Abigail L Barker et al	2019	Fate of Glyphosate during Production and Processing of Glyphosate-Resistant Sugar Beet (Beta vulgaris)	J Agric Food Chem. 2019 Feb 20;67(7):2061-2065. doi: 10.1021/acs.jafc.8b05672 . Epub 2019 Feb 11.	グリホサートが耐性テンサイ内でどのような残留になっているかの研究。 リスク評価に関連しないと考えられるため。
6-76	IIA6 .3	坂 真智 子 et al	2008	加工および調理による大豆試料 中残留農薬の濃度変化	食品衛生学雑誌 2008 年 49 巻 3 号 160-167	各種農薬の残留したダイズが加工調理により食品に移行するかを調べた研究。 作物残留に十分な試験データは含まれていないため除外とした。

7. 適合性評価の第二段階で「区分 a」「区分 b」「区分 c」と判断した論文リストとその理由

表 9 適合性評価の第二段階で「区分 b」と判断した論文とその理由

リスト	データ 要求	著者	出版 年	論文表題	掲載紙名、号、ページ等	判断理由
7-1	IIA 5.4.1	Li AP, Long TJ.	1988	An evaluation of the genotoxic potential of glyphosate	Fundam Appl Toxicol. 1988 Apr;10(3):537-46. doi: 10.1016/0272-0590(88)90300-4.	種々の In vitro、in vivo 試験でグリホサー トが陰性であった。非 GLP。モンラント提供の 原体を用いて試験された。自由設計の試験
7-2	IIA 5.4.1	Rank J, Jensen AG, Skov B, Pedersen LH, Jensen K.	1993	Genotoxicity testing of the herbicide Roundup and its active ingredient glyphosate isopropylamine using the mouse bone marrow micronucleus test, Salmonella mutagenicity test, and Allium anaphase-telophase test	Mutat Res. 1993 Jun;300(1):29-36. doi: 10.1016/0165-1218(93)90136-2.	現行ガイドラインに比して不十分な設計による試験。
7-3	IIA 5.6.1	Daruich J, Zirulnik F, Gimenez MS.	2001	Effect of the herbicide glyphosate on enzymatic activity in pregnant rats and their fetuses	Environ Res. 2001 Mar;85(3):226-31. doi: 10.1006/enrs.2000.4229.	妊娠中のウィスターラット 21 日間 0.5%飲料 水にて処理して母動物および仔動物の肝臓、 心臓、脳で、イソクエン酸デヒドロゲナーゼ- NADP 依存性、グルコース-6-リン酸デヒドロゲ ナーゼ、リンゴ酸デヒドロゲナーゼの 3 つの サイトゾル酵素活性を調べた。用量の根拠が

						不明でしたがって結果の考察ができない。自由設計試験
7-4	IIA5.2 .1	Beuret CJ, Zirulnik F, Giménez MS.	2005	Effect of the herbicide glyphosate on liver lipoperoxidation in pregnant rats and their fetuses	Reprod Toxicol. 2005 Mar-Apr;19(4):501-4. doi: 10.1016/j.reprotox.2004.09.009.	本研究では、1%グリホサート経口曝露が妊娠21日目の妊娠ラットとその胎児の母体血清と肝臓の脂質過酸化および抗酸化酵素系に及ぼす影響を試験された。その結果、グリホサートの摂取によって誘発される過剰な脂質過酸化が、母体および胎児の抗酸化防御システムの過負荷につながることを示唆された。用量の根拠が不明でしたがって結果の考察ができない。自由設計の試験
7-5	IIA 5.2.1	Anadón A, Martínez- Larrañaga MR, Martínez MA, Castellano VJ, Martínez M, Martin MT, Nozal MJ, Bernal JL.	2009	Toxicokinetics of glyphosate and its metabolite aminomethyl phosphonic acid in rats	Toxicol Lett. 2009 Oct 8;190(1):91-5. doi: 10.1016/j.toxlet.2009.07.008. Epub 2009 Jul 14.	100 mgkg (-1) の静脈内 (iv) および 400 mgkg (-1) の単回経口投与後のグリホサートのトキシコキネティクスをラットで研究された。連続血液サンプルは、静脈内および経口投与後に得られ、グリホサートとその代謝物であるアミオメチルホスホン酸 (AMPA) の血漿中濃度は、HPLC 法で測定された。自由設計の試験

7-6	IIA 5.5.2	George J, Prasad S, Mahmood Z, Shukla Y.	2009	Studies on glyphosate-induced carcinogenicity in mouse skin: a proteomic approach	Toxicol Lett. 2009 Oct 8;190(1):91-5. doi: 10.1016/j.toxlet.2009.07.008. Epub 2009 Jul 14.	グリホサートによって誘発される皮膚がんの優れた候補バイオマーカーとしてタンパク質を用いる研究。自由設計の試験
7-7	IIA 5.5.1	Razi M, Najafi G, Feyzi S, Karimi A, Shahmohammadloo S, Nejati V.	2012	Histological and histochemical effects of Gly-phosate on testicular tissue and function	Iran J Reprod Med. 2012 May;10(3):181-92.	グリホサートへの慢性曝露がラットの精巣組織および精子パラメーターに及ぼす影響を評価した。40 日経口投与。自由設計の試験である。
7-8	IIA 5.2.1	Owagboriaye F, Dedeke G, Ademolu K, Olujimi O, Aladesida A, Adeleke M.	2019	Comparative studies on endogenic stress hormones, antioxidant, biochemical and hematological status of metabolic disturbance in albino rat exposed to roundup herbicide and its active ingredient glyphosate	Environ Sci Pollut Res Int. 2019 May;26(14):14502-14512. doi: 10.1007/s11356-019-04759-1. Epub 2019 Mar 14.	ラットを RoundupOriginal®とその有効成分に毎日 3.6mg/ kg 体重 (bw)、50.4 および 248.4 mg / kgbw (群 8 匹) のグリホサート相当濃度で 12 週間経口暴露し、対照治療には蒸留水を投与しました。コルチコステロンとアルドステロンの濃度は、用量依存的にラウンドアップで治療されたラットで有意に高かった (p < 0.05)。グルタチオン濃度、カタラーゼ、およびブチリルコリンエステラーゼ活性の低下は、有効成分を投与した群よりラウンドアップ投与群のラットで有意に低下した。自由設計の毒性試験

7-9	IIA 5.6.1	Kubsad D, Nilsson EE, King SE, Sadler- Riggleman I, Beck D, Skinner MK.	2019	Assessment of Glyphosate Induced Epigenetic Transgenerational Inheritance of Pathologies and Sperm Epimutations: Generational Toxicology	Sci Rep. 2019 Apr 23;9(1):6372. doi: 10.1038/s41598-019- 42860-0.	妊娠中の F0 世代の雌ラットの F1 世代の子孫 の病理に対するグリホサートの影響は小さい が、F2 世代および F3 世代に前立腺疾患、肥 満、腎臓病、卵巣疾患、および分娩（出生） 異常が認められた。自由設計の試験
7-10	IIA 5.6.1	Ren X, Dai P, Perveen A, Tang Q, Zhao L, Jia X, Li Y, Li C.	2019	Effects of chronic glyphosate exposure to pregnant mice on hepatic lipid metabolism in offspring	Environ Pollut. 2019 Nov;254(Pt A):112906. doi: 10.1016/j.envpol.20 19.07.074. Epub 2019 Jul 20.	妊娠した ICR マウス（Institute of Cancer Research）に蒸留水、0.5%グリホサート溶液 （w / v、0.5 g / 100 ml）、または 0.5%グリ ホサートラウンドアップ溶液を経口投与し た。子動物の肝臓および血清サンプルは、妊 娠 19 日目（GD19）、生後 7 日目（PND7）およ び PND21 に収集した。結果は、体重の有意な 減少と、子孫における過剰な脂肪滴形成を伴 う明らかな脂肪肝を示し、トリグリセリド （TG）、総コレステロール（T-CHO）などの脂 質の濃度、低密度リポタンパク質コレステロ ール（LDL-C）は、血清と肝臓の両方でかなり 増加した。自由設計試験

7-11	IIA 5.6.1	Lorenz V, Pacini G, Luque EH, Varayoud J, Milesi MM.	2020	Perinatal exposure to glyphosate or a glyphosate-based formulation disrupts hormonal and uterine milieu during the receptive state in rats	Food Chem Toxicol. 2020 Sep;143:111560. doi: 10.1016/j.fct.2020.111560. Epub 2020 Jul 5.	F0 妊娠ラットは、妊娠日（GD）9 から離乳まで 2mg のグリホサート/kg/日の用量で GBH または Gly を経口投与された。F1 雌を評価して、GD19 の繁殖成績を調べた。重要なホルモンおよび子宮の分子標的に影響して着床の失敗に関連する可能性を示した。自由設計試験
7-12	IIA 8.3.1.1	Pablo M. Demetrio et al	2014	The effect of cypermethrin, chlorpyrifos, and glyphosate active ingredients and formulations on <i>Daphnia magna</i> (Straus)	Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology, 93, pp. 268-273 DOI: 10.1007/s00128-014-1336-0	原体及び製剤がミジンコに与える影響に関するデータとして提供。
7-13	IIA 8.7.1	Diego E. Vázquez et al	2018	Glyphosate affects the larval development of honey bees depending on the susceptibility of colonies	PLoS ONE, 13, 10, e0205074 DOI: 10.1371/journal.pone.0205074	原体投与によるミツバチ幼虫の体重や遺伝子の発現に与える影響に関するデータとして提供。
7-14	IIA 8.7.1	Pingli Dai et al	2018	The herbicide glyphosate negatively affects midgut bacterial communities and survival of honey bee during larvae reared in vitro	Journal of Agricultural and Food Chemistry, 66, 29, pp. 7786-7793 DOI:	原体投与によるミツバチ幼虫の生存率や生長速度等に与える影響に関するデータとして提供。

					10.1021/acs.jafc.8b02212	
7-15	IIA7.1 .1	<u>Islam Md Meftaul</u>	2022	Degradation of four pesticides in five urban landscape soils: human and environmental health risk assessment	Environ Geochem Health. 2022 May 11. doi: 10.1007/s10653-022-01278-w. Online ahead of print.	グリホサート等複数の農薬について、都市土壌中における DT50 などの分解について調査を行った試験。
7-16	IIA6.3	Bandana Bandana et al	2015	Dissipation kinetics of glyphosate in tea and tea-field under northwestern mid-hill conditions of India	日本農薬学会誌 (J o u r n a l o f P e s t i c i d e S c i e n c e) 40 (3), 82-86, 2015	インドの茶に対するグリホサート製剤の施用によるグリホサートの茶葉内、土壌内の残留と減衰についての研究論文。グリホサート製剤を用いた 0.5、1.0、2.0kg/ha の 3 濃度条件による試験であり、残留基準値の設定に寄与できると考えるため。
7-17	IIA6.3	知念 司 et al	2017	ケーンガラスの農薬登録に向けた農薬残留試験	試験研究報告 54 号 43-49, 2017-04 沖縄県畜産研究センター	飼料用サトウキビ「ケーンガラス」に対するグリホサートカリウム塩製剤を含む 6 種の除草剤の残留試験。グリホサートについては 3 用量ですべて 0.02ppm の定量限界以下であった
7-18	IIA7.6	Mercurio, P	2014	Glyphosate persistence in seawater	MARINE POLLUTION BULLETIN, 85, 385-390	グリホサートの海水中における生分解をシミュレーションした試験。ガイドラインで求められる範囲からは逸脱するが、光条件、温度条件による半減期は参考に値する。

7-19	IIA7.4 .1~2	C. Maqueda	2017	Behaviour of glyphosate in a reservoir and the surrounding agricultural soils	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT, 593-594, 787-795	スペインの貯水池および河川におけるグリホサートの環境動態について調査した論文。堆積物への吸着及び水中での分解、散逸に関する幅広い知見をもつ。
7-20	IIA7.4 .1~2	Martin T.K. Tsui	2004	Comparative toxicity of glyphosate-based herbicides: Aqueous and sediment porewater exposures	ARCHIVES OF ENVIRONMENTAL CONTAMINATION AND TOXICOLOGY, 46, 316-323	ラウンドアップを含む3種の製剤について、水中のミジンコ類、底質の甲殻類の急性毒性、堆積物への吸着を調べた論文。
7-21	IIA8.4	Zhang, Quan	2016	Effects of glyphosate at environmentally relevant concentrations on the growth of and microcystin production by <i>Microcystis aeruginosa</i>	ENVIRONMENTAL MONITORING AND ASSESSMENT, 188:632	低濃度のグリホサートがシアノバクテリアに及ぼす影響を調べた論文。グリホサート暴露がシアノバクテリアの生長を変化させる環境リスク要因となることを示している。
7-22	IIA8.2 .1	Rissoli, Rafael Zanelli	2016	Effects of glyphosate and the glyphosate based herbicides Roundup Original (R) and Roundup Transorb (R) on respiratory morphophysiology of bullfrog tadpoles	CHEMOSPHERE, 156, 37-44	ラウンドアップオリジナルおよびラウンドアップトランソープ製剤がオタマジャクシに皮膚呼吸に与える影響について調べた論文。製剤の界面活性剤の関与についての参考となる。

7-23	IIA5.6 .1	Ren, Xin	2018	Effects of glyphosate on the ovarian function of pregnant mice, the secretion of hormones and the sex ratio of their fetuses	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 243, 83-841	グリホサート及びラウンドアップのマウス胎児への毒性を調べた論文。グリホサート暴露がマウスに与える影響はリスク評価に関連するとした。
7-24	IIA7.4 .1~2	Mamy, L	2005	Glyphosate adsorption in soils compared to herbicides replaced with the introduction of glyphosate resistant crops	CHEMOSPHERE, 64, 844-855	複数の作物種に使用される除草剤とグリホサートの吸着を比較した論文。分子構造と除草剤の吸着に関する知見として収集。
7-25	IIA7.4 .1~2	PICCOLO, A	1994	ADSORPTION AND DESORPTION OF GLYPHOSATE IN SOME EUROPEAN SOILS	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND HEALTH PART B-PESTICIDES FOOD CONTAMINANTS AND AGRICULTURAL WASTES, 29(6),	ヨーロッパにおける4種の土壌とグリホサートの相互作用について調べた論文。土壌吸着のメカニズムの分析は環境リスク評価にも関連すると考える。

表 10 適合性評価の第二段階で「区分 c」と判断した論文とその理由

リスト	データ 要求 (項目 番号)	著者	出版 年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由
8-1	IIA 5.7.5	Daiane Cattani, Nona Struyf, Vivien Steffensen, Jonas Bergquist, Ariane Zamoner, Eva Brittebo, Malin Andersson	2021	Perinatal exposure to a glyphosate-based herbicide causes dysregulation of dynorphins and an increase of neural precursor cells in the brain of adult male rats	Toxicology, Volume 461, September 2021, 152922	雄ラットにおける発達神経毒性の研究。グリホサート製剤が神経発達過程を阻害している可能性がある。
8-2	IIA 5.3.2	Aparamita Pandey, Medhamurthy Rudraiah	2015	Analysis of endocrine disruption effect of Roundup® in adrenal gland of male rats	Toxicology Reports, Volume 2, 2015, Pages 1075-1085	雄ラットにおけるグリホサート製剤による内分泌かく乱作用についての研究。グリホサート製剤は視床下部-下垂体軸を阻害し、副腎組織における環状アデノシンーリン酸（cAMP）/PKA 経路、StAR リン酸化およびコルチコステロン合成を低下させる可能性がある。

8-3	IIA 5.7.5	Daiane Cattani, Vera Lúciade Liz Oliveira Cavalli, Carla EliseHeinz Rieg, Juliana Tonietto Domingues, Tharine Dal-Cim, Carla InêsTasca, Fátima ReginaMena Barreto Silva, ArianeZamoner	2014	Mechanisms underlying the neurotoxicity induced by glyphosate-based herbicide in immature rat hippocampus: Involvement of glutamate excitotoxicity	Toxicology, Volume 320, 5 June 2014, Pages 34-45	雄ラットにおけるグリホサート製剤による 神経毒性のメカニズムの研究。グリホサ ート製剤はラット海馬において過剰な細胞外 グルタミン酸レベルをもたらし、その結果、 グルタミン酸興奮毒性および酸化ストレス を引き起こす可能性がある。
8-4	IIA 5.6.10	稲津教久、藤井儔 子	2004	胎児期に除草剤グリホサート に暴露されたラット精巣カル ボニル還元酵素活性の変化	帝京平成短期大学紀 要第 14 号, 2004. 3.	ラットにおけるグリホサート製剤の発生毒 性の研究。
8-5	IIA 5.1	Larsen K, Najle R, Lifschitz A, Virkel G.	2012	Effects of sub-lethal exposure of rats to the herbicide glyphosate in drinking water: glutathione transferase enzyme activities, levels of reduced glutathione and lipid peroxidation in	Environ Toxicol Pharmacol. 2012 Nov;34(3):811-8. doi: 10.1016/j.etap.2012 .09.005. Epub 2012 Sep 18.	LP に曝露されたラットでは、還元型グルタ チオン (GSH) および増強型グルタチオンペ ルオキシダーゼ (GPx) 活性のレベルの上昇 した。毒性学的意義が不明確

				liver, kidneys and small intestine		
8-6	IIA 5.7.1	Hernández-Plata I, Giordano M, Díaz-Muñoz M, Rodríguez VM.	2015	The herbicide glyphosate causes behavioral changes and alterations in dopaminergic markers in male Sprague-Dawley rat	Neurotoxicology. 2015 Jan;46:79-91. doi: 10.1016/j.neuro.2014.12.001. Epub 2014 Dec 15.	Sprague-Dawley ラットに 50、100、または 150 mg Glyph / kg BW を 2 週間にわたって 6 回腹腔内注射しました (3 回/週)。ドーパミン作動性マーカーとそれらの運動活動との関連を評価した。農薬の毒性評価の参考資料
8-7	IIA 5.2.1	Dai P, Hu P, Tang J, Li Y, Li C.	2016	Effect of glyphosate on reproductive organs in male rat	Acta Histochem. 2016 Jun;118(5):519-26. doi: 10.1016/j.acthis.2016.05.009. Epub 2016 Jun 7.	SD ラットに 5、50、500mg/kg の用量のグリホサートを強制経口投与した。グリホサートは、50mg / kg の用量での飼料摂取量、500mg / kg の用量で精囊腺、凝固腺の重量、および総精子数を有意に減少させた。日齢が古い、群動物数が少ないなど試験としては問題があり、参考資料
8-8	IIA 5.7.1	Martínez MA, Ares I, Rodríguez JL, Martínez M, Martínez-Larrañaga MR, Anadón A.	2018	Neurotransmitter changes in rat brain regions following glyphosate exposure	Environ Res. 2018 Feb;161:212-219. doi: 10.1016/j.envres.2017.10.051. Epub 2017 Nov 20.	グリホサート投与ラット (35、75、150 および 800mg / kg 体重、6 日間) には、目に見える損傷はなく、すなわち、機能障害の臨床的兆候は観察されなかった。グリホサート、セロトニン (5-HT)、ドーパミン (DA)、ノルエピネフリン (NE) の最後の投与後、脳領域の線条体、海馬、前頭前野、皮質、視床下部、中脳のレベルを HPLC で測定グリホサートが脳の局所のおよび用量に関連した方法で中枢神経系 (CNS) モ

						ノアミン作動性神経伝達物質を有意に変化させた。独自の試験設計による作用性試験。毒性評価には使えない。
8-9	IIA 5.6.1	Mao Q, Manservigi F, Panzacchi S, Mandrioli D, Menghetti I, Vornoli A, Bua L, Falcioni L, Lesseur C, Chen J, Belpoggi F, Hu J.	2018	The Ramazzini Institute 13-week pilot study on glyphosate and Roundup administered at human-equivalent dose to Sprague Dawley rats: effects on the microbiome	Environ Health. 2018 May 29;17(1):50. doi: 10.1186/s12940-018-0394-x.	米国のグリホサート ADI (1.75 mg / kg 体重/日) に匹敵する用量で、妊娠日 (GD) 6 から出生後まで F0 ダムに飲料水で投与し、初期の発達において腸内細菌叢を改変することを見出した、独自の試験設計による作用性試験。毒性評価には使えない。
8-10	IIA 5.6.1	Dechartres J, Pawluski JL, Gueguen MM, Jablaoui A, Maguin E, Rhimi M, Charlier TD.	2019	Glyphosate and glyphosate-based herbicide exposure during the peripartum period affects maternal brain plasticity, maternal behaviour and microbiome	J Neuroendocrinol. 2019 Sep;31(9):e12731. doi: 10.1111/jne.12731. Epub 2019 May 26.	妊娠日 (GD) 10 から分娩後日 (PD) 22 まで Sprague-Dawley ラットに投与した。処理により母動物の PD2 と PD6 の間で子犬に対する舐め行動を変え、神経可塑性と腸内細菌叢に影響を与えた。自由設計研究。毒性学的意義の不明。

8-11	IIA 5.6.1	Gorga A, Rindone GM, Centola CL, Sobarzo CM, Pellizzari EH, Camberos MDC, Marin-Briggiler CI, Cohen DJ, Riera MF, Galardo MN, Meroni SB.	2021	Low Doses of Glyphosate/Roundup Alter Blood-Testis Barrier Integrity in Juvenile Rats	Front Endocrinol (Lausanne). 2021 Mar 11;12:615678. doi: 10.3389/fendo.2021.615678. eCollection 2021.	無処理 (C) 水のみ。グリホサート G2 および G50mg /kg/日、R2 および R50 グループはそれぞれ 2 および 50mg/kg/日ラウンドアップを投与。処理は出生後の日 (PND) 14 から 30 までの機能的な血液精巣関門を完成までの期間経口投与された。評価は PND31 で行われた。低用量の G または R への継続的な曝露が幼若ラットの血液精巣関門透過性を変化させることを示した。しかし、対照動物と比較して毎日の精子産生に差がなかった。自由設計研究
8-12	IIA 5.5.2	Mesnage R, Ibragim M, Mandrioli D, Falcioni L, Tibaldi E, Belpoggi F, Brandsma I, Bourne E, Savage E, Mein CA, Antoniou MN.	2022	Comparative Toxicogenomics of Glyphosate and Roundup Herbicides by Mammalian Stem Cell-Based Genotoxicity Assays and Molecular Profiling in Sprague-Dawley Rats	Toxicol Sci. 2022 Feb 28;186(1):83-101. doi: 10.1093/toxsci/kfab143.	グリホサートとラウンドアップ GBH の効果を invitro と invivo の両方でがんを促進する細胞メカニズムの活性化を比較した結果、ラウンドアップ製剤がグリホサートよりも発癌に関連するより多くの生物学的変化を引き起こすことを示した。自由設計研究

8-13	IIA 8.1.1	Awad A. Shehata et al	2014	Distribution of glyphosate in chicken organs and its reduction by humic acid supplementation	The Journal of Poultry Science 51, pp. 333-337 DOI: 10.2141/jpsa.0130169	フミン酸がグリホサートの挙動に与える影響に関して調査した論文
8-14	IIA 8.4	Takashi Nagai	2019	Sensitivity differences among seven algal species to 12 herbicides with various modes of action	Journal of Pesticide Science 44, 4, pp. 225-232 DOI: 10.1584/jpestics.d19-039	12 種類の有効成分に対する藻類の感受性種間差をまとめた論文
8-15	IIA 8.2.1	Masaya Uchida et al	2012	Toxicity evaluation of glyphosate agrochemical components using Japanese medaka (<i>Oryzias latipes</i>) and DNA microarray gene expression analysis	The Journal of Toxicological Sciences 37, 2, pp. 245-254 DOI: 10.2131/jts.37.245	OECD 203 で定められた試験の妥当性の基準を満たしているか記載されていない。使用した稚魚の体長が明記されていない。
8-16	IIA 8.4	永井 孝志	2016	除草剤の作用機作と水生一次生産者の感受性種間差の関係	環境毒性学会誌, 19, 2, pp. 83-92 https://doi.org/10.11403/jset.19.83	水生一次生産者の感受性種間差に関するデータを収集し、解析した論文

8-17	IIA 8.4	Takashi Nagai	2021	Ecological effect assessment by species sensitivity distribution for 38 pesticides with various modes of action	Journal of Pesticide Science, 46, 4, pp. 366-372 DOI: 10.1584/jpestics.D21-034	38 種類の有効成分の HC5 および登録基準を比較した論文
8-18	IIA 8.2.1	N. K. Nešković et al	1996	Biochemical and histopathological effects of glyphosate on carp, <i>Cyprinus carpio</i> L	Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology, 56, pp. 295-302 DOI: 10.1007/s001289900044	1984 年に施行された以前の OECD ガイドラインに準拠している。現在の OECD ガイドラインで規定している魚の体長から逸脱している。原体の詳細が分からず、純度も 62%と低い。1996 年の論文であり、情報が古い。
8-19	IIA8.7 .1	Helen M. Thompson et al	2014	Evaluating exposure and potential effects on honeybee brood (<i>Apis mellifera</i>) development using glyphosate as an example	Integrated Environmental Assessment and Management, 10, 3, pp. 463-470 DOI: 10.1002/ieam.1529	使用した原体の純度が 62.27%と低い。新たな試験法の開発に関する論文
8-20	IIA7.1 .1	Laura Medalie	2020	Influence of land use and region on glyphosate and aminomethylphosphonic acid in streams in the USA	Science of The Total Environment Volume 707, 10 March 2020, 136008	アメリカにおける地域ごとの河川においてグリホサート及び AMPA の濃度を示した文献。アメリカにおけるグリホサートの存在量についての知見として収集。

8-21	IIA7.1 .1	Maderthaner, Michael	2020	Commercial glyphosate-based herbicides effects on springtails (Collembola) differ from those of their respective active ingredients and vary with soil organic matter content	Environmental science and pollution research international. 2020 May, v. 27, no. 14 p. 17280-17289.	グリホサート製剤がトビムシ類に与える影響などを実験室的に研究し、製剤によるリスク評価を検討した論文。生体毒性の参考として収集。
8-22	IIA7.4 .1~7.4 .2	Bergström, Lars	2011	Laboratory and Lysimeter Studies of Glyphosate and Aminomethylphosphonic Acid in a Sand and a Clay Soil	Journal of environmental quality. 2011 Jan., v. 40, no. 1 p. 98-108.	実験室スケールおよびライシメーターによるグリホサートと AMPA の浸出に関する研究。1.54kg/ha の一条件による試験であった。
8-23	IIA7.4 .1~7.4 .2	Bergström, Lars	2011	Laboratory and Lysimeter Studies of Glyphosate and Aminomethylphosphonic Acid in a Sand and a Clay Soil	Journal of environmental quality. 2011 Jan., v. 40, no. 1 p. 98-108. doi.org/10.2134/jeq.2010.0179	砂、粘度土壌におけるグリホサート、AMPA のライシメーターによる吸着の測定。吸着に関する知見として。

8-24	IIA7.3 .2	Todorovic, Gorana Rampazzo	2014	Influence of soil tillage and erosion on the dispersion of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in agricultural soils	International agrophysics. 2014 Feb. 13, v. 28, no. 1 p. 93-100.	グリホサート製剤の散布が降雨と土壌侵食に影響されることを示した論文。グリホサートの土壌中動態への関連として収集。
8-25	IIA7.3 .2	Chengkui Qiao	2020	Environmental behavior and influencing factors of glyphosate in peach orchard ecosystem	Ecotoxicol Environ Saf. 2020 Dec 15;206:111209. doi: 10.1016/j.ecoenv.2020.111209. Epub 2020 Sep 3.	モモ果樹園土壌におけるグリホサートの環境運命及び影響印紙について調査した論文。一定の生態系におけるグリホサートの挙動を示す知見として収集。
8-26	IIA7.3 .2	Vera Silva	2018	Distribution of glyphosate and aminomethylphosphonic acid (AMPA) in agricultural topsoils of the European Union	Sci Total Environ. 2018 Apr 15;621:1352-1359. doi: 10.1016/j.scitotenv.2017.10.093. Epub 2017 Oct 15.	EU各地の農地表土におけるグリホサートの分布に関する知見、

8-27	IIA7.3 .2	Channa Jayasumana	2015	Drinking well water and occupational exposure to Herbicides is associated with chronic kidney disease, in Padavi-Sripura, Sri Lanka	Environ Health. 2015 Jan 18;14:6. doi: 10.1186/1476-069X-14-6.	スリランカ慢性腎臓病患者と農薬使用の関係性を調査した論文。グリホサートの暴露評価への参考として。
8-28	IIA7.3 .2	渡邊 大助	2020	土壌中におけるグリホサートおよびグルホシネートの長期的な分解および拡散	日本法科学技術学会誌, 2020, 25 巻, 1 号, p. 15-21 doi.org/10.3408/jafst.762	グリホサート製剤およびグルホシネート製剤の土壌中における長期的な分解と拡散について調べた論文。土壌中のグリホサートの長期残留量についての知見として収集。
8-29	IIA7.3 .2	伊藤 武治	2020	竹林駆除に使用される除草剤の残留と植生への影響評価	景観生態学, 2020, 25 巻, 2 号, p. 177-183 doi.org/10.5738/jale.25.177	グリホサート製剤を竹林へ施用した場合の植生、土壌への影響を調べた研究。グリホサートの土壌残留の知見として収集。

8-30	IIA7.3 .2	Bandana Bandana	2015	Dissipation kinetics of glyphosate in tea and tea-field under northwestern mid-hill conditions of India	J. Pestic. Sci. 40(3), 82-86 (2015) DOI: 10.1584/jpestics.D14-085	インドの茶畑へのグリホサートの施用による茶葉、土壌への残留を調べた論文。土壌中のグリホサートの消失に関する知見として収集。
8-31	IIA7.1 .1	Wirsching, Johannes	2022	13C assimilation as well as functional gene abundance and expression elucidate the biodegradation of glyphosate in a field experiment	Environmental pollution. 2022 Aug. 01, v. 306	2.1kg/ha のラベルグリホサートの土壌への添加により微生物の分解を評価した論文。土壌特性がグリホサートの分解にあたえる影響などリスク評価には直結しないが関連すると考える。
8-32	IIA7.3 .2	Muskus, Angelica M.	2022	Microbial community composition and glyphosate degraders of two soils under the influence of temperature, total organic carbon and pH	Environmental pollution. 2022 Mar. 15, v. 297	土壌 pH と全有機炭素の変化がグリホサートの微生物分解に与える影響について調べた論文。50mg/kg の標識グリホサート処理を行い微生物のバイオマス量などを主体にしているため土壌残留とは直接関与はしないため。

8-33	IIA7.1 .1	Muskus, Angelica M.	2020	Degradation of glyphosate in a Colombian soil is influenced by temperature, total organic carbon content and pH	Environmental pollution. 2020 Apr., v. 259	コロンビアの砂質ローム土壌において、pH, TOC, 温度がグリホサートの分解に与える影響についての研究論文。50mg/kg の1濃度による試験であり知見として収集。
8-34	IIA7.1 .1	Gros, Peter	2020	Leaching and degradation of 13C2-15N-glyphosate in field lysimeters	Environmental monitoring and assessment. 2020 Feb., v. 192, no. 2 p. 127.	ライシメーターによる土壌へのグリホサートの浸出と分解の測定について述べた論文。480g/kg の1濃度の施用であり、リスク評価への関連は薄いため。
8-35	IIA7.3 .2	Albers, Christian Nyrop	2020	Leaching of herbicidal residues from gravel surfaces - A lysimeter-based study comparing gravels with agricultural topsoil	Environmental pollution. 2020 Nov., v. 266	舗装、未舗装の砂利質表土における農薬の挙動を調べた研究。グリホサート製剤の土壌中分解についての知見として収集。

8-36	IIA7.3 .2	Bento, Célia P.M.	2019	Dynamics of glyphosate and AMPA in the soil surface layer of glyphosate-resistant crop cultivations in the loess Pampas of Argentina	Environmental Pollution Volume 244, January 2019, Pages 323-331	グリホサート耐性作物栽培下におけるグリホサートおよび AMPA の動態を調べた論文。2 濃度の散布を行っており、リスク評価に活用できる可能性があるため収集。
8-37	IIA7.5	Masiol, Mauro	2018	Herbicides in river water across the northeastern Italy: occurrence and spatial patterns of glyphosate, aminomethylphosphonic acid, and glufosinate ammonium	Environmental science and pollution research. 2018 Aug., v. 25, no. 24 p. 24368-24378.	イタリア、ベネト河の河川水サンプリングによるグリホサート及び分解物の発生調査。新たにリスク評価パラメータの設定に利用可能なデータは確認できないが、参考として収集。
8-38	IIA7.1 .1	la Cecilia, Daniele	2017	Analysis of glyphosate degradation in a soil microcosm	Environmental pollution. 2017,	グリホサートの化学的、生物学的な分解の包括的な反応についての解析。グリホサートの土壌中の反応経路についての知見として収集。

8-39	IIA7.4 .1~7.4 .2	A.Cassigneul	2016	Fate of glyphosate and degradates in cover crop residues and underlying soil: A laboratory study	Science of The Total Environment Volumes 545-546, 1 March 2016, Pages 582-590	被覆作物の有無がグリホサートの土壌への吸着と分解に係るかを調べた試験。対照区の裸地における動態のデータを関連すると考え収集。
8-40	IIA7.3 .2	Van Stempvoort, Dale R	2016	Glyphosate residues in rural groundwater, Nottawasaga River Watershed, Ontario, Canada	Pest management science. 2016 Oct., v. 72, no. 10 p. 1862-1872.	農地に施用されたグリホサートが地下水中に残留することを調査した研究。残留基準に関連すると考え収集した・
8-41	IIA7.3 .2	Virginia C.Aparicio	2013	Environmental fate of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in surface waters and soil of agricultural basins	Chemosphere Volume 93, Issue 9, November 2013, Pages 1866-1873	アルゼンチンの農地における農業地域の表流水と土壌におけるグリホサートと AMPA の動態についての調査。グリホサート残留量に関連するとして収集。

8-42	IIA7.3 .2	N.T.Litz	2011	Comparative studies on the retardation and reduction of glyphosate during subsurface passa	Water Research Volume 45, Issue 10, May 2011, Pages 3047-3054	実験室レベルでのグリホサートの吸着、分解試験。
8-43	IIA7.1 .1	Zabaloy, María C.	2008	An integrated approach to evaluate the impacts of the herbicides glyphosate, 2,4-D and metsulfuron-methyl on soil microbial communities in the Pampas region, Argentina	Applied soil ecology. 2008 Sept., v. 40, no. 1 p. 1-12.	アルゼンチンの農地土壌において、除草剤が土壌中の微生物群に与える影響を調査した論文。150mg/kg の処理によりグリホサートの影響が確認されている。
8-44	IIA7.3 .2	Bernasconi, Constanza	2021	Evidence for soil pesticide contamination of an agroecological farm from a neighboring chemical-based production system	Agriculture, Ecosystems & Environment Volume 313, 15 June 2021, 107341	化学農薬を使用した農場の近隣の農場から同様の農薬が検出されたことを示した論文。グリホサートの移動に関する知見として収集。

8-45	IIA7.3 .2	Ruiz-Toledo, Jovani	2014	Occurrence of Glyphosate in Water Bodies Derived from Intensive Agriculture in a Tropical Region of Southern Mexico	Bulletin of environmental contamination and toxicology. 2014 Sept., v. 93, no. 3 p. 289-293.	メキシコ南部における乾季、雨季のグリホサート定量化についての論文。水分量によるグリホサートの希釈についての参考に収集。
8-46	IIA7.3 .2	Villarreal, Rafael	2020	Influence of soil water holding and transport capacity on glyphosate dynamics in two agricultural soils from Pampas Region	Geoderma. 2020 Oct. 15, v. 376	耕作の有無によるグリホサートの蓄積及び輸送の関係を調べた論文。グリホサート動態についての知見として。
8-47	IIA7.1 .1	Robichaud, C.D.	2021	Title: Low concentrations of glyphosate in water and sediment after direct over-water application to control an invasive aquatic plant	Water Research Volume 188, 1 January 2021, 116573	水生植物防除のためのグリホサート施用後に測定された濃度と AMPA への分解について調べた研究。水域への施用後の動態に関する知見として収集。

8-48	IIA7.1 .1	Biao Yan	2022	Glyphosate and glufosinate-ammonium in aquaculture ponds and aquatic products: Occurrence and health risk assessment	Environ Pollut. 2022 Mar 1;296:118742. doi: 10.1016/j.envpol.2021.118742. Epub 2021 Dec 22.	水産養殖池における表層水、堆積物、水産物中のグリホサート及びグルホシネートの残留を調べた論文。水生生物への健康影響に係るため収集。
8-49	IIA7.3 .2	Emília Marques Brovini	2021	Three-best-seller pesticides in Brazil: Freshwater concentrations and potential environmental risks	Sci Total Environ. 2021 Jun 1;771:144754. doi: 10.1016/j.scitotenv.2020.144754. Epub 2021 Jan 26.	ブラジルで広く使われているグリホサート等の農薬について表層水中の濃度を測定した論文。潜在的な環境リスクの評価を行っている点で収集した。
8-50	IIA7.1 .1	Yue Geng	2021	Glyphosate, aminomethylphosphonic acid, and glufosinate ammonium in agricultural groundwater and surface water in China from 2017 to 2018: Occurrence, main drivers, and environmental risk assessment	Sci Total Environ. 2021 May 15;769:144396. doi: 10.1016/j.scitotenv.2020.144396. Epub 2020 Dec 25.	グリホサート及びグルホシネートの水域濃度の測定と環境リスク評価。

8-51	IIA7.4 .1~7.4 .2	Islam Md Meftaul	2021	Glyphosate use in urban landscape soils: Fate, distribution, and potential human and environmental health risks	J Environ Manage. 2021 Aug 15;292:112786. doi: 10.1016/j.jenvman.2021.112786. Epub 2021 May 23.	都市部におけるグリホサート施用の土壌動態及び暴露リスクを調査した論文。
8-52	IIA7.1 .1	Angelica M Muskus	2020	Degradation of glyphosate in a Colombian soil is influenced by temperature, total organic carbon content and pH	Environ Pollut. 2020 Apr;259:113767. doi: 10.1016/j.envpol.2019.113767. Epub 2019 Dec 16.	コロンビアの砂質ローム土壌において、pH, TOC, 温度がグリホサートの分解に与える影響についての研究論文。50mg/kg の 1 濃度による試験であり知見として収集。
8-53	IIA7.3 .2	Luisina Delma Demonte	2018	Determination of glyphosate, AMPA and glufosinate in dairy farm water from Argentina using a simplified UHPLC-MS/MS method	Sci Total Environ. 2018 Dec 15;645:34-43. doi: 10.1016/j.scitotenv.2018.06.340. Epub 2018 Jul 14.	アルゼンチン家畜農場中の水中における農薬の測定についての論文。リスク分析のための参考として収集。

8-54	IIA7.1 .1	Evangelos Karanasios	2018	Monitoring of glyphosate and AMPA in soil samples from two olive cultivation areas in Greece: aspects related to spray operators activities	Environ Monit Assess. 2018 May 25;190(6):361. doi: 10.1007/s10661-018-6728-x.	ギリシャ 2 地域における土壌中のグリホサート、AMPA のモニタリングと環境予測濃度との残留の比較。土壌 PEC に対する知見として。
8-55	IIA7.4 .1~7.4 .2	Jamilu Garba	2018	Adsorption-desorption and leaching potential of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in acidic Malaysian soil amended with cow dung and rice husk ash	Environ Monit Assess. 2018 Oct 27;190(11):676. doi: 10.1007/s10661-018-7034-3.	マレーシア酸化ミネラル含有土壌におけるグリホサートの吸着に関する試験。吸着に係る試験のため。
8-56	IIA7.4 .1~7.4 .2	Sirajum Munira	2016	Phosphate fertilizer impacts on glyphosate sorption by soil	Chemosphere. 2016 Jun;153:471-7. doi: 10.1016/j.chemosphere.2016.03.028. Epub 2016 Mar 29.	リン酸肥料がグリホサートの吸着に影響を与えることを示した論文。グリホサートの動態に関する知見として。

8-57	IIA7.1 .2	Ramdas G Kanissery	2015	Effect of soil aeration and phosphate addition on the microbial bioavailability of carbon-14-glyphosate	J Environ Qual. 2015 Jan;44(1):137-44. doi: 10.2134/jeq2014.08.0331.	グリホサートの嫌氣的条件下における土壌ごとの分解、吸着についての研究。嫌氣的条件下の胴体についての知見として収集。
8-58	IIA7.3 .2	Virginia C Aparicio	2013	Environmental fate of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in surface waters and soil of agricultural basins	Chemosphere. 2013 Nov;93(9):1866-73. doi: 10.1016/j.chemosphere.2013.06.041. Epub 2013 Jul 9.	アルゼンチン農業盆地の表層水、土壌におけるグリホサート及び AMPA の環境運命についての研究。土壌中のグリホサートの検出についての知見。
8-59	IIA7.1 .1	Changming Yang	2013	Mild salinization stimulated glyphosate degradation and microbial activities in a riparian soil from Chongming Island, China	J Environ Biol. 2013 Apr;34(2 Spec No):367-73. PMID: 24620607	海水がグリホサートの分解動態、土壌中微生物活性に与える影響を調べた試験。湛水土壌におけるグリホサートの環境動態の知見として収集。

8-60	IIA7.1 .1	Andrew J Hewitt	2009	Spray droplet size, drift potential, and risks to nontarget organisms from aerially applied glyphosate for coca control in Colombia	J Toxicol Environ Health A. 2009;72(15-16):921-9. doi: 10.1080/15287390902929667.	航空散布されたグリホサート製剤に対する環境リスク評価。知見として。
8-61	IIA7.4 .1~7.4 .2	L Cáceres-Jensen	2009	Adsorption of glyphosate on variable-charge, volcanic ash-derived soils	J Environ Qual. 2009 May 20;38(4):1449-57. doi: 10.2134/jeq2008.0146. Print Jul-Aug 2009.	火山性土壌におけるグリホサートの吸着について調べた論文。特異的な吸着についての知見として
8-62	IIA7.4 .1~7.4 .2	Pieter Spanoghe	2005	Rainfastness and adsorption of herbicides on hard surfaces	Pest Manag Sci. 2005 Aug;61(8):793-8. doi: 10.1002/ps.1063.	アスファルト、コンクリート等の表面におけるグリホサートの動態について降雨シナリオを想定して測定した論文。非農耕地への適用の知見として収集。
8-63	IIA7.4 .1~7.4 .2	Ying Yu	2005	Adsorption characteristics of pesticides methamidophos and glyphosate by two soils	Chemosphere. 2005 Feb;58(6):811-6. doi: 10.1016/j.chemosphere.2004.08.064.	グリホサート及びメタミドホスの土壌に対する吸着の特性を調べた論文。土壌有機物とグリホサートの関与についての知見。

8-64	IIA7.1 .1	F Veiga	2001	Dynamics of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in a forest soil in Galicia, north-west Spain	Sci Total Environ. 2001 Apr 23;271(1-3):135-44. doi: 10.1016/s0048-9697(00)00839-1.	スペイン森林土壌におけるグリホサートおよび AMPA の動態の研究。
8-65	IIA6.3	Osipitan, O. Adewale et al	2020	Impacts of repeated glyphosate use on growth of orchard crops	Weed technology. 2020 Aug. 18, v. 34, no. 6 p. 888-896.	グリホサートの反復使用が果樹の栄養吸収に与える影響についての評価試験。4 濃度条件で行い、最高施用量においても作物への影響が見られなかったため、訂正的データとする。投与量：0, 1. 1, 2. 2, 4. 4 kg ae/ha)
8-66	IIA6.3	Muola, Anne et al	2021	Risk in the circular food economy: Glyphosate-based herbicide residues in manure fertilizers decrease crop yield	Science of the total environment. 2021 Jan. 01, v. 750	鶏糞、有機たい肥などに含まれるグリホサートが作物収量に与える影響について。直接的なリスク評価には関与しないが知見として。
8-67	IIA6.3	Miyazaki, Juliana et al	2019	Insufficient risk assessment of herbicide-tolerant genetically engineered soybeans intended for import into the EU	Miyazaki et al. Environ Sci Eur (2019) 31:92 https://doi.org/10.1186/s12302-019-0274-1	除草剤耐性ダイズへのグリホサート散布に関するデータのレビュー。EU におけるリスク評価方法の参考として。

8-68	IIA6.2 .1	Pan L, et al	2019	Aldo-keto Reductase Metabolizes Glyphosate and Confers Glyphosate Resistance in Echinochloa colona	Plant Physiol. 2019 Dec;181(4):1519-1534. doi: 10.1104/pp.19.00979.	グリホサート耐性を持つ植物に見られた遺伝子からグリホサートの代謝に関与する経路を明らかにした実験。グリホサートの植物体内代謝の知見として。
8-69	IIA6.2 .1	Pedro Diaz Vivancos et al	2011	Perturbations of amino acid metabolism associated with glyphosate-dependent inhibition of shikimic acid metabolism affect cellular redox homeostasis and alter the abundance of proteins involved in photosynthesis and photorespiration	Plant Physiol. 2011 Sep;157(1):256-68.	グリホサートによる代謝阻害が与える影響について示した論文。代謝自体を取り扱ったものではないが、知見として。
8-70	IIA6.2 .1	D von Soosten et al	2016	Excretion pathways and ruminal disappearance of glyphosate and its degradation product aminomethylphosphonic acid in dairy cows	J Dairy Sci. 2016 Jul;99(7):5318-5324.	乳牛におけるグリホサートと分解物 AMPA の排泄経路についての論文。 0.08~6.67mg/d の 6 試験におけるグリホサートの分解について補助的な知見のため。

8-71	IIA6.3	Marjo Helander et al	2018	Glyphosate decreases mycorrhizal colonization and affects plant-soil feedback	Sci Total Environ. 2018 Nov 15;642:285-291. doi: 10.1016/j.scitotenv.2018.05.377. Epub 2018 Jun 11.	土壌に残留したグリホサートが土壌中の作物、雑草、土壌中の菌コロニーへ与える影響を調べた論文。植物への残留量を定量しているが、残留グリホサートによる効果のためリスク評価に直接関与しないと考えたため。
8-72	IIA6.3	European Food Safety Authority (EFSA)	2018	Review of the existing maximum residue levels for glyphosate according to Article 12 of Regulation (EC) No 396/2005	EFSA J. 2018 May 17;16(5):e05263. doi: 10.2903/j.efsa.2018.5263. eCollection 2018 May.	EFSA による食品、飼料の最大残留レベルの見直しについての文献。研究論文ではないがリスク評価に関連すると考えるため。
8-73	IIA6.4	European Food Safety Authority (EFSA)	2018	Evaluation of the impact of glyphosate and its residues in feed on animal health	EFSA J. 2018 May 17;16(5):e05283. doi: 10.2903/j.efsa.2018.5283. eCollection 2018 May.	EFSA による動物の飼料に残留したグリホサートが与える影響についての文献。リスク評価には直結しないが、家畜残留に関連する。

8-74	IIA6.2 .1	Münevver Doğramacı et al	2015	Glyphosate's impact on vegetative growth in leafy spurge identifies molecular processes and hormone cross-talk associated with increased branching	BMC Genomics. 2015 May 19;16(1):395. doi: 10.1186/s12864-015-1627-9.	グリホサートが耐性を持つ <i>Euphorbia esula</i> に施用された際の分子のプロセスと植物ホルモンとのかかわり。雑草に対する一濃度 2.24kg/ha での試験であり、リスク評価への貢献度は低い。ため。
8-75	IIA6.3	Yoshihiro HAYAMICHI	1991	Translocation of 14C-Glyphosate After Foliar Application in Sugarcane Plant	熱帯農業 35 (4), 278-282, 1991-12 日 本熱帯農業学会	サトウキビ体内におけるグリホサートの転流について検討した論文。2mg の一濃度条件による試験で植物体内のどの位置にグリホサートが移動するかを示しているため、リスク評価に直接関与するものではない。ため。
8-76	IIA6.4	Awad A. Shehata et al	2014	Distribution of Glyphosate in Chicken Organs and its Reduction by Humic Acid Supplementation	日本家禽学会誌 51 (3), 333-337, 2014 doi:10.2141/ jpsa.0130169	鶏の臓器に残留するグリホサートをフミン酸が減少することを示した論文。グリホサートを計量して添加した試験ではないが、家畜残留への知見を得られるもの。と考える。ため。

8-77	IIA6.2 .1	新野竜大 et al	2008	化学物質の作用機序を評価するための 緑藻 (<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>) のメタボローム解析	環境毒性学会誌 (Jpn. J. Environ. Toxicol.), 11 (2), 83-89, 2008	グリホサートなど各農薬成分を添加した緑藻に対するメタボローム解析。EC50 濃度による暴露ののち代謝物の多変量解析を行った研究。リスク評価とは直接関与しないが、知見として収集。
8-78	IIA6.3	Yoshihiro HAYAMICHI	1991	Translocation of 14C-Glyphosate After Foliar Application in Sugarcane Plants	Japan. J. Trop. Agr. 35(4): 278-282, 1991 doi.org/10.11248/jstata1957.35.278	サトウキビを用いたグリホサートの転流についての研究。製剤の 2 mg 添加条件のため。
8-79	IIA6.2 .1	Zhao, Hang et al	2020	Transcriptomic and metabolomic landscape of the molecular effects of glyphosate commercial formulation on <i>Apis mellifera ligustica</i> and <i>Apis cerana cerana</i>	Science of the total environment. 2020 Nov. 20, v. 744	ミツバチを用いたグリホサート製剤ストレス下における遺伝子発現、代謝の変化を調べる試験。リスク評価には関与しないが知見として評価。
8-80	IIA6.2 .1	Vivancos, Pedro Diaz	2011	Perturbations of Amino Acid Metabolism Associated with Glyphosate-Dependent Inhibition of Shikimic Acid Metabolism Affect Cellular Redox Homeostasis and Alter the Abundance of	Plant physiology. 2011 Sept., v. 157, no. 1 p. 256-268.	グリホサートが代謝系へ与える影響が光合成、光呼吸に関与することを示した試験。リスク評価には関与しないが、知見として。

				Proteins Involved in Photosynthesis and Photorespiration		
8-81	IIA6.3	Barker, Abigail L. et al	2019	Fate of Glyphosate during Production and Processing of Glyphosate-Resistant Sugar Beet (<i>Beta vulgaris</i>)	Journal of agricultural and food chemistry. 2019 Jan. 29, v. 67, no. 7 p. 2061-2065.	グリホサートを使用したテンサイの生長各段階と加工過程での濃度についての知見。
8-82	IIA6.3	Rampoldi, E. Arielet al	2011	The Fate of Glyphosate in Crop Residues	Soil Science Society of America journal. 2011 , v. 75, no. 2 p. 553-559.	トウモロコシ類、ダイズ類の作物残留物におけるグリホサートの環境動態の研究。グリホサートの吸着についての知見が残留につながると考えたため。
8-83	IIA.6.6.3	Viator, Ryan P. et al	2008	Influence of Nonoptimal Ripener Applications and Postharvest Residue Retention on Sugarcane Second Ratoon Yields	Agronomy journal. 2008 Nov-Dec, v. 100, no. 6 p. 1769-1773.	グリホサート処理サトウキビ残渣が後作物の収量へ与える影響の調査。収穫後残留物に対する知見のため。

8-84	IIA6.3	Gasparini, Mara et al	2020	Glyphosate and other highly polar pesticides in fruit, vegetables and honey using ion chromatography coupled with high resolution mass spectrometry: Method validation and its applicability in an official laboratory	Journal of mass spectrometry. 2020 Nov., v. 55, no. 11	グリホサート含む農薬とその代謝物のブドウ、小麦、はちみつにおける定量とその分析法の開発についての調査。EC396/2005 の残留基準値を基にした評価のため。
8-85	IIA6.3	Rampoldi, E. Arielet al	2011	The Fate of Glyphosate in Crop Residues	Soil Science Society of America journal. 2011 , v. 75, no. 2 p. 553-559.	トウモロコシ類、ダイズ類の作物残留物におけるグリホサートの環境動態の研究。グリホサートの吸着についての知見が残留につながると考えたため。
8-86	IIA6.3	Duhan, Anil	2018	Sensitivity and terminal residues of various herbicides screened for the control of broomrape in tomato	Indian journal of weed science 2018 v.50 no.2 pp. 146-152	トマトへの除草剤適用による感受性、果実、土壌への残留について。トマトに対する残留データの一環として。
8-87	IIA6.2 .1	Nacer Bellaloui et al	2008	Nitrogen Metabolism and Seed Composition As Influenced by Glyphosate Application in Glyphosate-Resistant Soybean	J Agric Food Chem. 2008 Apr 23;56(8):2765-72.	グリホサート耐性ダイズに対するグリホサート施用により窒素代謝に与える変化を示した論文。1.12 および 3.36 kg ae/ha の 2 用量

8-88	IIA6.4	Karina Schnabel et al	2017	Effects of glyphosate residues and different concentrate feed proportions on performance, energy metabolism and health characteristics in lactating dairy cows	Arch Anim Nutr. 2017 Dec;71(6):413-427.	グリホサート汚染飼料を摂取した場合の乳牛への影響を調べた試験。牛乳のグリホサート残渣についての知見。飼料種類とグリホサート暴露によって4条件0.8、0.8、73.8、83.5 mg/dの摂取量
8-89	IIA6.2.1	Karen Larsen et al	2022	Metabolic stability of glyphosate and its environmental metabolite (aminomethylphosphonic acid) in the ruminal content of cattle	Food Addit Contam Part A Chem Anal Control Expo Risk Assess. 2022 Apr;39(4):740-751.	牛のルーメン中におけるグリホサート及びAMPAの代謝安定性を調べた研究。グリホサート及びAMPAが一試験区のみの実験(15µg/mL、1.5µg/mL)
8-90	IIA5.6.10	Dallegrave E, Mantese FD, Coelho RS, Pereira JD, Dalsenter PR, Langeloh A.	2003	The teratogenic potential of the herbicide glyphosate-Roundup in Wistar rats	Toxicol Lett. 2003 Apr 30;142(1-2):45-52. doi: 10.1016/s0378-4274(02)00483-6.	ラットに対するグリホサート製剤ラウンドアップが持つ催奇形性を評価した文献。500、750、1000 mg/kgの3用量の経口投与について、死亡率、骨格の変化を観察し、ラウンドアップは有毒であると結論付けている。

8-91	IIA5.6 .10	Dallegrave E, Mantese FD, Oliveira RT, Andrade AJ, Dalsenter PR, Langeloh A.	2007	Pre- and postnatal toxicity of the commercial glyphosate formulation in Wistar rats	Arch Toxicol. 2007 Sep;81(9):665-73. doi: 10.1007/s00204-006- 0170-5. Epub 2007 Jul 19.	グリホサート製剤ラウンドアップが妊娠 中、授乳中のラットの子孫に与える生殖影 響を評価した文献。50, 150, 450 mg/kg の用 量で経口投与し、子孫の精子数の減少など が報告されている。
8-92	IIA5.3 .2	Cağlar S, Kolankaya D.	2008	The effect of sub-acute and sub-chronic exposure of rats to the glyphosate- based herbicide Roundup	Environ Toxicol Pharmacol. 2008 Jan;25(1):57-62. doi: 10.1016/j.etap.2007 .08.011. Epub 2007 Sep 8.	ラット肝臓におけるラウンドアップの毒性 作用の分析。56, 560mg/kg の投与で 5-13 週 間観察されており、酵素活性などに軽度の 影響が見られている。
8-93	IIA5.2 .1	Wunnapuk K, Gobe G, Endre Z, Peake P, Grice JE, Roberts MS, Buckley NA, Liu X.	2014	Use of a glyphosate-based herbicide-induced nephrotoxicity model to investigate a panel of kidney injury biomarkers	Toxicol Lett. 2014 Feb 10;225(1):192- 200. doi: 10.1016/j.toxlet.20 13.12.009. Epub 2013 Dec 19.	ラウンドアップの腎臓への急性毒性を評価 した論文。250, 500, 1200, 2500mg/kg の 4 濃 度の経口投与によりバイオマーカーの濃度 変化を確認している。
8-94	IIA5.2 .1	Mahendrakar K, Venkategowda PM, Rao SM, Mutkule DP.	2014	Glyphosate surfactant herbicide poisoning and management	Indian J Crit Care Med. 2014 May;18(5):328-30. doi: 10.4103/0972- 5229.132508.	グリホサートを含む除草剤 200ml を摂取し た男性の症例研究についてまとめた文献。

8-95	IIA5.2 .1	Larsen K, Najle R, Lifschitz A, Maté ML, Lanusse C, Virkel GL.	2014	Effects of Sublethal Exposure to a Glyphosate-Based Herbicide Formulation on Metabolic Activities of Different Xenobiotic-Metabolizing Enzymes in Rats	Int J Toxicol. 2014 Jul;33(4):307-318. doi: 10.1177/1091581814540481. Epub 2014 Jul 1.	グリホサート製剤ラウンドアップフルⅡに暴露した肝細胞ないの代謝酵素活性について評価した論文。暴露によって複数種の酵素が活性を変化させていることが報告されている。
8-96	IIA5.3 .2	Gallegos CE, Bartos M, Bras C, Gumilar F, Antonelli MC, Minetti A.	2016	Exposure to a glyphosate-based herbicide during pregnancy and lactation induces neurobehavioral alterations in rat offspring	Neurotoxicology. 2016 Mar;53:20-28. doi: 10.1016/j.neuro.2015.11.015. Epub 2015 Nov 26.	グリホサート製剤への慢性暴露が妊娠中のラットに与える神経影響について調べた論文。0.65, 1.30g/L の濃度による飲料水を介した暴露は運動活動などに影響を与えることを示している。
8-97	IIA5.2 .6	de Ávila RI, Teixeira GC, Veloso DFMC, Moreira LC, Lima EM, Valadares MC.	2017	In vitro assessment of skin sensitization, photosensitization and phototoxicity potential of commercial glyphosate-containing formulations	Toxicol In Vitro. 2017 Dec;45(Pt 3):386-392. doi: 10.1016/j.tiv.2017.04.001. Epub 2017 Apr 4.	グリホサートを含む製剤 6 種について皮膚感作性評価におけるペプチドの反応アッセイを評価した文献。知見として収集。
8-98	IIA5.7 .1	Pandey A, Rudraiah M.	2015	Analysis of endocrine disruption effect of Roundup® in adrenal gland of male rats	Toxicol Rep. 2015 Aug 3;2:1075-1085. doi: 10.1016/j.toxrep.2015.07.021. eCollection 2015.	ラウンドアップが副腎のステロイド産生とそのシグナル伝達経路に与える影響を調べた文献。10, 50, 100, 250mg/kg bw /d の用量で 2 週間の暴露により高濃度で視床下部-下垂体軸の阻害による副腎へのステロイド

						合成低下をもたらす可能性を示唆している。
8-99	IIA5.6 .10	Gallegos CE, Baier CJ, Bartos M, Bras C, Domínguez S, Mónaco N, Gumilar F, Giménez MS, Minetti A.	2018	Perinatal Glyphosate-Based Herbicide Exposure in Rats Alters Brain Antioxidant Status, Glutamate and Acetylcholine Metabolism and Affects Recognition Memory	Neurotox Res. 2018 Oct;34(3):363-374. doi: 10.1007/s12640-018- 9894-2. Epub 2018 Apr 2.	妊娠中のラットに対するグリホサート製剤 の暴露が子孫の自発運動などに影響を与 えることのメカニズムの評価。0.65, 1.30g/L の2用量で複数の酵素活性に影響を与えて いることを示している。
8- 100	IIA5.6 .10	Altamirano GA, Delconte MB, Gomez AL, Ingaramo PI, Bosquiazzo VL, Luque EH, Muñoz- de-Toro M, Kass L.	2018	Postnatal exposure to a glyphosate-based herbicide modifies mammary gland growth and development in Wistar male rats	Food Chem Toxicol. 2018 Aug;118:111- 118. doi: 10.1016/j.fct.2018. 05.011. Epub 2018 May 7.	グリホサート製剤が2mg/kgの濃度で皮下 注射され、乳腺発達に影響を与えるか調べ た研究。出生後のラットを対象とし、内分 泌かく乱作用があると報告されている。
8- 101	IIA5.6 .10	Milesi MM, Lorenz V, Pacini G, Repetti MR, Demonte LD,	2018	Perinatal exposure to a glyphosate-based herbicide impairs female reproductive outcomes and induces	Arch Toxicol. 2018 Aug;92(8):2629- 2643. doi: 10.1007/s00204-018-	妊娠中のラットに対するグリホサート製剤 が与える生殖能力への影響を調べた文献。 2, 200mg/kgの2用量で試験され、雌ラット の生殖能力の低下、子孫の先天性異常が確 認された。

		Varayoud J, Luque EH.		second-generation adverse effects in Wistar rats	2236-6. Epub 2018 Jun 9.	
8-102	IIA5.6.10	de Souza JS, Laureano-Melo R, Herai RH, da Conceição RR, Oliveira KC, da Silva IDCG, Dias-da-Silva MR, Romano RM, Romano MA, Maciel RMB, Chiamolera MI, Giannocco G.	2019	Maternal glyphosate-based herbicide exposure alters antioxidant-related genes in the brain and serum metabolites of male rat offspring	Neurotoxicology. 2019 Sep;74:121-131. doi: 10.1016/j.neuro.2019.06.004. Epub 2019 Jun 18.	妊娠中のラットに対するグリホサート製剤の投与が脳の酸化、炎症反応に及ぼす影響を血清メタボローム解析により調べた研究。5, 50mg/kg の 2 用量で行われ、グリホサート製剤への暴露が酸化防御、炎症、脂質代謝に係る遺伝子の発現を変化させていることが示唆された。
8-103	IIA5.6.10	Zanardi MV, Schimpf MG, Gastiazoro MP, Milesi MM, Muñoz-de-Toro M, Varayoud J, Durando M.	2020	Glyphosate-based herbicide induces hyperplastic ducts in the mammary gland of aging Wistar rats	Mol Cell Endocrinol. 2020 Feb 5;501:110658. doi: 10.1016/j.mce.2019.110658. Epub 2019 Nov 19.	出生後早期のラットに対するグリホサート製剤の暴露が乳腺への長期的な影響を引き起こすか調べた論文。2mg/kg/d の用量で生後 1, 3, 5, 7 日に製剤を投与しており、乳腺の過形成管など形態学的変化が示されている。
8-104	IIA5.3.5	de Maria Serra F, Parizi JLS, Odorizzi GASM, Sato GMRH, Patrão IB, Chagas PHN,	2021	Subchronic exposure to a glyphosate-based herbicide causes dysplasia in the digestive tract of Wistar rats	Environ Sci Pollut Res Int. 2021 Nov;28(43):61477-61496. doi: 10.1007/s11356-021-	ラットの消化管に対するグリホサート製剤の亜慢性吸入及び経口暴露の影響を調べた研究。3.71, 6.19, 9.71*10 ⁻³ g/ha の噴霧により食道、小腸、大腸の病変を示しており、遺伝毒性の可能性を示している。

		de Azevedo Mello F, Nai GA.			15051-6. Epub 2021 Jun 26.	
8-105	IIA6.3	中西 希代子 et al	2013	マーケットバスケット方式によるグリホサートの一日摂取量の推定	日本食品化学学会誌、Vol 20 (1), 37-41 (2013) doi.org/10.18891/jjfc.20.1_37	一般に購入可能な食品を分類し HPLC によって残留を調べ、一日摂取量を求めた論文。食品に含まれる作物への残留の知見として収集。
8-106	IIA7.4.1~2	Si, You-Bin	2013	Complex Interaction and Adsorption of Glyphosate and Lead in Soil	SOIL & SEDIMENT CONTAMINATION, 22:1, 72-84	土壌中に含まれる鉛とグリホサートの吸着に関する測定を行った試験。土壌 pH と鉛含有量が土壌中のグリホサートの吸着に係っていることを示しており、残留の考察の一助となると考えられる。
8-107	IIA7.1.1	Celia P.M Bento	2019	Dynamics of glyphosate and AMPA in the soil surface layer of glyphosate-resistant crop cultivations in the loess Pampas of Argentina	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 244, 323-331	グリホサート耐性作物を栽培する圃場におけるラウンドアップウルトラマックスの散布による、グリホサートと AMPA の動態について調べた研究。製剤による試験ではあるが、栽培種と水分輸送が関係することを示し、半減期等を示している。
8-108	IIA8.2.6	Valeska Contardo-Jara	2009	Bioaccumulation of glyphosate and its formulation Roundup Ultra in Lumbriculus variegatus and its effects on biotransformation and antioxidant enzymes	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 157, 57-63	Lumbriculus variegatus についての生物濃縮性および生体内の抗酸化酵素への影響を調べた研究。直接的なリスク評価にはかわらないがグリホサートとラウンドアップウルトラについて生物濃縮の観点から毒性学的に評価している。

8-109	IIA7.3 .2	Xiaomei Yang	2015	Decay characteristics and erosion-related transport of glyphosate in Chinese loess soil under field conditions	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT, 530-531, 87-95	グリホサート及び AMPA を異なる濃度で散布し土壌中の輸送を調べて研究。グリホサートの動態に関しての参考として収集。
8-110	IIA7.5	Dani Degenhardt	2012	Dissipation of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in water and sediment of two Canadian prairie wetlands	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND HEALTH PART B-PESTICIDES FOOD CONTAMINANTS AND AGRICULTURAL WASTES, 47, 631-639	農地内の湿地におけるグリホサートの動態について分解、底質への吸着を調査した文献。特定環境の水中における分解のため参考になるとした。
8-111	IIA7.3 .2	Fred L Pavaglio	1996	Use of Rodeo(R) and X-77(R) spreader to control smooth cordgrass (Spartina alterniflora) in a southwestern Washington estuary .1. Environmental fate	ENVIRONMENTAL TOXICOLOGY AND CHEMISTRY, vol15, No6, 961-968	Rodeo 含む 2 種のグリホサート製剤について Spartina alterniflora の植生する湿地への散布による動態を調べた研究。栽培種の圃場ではないが、堆積物中の半減期などを調べた参考になると考える。
8-112	IIA8.2 .1	Andrea S. Rossi	2020	Fish inhabiting rice fields: Bioaccumulation, oxidative stress and neurotoxic effects after pesticides application	ECOLOGICAL INDICATORS, 113, 106186	グリホサート混合農薬について、水田中の魚類への影響を調べた論文。リスク評価に直接かわりはないが毒性学的見地からの考察により収集。

8-113	IIA8.2.6	M. H. Bernal	2003	Toxicity of Formulated Glyphosate (Glyphos) and Cosmo-Flux to Larval and Juvenile Colombian Frogs 2. Field and Laboratory Microcosm Acute Toxicity	JOURNAL OF TOXICOLOGY AND ENVIRONMENTAL HEALTH-PART A-CURRENT ISSUES, partA, 72, 966-973	coca に対するグリホサート含有製剤の散布が両生類にもたらす急性毒性について述べた論文。圃場条件下を再現した実験システムで3濃度条件の散布を行っているため、関連があるとした。
8-114	IIA7.5	Mitchell L. Kurtzweil	2022	Environmental fate studies with C-14-polyoxyethylene tallow amine (POE-T) to characterize environmental exposure and inform environmental risk assessments	CHEMOSPHERE, 294, 133578	グリホサート製剤に含まれるPOE-Tの環境動態、脱着、吸着を調べた試験。グリホサートに直接関係しないため、参考までに収集した。
8-115	IIA7.3.2	Mingjing Sun	2019	Degradation of glyphosate and bioavailability of phosphorus derived from glyphosate in a soil-water system	WATER RESEARCH, 163, 114840	土壌、水系におけるグリホサートの分解生成物を特定し、土壌微生物への取り込み、循環について調査した論文。グリホサートに含まれるリンについての参考として収集。
8-116	IIA8.3.1.1	Eugenia Di Fiori	2012	Impact of the invasive mussel <i>Limnoperna fortunei</i> on glyphosate concentration in water	ECOTOXICOLOGY AND ENVIRONMENTAL SAFETY, 81, 106-113	微生物層に影響を与えるグリホサートが <i>Limnoperna fortunei</i> によって変動することを調べた研究。直接リスク評価に影響は与えないが、生物毒性の参考として収集。

8-117	IIA7.3.2	Al-Rajab, Abdul Jabbar	2010	Degradation of C-14-glyphosate and aminomethylphosphonic acid (AMPA) in three agricultural soils	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCES, 22(9), 1374-1380	土壌3種類におけるグリホサートの分解についての論文。半減期等、土壌吸着に関する参考として収集。
8-118	IIA7.4.1~2	Wang, Yu-Jun	2006	Cosorption of zinc and glyphosate on two soils with different characteristics	JOURNAL OF HAZARDOUS MATERIALS, A137, 76-82	グリホサートが土壌中の金属と錯体を形成することで吸着することを調査した文献。直接リスク評価に関係するものではないが、知見として収集。
8-119	IIA7.3.2	Struger, John	2008	Occurrence of glyphosate in surface waters of Southern Ontario	BULLETIN OF ENVIRONMENTAL CONTAMINATION AND TOXICOLOGY	カナダ地表水中に含まれるグリホサートについて分析した研究。環境中の実測値であり、環境リスク評価の参考として収集。
8-120	IIA7.5	Van Stempvoort, D. R.	2014	Residues of the herbicide glyphosate in riparian groundwater in urban catchments	CHEMOSPHERE, 95,	都市地下水中のグリホサート及び AMPA の検出についての論文。圃場ではないため参考として収集。
8-121	IIA7.4.1~2	Zhou, DM	2004	Adsorption and cosorption of cadmium and glyphosate on two soils with different characteristics	CHEMOSPHERE, 57, 1237-1244	土壌に含まれるカドミウムとグリホサートの吸着が挙動に及ぼす影響を調べた論文。土壌吸着の知見として収集。

8-122	IIA7.4 .1~2	Dollinger, Jeanne	2015	Glyphosate sorption to soils and sediments predicted by pedotransfer functions	ENVIRONMENTAL CHEMISTRY LETTERS, 13, 293-307	土壌特性を基に収着係数などグリホサートの吸着に係るパラメーターの分析を行った論文。残留、毒性などリスク評価に直結しないため、参考として収集。
8-123	IIA7.4 .1~2	Munira, Sirajum	2016	Phosphate fertilizer impacts on glyphosate sorption by soil	CHEMOSPHERE, 153, 471-477	グリホサートの収着に対するリン酸塩およびカドミウムの及ぼす影響について調べた研究。土壌吸着に対しての参考として収集。
8-124	IIA8.4	Zhong, Guidi	2018	Responses of Hydrilla verticillata (L.f.) Royle and Vallisneria natans (Lour.) Hara to glyphosate exposure	CHEMOSPHERE, 193, 385-393	藻類に対するグリホサート施用が藻類の感受性に影響を及ぼすか調べた論文。可溶性たんぱく含有量、酵素活性など、直接リスク評価には関わらないが知見となる情報が収載されている。
8-125	IIA8.4	Solange Vera, Maria	2021	First evaluation of the periphyton recovery after glyphosate exposure	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 290, 117998	グリホサートに暴露した淡水藻類がその影響から回復する過程を調査した研究。藻類への影響を知る上での参考として収集。
8-126	IIA7.3 .2	Wang, Shizong	2016	(Bio)degradation of glyphosate in water-sediment microcosms - A stable isotope co-labeling approach	WATER RESEARCH, 99, 91-100	グリホサートが水中の堆積物内において代謝される過程を調べた論文。環境運命の知見として収集。

8-127	IIA7.3.2	PICCOLO, A	1994	HYDROGEN-BONDING INTERACTIONS BETWEEN THE HERBICIDE GLYPHOSATE AND WATER-SOLUBLE HUMIC SUBSTANCES	ENVIRONMENTAL TOXICOLOGY AND CHEMISTRY, vol113, No11, 1737-1741	腐食性物質であるフミン酸との相互作用メカニズムを調べた論文。腐食物質とグリホサートの結合が土壌中の輸送に係るため参考として収集。
8-128	IIA7.1.1	Aparicio, Virginia C.	2013	Environmental fate of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in surface waters and soil of agricultural basins	CHEMOSPHERE, 93, 1866-1873	農業盆地における地表水と土壌のサンプル分析からグリホサートと AMPA の環境運命を調査した研究。圃場におけるグリホサート濃度等の参考として。
8-129	IIA7.3.2	Yang, Xiaomei	2015	Decay characteristics and erosion-related transport of glyphosate in Chinese loess soil under field conditions	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT, 530-531, 87-95	中国の黄土土壌斜面におけるグリホサートの減少について調べた論文。降雨による影響等の知見として収集。
8-130	IIA7.1.1	Okada, Elena	2020	Glyphosate and aminomethylphosphonic acid (AMPA) are commonly found in urban streams and wetlands of Melbourne, Australia	WATER RESEARCH, 168, 115139	オーストラリア地表水中のグリホサート及び AMPA を様々な土地で計測した研究。水系におけるグリホサートの存在に対する知見として収集。

8-131	IIA7.3.2	Bento, Celia P. M.	2016	Persistence of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in loess soil under different combinations of temperature, soil moisture and light/darkness	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT, 572, 301-311	黄土土壌における生物的、非生物的条件下でのグリホサートの分解を調べた論文。土壌水分、温度などの環境条件がグリホサート残留に与える影響についての考察。
8-132	IIA8.2.1	Milan, M.	2018	Ecotoxicological effects of the herbicide glyphosate in non-target aquatic species: Transcriptional responses in the mussel <i>Mytilus galloprovincialis</i>	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 237, 442-451	環境中濃度のグリホサートが海洋二枚貝に与える作用の分子メカニズムを調査した論文。3濃度のグリホサートを暴露したムール貝の消化腺の RNA-seq をおこない、生物学的プロセスへの影響が述べられている。
8-133	IIA7.3.2	Muskus, Angelica M.	2020	Degradation of glyphosate in a Colombian soil is influenced by temperature, total organic carbon content and pH	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 259, 113767	グリホサートの分解が土壌中のイ s 都度、有機炭素によって影響を受けるか調べた文献。土壌中の分解及び動態についての知見として収集。
8-134	IIA5.6.1	Toth, Gergo	2020	Cytotoxicity and hormonal activity of glyphosate-based herbicides	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 265, 115027	グリホサート含有製剤について慢性細胞毒性とホルモン活性への影響を調べた研究。リスク評価には直接関与しないが、毒性学的な参考として収集。

8-135	IIA7.3 .2	Primost, Jezabel E.	2017	Glyphosate and AMPA, "pseudo-persistent" pollutants under real world agricultural management practices in the Mesopotamic Pampas agroecosystem, Argentina	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 229, 771-779	アルゼンチンにおける農地へのグリホサート施用が土壌中、水中への残留をどの程度もたらすのか調べた研究。土壌中、水中のグリホサート濃度についての参考として収集。
8-136	IIA8.4	Lipok, Jacek	2010	The toxicity of Roundup (R) 360 SL formulation and its main constituents: Glyphosate and isopropylamine towards non-target water photoautotrophs	ECOTOXICOLOGY AND ENVIRONMENTAL SAFETY, 73, 2010	シアノバクテリア、および藻類に対するグリホサートイソプロピルアミンの毒性を検証した研究。EC50 設定などの参考として収集。
8-137	IIA8.3 .1.1	Parlapiano, Isabella	2021	Effects of commercial formulations of glyphosate on marine crustaceans and implications for risk assessment under temperature changes	ECOTOXICOLOGY AND ENVIRONMENTAL SAFETY, 213, 112068	ラウンドアップブラチナム、エフェスト、タイフーンの3種の製剤が甲殻類に暴露した際の致死率について述べた論文。製剤についての毒性の参考として収集。
8-138	IIA6.3	Qiao, Chengkui	2017	Environmental behavior and influencing factors of glyphosate in peach orchard ecosystem	ECOTOXICOLOGY AND ENVIRONMENTAL SAFETY, 24, 1495-1508	モモの果樹園に処理されたグリホサートについて、その挙動を調べた論文。モモへの残留が土壌と微生物の影響を受けることを示している。

8-139	IIA8.2.1	Soso, Auren Benck	2007	Chronic exposure to sub-lethal concentration of a glyphosate-based herbicide alters hormone profiles and affects reproduction of female Jundia (Rhamdia quelen)	ENVIRONMENTAL TOXICOLOGY AND PHARMACOLOGY, 23, 308-313	熱帯魚 Jundia に対するグリホサートの毒性を調べた論文。テストステロン等のホルモンに焦点を当てているため、リスク評価へは参考程度に関与していると考ええる。
8-140	IIA8.2.1	Wagner, Norman	2017	Effects of a commonly used glyphosate-based herbicide formulation on early developmental stages of two anuran species	ENVIRONMENTAL SCIENCE AND POLLUTION RESEARCH, 24, 1495-1508	両生類幼体に対するグリホサート製剤の毒性影響について調べた論文。グリホサート製剤が催奇形性などの影響を与える可能性について言及している。
8-141	IIA7.3.2	Nguyen, Nghia Khoi	2018	Large variation in glyphosate mineralization in 21 different agricultural soils explained by soil properties	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT	土壌の種類によるグリホサートの動態、無機化について研究した論文。直接的にリスク評価にはかかわらないが、参考として収集。
8-142	IIA7.4.1~2	MIANO, TM	1992	INFRARED AND FLUORESCENCE SPECTROSCOPY OF GLYPHOSATE-HUMIC ACID COMPLEXES	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT, 123/124, 83-92	グリホサートとフミン酸の複合体について土壌中の吸着と合わせて述べた論文。土壌吸着と分解、残留についての知見として収集。

8-143	IIA8.2.1	Albanil Sanchez, Jessica Andrea	2019	Histological evaluation of vital organs of the livebearer <i>Jenynsia multidentata</i> (Jenyns, 1842) exposed to glyphosate: A comparative analysis of Roundup (R) formulations	CHEMOSPHERE, 217, 914-924	ラウンドアップなどグリホサート含有製剤について熱帯魚に対する組織学的毒性について調査した研究。環境毒性への知見として収集。
8-144	IIA8.2.1	Lanzarin, Germano A. B.	2019	Dose-dependent effects of a glyphosate commercial formulation - Roundup (R) UltraMax - on the early zebrafish embryogenesis	CHEMOSPHERE, 223, 514-522	ゼブラフィッシュに対するラウンドアップウルトラマックスの毒性効果に関する研究。4濃度区による暴露は日常的に検出されない濃度での毒性効果を示唆している。
8-145	IIA7.3.2	Tejada, Manuel	2009	Evolution of soil biological properties after addition of glyphosate, diflufenican and glyphosate plus diflufenican herbicides	CHEMOSPHERE, 76, 365-373	グリホサート及びジフルフェニカンの土壤中における影響を調査した論文。土壌の種類および微生物活性が土壌中の製剤含有率に影響を及ぼすことの参考として収集。
8-146	IIA7.3.2	Krzysko-Lupicka, Teresa	2008	Interactions between glyphosate and autochthonous soil fungi surviving in aqueous solution of glyphosate	CHEMOSPHERE, 71, 1386-1391	真菌に対するグリホサートの影響について検証した論文。土壌中に生息する信金への影響は環境リスク評価に関連すると考える、

8-147	IIA7.3.2	Erban, Tomas	2018	The different behaviors of glyphosate and AMPA in compost-amended soil	CHEMOSPHERE, 207, 78-83	グリホサート及び AMPA の水中における環境運命について調べた論文。圃場における水域のグリホサートの挙動についての参考として収集。
8-148	IIA7.1.1	Van Stempvoort, D. R.	2014	Residues of the herbicide glyphosate in riparian groundwater in urban catchments	CHEMOSPHERE, 95, 455-463	都市環境の水圏におけるグリホサートとその代謝物の測定についての論文。圃場に関する文献ではないが、参考として収集。。
8-149	IIA7.5	Pires, Nayara L.	2020	Determination of glyphosate, AMPA and glufosinate by high performance liquid chromatography with fluorescence detection in waters of the Santarem Plateau, Brazilian Amazon	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND HEALTH PART B-PESTICIDES FOOD CONTAMINANTS AND AGRICULTURAL WASTES, vol. 55, No. 9, 794-802	ブラジル高原地域における水サンプルの分析によりグリホサート、グルホシネートを測定した研究。環境中濃度に関する知見として収取。
8-150	IIA8.2.1	Ghisi, Nedra de Castilhos	2013	Genotoxic effects of the herbicide Roundup(A (R)) in the fish Corydoras paleatus (Jenyns 1842) after short-term, environmentally low concentration exposure	ENVIRONMENTAL MONITORING AND ASSESSMENT, 185, 3201-3207	魚の Corydoras paleatus に対するラウンドアップ A の遺伝毒性に関する調査。1 濃度区による試験であり、魚毒性に関する知見として収集。

8-151	IIA7.3 .2	GOLDSBOROUGH, LG	1993	DISSIPATION OF GLYPHOSATE AND AMINOMETHYLPHOSPHONIC ACID IN WATER AND SEDIMENTS OF BOREAL FOREST PONDS	ENVIRONMENTAL TOXICOLOGY AND CHEMISTRY, vol.12, 7, 1139-1147	グリホサートを空中散布した池の水と沈殿物における残留を測定した研究。堆積物への吸着に関する参考として収集。
8-152	IIA5.5 .2	Pahwa M., et al.	2019	Glyphosate use and associations with non-Hodgkin lymphoma major histological sub-types: findings from the North American Pooled Project	Scand J Work Environ Health. 2019 Nov 1;45(6):600-609. doi: 10.5271/sjweh.3830.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集
8-153	IIA5.6 .1	S.Parvez, et al.	2018	Glyphosate exposure in pregnancy and shortened gestational length: a prospective Indiana birth cohort study	Environ Health. 2018 Mar 9;17(1):23. doi: 10.1186/s12940-018-0367-0.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集
8-154	IIA5.5 .1	Channa Jayasumana, et al.	2015	Drinking well water and occupational exposure to Herbicides is associated with chronic kidney disease, in Padavi-Sripura, Sri Lanka	Environ Health. 2015 Jan 18;14:6. doi: 10.1186/1476-069X-14-6.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集

8-155	IIA5.5.1	T E Arbuckle, et al.	2001	An exploratory analysis of the effect of pesticide exposure on the risk of spontaneous abortion in an Ontario farm population.	Environ Health Perspect. 2001 Aug;109(8):851-7. doi: 10.1289/ehp.01109851.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集
8-156	IIA5.5.1	Ondine S von Ehrenstein, et al	2019	Prenatal and infant exposure to ambient pesticides and autism spectrum disorder in children: population based case-control study	BMJ. 2019 Mar 20;364:1962. doi: 10.1136/bmj.1962.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集
8-157	IIA5.1	Adrian A Franke et al	2021	Pilot study on the urinary excretion of the glyphosate metabolite aminomethylphosphonic acid and breast cancer risk: The Multiethnic Cohort study	Environ Pollut. 2021 May 15;277:116848. doi: 10.1016/j.envpol.2021.116848. Epub 2021 Mar 1.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集
8-158	IIA5.5.2	Mikael Eriksson et al	2008	Pesticide exposure as risk factor for non-Hodgkin lymphoma including histopathological subgroup analysis	Int J Cancer. 2008 Oct 1;123(7):1657-63. doi: 10.1002/ijc.23589.	グリホサートの疫学的研究の参考として収集

8-159	IIA6.2 .1	FAO and WHO	2019	Pesticide Residues in Food Extra Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues	ISBN:978-92-5-131686-3 (FAO) ISBN:978-92-4-151642-6 (WHO)	グリホサートの残留分析についての包括的な知見として収集。
8-160	IIA7.3 .1, IIA7.3 .2	European Food Safety Authority (EFSA),	2015	Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance glyphosate	EFSA Journal 2015;13(11):4302 DOI: https://doi.org/10.2903/j.efsa.2015.4302	リスク評価に係る様々なデータに関する情報の収集のため。
8-161	IIA6.2 .1	Food Safety Commission of Japan	2016	Glyphosate	Food Safety Commission of Japan Food Safety 2016 Volume 4 Issue 3 93-102	食品安全委員会が 2016 年に報告したグリホサートのリスク評価報告書。
8-162	IIA6.3	European Food Safety Authority (EFSA)	2021	Setting of an import tolerance for glyphosate in soyabeans	EFSA J . 2021 Oct 28;19(10):e06880. doi: 10.2903/j.efsa.2021.6880 . eCollection 2021 Oct.	ダイズのインポートトレランスについての EFSA の総説。残留基準に関連する知見として収集。

表 11 適合性評価の第二段階で「区分 a」と判断した論文とその理由

リスト	データ要求	著者	出版年	論文表題	掲載紙名、号、ページ等	判断理由	信頼性
9-1	IIA 5.1	Brewster DW, Warren J, Hopkins WE 2nd.	1991	Metabolism of glyphosate in Sprague-Dawley rats: tissue distribution, identification, and quantitation of glyphosate-derived materials following a single oral dose	Fundam Appl Toxicol. 1991 Jul;17(1):43-51. doi: 10.1016/0272-0590(91)90237-x.	動物代謝試験、1 濃度 10mg/kg で実施。血液中減衰、胆汁試験を実施していないなど現行ガイドラインから逸脱があるが。吸排の概要はつかめる。目新しいことはないかもしれない。非 GLP.	2
9-2	IIA 5.4.4	Chan P, Mahler J.	1992	NTP technical report on the toxicity studies of Glyphosate (CAS No. 1071-83-6) Administered In Dosed Feed To F344/N Rats And B6C3F1 Mice	Toxic Rep Ser. 1992 Jul;16:1-D3.	アメリカ合衆国保健福祉省の試験：グリホサートの吸収排泄試験、ラットとマウスの 13 週間の毒性、および変異原性の研究が実施された。吸収排泄は速やかで、復帰突然変異試験および小核試験は陰性、唾液腺病変の無毒性量 (NOAEL) は、マウスの 3125ppm。ラットでは決定できなかった。非 GLP	2

9-3	IIA 5.4.2	Mañas F, Peralta L, Raviolo J, García Ovando H, Weyers A, Ugnia L, Gonzalez Cid M, Larripa I, Gorla N.	2009	Genotoxicity of AMPA, the environmental metabolite of glyphosate, assessed by the Comet assay and cytogenetic tests	Ecotoxicol Environ Saf. 2009 Mar;72(3):834-7. doi: 10.1016/j.ecoen.2008.09.019. Epub 2008 Nov 14.	グリホサートの代謝物 AMPA のコメットアッセイ、ヒトリンパ球を用いた染色体異常試験およびマウス小核試験を実施して、いずれも陽性反応を示した。環境への代謝物の拡散の危険性を示した。用量設定の根拠の不明など問題点はあるが AMPA の毒性評価の意義はある。	2
9-4	IIA 5.4.2	Prasad S, Srivastava S, Singh M, Shukla Y.	2009	Clastogenic effects of glyphosate in bone marrow cells of swiss albino mice	J Toxicol. 2009; 2009:308985. doi: 10.1155/2009/308985. Epub 2008 Dec 15.	染色体異常試験。 25 and 50 mg/kg b.wt. の用量設定根拠が不明。	2
9-5	IIA 5.4.6	Mañas F, Peralta L, Raviolo J, Ovando HG, Weyers A, Ugnia L, Cid MG, Larripa I, Gorla N.	2009	Genotoxicity of glyphosate assessed by the comet assay and cytogenetic tests	Environ Toxicol Pharmacol. 2009 Jul;28(1):37-41. doi: 10.1016/j.etap.2009.02.001. Epub 2009 Feb 11.	グリホサートは、Hep-2 細胞でのコメットアッセイおよびマウスでの 400mg/kg の MNT 試験で遺伝子毒性を示しました。試験方法は詳細に記述されている。	2

9-6	IIA 5.2.1	Milić M, Žunec S, Micek V, Kašuba V, Mikolić A, Lovaković BT, Semren TŽ, Pavičić I, Čermak AMM, Pizent A, Vrdoljak AL, Valencia-Quintana R, Sánchez-Alarcón J, Želježić D.	2018	Oxidative stress, cholinesterase activity, and DNA damage in the liver, whole blood, and plasma of Wistar rats following a 28-day exposure to glyphosate	Arh Hig Rada Toksikol. 2018 Jun 1;69(2):154-168. doi: 10.2478/aiht-2018-69-3114.	Wistar ラットに強制経口投与された除草剤グリホサートの影響を、AOEL の 0.1、ADI の 0.5、1.75 (cPAD)、および 10 mg kg ⁻¹ 体重 (bw) (AOEL の 100 倍に相当) で 28 日間強制経口投与して毒性を評価し、種々の影響を観察した。1 群 5 匹、週齢記載なし。信頼性が不十分である。	2
9-7	IIA 5.6.1	Ren X, Li R, Liu J, Huang K, Wu S, Li Y, Li C.	2018	Effects of glyphosate on the ovarian function of pregnant mice, the secretion of hormones and the sex ratio of their fetuses	Environ Pollut. 2018 Dec;243(Pt B):833-841. doi: 10.1016/j.envpo.2018.09.049. Epub 2018 Sep 10.	妊娠日 (GD) 1~19 から、10 週齢の ICR マウスに蒸留水、0.5%グリホサート溶液または 0.5%-グリホサート Roundup® を飲料水より経口投与した。各群 5 匹。卵巣機能不全、ステロイド産生関連遺伝子発現に影響を与えホルモン分泌の妨害、および酸化ストレスなど、妊娠中のマウスに影響した。同腹児の性比は、グリホサートへの出生前曝露によって影響を受けた。自由設計による試験。	2

9-8	IIA 5.4.6	Santovito A, Ruberto S, Gendusa C, Cervella P.	2018	In vitro evaluation of genomic damage induced by glyphosate on human lymphocytes	Environ Sci Pollut Res Int. 2018 Dec;25(34):3469 3-34700. doi: 10.1007/s11356- 018-3417-9. Epub 2018 Oct 15.	5つのグリホサート濃度にヒトリンパ球 が曝露された：0.500、0.100、0.050、 0.025、および0.0125 μ g/ mL。 0.0125 μ g/mLを除いて、テストしたすべ ての濃度で染色体異常（CA）と小核 （MNI）の頻度が大幅に増加した。極め て低い濃度で異常を示した。	2
9-9	IIA 5.6.1	Pham TH, Derian L, Kervarrec C, Kernanec PY, Jégou B, Smagulova F, Gely-Pernot A.	2019	Perinatal Exposure to Glyphosate and a Glyphosate-Based Herbicide Affect Spermatogenesis in Mice	Toxicol Sci. 2019 May 1;169(1):260- 271. doi: 10.1093/toxsci/ kfz039.	妊娠中のマウスにグリホサートまたは GBH（Roundup 3 Plus）を飲料水に0.5 （一日摂取許容量、ADI 用量）、5および 50 mg / kg /日で添加することにより、 産後E10。5日から20日まで投与した。 雄の鼓動ぶついうの5、20、および35日 齢（do）および8か月齢（mo）にと殺し て影響を調べた。グリホサートへの曝露 が20日間の精巣形態に影響を及ぼし、 雄の血清テストステロン濃度を低下させ ることを示した。投与母動物数/群不 明。自由設計の試験である。	2

9-10	IIA 5.6.1	Manservisi F, Lesseur C, Panzacchi S, Mandrioli D, Falcioni L, Bua L, Manservigi M, Spinaci M, Galeati G, Mantovani A, Lorenzetti S, Miglio R, Andrade AM, Kristensen DM, Perry MJ, Swan SH, Chen J, Belpoggi F.	2019	The Ramazzini Institute 13-week pilot study glyphosate-based herbicides administered at human- equivalent dose to Sprague Dawley rats: effects on development and endocrine system	Environ Health. 2019 Mar 12;18(1):15. doi: 10.1186/s12940- 019-0453-y.	グリホサート単独およびGBHの商用ブ ランドである Roundup Bioflow を、妊娠 日 (GD) 6 (子宮内) から出生後日 (PND) までの F0 ダムに 1.75 mg/kg 体 重/日で飲料水中に投与した。120. 離乳 後、子孫は2つのコホートにランダムに 分布した。6週間のコホートに属する 8 M + 8F /グループの動物は、PND73±2 に と殺した。13週間のコホートは PND 125±2 にと殺した。グリホサートまたはラ ウンドアップ曝露の影響は、ラウンドア ップで処理群の雄の DHT ジヒドロテスト ステロンの減少と BDNF 脳由来神経栄養 因子の増加が認められた。自由設計の試 験。結果の毒性学的意義が不明。	2
9-11	IIA 5.6.1	Liu JB, Li ZF, Lu L, Wang ZY, Wang L.	2022	Glyphosate damages blood-testis barrier via NOX1-triggered oxidative stress in rats: Long-term exposure as a potential risk for male reproductive health	Environ Int. 2022 Jan 15;159:107038. doi: 10.1016/j.envin t.2021.107038. Epub 2021 Dec 11.	この研究は、インビボおよびインビトロ 実験における血液精巣関門(BTB)に対す るグリホサートの影響を試験した。結果 は、グリホサートに4か月間曝露された 雄ラットにおいて、血液精巣関門 BTB が 影響され、精巣の酸化ストレスを伴っ て、精子の質と量の低下を示した。40日 間、0、2、50mg/kg/day 投与され た。自由設計研究	2

9-12	IIA 8.3.1.1	Marek Cuhra et al	2013	Clone- and age- dependent toxicity of a glyphosate commercial formulation and its active ingredient in <i>Daphnia magna</i>	Ecotoxicology, 22, 2, pp. 251- 262DOI: 10.1007/s10646- 012-1021-1	OECD 202 を含め複数のガイドラインのプロ トコルを参考に行っている。急性毒性試 験の反復数が不足している。GLP ではな い。	2
9-13	IIA7.3.2	Simonsen, Louise	2008	Fate and availability of glyphosate and AMPA in agricultural soil	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND HEALTH PART B- PESTICIDES FOOD CONTAMINANTS AND AGRICULTURAL WASTES, 43, 365-375	グリホサート及び AMPA について土壤中 の環境運命を調べた論文。EU ガイドライ ンに準拠しグリホサートの分解、漏出に ついて調査されている。OECD ガイドライ ンとは異なるため信頼性は 2 とした。	2
9-14	IIA8.3.1 .1	Cuhra, Marek	2013	Clone- and age- dependent toxicity of a glyphosate commercial formulation and its active ingredient in <i>Daphnia magna</i>	ECOTOXICOLOGY, 22: 251-262	グリホサート及び製剤ラウンドアップを 用いたミジンコ類に対する急性毒性試 験。5 濃度条件で繁殖、生長にたいして 悪影響を及ぼす濃度が判明している。試 験例数や濃度条件についてガイドライン を参照し、信頼性を決定した。	2

9-15	IIA7.6	Assalin, Marcia R.	2010	Studies on degradation of glyphosate by several oxidative chemical processes: Ozonation, photolysis and heterogeneous photocatalysis	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND HEALTH PART B- PESTICIDES FOOD CONTAMINANTS AND AGRICULTURAL WASTES, 45, 89-94	水中におけるグリホサートの酸化プロセスを経た分解に関する論文。水中におけるグリホサートの分解についての知見として収集。加水分解等のガイドラインに則した試験ではないが、設計は正確なため信頼性は2とした。	2
9-16	IIA7.4.1 ~2	Sidoli, Pauline	2016	Glyphosate and AMPA adsorption in soils: laboratory experiments and pedotransfer rules	ENVIRONMENTAL SCIENCE AND POLLUTION RESEARCH, 23: 5733-5742	グリホサートと AMPA が異なる農業用土壌で吸着する際の特性評価を行った文献。土壌ごとの吸着の評価を行っているが、ラボスケールのため信頼性は2とした。	2
9-17	IIA8.2.1	Yusof, Shahrizad	2014	Effect of glyphosate-based herbicide on early life stages of Java medaka (Oryzias javanicus): A potential tropical test fish	MARINE POLLUTION BULLETIN, 85, 494-498	グリホサートの海洋魚に対する影響を調べた毒性試験。5 濃度条件による受精卵の孵化、心拍数の変化、形態学的障害など複数の項目について観察が行われている。ガイドラインと異なる魚毒性の評価を行っているため信頼性は2とした。	2

9-18	IIA7.3.2	Bento, Celia P. M.	2017	Glyphosate and AMPA distribution in wind-eroded sediment derived from loess soil	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 220, 1079-1089	グリホサート及び AMPA が浸食によって発生した堆積物、粉塵に乗って輸送されることを調べた論文。環境動態に関しての参考として収集。ガイドラインに則した試験ではないが、設計は正確なため信頼性は 2 とした。	2
9-19	IIA7.5	Tazdait, Djaber	2018	Kinetic study on biodegradation of glyphosate with unacclimated activated sludge	INTERNATIONAL JOURNAL OF ENVIRONMENTAL HEALTH RESEARCH, vol28, No.4, 448-459	4 濃度区の試験において、グリホサートが活性汚泥中の細菌によって生分解されることを調べた論文。土壌分解における参考として収集。試験設計が細菌による分解を主としているため信頼性は 2 とした。	2
9-20	IIA7.3.2	Bonfleur, Eloana J.	2011	Mineralization and degradation of glyphosate and atrazine applied in combination in a Brazilian Oxisol	JOURNAL OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND HEALTH PART B-PESTICIDES FOOD CONTAMINANTS AND AGRICULTURAL WASTES, 46, 69-75	土壌中におけるアトラジン及びグリホサートの無機化、分解についての文献。施用濃度を基にした 3 濃度の試験区において相互作用による分解、無機化の変動についての知見として収集。ガイドラインに則した試験ではないが、設計は正確なため信頼性は 2 とした。	2

表 12-1 ヒトに対する毒性に関して食品安全委員会のフォーマットに入力した表

①文献名、ジャーナル名等、公表年、著者名、所属機関、研究分野等の情報

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	研究分野	原著 /review	海外評価書での引用の有無	ドシエでの引用の有無	<i>in vivo</i> (動物種) / <i>in vitro</i>
7-1	An evaluation of the genotoxic potential of glyphosate	Fundam Appl Toxicol. 1988 Apr;10(3):537-46. doi: 10.1016/0272-0590(88)90300-4.	1987	Li AP, Long TJ.	Monsanto Company	遺伝毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> 及び <i>in vitro</i>
7-2	Genotoxicity testing of the herbicide Roundup and its active ingredient glyphosate isopropylamine using the mouse bone marrow micronucleus test, Salmonella mutagenicity test, and Allium anaphase-telophase test	Mutat Res. 1993 Jun;300(1):29-36. doi: 10.1016/0165-1218(93)90136-2.	1992	Rank J, Jensen AG, Skov B, Pedersen LH, Jensen K.	Roskilde University, Denmark	遺伝毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> 及び <i>in vitro</i>
7-3	Effect of the herbicide glyphosate on enzymatic activity in pregnant rats and their fetuses	Environ Res. 2001 Mar;85(3):226-31. doi: 10.1006/enrs.2000.4229.	2000	Daruich J, Zirulnik F, Gimenez MS.	Universidad Nacional de San Luis, Argentina	発生毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>

7-4	Effect of the herbicide glyphosate on liver lipoperoxidation in pregnant rats and their fetuses	Reprod Toxicol. 2005 Mar-Apr;19(4):501-4. doi: 10.1016/j.reprotox.2004.09.009.	2004	Beuret CJ, Zirulnik F, Giménez MS.	Universidad Nacional de San Luis, Argentina	発生毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>
7-5	Toxicokinetics of glyphosate and its metabolite aminomethyl phosphonic acid in rats	Toxicol Lett. 2009 Oct 8;190(1):91-5. doi: 10.1016/j.toxlet.2009.07.008. Epub 2009 Jul 14.	2009	Anadón A, Martínez-Larrañaga MR, Martínez MA, Castellano VJ, Martínez M, Martin MT, Nozal MJ, Bernal JL.	Department of Toxicology and Pharmacology, Faculty of Veterinary Medicine, Universidad Complutense de Madrid, 28040 Madrid, Spain	薬物動態	原著	-	-	<i>in vivo</i>
7-6	Studies on glyphosate-induced carcinogenicity in mouse skin: a proteomic approach	Toxicol Lett. 2009 Oct 8;190(1):91-5. doi: 10.1016/j.toxlet.2009.07.008. Epub 2009 Jul 14.	2009	George J, Prasad S, Mahmood Z, Shukla Y.	Proteomics Laboratory, Indian Institute of Toxicology Research (CSIR)	発がん性	原著	-	-	<i>in vivo</i>

7-7	Histological and histochemical effects of Gly-phosate on testicular tissue and function	Iran J Reprod Med. 2012 May;10(3):181-92.	2012	Razi M, Najafi G, Feyzi S, Karimi A, Shahmohamadloo S, Nejati V.	Department of Comparative Histology and Embryology, Faculty of Veterinary Medicine, Urmia University, Urmia, Iran.	短期 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>
7-8	Comparative studies on endogenic stress hormones, antioxidant, biochemical and hematological status of metabolic disturbance in albino rat exposed to roundup herbicide and its active ingredient glyphosate	Environ Sci Pollut Res Int. 2019 May;26(14):14502-14512. doi: 10.1007/s11356-019-04759-1. Epub 2019 Mar 14.	2019	Owagboriaye F, Dedeke G, Ademolu K, Olujimi O, Aladesida A, Adeleke M.	Department of Zoology and Environmental Biology, Faculty of Science, Olabisi Onabanjo University Ago-Iwoye	短期 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> / ラット

7-9	Assessment of Glyphosate Induced Epigenetic Transgenerational Inheritance of Pathologies and Sperm Epimutations: Generational Toxicology	Sci Rep. 2019 Apr 23;9(1):6372. doi: 10.1038/s41598-019-42860-0.	2019	Kubsad D, Nilsson EE, King SE, Sadler-Rigglesman I, Beck D, Skinner MK.	Center for Reproductive Biology, School of Biological Sciences, Washington State University	発生毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> / ラット
7-10	Effects of chronic glyphosate exposure to pregnant mice on hepatic lipid metabolism in offspring	Environ Pollut. 2019 Nov;254(Pt A):112906. doi: 10.1016/j.envpol.2019.07.074. Epub 2019 Jul 20.	2019	Ren X, Dai P, Perveen A, Tang Q, Zhao L, Jia X, Li Y, Li C.	College of Animal Science and Technology, Nanjing Agricultural University	発生毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> / マウス
7-11	Perinatal exposure to glyphosate or a glyphosate-based formulation disrupts hormonal and uterine milieu during the receptive state in rats	Food Chem Toxicol. 2020 Sep;143:111560. doi: 10.1016/j.fct.2020.111560. Epub 2020 Jul 5.	2020	Lorenz V, Pacini G, Luque EH, Varayoud J, Milesi MM.	Instituto de Salud y Ambiente del Litoral (ISAL), Facultad de Bioquímica y Ciencias Biológicas, Universidad Nacional del Litoral (UNL) - Consejo Nacional de Investigaciones	繁殖毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> / ラット

					Científicas y Técnicas (CONICET)					
7-23	Effects of glyphosate on the ovarian function of pregnant mice, the secretion of hormones and the sex ratio of their fetuses	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 243, 83-841	2018	Xin Ren, Ruonan Li, Junze Liu, Kai Huang, Sheng Wu, Yansen Li Chunmei Li	College of Animal Science and Technology, Nanjing Agricultural University, Nanjing, 210095, China	発生毒性	原著		—	<i>in vivo</i> マウス
8-1	Perinatal exposure to a glyphosate-based herbicide causes dysregulation of dynorphins and an increase of neural precursor cells in the brain of adult male rats	Toxicology, Volume 461, September 2021, 152922	2021	Daiane Cattani, Nona Struyf, Vivien Steffensen, Jonas Bergquist, Ariane Zamoner, Eva Brittebo, Malin Andersson	Uppsala University, Sweden/Federal University of Santa Catarina, Brazil	発達神経毒性	原著	—	—	<i>in vivo</i> ラット

8-2	Analysis of endocrine disruption effect of Roundup® in adrenal gland of male rats	Toxicology Reports, Volume 2, 2015, Pages 1075-1085	2015	Aparamita Pandey, Medhamurthy Rudraiah	Indian Institute of Science	短期毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> ラット
8-3	Mechanisms underlying the neurotoxicity induced by glyphosate-based herbicide in immature rat hippocampus: Involvement of glutamate excitotoxicity	Toxicology, Volume 320, 5 June 2014, Pages 34-45	2014	Daiane Cattani, Vera Lúciade Liz Oliveira Cavalli, Carla EliseHeinz Rieg, Juliana Tonietto Domingues, Tharine Dal-Cim, Carla InêsTasca, Fátima ReginaMena Barreto Silva, ArianeZamoner	Departamento de Bioquímica, Centro de Ciências Biológicas, Universidade Federal de Santa Catarina	神経毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> ラット

8-4	胎児期に除草剤グリホサートに暴露されたラット精巣カルボニル還元酵素活性の変化	帝京平成短期大学紀要 第 14 号, 2004. 3.	2004	稲津教久、藤井 儔子	帝京平成短期大学、 帝京大学医学部	生殖 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> ラット
8-5	Effects of sub-lethal exposure of rats to the herbicide glyphosate in drinking water: glutathione transferase enzyme activities, levels of reduced glutathione and lipid peroxidation in liver, kidneys and small intestine	Environ Toxicol Pharmacol. 2012 Nov;34(3):811-8. doi: 10.1016/j.etap.2012.09.005. Epub 2012 Sep 18.	2012	Larsen K, Najle R, Lifschitz A, Virkel G.	Laboratorio de Biología y Ecotoxicología, Facultad de Ciencias Veterinarias, UNCPBA	短期 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>
8-6	The herbicide glyphosate causes behavioral changes and alterations in dopaminergic markers in male Sprague-Dawley rat	Neurotoxicology. 2015 Jan;46:79-91. doi: 10.1016/j.neuro.2014.12.001. Epub 2014 Dec 15.	2015	Hernández-Plata I, Giordano M, Díaz-Muñoz M, Rodríguez VM.	Departamento de Neurobiología Conductual y Cognitiva, Instituto de Neurobiología, Universidad Nacional Autónoma de México	神経 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>

8-7	Effect of glyphosate on reproductive organs in male rat	Acta Histochem. 2016 Jun;118(5):519-26. doi: 10.1016/j.acthis.2016.05.009. Epub 2016 Jun 7.	2016	Dai P, Hu P, Tang J, Li Y, Li C.	College of Animal Science and Technology, Nanjing Agricultural University	生殖 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>
8-8	Neurotransmitter changes in rat brain regions following glyphosate exposure	Environ Res. 2018 Feb;161:212-219. doi: 10.1016/j.envres.2017.10.051. Epub 2017 Nov 20.	2018	Martínez MA, Ares I, Rodríguez JL, Martínez M, Martínez-Larrañaga MR, Anadón A.	Department of Toxicology and Pharmacology, Faculty of Veterinary Medicine, Universidad Complutense de Madrid	神經 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>

8-9	The Ramazzini Institute 13-week pilot study on glyphosate and Roundup administered at human-equivalent dose to Sprague Dawley rats: effects on the microbiome	Environ Health. 2018 May 29;17(1):50. doi: 10.1186/s12940-018-0394-x.	2018	Mao Q, Manservigi F, Panzacchi S, Mandrioli D, Menghetti I, Vornoli A, Bua L, Falcioni L, Lesseur C, Chen J, Belpoggi F, Hu J.	Department of Genetics and Genomic Sciences, Icahn School of Medicine at Mount Sinai	発生毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i>
8-10	Glyphosate and glyphosate-based herbicide exposure during the peripartum period affects maternal brain plasticity, maternal behaviour and microbiome	J Neuroendocrinol. 2019 Sep;31(9):e12731. doi: 10.1111/jne.12731. Epub 2019 May 26.	2019	Dechartres J, Pawluski JL, Gueguen MM, Jablaoui A, Maguin E, Rhimi M, Charlier TD.	Univ Rennes, Inserm, EHESP, Irset (Institut de Recherche en Santé Environnement et Travail)	発生毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> / ラット

8- 11	Low Doses of Glyphosate/Roundup Alter Blood-Testis Barrier Integrity in Juvenile Rats	Front Endocrinol (Lausanne). 2021 Mar 11;12:615678. doi: 10.3389/fendo.2021.61 5678. eCollection 2021.	2021	Gorga A, Rindone GM, Centola CL, Sobarzo CM, Pellizzari EH, Camberos MDC, Marín- Briggiler CI, Cohen DJ, Riera MF, Galardo MN, Meroni SB.	Centro de Investigaciones Endocrinológicas "Dr. César Bergadá" (CEDIE) - Consejo Nacional de Investigaciones Científicas y Técnicas (CONICET) - Fundación Endocrinológica Infantil (FEI) - División de Endocrinología, Hospital de Niños Ricardo Gutiérrez	生殖 毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> / ラット
----------	--	---	------	--	---	----------	----	---	---	-------------------------

8-12	Comparative Toxicogenomics of Glyphosate and Roundup Herbicides by Mammalian Stem Cell-Based Genotoxicity Assays and Molecular Profiling in Sprague-Dawley Rats	Toxicol Sci. 2022 Feb 28;186(1):83-101. doi: 10.1093/toxsci/kfab143.	2022	Mesnage R, Ibragim M, Mandrioli D, Falcioni L, Tibaldi E, Belpoggi F, Brandsma I, Bourne E, Savage E, Mein CA, Antoniou MN.	Gene Expression and Therapy Group, Department of Medical and Molecular Genetics, Faculty of Life Sciences & Medicine, Guy's Hospital	発がん性	原著	-	-	<i>in vivo</i> <i>in vitro</i>
8-90	The teratogenic potential of the herbicide glyphosate-Roundup in Wistar rats	Toxicol Lett. 2003 Apr 30;142(1-2):45-52. doi: 10.1016/s0378-4274(02)00483-6.	2003	Dallegrave E, Mantese FD, Coelho RS, Pereira JD, Dalsenter PR, Langeloh A.	Universidade Federal do Rio Grande do Sul (ブラジル)	発生毒性	原著	-	-	in vivo (ラット)
8-91	Pre- and postnatal toxicity of the commercial glyphosate formulation in Wistar rats	Arch Toxicol. 2007 Sep;81(9):665-73. doi: 10.1007/s00204-006-0170-5. Epub 2007 Jul 19.	2007	Dallegrave E, Mantese FD, Oliveira RT, Andrade AJ, Dalsenter PR, Langeloh A.	Universidade Federal do Rio Grande do Sul (ブラジル)	発生毒性	原著	-	-	in vivo (ラット)

8-92	The effect of sub-acute and sub-chronic exposure of rats to the glyphosate-based herbicide Roundup	Environ Toxicol Pharmacol. 2008 Jan;25(1):57-62. doi: 10.1016/j.etap.2007.08.011. Epub 2007 Sep 8.	2008	Cağlar S, Kolankaya D.	Hacettepe University (トルコ)	13 週経口毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)
8-93	Use of a glyphosate-based herbicide-induced nephrotoxicity model to investigate a panel of kidney injury biomarkers	Toxicol Lett. 2014 Feb 10;225(1):192-200. doi: 10.1016/j.toxlet.2013.12.009. Epub 2013 Dec 19.	2014	Wunnapuk K, Gobe G, Endre Z, Peake P, Grice JE, Roberts MS, Buckley NA, Liu X.	a Therapeutics Research Centre, School of Medicine, The University of Queensland, Brisbane, QLD, Australia	中毒バイオマーカー開発	原著	-	-	
8-94	Glyphosate surfactant herbicide poisoning and management	Indian J Crit Care Med. 2014 May;18(5):328-30. doi: 10.4103/0972-5229.132508.	2014	Mahendrakar K, Venkategowda PM, Rao SM, Mutkule DP.	Department of critical care medicine(インド)	症例研究	原著	-	-	-
8-95	Effects of Sublethal Exposure to a Glyphosate-Based Herbicide Formulation on Metabolic Activities of Different Xenobiotic-Metabolizing Enzymes in Rats	Int J Toxicol. 2014 Jul;33(4):307-318. doi: 10.1177/1091581814540481. Epub 2014 Jul 1.	2014	Larsen K, Najle R, Lifschitz A, Maté ML, Lanusse C, Virkel GL.	laboratorio de biologia y ecotoxicologia(Argentina)	13 週経口毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)

8-96	Exposure to a glyphosate-based herbicide during pregnancy and lactation induces neurobehavioral alterations in rat offspring	Neurotoxicology. 2016 Mar;53:20-28. doi: 10.1016/j.neuro.2015.11.015. Epub 2015 Nov 26.	2016	Gallegos CE, Bartos M, Bras C, Gumilar F, Antonelli MC, Minetti A.	laboratorio de toxicologia(Argentina)	発達神経毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)
8-97	In vitro assessment of skin sensitization, photosensitization and phototoxicity potential of commercial glyphosate-containing formulations	Toxicol In Vitro. 2017 Dec;45(Pt 3):386-392. doi: 10.1016/j.tiv.2017.04.001. Epub 2017 Apr 4.	2017	de Ávila RI, Teixeira GC, Veloso DFMC, Moreira LC, Lima EM, Valadares MC.	Laboratory of Celullar Toxicology and Pharmacology - FarmaTec, Faculty of Pharmacy, Federal University of Goiás, Goiã	皮膚感作性試験	原著	-	-	In vitro
8-98	Analysis of endocrine disruption effect of Roundup(®) in adrenal gland of male rats	Toxicol Rep. 2015 Aug 3;2:1075-1085. doi: 10.1016/j.toxrep.2015.07.021. eCollection 2015.	2015	Pandey A, Rudraiah M.	a Molecular Reproduction, Development and Genetics, Indian Institute of Science, Bangalore, India	14日間毒性試験	原著	-	-	in vivo(ラット)

8-99	Perinatal Glyphosate-Based Herbicide Exposure in Rats Alters Brain Antioxidant Status, Glutamate and Acetylcholine Metabolism and Affects Recognition Memory	Neurotox Res. 2018 Oct;34(3):363-374. doi: 10.1007/s12640-018-9894-2. Epub 2018 Apr 2.	2018	Gallegos CE, Baier CJ, Bartos M, Bras C, Domínguez S, Mónaco N, Gumilar F, Giménez MS, Minetti A.	laboratorio de toxicologia (Argentina)	発達神経毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)
8-100	Postnatal exposure to a glyphosate-based herbicide modifies mammary gland growth and development in Wistar male rats	Food Chem Toxicol. 2018 Aug;118:111-118. doi: 10.1016/j.fct.2018.05.011. Epub 2018 May 7.	2018	Altamirano GA, Delconte MB, Gomez AL, Ingaramo PI, Bosquiazzi VL, Luque EH, Muñoz-de-Toro M, Kass L.	Instituto de salud y ambiente del litoral (ISAL, UNL-CONICET Argentina)	発達神経毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)
8-101	Perinatal exposure to a glyphosate-based herbicide impairs female reproductive outcomes and induces second-generation adverse effects in Wistar rats	Arch Toxicol. 2018 Aug;92(8):2629-2643. doi: 10.1007/s00204-018-2236-6. Epub 2018 Jun 9.	2018	Milesi MM, Lorenz V, Pacini G, Repetti MR, Demonte LD, Varayoud J, Luque EH.	Instituto de salud y ambiente del litoral (ISAL, UNL-CONICET Argentina)	繁殖毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)

8-102	Maternal glyphosate-based herbicide exposure alters antioxidant-related genes in the brain and serum metabolites of male rat offspring	Neurotoxicology. 2019 Sep;74:121-131. doi: 10.1016/j.neuro.2019.06.004. Epub 2019 Jun 18.	2019	de Souza JS, Laureano-Melo R, Herai RH, da Conceição RR, Oliveira KC, da Silva IDCG, Dias-da-Silva MR, Romano RM, Romano MA, Maciel RMB, Chiamolera MI, Giannocco G.	Universidade Federal de Sao Paulo (Brazil)	繁殖 毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)
8-103	Glyphosate-based herbicide induces hyperplastic ducts in the mammary gland of aging Wistar rats	Mol Cell Endocrinol. 2020 Feb 5;501:110658. doi: 10.1016/j.mce.2019.110658. Epub 2019 Nov 19.	2020	Zanardi MV, Schimpf MG, Gastiazoro MP, Milesi MM, Muñoz-de-Toro M, Varayoud J, Durando M.	Instituto de salud y ambiente del litoral (ISAL, UNL-CONICET Argentina)	発達 障害	原著	-	-	in vivo(ラット)

8-104	Subchronic exposure to a glyphosate-based herbicide causes dysplasia in the digestive tract of Wistar rats	Environ Sci Pollut Res Int. 2021 Nov;28(43):61477-61496. doi: 10.1007/s11356-021-15051-6. Epub 2021 Jun 26.	2021	de Maria Serra F, Parizi JLS, Odorizzi GASM, Sato GMRH, Patrão IB, Chagas PHN, de Azevedo Mello F, Nai GA.	Universidade de Oeste Paulista (Brazil)	亜急性経口および吸入毒性	原著	-	-	in vivo(ラット)
8-134	Cytotoxicity and hormonal activity of glyphosate-based herbicides	ENVIRONMENTAL POLLUTION, 265, 115027	2020	Toth, Gergo	Szent Istvan University, Faculty of Agricultural and Environmental Sciences, Department of Environmental Protection and Safety	細胞毒性	原著	-	-	in vitro
9-1	Metabolism of glyphosate in Sprague-Dawley rats: tissue distribution, identification, and quantitation of glyphosate-derived materials following a single oral dose	Fundam Appl Toxicol. 1991 Jul;17(1):43-51. doi: 10.1016/0272-0590(91)90237-x.	1991	Brewster DW, Warren J, Hopkins WE 2nd.	Monsanto Agricultural Company	動物代謝	原著	-	-	<i>in vivo</i>

9-2	NTP technical report on the toxicity studies of Glyphosate (CAS No. 1071-83-6) Administered In Dosed Feed To F344/N Rats And B6C3F1 Mice	Toxic Rep Ser. 1992 Jul;16:1-D3.	1992	Chan P, Mahler J.	NIH, USA	短期毒性、生殖毒性、遺伝毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> 及び <i>in vitro</i>
9-3	Genotoxicity of AMPA, the environmental metabolite of glyphosate, assessed by the Comet assay and cytogenetic tests	Ecotoxicol Environ Saf. 2009 Mar;72(3):834-7. doi: 10.1016/j.ecoenv.2008.09.019. Epub 2008 Nov 14.	2009	Mañas F, Peralta L, Raviolo J, García Ovando H, Weyers A, Ugnia L, Gonzalez Cid M, Larripa I, Gorla N.	Universidad Nacional de Rio Cuarto, Argentina	遺伝毒性	原著	-	-	<i>in vitro</i>
9-4	Clastogenic effects of glyphosate in bone marrow cells of swiss albino mice	J Toxicol. 2009;2009:308985. doi: 10.1155/2009/308985. Epub 2008 Dec 15.	2009	Prasad S, Srivastava S, Singh M, Shukla Y.	Proteomics Laboratory	遺伝毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> スイスアルビノマウス

9-5	Genotoxicity of glyphosate assessed by the comet assay and cytogenetic tests	Environ Toxicol Pharmacol. 2009 Jul;28(1):37-41. doi: 10.1016/j.etap.2009.02.001. Epub 2009 Feb 11.	2009	Mañas F, Peralta L, Raviolo J, Ovando HG, Weyers A, Ugnia L, Cid MG, Larripa I, Gorla N.	Facultad de Agronomuay Veterinaria (FAV). アルジェンチン	遺伝毒性	原著	-	-	コメント アッセイ：Hep-2細胞、染色体異常試験：ヒト血液、小核試験：マウス、
9-6	Oxidative stress, cholinesterase activity, and DNA damage in the liver, whole blood, and plasma of Wistar rats following a 28-day exposure to glyphosate	Arh Hig Rada Toksikol. 2018 Jun 1;69(2):154-168. doi: 10.2478/aiht-2018-69-3114.	2018	Milić M, Žunec S, Micek V, Kašuba V, Mikolić A, Lovaković BT, Semren TŽ, Pavičić I, Čermak AMM, Pizent A, Vrdoljak AL, Valencia-Quintana R, Sánchez-Alarcón J, Želježić D.	Institute for Medical Research and Occupational Health (Mexico)	亜急性毒性	原著	-	-	In vivo

9-7	Effects of glyphosate on the ovarian function of pregnant mice, the secretion of hormones and the sex ratio of their fetuses	Environ Pollut. 2018 Dec;243(Pt B):833-841. doi: 10.1016/j.envpol.2018.09.049. Epub 2018 Sep 10.	2018	Ren X, Li R, Liu J, Huang K, Wu S, Li Y, Li C.	college of animal science and technology (中国)	発生毒性	原著	-	-	In vivo
9-8	In vitro evaluation of genomic damage induced by glyphosate on human lymphocytes	Environ Sci Pollut Res Int. 2018 Dec;25(34):34693-34700. doi: 10.1007/s11356-018-3417-9. Epub 2018 Oct 15.	2018	Santovito A, Ruberto S, Gendusa C, Cervella P.	University of Turin (イタリア)	遺伝毒性	原著	-	-	in vitro
9-9	Perinatal Exposure to Glyphosate and a Glyphosate-Based Herbicide Affect Spermatogenesis in Mice	Toxicol Sci. 2019 May 1;169(1):260-271. doi: 10.1093/toxsci/kfz039.	2019	Pham TH, Derian L, Kervarrec C, Kernanec PY, Jégou B, Smagulova F, Gely-Pernot A.	Université de Rennes	発生毒性	原著	-	-	マウス

9-10	The Ramazzini Institute 13-week pilot study glyphosate-based herbicides administered at human-equivalent dose to Sprague Dawley rats: effects on development and endocrine system	Environ Health. 2019 Mar 12;18(1):15. doi: 10.1186/s12940-019-0453-y.	2019	Manservigi F, Lesseur C, Panzacchi S, Mandrioli D, Falcioni L, Bua L, Manservigi M, Spinaci M, Galeati G, Mantovani A, Lorenzetti S, Miglio R, Andrade AM, Kristensen DM, Perry MJ, Swan SH, Chen J, Belpoggi F.	Cesare Maltoni Cancer Research Center	薬物動態	原著	-	-	ラット
9-11	Glyphosate damages blood-testis barrier via NOX1-triggered oxidative stress in rats: Long-term exposure as a potential risk for male reproductive health	Environ Int. 2022 Jan 15;159:107038. doi: 10.1016/j.envint.2021.107038. Epub 2021 Dec 11.	2022	Liu JB, Li ZF, Lu L, Wang ZY, Wang L.	College of Animal Science and Veterinary Medicine, Shandong Agricultural University	長期毒性 生殖毒性	原著	-	-	<i>in vivo</i> <i>in vitro</i>

②用量、NOAEL/NOEL、LOAEL/LOEL、Klimisch コード、評価目的との適合性に関する情報

No.	用量(mg/kg 体重又は g/kg 体重/日)	NOAEL/NOEL	LOAEL/LOEL	Klimisch コード	評価の目的との適合性に関する情報	備考
7-1	1. 微生物を用いた復帰突然変異：10-5000 μg/plate 2. CHO 細胞を用いた細胞毒性および遺伝毒性試験：5, 17.5, 22.5 mg/mL(+S9)/2-25 mg/mL($\pm$S9) 3. ラット幹細胞不定期 DNA 合成試験：$1.25 \times 10^{-5} \sim 10^{-1}$ (mg/mL) 4. 骨髄細胞染色体異常試験 (<i>in vivo</i>): 1g/kg	-	-	-	1. OECD471 と適合している。 2. OECD476 と適合しているが、日本の現行ガイドラインでは要求されていない。 3. 日本のガイドラインでは要求されていない。 4. 動物数など詳細は不明。	種々の In vitro、in vivo 試験でグリホサートが陰性であった。モンサント提供の原体を用いて試験された。自由設計の試験。非 GLP。
7-2	1. マウス骨髄細胞小核試験：原体 100-200 mg/kg 体重、製剤 133-200 mg/kg 体重 2. サルモネラ菌を用いた変異原性試験：製剤 180-1440 μg/plate 3. 植物細胞での染色体異常試験：原体 720-2880 μg/L	-	-	-	1. 観察した骨髄細胞が 100 個である。 2. 使用した細菌株が 2 種のみ。 3. 動物細胞ではなく植物細胞を使用した。 現行ガイドラインに比して不十分な設計による試験。	製剤と原体両方を使用している実験。

7-3	I 群：溶媒対照群（水道水のみ） II 群：グリホサート*0.5%w/v III 群：グリホサート*1%w/v *グリホサート製剤 商品名 「Herbicygon」	不明	不明	-	妊娠中のラット及び胎児に対するグリホサートの影響を調べた論文。製剤用量の根拠が不明。したがって結果の考察ができない。	
7-4	*グリホサート製剤 商品名 「Herbicygon」 1% 経口暴露	-	-	-	既存のガイドラインに沿った設計の試験ではなく、用量設定の根拠が不明。	
7-5	グリホサート経口投与 400 mg/kg 静脈投与 100 mg/kg	-	-	-	グリホサートのトキシコキネティクスがラットで研究された。用量設定の根拠は不明だが、投与方法やラットの飼育方法など、詳細に記載されている。自由設計の試験	
7-6	DMBA、TPA の添加条件下含め グリホサート 25 mg/kg	-	-	-	マウスに対するグリホサート皮膚投与が発がん性を引き起こすか、プロテオミクス解析を行った試験。グリホサート事態の投与量は1用量であり、添加物の有無と投与期間でグループ分けしている。ラットの飼育環境についての記載がある、自由設計の試験。	
7-7	経口投与 125 mg/kg 1日1回を10, 20, 30, 40日間の4群に分けている	-	-	-	グリホサートへの慢性曝露がラットの精巣組織および精子パラメーターに及ぼす影響を評価した。1用量であり40日経口投与。自由設計の試験である。	

7-8	ラウンドアップオリジナル(グリホサート濃度 360 g/L) を 3.6, 50.4, 248.4 mg/kg bw の 3 用量で 1 2 週間経口投与	-	-	-	ラットを RoundupOriginal®とその有効成分に毎日 3.6mg/ kg 体重 (bw)、50.4 および 248.4 mg / kgbw (群 8 匹) のグリホ サート相当濃度で 12 週間経口暴露し、対照群には蒸留水を投 与しました。コルチコステロンとアルドステロンの濃度は、 用量依存的にラウンドアップで治療されたラットで有意に高 かった (p <0.05)。グルタチオン濃度、カタラーゼ、および ブチリルコリンエステラーゼ活性の低下は、有効成分を投与 した群よりラウンドアップ投与群のラットで有意に低下し た。自由設計の毒性試験	
7-9	グリホサート濃度 25 mg/kg	-	-	-	妊娠中の F0 世代の雌ラットの F1 世代の子孫の病理に対する グリホサートの影響は小さいが、F2 世代および F3 世代に前立 腺疾患、肥満、腎臓病、卵巣疾患、および分娩 (出生) 異常 が認められた。自由設計の試験	
7- 10	0.5%グリホサート溶液(w/v, 0.5 g/100 mL)および 0.5%グリホサート・ラウンドアッ プ溶液を経口投与	-	-	-	妊娠した ICR マウス (Institute of Cancer Research) に蒸 留水、0.5%グリホサート溶液 (w / v、0.5 g / 100 ml)、ま たは 0.5%グリホサートラウンドアップ溶液を経口投与した。 子動物の肝臓および血清サンプルは、妊娠 19 日目 (GD19)、 生後 7 日目 (PND7) および PND21 に収集した。結果は、体重 の有意な減少と、子孫における過剰な脂肪滴形成を伴う明ら かな脂肪肝を示し、トリグリセリド (TG)、総コレステロール (T-CHO) などの脂質の濃度、低密度リポタンパク質コレステ ロール (LDL-C) は、血清と肝臓の両方でかなり増加した。自 由設計試験	

7-11	グリホサート及びグリホサートカリウム塩製剤マグナムスーパーⅡそれぞれ 2 mg/kg/day	-	-	-	F0 妊娠ラットは、妊娠日 (GD) 9 から離乳まで 2mg のグリホサート/kg/日の用量で GBH または Gly を経口投与された。F1 雌を評価して、GD19 の繁殖成績を調べた。重要なホルモンおよび子宮の分子標的に影響して着床の失敗に関連する可能性を示した。自由設計試験	
7-23	グリホサートおよびラウンドアップ各 0.5%(w/v, 5g/L)	-	-	-	妊娠したマウスを対象に妊娠日数 1-19 日の間に 0.5% w/v のグリホサートおよびラウンドアップ水溶液を経口投与した。病理組織学的変化を計測し、ホルモン分泌や酸化ストレスに影響を及ぼしたことを示している。	
8-1	0.36%グリホサートを飲料水として母動物に与えた。	-	-	-	1 用量でのみの試験。神経発達障害が認められた。	3%製剤での試験。
8-2	41%グリホサート製剤 10, 50, 100, 250 mg/kg 体重	-	-	-	雄ラットに 2 週間投与し、ステロイド産生に関連するシグナル伝達経路への影響を検討した。日本のガイドラインで要求している項目ではない。	41%製剤での試験。
8-3	1% Roundup (グリホサート 38%に相当) 経口投与 NOAEL:1000mg/kg に基づく	-	-	-	ラウンドアップがラット海馬に与える影響、Ca チャネルの働きの活性化を調べた論文。 ラット飼育環境、処置はブラジル獣医学会の Protocol CEUA/PP0047 1 に従っている。	
8-4	0.5%CMC 懸濁液として 50mg/ml に調整	-	-	-	母動物に投与されたグリホサートが子動物の性腺カルボニル還元酵素に与える影響を調べた論文。 1 濃度区の試験であり、既存のガイドラインに沿った試験ではなく、自由設計。	

8-5	Wister ラット グリホサート : 0.7, 7 mg/L	-	-	-	グリホサートに暴露したラットの臓器が受ける影響について、防御機構に係る酵素グルタチオンペルオキシダーゼ (GPx) や抗酸化物質還元型グルタチオン (GSH) の濃度を測定した試験。毒性評価の参考資料。	
8-6	グリホサート 50, 100, 150 mg/kg bw 2 週間の間、計 6 回の腹腔内注射	-	-	-	ドーパミン作動性マーカーの評価など、生化学的評価と組織学的評価を行った論文。ラットの試験頭数が評価ごとに異なるなど、自由設計。農薬の毒性評価の参考資料	
8-7	グリホサート : 5, 50, 500 mg/kg	-	-	-	SD ラットに 5、50、500mg/kg の用量のグリホサートを強制経口投与した。グリホサートは、50mg / kg の用量での飼料摂取量、500mg / kg の用量で精嚢腺、凝固腺の重量、および総精子数を有意に減少させた。日齢が古い、群動物数が少ないなど試験としては問題があり、参考資料	
8-8	グリホサート経口暴露 : 35, 75, 150, 800 mg/kg bw 6 日間の投与	-	-	-	グリホサート投与ラット (35、75、150 および 800mg / kg 体重、6 日間) には、目に見える損傷はなく、すなわち、機能障害の臨床的兆候は観察されなかった。グリホサート、セロトニン (5-HT)、ドーパミン (DA)、ノルエピネフリン (NE) の最後の投与後、脳領域の線条体、海馬、前頭前野、皮質、視床下部、中脳のレベルを HPLC で測定グリホサートが脳の局所的および用量に関連した方法で中枢神経系 (CNS) モノアミン作動性神経伝達物質を有意に変化させた。独自の試験設計による作用性試験。毒性評価には使えない。	

8-9	グリホサート及びグリホサート含有製剤ラウンドアップを 1.75 mg/kg bw/day の用量で飲料水に混入	-	-	-	米国のグリホサート ADI (1.75 mg / kg 体重/日) に匹敵する用量で、妊娠日 (GD) 6 から出生後まで F0 ダムに飲料水で投与し、初期の発達において腸内細菌叢を改変することを見出した、独自の試験設計による作用性試験。毒性評価には使えない。	
8-10	ラウンドアップ (グリホサート換算で 5 mg/kg/day) を経口投与	-	-	-	妊娠日 (GD) 10 から分娩後日 (PD) 22 まで Sprague-Dawley ラットに投与した。処理により母動物の PD2 と PD6 の間で子に対する舐め行動を変え、神経可塑性と腸内細菌叢に影響を与えた。自由設計研究。毒性学的意義の不明。	
8-11	グリホサートおよびラウンドアップ 各 2 mg/kg/day 及び 50 mg/kg/day	-	-	-	無処理 (C) 水のみ。グリホサート G2 および G50mg /kg/日、R2 および R50 グループはそれぞれ 2 および 50mg/kg/日ラウンドアップを投与。処理は出生後の日 (PND) 14 から 30 までの機能的な血液精巣関門を完成までの期間経口投与された。評価は PND31 で行われた。低用量の G または R への継続的な曝露が幼若ラットの血液精巣関門透過性を変化させることを示した。しかし、対照動物と比較して毎日の精子産生に差がなかった。自由設計研究	
8-12	グリホサートおよびグリホサート製剤 MON52276 3 用量 0.5, 50, 175 mg/kg bw/day	-	-	-	グリホサートとラウンドアップ GBH の効果を invitro と invivo の両方でがんを促進する細胞メカニズムの活性化を比較した結果、ラウンドアップ製剤がグリホサートよりも発癌に関連するより多くの生物学的変化を引き起こすことを示した。自由設計研究	

8-90	0、500、750、1000 mg/kg glyphosate をラウンドアップ製剤希釈液で投与	-	胎児：500	-	1000 mg / kg のグリホサートで処理された母動物の 50%が死亡した。胎児の骨格変化は、対照群、500、750、および 1000 mg / kg グリホサート群の胎児のそれぞれ 15.4、33.1、42.0、および 57.3%で観察された。用量が高すぎる点から参考資料にとどまる。	
8-91	母動物に 妊娠中（21～23 日）および授乳中（21 日）に、ダムを水または 50、150、または 450 mg/kg のグリホサートでラウンドアップ希釈液により経口投与した。	母動物：450	胎児の精子数：50	-	母動物の周産期に 50 mg/kg の投与が子動物の繁殖性精子数に影響を与えていることを示した、より低濃度が検討されるべきで、参考資料としての価値にとどまる	
8-92	0、56 および 560mg/kg 強制経口投与をラウンドアップ希釈水で 13 週間		56mg/kg	-	ラウンドアップによって誘導される肝毒性を示す ALT、AST および LDH 酵素の活性に軽度の影響。用量設定に問題があり、参考資料にとどまる	
8-93	—	-	-	-	腎障害バイオマーカーの開発。Roundup (®) 中毒モデルでは、250、500、1200、2500 mg/kg の用量レベルでラットにグリホサートを経口投与した。尿中および血漿中のバイオマーカーパターンは、投与後 8、24、および 48 時間に調べた。バイオマーカーを定量した。参考資料	
8-94	—	-	-	-	グリホサート界面活性剤中毒の症例研究。参考資料	
8-95	0、0.7 および 7 mg/mL 濃度の飲料水にラウンドアップを希釈して投与した。	-	-	-	低濃度のグリホサート (GLP) ベースの除草剤 (Roundup full II) に曝露された Wistar ラットの肝臓細胞画分の代謝酵素の活性を調べた。参考資料	

8-96	市販のグリホサート製剤の 0.2% または 0.4%（それぞれグリホサートの濃度 0.65 または 1.30g / L）を飲料水より暴露	-	-	-	妊娠中の Wistar ラットは、妊娠中および子孫の授乳中に飲料水を介して市販のグリホサート製剤の 0.2% または 0.4%（それぞれグリホサートの濃度 0.65 または 1.30g / L に相当）に曝露され、仔動物の中樞神経系に影響が認められた。特殊な用量設定であり、参考資料とした。	
8-97	—	-	-	-	グリホサート 6 種の製剤を用いた皮膚感作性 Invitro 試験法の検討。参考資料	
8-98	10, 50, 100 and 250 mg/kg bw/d Glyphosate を Roundup 希釈して強制経口投与した。	-	10mg/kg	-	Roundup は副腎組織におけるサイクリックアデノシンーリン酸（cAMP） / PKA 経路、StAR リン酸化およびコルチコステロン合成の低下を発現した。参考資料	
8-99	妊娠日（GD）0 から離乳（出生後、PND、21）まで 0.2 および 0.4% の市販製剤（それぞれ 0.65 および 1.30 g / l の純粋な Gly に相当）を 100mg および 200mg glyphosate/kg/day 相当を経口投与した。	-	-	-	ラットの発達初期段階でのグリホサート製剤への曝露が、脳の酸化ストレスマーカー、ならびにグルタミン酸作動性およびコリン作動性システムに関与する酵素の活性に影響を与えた。参考資料	
8-100	生後 1 日目（PND1）から PND7 まで、雄ラットに生理食塩水（ビヒクル）または 2 mg GBH / kg・bw のいずれかを 48 時間ごとに皮下注射した。	-	-	-	グリホサート製剤の出生後の連続投与により雄の乳腺に内分泌かく乱作用を誘発し、その正常な発達を阻害した。参考資料	

8-101	妊娠中のラット (F0) に 2 mg または 200 mg のグリホサート/ kg 体重/日の用量で、妊娠 9 日から離乳まで製剤を混餌で投与した	-	-	-	F1 雌の体重増加、膣開口部に変化はなかった。すべての F1 ラットは妊娠したが、検出された着床部位数は少なかった。F2 子孫は、胎児の体重と体長が低く成長の遅れを示し、低出生体重児の発生率が高くなった。また F2 子孫では構造的な先天性異常（結合した胎児と異常に発達した手足）が検出された。参考資料	
8-102	妊娠中のウィスターラットに蒸留水またはラウンドアップの 5 および 50 mg / kg / day の用量で妊娠 (GD) 18 から生後 5 日まで強制経口投与した。	-	-	-	妊娠中のグリホサート製剤の曝露は酸化防御、炎症、脂質代謝に関連する遺伝子の発現に影響した。参考資料	
8-103	雌ラット仔動物に生後 1、3、5、および 7 日に生理食塩水（コントロール）または GBH (2mg グリホサート/kg /日) を皮下注射により投与	-	-	-	グリホサート製剤への出生後早期の曝露が、成熟した雌ラットの乳腺形態に長期的な影響を及ぼした。参考資料	
8-104	3.71× 10 ⁻³ 、6.19×10 ⁻³ および 9.28×10 ⁻³ gai/ha の用量で経口または吸入により 75 日間投与	-	-	-	グリホサート製剤に暴露された動物は、骨髄細胞の小核形成の増加を示し、口腔アレルギーと食道と小腸および大腸に形成異常病変を形成し、遺伝子毒性の可能性のあることを示した。参考資料	
8-134	ラウンドアップ他グリホサート製剤 13 種 グリホサート酸換算で 7.2, 360, 480, 608g/L (w/w) およびグリホサート 3~500mg/L	-	-	-	グリホサート製剤各種の急性、慢性細胞毒性、ホルモン活性について調べた論文。対象の細胞が哺乳類のものではないが、グリホサート塩の種類と毒性学的評価の関連を示している。	

9-1	10 mg/kg 体重	-	-	1	血液中減衰、胆汁試験を実施していないなど現行ガイドラインから逸脱があるが吸排の概要はつかめる。非 GLP。	
9-2	1. ラット吸収排泄試験：5.6 又は 56mg/kg 体重（原体・純度 99%）、5.6 又は 56mg/kg 体重（製剤） 2. ラット、マウス 13 週（90 日）反復経口試験およびマウス赤血球小核試験：0~50000ppm（原体・純度 99%） 3. 雄ラットの唾液腺への影響を観察するための病理組織学的試験：50000ppm（原体・純度 99%） 4. 復帰突然変異試験：10000 μg/plate（原体・純度 99%）	唾液腺病変マウス 3125ppm	-	1	1. OECD417 に準拠している。 2. OECD408、474 に準拠している。 3. 唾液腺のみを観察している。 4. サルモネラ菌のみ使用し、大腸菌を用いていない。	

9-3	グリホサートの代謝物AMPAの試験 1. ヒトHep-2細胞コメットアッセイ：2.5-10.0 mM 2. ヒトリンパ球染色体異常試験：0.9および1.8 mM 3. マウス小核試験：100および200 mg/kg	不明	不明	1	1. 現行の日本のガイドラインでは要求されていない。 2. 分裂中期細胞を100個しか観察していない。2用量での試験。 3. 幼若赤血球を1000個/動物しか計測していない。2用量での試験。	
9-4	1. 染色体異常試験 25 および 50 mg/kg 体重 2. 小核試験 25 および 50 mg/kg 体重	-	-	1	1. 日本では要求されていない <i>in vivo</i> の染色体異常試験 2. 観察した幼若赤血球の数が各群2000個であった。OECD474では各個体2000個以上と規定されている。2用量での試験。	製剤での試験。 25 および 50 mg/kg b.wt. の用量設定根拠が不明。
9-5	コメットアッセイ染色体異常新絵：0.20, 1.20 および 6.00 mM、昇格試験：100、200、および 400 mg/kg	-	-	1	グリホサートは、Hep-2細胞でのコメットアッセイおよびマウスでの400mg/kgのMNT試験で遺伝子毒性を示した。試験方法は詳細に記述されている。	
9-6	一日摂取許容量（AOEL）の0.1、消費者の一日摂取許容量（ADI）の0.5、1.75（対応する慢性的な集団調整用量（cPAD）、および10 mg kg ⁻¹ 体重（bw）（AOELの100倍に相当）	--	--	3	Wistarラットに強制経口投与された除草剤グリホサートの影響を、AOELの0.1、ADIの0.5、1.75（cPAD）、および10 mg kg ⁻¹ 体重（bw）（AOELの100倍に相当）で28日間強制経口投与して毒性を評価し、種々の影響を観察した。1群5匹、週齢記載なし。信頼性が不十分である。1群動物数が少ないことが統計的な信頼性を低くしており、用量相関性がない。	

9-7	0.5%グリホサート溶液または0.5%-グリホサートを Roundup 希釈液で飲料水で投与	--	--	2	妊娠日 (GD) 1~19 から、10 週齢の ICR マウスに蒸留水、0.5%グリホサート溶液または 0.5%-グリホサート Roundup® を飲料水より経口投与した。各群 5 匹。卵巣機能不全、ステロイド産生関連遺伝子発現に影響を与えホルモン分泌の妨害、および酸化ストレスなど、妊娠中のマウスに影響した。同腹児の性比は、グリホサートへの出生前曝露によって影響を受けた。自由設計による試験。1 群動物数が少なすぎる。	
9-8	0.500、0.100、0.050、0.025、および 0.0125 μ g/ mL。 0.0125 μ g/mL	--	--	1	5 つのグリホサート濃度にヒトリンパ球が曝露された：0.500、0.100、0.050、0.025、および 0.0125 μ g/ mL。0.0125 μ g/mL を除いて、テストしたすべての濃度で染色体異常 (CA) と小核 (MNI) の頻度が大幅に増加した。極めて低い濃度で異常を示した。	
9-9	0.5, 5, 50 mg/kg 体重/日	-	-	1	非 GLP であり、特に OECD ガイドラインを意識した試験ではない。	一
9-10	1.75 mg/kg 体重/日	-	-	1	非 GLP であり、特に OECD ガイドラインを意識した試験ではない。	一
9-11	グリホサートを飼料に含ませ 0、10、250 mg/kg の 3 用量	-	-	1	4 週齢雄の SD ラットを用いた研究。対照群、低用量、高用量の 3 群に 6 匹ずつ振り分け、3 反復試験を行っている。グリホサートの長期曝露が精巣に対する影響をどのように与えるか調べた試験。	

表 12-2-1 疫学的研究の文献に関して食品安全委員会のフォーマットに入力した表 研究デザイン

No.	文献名	著者名	研究デザイン							
			国名（地域名、研究名）	試験設計	調査時期	対象者、年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	暴露指標の定義	暴露の確認方法
8-152	Glyphosate use and associations with non-Hodgkin lymphoma major histological sub-types: findings from the North American Pooled Project	Pahwa M., et al.	アメリカおよびカナダ	症例対照研究のプール解析	1980 年代(アメリカ)、1991~1994(カナダ)	該当地域の 19 歳以上	非ホジキンリンパ腫およびリンパ系造血系のがん	North American Pooled Project (NAPP) による各国がん登録情報の収集	農薬の使用実績	自己申告
8-153	Glyphosate exposure in pregnancy and shortened gestational length: a prospective Indiana birth cohort study	S.Parvez, et al.	アメリカ インディアナ州	出生コホート研究	2015-2016	インディアナ州 18 歳から 40 歳の妊婦	尿中グリホサートの検出	液体クロマトグラフィータンデム質量分析法	飲料水、食事の消費と環境要因	質問票による聞き取り
8-154	Drinking well water and occupational exposure to Herbicides is associated with chronic kidney disease, in Padavi-Sripura, Sri Lanka	Channa Jayasuman a, et al.	スリランカ	症例対照研究	2012, 4-2012, 10	Trincomalee 地区の Padavi-Sripura 病院の受診者	慢性腎臓病	厚生省の基準による定義	社会人口統計データによる農薬と肥料の使用データ、飲料水の分析	スリランカ健康省による定義を用いた診察

8-155	An exploratory analysis of the effect of pesticide exposure on the risk of spontaneous abortion in an Ontario farm population.	T E Arbuckle, et al.	カナダ オンタリオ州	症例対照研究	2001	農園に住む夫婦	自然流産	聞き取り調査	農薬の使用実績	質問票による聞き取り
8-156	Prenatal and infant exposure to ambient pesticides and autism spectrum disorder in children: population based case-control study	Ondine S von Ehrenstein, et al	アメリカカリフォルニア州	母集団に基づくケースコントロール研究	1998-2010	2013 年までに自閉症スペクトラムの診断を受けた者	自閉症スペクトラム	精神障害の診断と統計マニュアルに基づく診断	妊娠期、胎児の農薬暴露	農薬使用報告データと住居データの統合
8-157	Pilot study on the urinary excretion of the glyphosate metabolite aminomethylphosphonic acid and breast cancer risk: The Multiethnic Cohort study	Adrian A Franke et al	アメリカ	多民族コホート研究内のサブコホートにおける症例対照研究	1993-1996	サブコホート内閉経後女性	乳がん	国立がんセンターによる登録	尿中 AMPA 濃度	提出された検体の分析、質問票
8-158	Pesticide exposure as risk factor for non-Hodgkin lymphoma including histopathological subgroup analysis	Mikael Eriksson et al	スウェーデン	農薬の暴露に対する集団ベースの症例対照研究	1999, 12, 1-2002, 4, 30	スウェーデン在住の男女 18-74 歳	非ホジキンリンパ腫	WHO による分類	使用実績の有無	本人へのインタビュー

表 12-2-2 疫学的研究の文献に関して食品安全委員会のフォーマットに入力した表 健康関連の事象の情報

	健康関連の事象の情報								
No.	試験全体の N 数 (症例/対照)	アウトカ ムの N 数	分析カテゴリー	暴露に係る N 数	相対リスク/オッズ 比等	95%信頼区間	p 値	交絡因子の 考慮	備考
8-152	症例：1690 対照：5131	－	プール解析 ever/never	使用期間評価：1520/4183 使用頻度評価：898/2938	NHL：1.43 SLL：1.77	NHL：1.11-1.83 SLL：0.98-3.22	－	－	
8-153	71 人	66 人	液体クロマトグラフィ ー	71 人	－	－	－	－	
8-154	症例：125 対照：180	－	never/ever	農薬の使用実績あり：症例 86/対照 72	3.31	2.04-5.36	<0.0001	－	
8-155	3936 件	395 件	Classification and Regression Tree (CART) method	妊娠後暴露：12 週未満 10 件、 12-19 週 12 件	1.1	0.7-1.7	－	－	
8-156	症例：2961 人 コントロール： 35370 人	－	多変量ロジスティック ス回帰分析	グリホサート暴露 2293/26660	1.16	1.06-1.27	－	－	
8-157	症例 124 人 対照 126 人	－	－	123/123 人	3.49	0.35-34.51	0.286	－	
8-158	症例：910 対照：1016	－	Unconditional logistic regression analysis	症例：29 対照：18	農薬全体オッズ比： 1.72 グリホサートオッ ズ比：2.02	農薬全体：1.18- 2.51 グリホサート： 1.10-3.71	－	－	

8. EFSA, USEPA, JMPR の評価において評価書に結果が引用されている場合は、引用した期間、引用された評価書名、発行年等の情報

表 13 海外評価書の引用文献リスト

「付録 1 海外評価書の引用文献リスト」(Excel ファイル) として収載した。

参考とした海外評価書は、EFSA、US-EPA、JMPR より発表されている、

①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

の 4 つの評価書である。

これらの評価書からは、合計 1829 件の引用文献が確認された。この一覧は表 13 (付録 1) として収載されている。

評価書内の文献の重複を除いた数は 1513 件であり、そのうち、916 件は試験成績等の非公表情報であった。

表 14 および表 15 は「残留農薬の食品健康影響評価における公表文献の取り扱いについて」(令和 3 年 3 月 18 日 農薬第一専門調査会決定) の別添様式例を基に作成した。

表 14、15 とともに一つの表を二つに分けている。

表 14 海外評価書に引用されている文献の食品安全委員会の様式 ①文献、ジャーナル名等、②動物種、用量等

表 15 海外評価書に引用されている文献のうち疫学的研究に関する文献の様式 ①研究デザイン、②健康関連の事象の情報

(表 14-1 : p. 133~161, 表 14-2 : p. 162~181)

(表 15-1 : p. 182~200, 表 15-2 : p. 201~211)

表 14-1 海外評価書に引用されている文献の食品安全委員会の様式 ①文献、ジャーナル名等

No.	文献番号	付録 1 リ スト 番号	文献名	ジャーナル名等	公表 年	著者名	著者の所属機関	研究分野	原著 /review
1	11	1829	IARC Monographs on the evaluation of the carcinogenic risks to humans	Overall evaluations of carcinogenicity: An updating of IARC monographs, Volumes 1 to 42, supplement 7	1987	-	WHO	発がん性	review
2	20	656	A commercial formulation of Glyphosate inhibits proliferation and differentiation to adipocytes and induces apoptosis in 3T3-L1 fibroblasts	Toxicology in Vitro 26 (2012) 1007-1013	2012	Claudia N. Martini et al.	Departamento de Química Biológica, Facultad de Ciencias Exactas y Naturales, Universidad de Buenos Aires	細胞毒性	原著
3	22	671	A critical review of glyphosate findings in human urine samples and comparison with the exposure of operators and consumers	Journal für Verbraucherschutz und Lebensmittelsicherheit, (2015) 10:3-12	2015	Lars Niemann et al.	Department Safety of Pesticides, Federal Institute for Risk Assessment	残留	review
4	29	1466	A quantitative approach for estimating exposure to pesticides in the Agricultural Health Study	The Annals of Occupational Hygiene. 46:245- 60.	2002	Mustafa Dosemeci et al.	NIH	長期毒性	review
5	57	1304	32P-postlabeling detection of DNA adducts in mice treated with the herbicide roundup	Environmental and Molecular Mutagenesis, 1998, 31, 1, 55-59, Peluso, Marco, et al.	1998	Peluso, Marco et al.	Servizio di Oncologia Sperimentale, Isfituta Nazionale per la Ricerca sul Cancro, Genoa, Italy	遺伝毒性	原著

6	70	1300	Aminomethylphosphonic acid and methoxyacetic acid induce apoptosis in prostate cancer cells	International Journal of Molecular Sciences, 16, 11750-11765	2015	Keshab R. Parajuli et al.	Tulane University, New Orleans	細胞毒性	原著
7	81	1265	An evaluation of the genotoxic potential of glyphosate	Fundamental and Applied Toxicology 10, 537-546.	1988	A.P.Li et al.	Monsanto Company	細胞毒性 /遺伝毒性	原著
8	127	317	Characterization of chromatin instabilities induced by glyphosate, terbuthylazine and carbofuran using cytome FISH assay	Toxicology Letters, Volume 189, Issue 2, 10 September 2009, Pages 130-137	2009	Marin Mladinic et al.	Institute for Medical Research and Occupational Health	細胞毒性	原著
9	131	991	Chronic dietary risk characterization for pesticide residues: A ranking and scoring method integrating agricultural uses and food contamination data	Food and Chemical Toxicology 49 (2011) 1484-1510	2011	Alexandre Nougadere et al.	French Agency for Food	残留	原著
10	132	1366	Classification according to chemical structure, mutagenicity to Salmonella and level of carcinogenicity of a further 42 chemicals tested for carcinogenicity by the U.S. National Toxicology Program.	Mutation Research, 223 (1989) 73-103	1989	J. Ashby et al.	ICI Central Toxicology Laboratory	遺伝毒性 ／発がん性	原著
11	133	325	Clastogenic effects of glyphosate in bone marrow cells of swiss albino mice	Journal of Toxicology Volume 2009, Article ID 308985, 6 pages	2009	Sahdeo Prasad et al.	Indian Institute of Toxicology Research	遺伝毒性	原著

12	136	1601	Clinical presentations and prognostic factors of a glyphosate-surfactant herbicide intoxication: a review of 131 cases	Academic Emergency Medicine, August 2000, Voume 7, Number 8	2000	Hsin-Ling Lee et al.	National Cheng Kung University Hospital	中毒	原著
13	139	565	Co-Formulants in Glyphosate-Based Herbicides Disrupt Aromatase Activity in Human Cells below Toxic Levels	International Journal of Environmental Research and Public Health, 2016, 13, 264	2016	Nicolas Defarge et al.	Institute of Biology, University of Caen Normandy	細胞毒性	原著
14	143	290	Comparative genotoxicity of the herbicides Roundup, Stomp and Reglone in plant and mammalian test systems	Mutagenesis 21, 375-382	2006	Boyan D. Dimitrov et al.	Institute of Genetics, Bulgarian Academy of Sciences,	遺伝毒性	原著
15	152	639	Continuous renal replacement therapy in a patient with cardiac arrest after glyphosate-surfactant herbicide poisoning	Hong Kong Journal of Emergency Medicine	2012	BK Lee et al.	Chonnam National University Hospital, Korea	中毒	原著
16	156	635	Critical comments on the WHO-UNEP State of the Science of Endocrine Disrupting Chemicals - 2012	Regulatory Toxicology and Pharmacology 69 (2014) 22-40	2014	James C. Lamb IV et al.	Exponent, 1800 Diagonal Road, Suite #500, Alexandria, VA 22314, USA	内分泌かく乱	review
17	161	623	Cytotoxic and DNA-damaging properties of glyphosate and Roundup in human-derived buccal epithelial cells	Archives of Toxicology (2012) 86:805-813	2012	Verena J. Koller et al.	Medical University of Vienna	細胞毒性	原著

18	165	585	Defined plant extracts can protect human cells against combined xenobiotic effects	Journal of Occupational Medicine and Toxicology 2011, 6:3	2011	Céline Gasnier et al.	University of Caen, France	細胞毒性	原著
19	175	741	Determination of glyphosate and AMPA in blood and urine from humans: About 13 cases of acute intoxication	Forensic Science International 226 (2013) e20-e25	2013	K. Zouaoui et al.	University Hospital, France	中毒	原著
20	181	1307	Differences in the carcinogenic evaluation of glyphosate between the International Agency for Research on Cancer (IARC) and the European Food Safety Authority (EFSA)	Journal of Epidemiology and Community Health, August 2016 Vol 70 No 8	2016	Christopher J Portier et al.	Environmental Health Consultant, Thun, Switzerland	発がん性	review
21	183	583	Dig1 protects against cell death provoked by glyphosate-based herbicides in human liver cell lines	Journal of Occupational Medicine and Toxicology 2010, 5:29	2010	Céline Gasnier et al.	University of Caen, France	細胞毒性	原著
22	187	309	Disrupting mitochondrial function with surfactants inhibits MA-10 Leydig cell steroidogenesis	Cell Biology and Toxicology 23(6):385-400	2007	Steven L Levine et al.	Monsanto Company	細胞毒性	原著
23	198	562	Effect of glyphosate on reproductive organs in male rat	Acta Histochemica 118(2016) 519-526	2016	Pengyuan Dai et al.	Nanjin Agricultural University	生殖毒性	原著

24	211	588	Emptying of Intracellular Calcium Pool and Oxidative Stress Imbalance Are Associated with the Glyphosate-Induced Proliferation in Human Skin Keratinocytes HaCaT Cells	ISRN Dermatology Volume 2013, Article ID 825180, 12 pages	2013	Jasmine George and Yogeshwer Shukla	Indian Institute of Toxicology Research (CSIR)	細胞毒性	原著
25	213	1578	Endocrine disrupting potential of pesticides via nuclear receptors and aryl hydrocarbon receptor.	journal of Health Science, 56 (4) 374-386	2010	H Kojima et al.	Hokkaido Institute of Public Health	内分泌かく乱	原著
26	228	611	Evaluation of biochemical, hematological and oxidative parameters in mice exposed to the herbicide Glyphosate-Roundup	Interdisciplinary Toxicology, 2012; Vol. 5(3): 133-140	2012	Raquel Jasper et al.	Universidade Alto Vale do Rio do Peixe, Brazil	短期毒性	原著
27	230	440	Evaluation of developmental toxicity studies of glyphosate with attention to cardiovascular development	Critical reviews in Toxicology, 43(2): 79-95	2013	Gary L. Kimmel et al.	Exponent Inc, Alexandria, VA, USA	発達毒性	review
28	233	1477	Evaluation of ligand selectivity using reporter cell lines stably expressing estrogen receptor alpha or beta	Biochemical pharmacology 71, 1459-1469	2006	Escande et al.	Univ Montpellier, France	内分泌系	原著
29	234	640	Evaluation of microelectrode array data using Bayesian modeling as an approach to screening and prioritization for neurotoxicity testing	NeuroToxicology 36, 34-41	2013	William R. LeFew et al.	Environmental Protection Agency, USA	神経毒性	原著

30	235	299	Evaluation of the in vitro effect of glyphosate-based herbicide on bovine lymphocytes using chromosome painting	Bulletin of The Veterinary Institute in Pulawy, 50, 533-536	2006	Beata Holeckova	University of Veterinary Medicine, Slovakia	遺伝毒性	原著
31	238	459	Exposure to Mn/Zn ethylene-bisdithiocarbamate and glyphosate pesticides leads to neurodegeneration in <i>Caenorhabditis elegans</i>	NeuroToxicology 32, 331-341	2011	Rekek Negga et al.	King College, USA	神経毒性	原著
32	249	28	Final review of the Séralini et al. 2012a) publication on a 2-year rodent feeding study with glyphosate formulations and GM maize NK603 as published online on 19 September 2012 in Food and Chemical Toxicology	EFSA Journal 2012;10(11):2986	2012	-	EFSA	慢性毒性	review
33	251	652	Formulated Glyphosate Activates the DNA-Response Checkpoint of the Cell Cycle Leading to the Prevention of G2/M Transition	Toxicological Sciences 82, 436-442	2004	Julie Marc et al.	Unité Mer & Santé (FRE 2775), Centre National de la Recherche Scientifique (CNRS) and Université Pierre et Marie Curie (UPMC)	細胞毒性	原著
34	256	1291	Further mutagenicity studies on pesticides in bacterial reverse assay systems	Mutation Research, 116 (1983) 185-216	1983	M. Morita et al.	Institute of Environmental Toxicology, Japan	遺伝毒性	原著

35	261	276	Genotoxic activity of glyphosate and its technical formulation roundup	Journal of Agricultural and Food Chemistry, 1997, 45, 1957-1962	1997	Claudia Bolognesi, et al.	Istituto Nazionale per la Ricerca sul Cancro, Italy	細胞毒性	原著
36	265	1613	Genotoxicity and oxidative stress induced by pesticide exposure in bovine lymphocyte cultures in vitro.	Mutation Research 403 (1998) 13-20	1998	M.B. Lioi et al.	Universita della Basilicata, Italy	遺伝毒性	原著
37	267	313	Genotoxicity of glyphosate assessed by the comet assay and cytogenetic tests	Environmental Toxicology and Pharmacology 28, 37-41	2009	Manas et al.	Universidad Nacional de Río Cuarto, Argentina	遺伝毒性	原著
38	268	694	Genotoxicity of mixtures of glyphosate and atrazine and their environmental transformation products before and after photoactivation	Chemosphere 108, 93-100	2014	Roustan et al.	Aix-Marseille Universite, France	遺伝毒性	原著
39	270	324	Genotoxicity of the herbicide formulation Roundup® (glyphosate) in broad-snouted caiman (Caiman latirostris) evidenced by the Comet assay and the Micronucleus test	Mutation Research 672 (2009) 95-102	2009	G.L. Poletta et al.	Proyecto Yacaré, Argentina	遺伝毒性	原著
40	271	248	Genotoxicity testing of the herbicide Roundup and its active ingredient glyphosate isopropylamine using the mouse bone marrow micronucleus test,	Mutation Research, 300 (1993) 29-36	1993	J.Rank et al.	Roskilde University, Denmark	遺伝毒性	原著

			Salmonella mutagenicity test, and Allium anaphase-telophase test						
41	289	550	Glyphosate Commercial Formulation Causes Cytotoxicity, Oxidative Effects, and Apoptosis on Human Cells: Differences With its Active Ingredient	International Journal of Toxicology 2014, Vol. 33(1) 29-38	2014	Gabriela Chaufan et al.	Universidad de Buenos Aires	遺伝毒性	原著
42	293	275	Glyphosate Formulations Induce Apoptosis and Necrosis in Human Umbilical, Embryonic, and Placental Cells	Chemical Research in Toxicology, 22, 97-105	2009	Nora Benachour and Gilles-Eric Seralini	Institute of Biology, France	発生毒性	原著
43	294	771	Glyphosate herbicide formulation: A potentially lethal ingestion	Emergency Medicine Australasia (2004) 16, 235-239	2004	Julian Stella and Matthew Ryan	Geelong Hospital, Australia	中毒	原著
44	295	1168	Glyphosate impairs Male Offspring Reproductive Development by Disrupting Gonadotropin Expression	Archives of Toxicology, 86: 663-673	2012	Marco Aurelio Romano et al.	University of Sao Paulo, Brazil	生殖毒性	原著
45	299	488	Glyphosate Poisoning	Toxicological reviews, 23 (3): 159- 167	2004	Sally M. Bradberry et al.	City Hospital, Birmingham, UK	中毒	review
46	336	284	Genotoxicity of Select Herbicides in <i>Rana catesbeiana</i> Tadpoles Using the Alkaline Single-Cell Gel DNA Electrophoresis (Comet) Assay	Environmental and Molecular Mutagenesis 29:277-288 (1997)	1997	Chris Clements et al.	University of Windsor	遺伝毒性	原著

47	347	701	Glyphosate' s Suppression of Cytochrome P450 Enzymes and Amino Acid Biosynthesis by the Gut Microbiome: Pathways to Modern Diseases	Entropy 2013, 15, 1416-1463; doi:10.3390/e15041416	2013	Anthony Samsel et al.	-	P450 酵素及びアミノ酸生合成への影響	review
48	348	653	Glyphosate-based pesticides affect cell cycle regulation	Biology of the Cell 96 (2004) 245-249	2004	Julie Marc et al.	Centre National de la Recherche Scientifique (CNRS) and Université Pierre et Marie Curie (UPMC)	細胞毒性	原著
49	360	721	Haematological changes induced by subchronic glyphosate exposure: ameliorative effect of zinc in Wistar rats	Sokoto Journal of Veterinary Sciences, Volume 11 (Number 2). December, 2013	2013	EV Tizhe et al.	Ahmadu Bello University	血液に対する毒性	原著
50	363	608	Herbicide Roundup Intoxication: Successful Treatment with Continuous Renal Replacement Therapy	The American Journal of Medicine, Vol 125, No 8, August 2012	2012	Billy T. Hour et al.	University of Arizona	Roundup により引き起こされる症状の治療法	-
51	368	680	Histological and histochemical effects of Gly-phosate on testicular tissue and function	Iranian Journal of Reproductive Medicine Vol.10. No.3. pp:181-192, May 2012	2012	Mazdak Razi et al.	Urmia University	生殖毒性	原著
52	376	1781	Hypolipidemia and peroxisome proliferation induced by phenoxyacetic acid herbicides in rats	Biochemical Pharmacology, Vol. 32, No. 18, pp. 2775-2779, 1983	1983	Harri Vainio et al.	University of Turku	血液に対する毒性	原著

53	385	1757	<i>In vitro</i> screening for aryl hydrocarbon receptor agonistic activity in 200 pesticides using a highly sensitive reporter cell line, DR-EcoScreen cells, and <i>in vivo</i> mouse liver cytochrome P450-1A induction by propanil, diuron and linuron	Chemosphere 74 (2008) 155-165	2008	Shinji Takeuchi et al.	Hokkaido Institute of Public Health	環境中化学物質の活性評価方法	原著
54	388	510	Increased Cancer Burden Among Pesticide Applicators and Others Due to Pesticide Exposure	CA: A Cancer Journal for Clinicians 2013;63:120-142	2013	Michael C. R. Alavanja et al.	National Cancer Institute	発がん性	review
55	399	722	Influence of zinc supplementation on histopathological changes in the stomach, liver, kidney, brain, pancreas and spleen during subchronic exposure of Wistar rats to glyphosate	Comparative Clinical Pathology (2014) 23:1535-1543	2014	Emmanuel Vandi Tizhe et al.	Ahmadu Bello University	グリホサートにより生じる病理組織学的変化に対して亜鉛が与える影響	原著
56	416	1427	Leydig cell hyperplasia and adenoma formation: mechanisms and relevance to humans	Reproductive Toxicology, Vol. 11, No. 1, 107-121, 1997	1997	Eric D. Clegg et al.	U.S. Environmental Protection Agency	発がん性	review
57	418	1270	Literature Review on Neurodevelopment Effects & FQPA	Office of Pesticide Programs US Environmental Protection Agency September 15, 2015. D331251.	2015	Anna Lowit et al.	U.S. Environmental Protection Agency	発達神経毒性	review

			Safety Factor Determination for the Organophosphate Pesticides						
58	419	406	Long term toxicity of a Roundup herbicide and a Roundup-tolerant genetically modified maize	Food and Chemical Toxicology 50 (2012) 4221-4231	2012	Gilles-Eric Séralini et al.	University of Caen	慢性毒性	原著
59	420	683	Low-dose effects and nonmonotonic dose-responses of endocrine disrupting chemicals: Has the case been made?	Regulatory Toxicology and Pharmacology 64 (2012) 130-133	2012	Lorenz R. Rhomberg et al.	Gradient	内分泌かく乱	review
60	426	661	Major Pesticides Are More Toxic to Human Cells Than Their Declared Active Principles	BioMed Research International Volume 2014, Article ID 179691, 8 pages http://dx.doi.org/10.1155/2014/179691	2014	Robin Mesnage et al.	University of Caen	細胞毒性	原著
61	432	549	Mechanisms underlying the neurotoxicity induced by glyphosate-based herbicide in immature rat hippocampus: Involvement of glutamate excitotoxicity	Toxicology 320 (2014) 34-45	2014	Daiane Cattani et al.	Universidade Federal de Santa Catarina	神経毒性	原著
62	433	711	Memorandum on "The feeding of genetically modified glyphosate resistant soy products to livestock"	DCA - Danish Centre for Food and Agriculture, Aarhus University, Denmark. 4 February 2014 ASB2014-5761	2014	Martin Tang Sørensen et al.	Aarhus University	遺伝子組み換えグリホサート耐性豆製品の安全性	review

								畜に与える影響	
63	436	1402	Metabolism of Glyphosate in Sprague-Dawley Rats: Tissue Distribution, Identification, and Quantitation of Glyphosate-Derived Materials following a Single Oral Dose	Fundamental and Applied Toxicology 17, 43-51 (1991)	1991	David W. Brewster et al.	Monsanto Agricultural Company	動物代謝	原著
64	456	302	Mutagenicity Testing of Nine Herbicides and Pesticides Currently Used in Agriculture	Environmental and Molecular Mutagenesis 25:148-153 (1995)	1995	Purushottam G. Kale et al.	Alabama A. & M. University	変異原生	原著
65	459	592	Neurodevelopmental toxicity: still more questions than answers	The Lancet Neurology. 2014 Jul;13(7):645. doi: 10.1016/S1474-4422(14)70087-0	2014	Daniel A Goldstein et al.	Monsanto	発達神経毒性	-
66	460	452	ALTERAÇÕES DE NEUROIMAGEM NO PARKINSONISMO Estudo de cinco casos	Arq Neuropsiquiatr 2003;61(2-B):381-386	2003	Maria do Desterro Leiros da Costa et al.	Divisão de Clínica Neurológica do Hospital das Clínicas da Faculdade de Medicina da Universidade de São Paulo (HC - FMUSP)	パーキンソン病	原著
67	492	451	The nematode <i>Caenorhabditis elegans</i> as a model of organophosphate-induced mammalian neurotoxicity	Toxicology and Applied Pharmacology 194 (2004) 248 - 256	2004	Russell D. Cole et al.	The University of Georgia	神経毒性	原著

68	493	648	OXIDATIVE STRESS AND COMET ASSAY IN TISSUES OF MICE ADMINISTERED GLYPHOSATE AND AMPA IN DRINKING WATER FOR 14 DAYS	Journal of Basic & Applied Genetics 2013 Volume 24 Issue 2 Article 7	2013	Fernando Mañas et al.	Facultad de Agronomía y Veterinaria (FAV)	マウスの内臓に対する毒性	原著
69	522	520	Pesticide-induced decrease in rat testicular steroidogenesis is differentially prevented by lipoate and tocopherol	Ecotoxicology and Environmental Safety 91 (2013) 129-138	2013	Mariana Astiz et al.	INIBIOLP	生殖毒性	原著
70	525	667	Pesticides and human chronic diseases: Evidences, mechanisms, and perspectives	Toxicology and Applied Pharmacology 268 (2013) 157-177	2013	Sara mostafalou et al.	Tehran University of Medical Sciences	種々の病気との関連性	review
71	534	322	The Influence of different treatment length on the induction of micronuclei in bovine lymphocytes after exposure to glyphosate	Folia Veterinaria, 48, 3: 130-134, 2004	2004	Piesova, E.	University of Veterinary Medicine	細胞毒性	原著
72	536	689	Prepubertal exposure to commercial formulation of the herbicide glyphosate alters testosterone levels and testicular morphology	Archives of Toxicology (2010) 84:309-317DOI 10.1007/s00204-009-0494-z	2010	R. M. Romano et al.	University of Sao Paulo	繁殖毒性	原著
73	543	503	Probable toxicity of surface-active agent in commercial herbicide containing glyphosate	The Lancet 1988 Feb 6;1(8580):299. doi: 10.1016/s0140-6736(88)90379-0.	1988	Yusuke Sawada et al.	Kagoshima University	種々の毒性	-

74	549	1787	Quantitative Profiling of Colorectal Cancer-Associated Bacteria Reveals Associations between <i>Fusobacterium</i> spp., Enterotoxigenic <i>Bacteroides fragilis</i> (ETBF) and Clinicopathological Features of Colorectal Cancer	PLOS ONE DOI:10.1371/journal.pone.0119462 March 9, 2015	2015	Katie S. Vlijoen, et al	Institute of Infectious Disease & Molecular Medicine, Division of Medical Biochemistry, Faculty of Health Science, University of Cape Town	発がん性	原著
75	560	1719	Republishe study: long-term toxicity of a Roundup herbicide and a Roundup tolerant genetically modified maize	Environmental Science Europe 2014, 26:14	2014	Gilles-Eric Seralini, et al	Institute of Biology, EA2608 and CRIIGEN and Risk Pole, MRSH -CNRS, Esplanade de la Paix, University of Caen, Caen Cedex 14032, France Esplanade de la Paix, University of Caen, Caen'	毒性	原著
76	566	350	Review article - Tumors in Control Mice: Literature Tabulation	Toxicology and Applied Pharmacology 30, 337-359 (1974)	1973	Sanford P. Sher	Merk Institute for Therapeutic Research, Mark Shafer and Dohme Research Laboratories, West Point, Pennsylvania 19486	長期毒性 / 発がん性	原著
77	567	617	Review of genotoxicity studies of glyphosate and glyphosate-based formulations	Critical Reviews in Toxicology, 43:4, 283-315, DOI: 10.3109/10408444.2013.770820 Critical Reviews in Toxicology, 43:4, 283-315, DOI: 10.3109/10408444.2013.770820 Critical Reviews in Toxicology, 43:4,	2013	Larry D. Kier & David J. Kirkland	Private Consultant, Buena Vista, CO, USA and Kirkland Consulting, Tadcaster, UK	遺伝毒性	原著

				283-315, DOI: 10.3109/10408444.2013.770820 Critical Reviews in Toxicology, 43:4, 283-315, DOI:10.3109/10408444.2013.770820					
78	574	1436	Rodent Leydig Cell Tumorigenesis: A Review of the Physiology, Pathology, Mechanisms, and Relevance to Humans	Critical Reviews in Toxicology, 29(2):169-261 (1999)	1999	Jon C. Cook, et al	DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE	細胞毒性	原著
79	576	39	Roundup and birth defects: the British public has been kept in the dark	Available from: http://www.earthopensource.org/files/ pdfs/Roundup-and-birth- defects/RoundupandBirthDefectsv5.pdf ASB2011-7202	2011	Antoniou M,	-	毒性	原著
80	577	727	Roundup Inhibits Steroidogenesis by Disrupting Steroidogenic Acute Regulatory (StAR) Protein Expression	Environmental Health Perspectives volume 108 Number 8 769-776 August 2000	2000	Lance P. Walsh, et al	Department of Cell Biology and Biochemistry, Texas Tech University Health Sciences Center, Lubbock, Texas, USA;	毒性	原著
81	580	1579	Screening for Estrogen and Androgen Receptor Activities in 200 Pesticides by in Vitro Reporter Gene Assays Using Chinese Hamster Ovary Cells	Environmental Health Perspectives · volume 112 Number 5 524-31 April 2004	2004	Hiroyuki Kojima, et al	Hokkaido Institute of Public Health, Sapporo, Japan	毒性	原著

82	582	723	Serum biochemical assessment of hepatic and renal functions of rats during oral exposure to glyphosate with zinc	Comp Clin Pathol (2014) 23:1043-1050 DOI 10.1007/s00580-013-1740-6	2014	Emmanuel Vandi Tizhe, et al	Department of Pathology, Faculty of Veterinary Medicine, Ahmadu Bello University, Zaria, Kaduna, Nigeria	毒性	原著
83	589	552	Spectrum of corrosive esophageal injury after intentional paraquat or glyphosate-surfactant herbicide ingestion	International Journal of General Medicine 2013:6 677-683	2013	Hsiao-Hui Chen, et al	Department of Nephrology and Division of Clinical Toxicology, Chang Gung Memorial Hospital and Chang Gung University, Taipei, Taiwan	毒性	原著
84	590	1419	Spontaneous neoplasms in aged sprague-dawley rats	Journal of Toxicology Arch Toxicol (1992) 66: 496-502	1992	Manik Chandra, etc	Wilbur G. Toxicology Laboratories, Medical Research Division, Amerian Cyanamid Copany	発がん性	原著
85	591	347	Spontaneous Neoplastic Lesions in the Cr1: CD-1(ICD) Mouse in Control Groups from 18 Month to 2 year Studies	CHARLES RIVER LABORATORIES	2005	Mary L. A Giknis, et al	CHARLES RIVER LABORATORIES	毒性	原著
86	593	710	Sri Lanka Partially Bans Glyphosate for Deadly Kidney Disease Epidemic	Science in Society ARCHIVE	2022	-	-	毒性	原著
87	599	1616	Synergistic DNA damage by oxidative stress (inducedbyH2O2) and nongenotoxic environmental chemicals in human fibroblasts	Toxicology Letters 147 (2004) 35-43	2004	A.Lueken,et al	Carl von Ossietzky Universitdt Oldenburg, Fak V. Institute of Biological and Environm Scin	細胞毒性	原著

88	601	428	Teratogenic Effects of Glyphosate-Based Herbicides: Divergence of Regulatory Decisions from Scientific Evidence	Journal of Environ Analytical Toxicology 2012	2012	M Antoniou, et al	Department of Medical and Molecular Genetics, King' s College London School of Medicine, UK	毒性	原著
89	610	339	THE EFFECT OF THE PESTICIDES, DEXON, CAPTAN AND ROUNDUP, ON SISTER-CHROMATID EXCHANGES IN HUMAN LYMPHOCYTES IN VITRO	Mutation Research, 79(1980) 53-57	1980	N. V. VIGFUSSON, et al	Department of Biology, Eastern Washington University, Cheney, WA, and Sacred Heart Medical Center, Spokane, WA	細胞毒性	原著
90	612	522	The effects of acute pesticide exposure on neuroblastoma cells chronically exposed to diazinon	Toxicology 185 (2003) 67-78	2003	J. C. Axelrada, et al	Department of Pharmacology and Therapeutics, University of Liverpool UK	毒性	原著
91	613	531	The effects of sub-chronic exposure of Wistar rats to the herbicide Glyphosate-Biocarb	Toxicology Letters 153(2004) 227-232	2004	Aloisio Luiz Benedetti, et al	Laboratorio de Neurobiologia e Hematologia Celular e Molecular -BEG-CCB Universidade Federal de Santa Campus Universitario, Brazil	細胞毒性	原著
92	628	521	The oxidative damage and inflammation caused by pesticides are reverted by lipoic acid in rat brain	Nuerochemistry International 61 (2012) 1231-1241	2012	Mariana Astiz, et al	INIBIOLP(Institute de Investigaciones Bioquimicas de La Plata) Universidad Nacional de La Plata, Argentina	細胞毒性	原著
93	632	563	The teratogenic potential of the herbicide glyphosate-Roundup in Wistar rats	Toxicology Letters 142 (2003) 45-52	2003	Eliane Dallegrave, et al	Department of Pharmacology, Instituto de Ciencias Basicas da Saude, Universidade Federal do Rio Grande do Sul (UFRGS), Brazil	細胞毒性	原著

94	763	595	Cardiotoxic Electrophysiological Effects of the Herbicide RoundupA R)) in Rat and Rabbit Ventricular Myocardium In Vitro	Cardiovascular Toxicology, 2015, 15, 4, 324-335	2015	Gress, Steeve et al.	University of Caen, Esplanade de la Paix, 14032 Caen Cedex, France	短期毒性	原著
95	1522	554	Specific pesticide-dependent increases in alpha-synuclein levels in human neuroblastoma (SH-SY5Y) and melanoma (SK-MEL-2) cell lines	Toxicological Sciences 133(2), 289-297 2013 ASB2014-9328	2013	Chorfa, A. et al.	Agence nationale de sécurité sanitaire de l' alimentation, de l' environnement et du travail (Anses), Unité Maladies Neuro-Dégénératives	神經毒性	原著
96	1546	519	Maternal and fetal exposure to pesticides associated to genetically modified foods in Eastern Townships of Quebec, Canada	Reproductive Toxicology, 2011, 31, 4, 528-533, Aris, Aziz (aziz.aris@usherbrooke.ca), et al.	2011	Aris, Aziz (aziz.aris@usherbrooke.ca) et al.	Department of Obstetrics and Gynecology, University of Sherbrooke Hospital Centre, Sherbrooke, Quebec, Canada	生殖毒性	原著
97	1676	449	Effect of pesticides on cell survival in liver and brain rat tissues	Ecotoxicology and Environmental Safety, 2009, 72, 7, 2025-2032, Astiz, Mariana, et al.	2009	Astiz, Mariana et al.	Catedra de Bioquímica y Biología Molecular, Facultad de Ciencias Médicas, Universidad Nacional de La Plata	短期毒性	原著
98	1843	638	Effects of Sublethal Exposure to a Glyphosate-Based Herbicide Formulation on Metabolic Activities of Different Xenobiotic-Metabolizing Enzymes in Rats	International Journal of Toxicology, 2014, 334, , 307-318, Larsen, Karen, et al.	2014	Larsen, Karen et al.	Laboratorio de Biología y Ecotoxicología, Facultad de Ciencias Veterinarias	代謝	原著
99	2193	577	BLTK1 Murine Leydig Cells: A Novel Steroidogenic Model for Evaluating	Toxicological Sciences, 2012, 127, 2, 391-402, Forgacs, Agnes L., et al.	2012	Forgacs, Agnes L. et al.	Department of Biochemistry & Molecular Biology. Michigan State University	細胞毒性 生殖毒性	原著

			the Effects of Reproductive and Developmental Toxicants						
100	2588	548	An acute exposure to glyphosate-based herbicide alters aromatase levels in testis and sperm nuclear quality	Environmental Toxicology and Pharmacology, 2014, 38, 1, 131-140, Cassault-Meyer, Estelle (estelle.cassault-meyer@unicaen.fr), et al.	2014	Cassault-Meyer, et al.	University of Caen, Institute 0/Biology, Network on Risks MRSN-CNRS	短期毒性	原著
101	2786	659	Cytotoxicity on human cells of Cry1Ab and Cry1Ac Bt insecticidal toxins alone or with a glyphosate-based herbicide	Journal of Applied Toxicology, 2013, 33, 7, 695-699, Mesnage, R., et al.	2013	Mesnage, R. et al.	University of Caen, Risk Pole MRSN-CNRS, Laboratory of Biochemistry	細胞毒性	原著
102	2844	623	Cytotoxic and DNA-damaging properties of glyphosate and Roundup in human-derived buccal epithelial cells	Archives of Toxicology, 2012, 86, 5, 805-813, Koller, Verena J., et al.	2012	Koller, Verena J. et al.	Department of Internal Medicine 1, Institute of Cancer Research, Medical University of Vienna,	細胞毒性	原著
103	3010	637	Effects of sub-lethal exposure of rats to the herbicide glyphosate in drinking water: Glutathione transferase enzyme activities, levels of reduced glutathione and lipid peroxidation in liver, kidneys and small intestine	Environmental Toxicology and Pharmacology, 2012, 34, 3, 811-818, Larsen, K. (kelarsen@vet.unicen.edu.ar), et al.	2012	Larsen, K. et al.	Laboratorio de Biología y Ecotoxicología, Facultad de Ciencias Veterinarias	短期毒性	原著

104	3086	1658	Synthesis, cytotoxicity and clastogenicity of novel α -aminophosphonic acid	Amino Acids (2007) 33; 695-702 DOI 10.1007/s00726-006-0459	2007	E. Naydenova, et al	Department of Organic Chemistry. University of Chemical Technology and Metallurgy, Sofia, Bulgaria	細胞毒性	原著
105	3656	567	Roundup disrupts male reproductive functions by triggering calcium-mediated cell death in rat testis and Sertoli cells	Free Radical Biology & Medicine, 2013, 65,, 335-346, de Liz Oliveira Cavalli, Vera Lucia, et al.	2013	de Liz Oliveira Cavalli, Vera Lucia et al.	Departamento de Bioquímica and Centro de Ciencias Biológicas, Universidade Federal de Santa Catarina	短期毒性	原著
106	3954	1169	Prepubertal exposure to commercial formulation of the herbicide glyphosate alters testosterone levels and testicular morphology	Archives of Toxicology, 2010, 84, 4, 309-317, Romano, R. M. (reromano@usp.br), et al.	2010	Romano, R. M. et al.	Department of Animal Reproduction, Hormonal Laboratory Dosages, Veterinary Medicine School, University of Sao Paulo	生殖毒性	原著
107	4056	738	Toxic effects of carbofuran and glyphosate on semen characteristics in rabbits	Journal of Environmental Science and Health Part B Pesticides Food Contaminants and Agricultural Wastes, 1995, 30, 4, 513-534, Yousef, M. I., et al.	1995	Yousef, M. I. et al.	Department of Environmental Studies, Institute of Graduate Studies and Research, University of Alexandria	生殖毒性	原著
108	4119	316	Evaluation of Genome Damage and Its Relation to Oxidative Stress Induced by Glyphosate in Human Lymphocytes in Vitro	Environmental and Molecular Mutagenesis, 2009, 50, 9, 800-807, Mladinic, Marin, et al.	2009	Mladinic, Marin et al.	Institute for Medical Research and Occupational Health, Zagreb 10000, Croatia	遺伝毒性	原著
109	5094	332	Cytogenetic effect of technical glyphosate on cultivated bovine peripheral lymphocytes	International Journal of Hygiene and Environmental Health, 2006, 209, 1, 15-	2006	Sivikova, Katarina et al.	Institute of Genetics, University of Veterinary Medicine, Komenského	遺伝毒性	原著

				20, Sivikova, Katarina (sivikova@uvm.sk), et al.					
110	232	271	Evaluation of genetic damage induced by glyphosate isopropylamine salt using Tradescantia bioassays	Genetics and Molecular Biology, 2011, 34, 1, 127-130, Alvarez-Moya, Carlos (calvarez@cucba.udg.mx), et al.	2011	Alvarez-Moya, Carlos et al.	Laboratorios de Genética y Péptidos Naturales, Departamento de Biología Celular y Molecular, Universidad de Guadalajara	遺伝毒性	原著
111	5210	646	Genotoxicity of AMPA, the environmental metabolite of glyphosate, assessed by the Comet assay and cytogenetic tests	Ecotoxicology and Environmental Safety 72 (2009) 834-837	2009	F. Manas, L. Peralta, J. Raviolo, H. Garcia Ovando, A. Weyers, L. Ugnia, M. Gonzalez Cid, I. Larripa, N. Gorla	Laboratorio de Salud Publica, Facultad de Agronomia y Veterinaria (FAV), Universidad Nacional de Rio Cuarto (UNRC), Ruta Nacional 36, Km 601, Rio Cuarto, Córdoba, Argentina	遺伝毒性	原著
112	5517	568	Effect of the herbicide glyphosate on enzymatic activity in pregnant rats and their fetuses	Environmental Research, 2001, 85, 3, 226-231, Daruich, Jorgelina, et al.	2001	Daruich, Jorgelina et al.	Universidad Nacional de San Luis	生殖毒性	原著
113	5617	584	Glyphosate-based herbicides are toxic and endocrine disruptors in human cell lines	Toxicology, 2009, 262, 3, 184-191, Gasnier, Celine, et al.	2009	Gasnier, Celine et al.	University of Caen, Institute of Biology, Lab. Biochemistry EA2608, Esplanade de la Paix,	細胞毒性 遺伝毒性	原著

114	5619	530	Time- and dose-dependent effects of roundup on human embryonic and placental cells	Archives of Environmental Contamination and Toxicology, 2007, 53, 1, 126-133, Benachour, N., et al.	2007	Benachour, N. et al.	Laboratoire Estrogènes et Reproduction, USC-INRA, IBFA, Université de Caen	細胞毒性 遺伝毒性	原著
115	5642	605	Alteration of estrogen-regulated gene expression in human cells induced by the agricultural and horticultural herbicide glyphosate	Human & Experimental Toxicology, 2007, 26, 9, 747-752, Hokanson, R., et al.	2007	Hokanson, R. et al.	department of Integrative Biosciences, College of Veterinary Medicine and Biomedical Sciences, Texas A&M University	遺伝毒性	原著
116	5806	557	Influence of the spray adjuvant on the toxicity effects of a glyphosate formulation	Toxicology In Vitro, 2014, 28, 7, 1306-1311, Coalova, Isis, et al.	2014	Coalova, Isis et al.	Departamento de Toxicología y Fisiología, IQUIIICF.N - CONICIR, Facultad de Ciencias Exactas y Naturales, Universidad de Buenos Aires	細胞毒性	原著
117	5995	618	Influence of pesticide exposure on carbonic anhydrase II from sheep stomach	Toxicology and Industrial Health Volume 31, Issue 9, September 2015, Pages 823-830 https://doi.org/10.1177/0748233713475508	2015	Namik Kilinc, Mehmet Mustafa isgor, Bulent Sengul, and Sukru Beydemir	Biochemistry Division; Faculty of Sciences; Department of Chemistry Ataturk University Erzurum; Turkey	代謝影響	原著
118	6063	512	Comparison of the in vivo and in vitro genotoxicity of glyphosate isopropylamine salt in three different organisms	Genetics and Molecular Biology, 2014, 37, 1, 105-110, Alvarez-Moya, Carlos (calvarez@cucba.udg.mx), et al.	2014	Alvarez-Moya, Carlos et al.	Laboratoire de Biochimie et Biologie Moléculaire, USC-INRA, Université de Caen	細胞毒性	原著

119	6384	543	The effect of sub-acute and sub-chronic exposure of rats to the glyphosate-based herbicide Roundup	Environmental Toxicology and Pharmacology, 2008, 25, 1, 57-62, Caglar, Sinan, et al.	2008	Caglar, Sinan et al.	Hcwelllepa Univer. ihy, Science Fiicully, Deparinicnt ofliiology, llcylepi' Cciiitpiis, Ankara, Turkey	短期毒性	原著
120	6525	632	The effect of metabolites and impurities of glyphosate on human erythrocytes (in vitro)	Pesticide Biochemisiry and Physiology 109 (2014) 34-43	2014	Marta Kwiatkowska, Bogumila Huras, Bozena Bukowska	"University of Lodz, Faculty of Bioloey and Environmental Protection, Department of Environmental Pollution Biophysics, Lodz, Poland	細胞毒性	原著
121	6612	633	The effect of glyphosate, its metabolites and impurities on erythrocyte acetylcholinesterase activity	Environmental Toxicology and Pharmacology, 2014, 37, 3, 1101-1108, Kwiatkowska, Marta (m. n. kwiatkowska@wp.pl), et al.	2014	Kwiatkowska, Marta et al.	University o/Lodz, Faculty o/Biology and Environmental Protection, Department o/Environmentai Pollution Biophysics	細胞毒性	原著
122	7222	484	Evidence for direct effects of glyphosate on ovarian function: glyphosate influences steroidogenesis and proliferation of bovine granulosa but not theca cells in vitro	Journal of Applied Toxicology, 2017, 37, 6, 692-698, Perego, Maria Chiara, et al.	2017	Perego, Maria Chiara et al.	Deparuneni of Animal Science, Oklahoma State University, Stillwater	細胞毒性	原著
123	7230	674	Glyphosate-Based Herbicides Produce Teratogenic Effects on Vertebrates by Impairing Retinoic Acid Signaling	Chem. Res. Toxicol. 2010, 23. 1586-1595	2010	Alejandra Paganelli, Victoria Gnazzo, Helena	Laboraiorio de Embriologfa Molecular, CONICET-UBA, Facultad de Medicina, Universidad de Buenos Aires	発生毒性	原著

						Acosta, Silvia L. Lopez, and Andres E. Carrasco			
124	7535	556	A glyphosate-based herbicide induces necrosis and apoptosis in mature rat testicular cells in vitro, and testosterone decrease at lower levels	Toxicology In Vitro, 2012, 26, 2, 269-279, Clair, Emilie, et al.	2012	Clair, Emilie et al.	t/iifversifi.' de Caen Bassc- Nomiimrfit' . Fj¥2G0S, Insiituie of lliolosy	細胞毒性	原著
125	7843	535	Effect of the herbicide glyphosate on liver lipoperoxidation in pregnant rats and their fetuses	Reproductive Toxicology, 2005, 19, 4, 501-504, Beuret, Cecilia Judith, et al.	2005	Beuret, Cecilia Judith et al.	Catedra de Bioqidmica Molecular, Area Quintica Bioldgica, Facidtadde Quintica, Bioqttinticay Farttiacia	生殖毒性	原著
126	7876	572	Oxidative stress responses of rats exposed to Roundup and its active ingredient glyphosate	Environmental Toxicology and Pharmacology, 2009, 28, 3, 379-385, El- Shenawy, Nahla S. (elshenawy_nahla@hotmail.com) , et al.	2009	El-Shenawy, Nahla S. et al.	Zoology Dcpanmenr, Tachlty of Science. Suez Canal t/iivcrs/ty,	細胞毒性 短期毒性	原著
127	8179	712	In Vitro Cytotoxic Effect of Glyphosate Mixture Containing Surfactants	Journal of Korean Medical Science, 2012, 27, 7, 711-715, Song, Ho- Yeon, et al.	2012	Song, Ho-Yeon et al.	Departments of 1Immunology and 2Internal Medicine, Soonchunhyang University College of Medicine, Cheonan, Korea	細胞毒性	原著

128	8210	383	Studies on glyphosate-induced carcinogenicity in mouse skin: A proteomic approach	Journal of Proteomics, 2010, 73, 5, 951-964, George, Jasmine, et al.	2010	George, Jasmine et al.	Proteomics Laboratory, Jridiari Jn. stilute 0/Toxicology Research (CS/R), Mahalmu Gandhi Marg	発がん性	原著
129	8478	455	A step further toward glyphosate-induced epidermal cell death: Involvement of mitochondrial and oxidative mechanisms	ENVIRONMENTAL TOXICOLOGY AND PHARMACOLOGY 34 (2012) 144-153	2012	Celine Heu, Celine Elie-Caille, Virginie Mougey, Sophie Launay, Laurence Nicod	University of Franche-Comte, Clinical & Innovation Proteomic Platform (CUPP), Institut FEMTO-ST, L/MR 6174 CNRS, 25030 Besancon cedex, France	細胞毒性	原著
130	8574	298	Genotoxic potential of glyphosate formulations: Mode-of-action investigations	Journal of Agricultural and Food Chemistry, 2008, 56, 4, 1517-1523, Heydens, William F., et al.	2008	Heydens, William F. et al.	Monsanto Company, St. Louis, Missouri 63167; Pfizer Company	遺伝毒性	原著
131	8603	564	Pre- and postnatal toxicity of the commercial glyphosate formulation in Wistar rats	Archives of Toxicology, 2007, 81, 9, 665-673, Dallegrave, Eliane (elianed@ufrgs.br), et al.	2007	Dallegrave, Eliane et al.	Department of Pharmacology, Federal University of Rio Grande do Sul,	繁殖毒性	原著
132	8921	431	Ethoxylated adjuvants of glyphosate-based herbicides are active principles of human cell toxicity	Toxicology, 2013, 313, 122-128, Mesnage, R., et al.	2013	Mesnage, R. et al.	University of Caen, EA2008, Institute of Biology, Risk Pole CNRS, Esplanade de la Paix,	細胞毒性	原著
133	9229	323	THE EFFECT OF GLYPHOSATE ON THE FREQUENCY OF MICRONUCLEI IN BOVINE LYMPHOCYTES IN VITRO	Acta Veterinaria (Beograd), Vol. 55, No. 2-3, 101-109, 2005.	2005	ELENA PIE[OVÁ	University of Veterinary Medicine, Košice, Slovak Republic	小核試験	原著

134	9232	326	TOXICITY AND GENOTOXICITY TESTING OF ROUNDUP	PROCEEDINGS OF THE LATVIAN ACADEMY OF SCIENCES. Section B. Vol. 63 (2009), No. 1/2 (660/661). pp. 29-32. DOI: 10.2478/v 10046-009-0009-6	2009	Jekabs Ralpulls, Malda Maija Toma, and Maija Balode	Institute of Microbiology and Biotechnology, University of Latvia, Kronvalda bulv. 4, Riga, LV-1586, LATVIA	毒性/遺伝毒性	原著
135	9725	620	Mixtures of glyphosate and surfactant TN20 accelerate cell death via mitochondrial damage-induced apoptosis and necrosis	Toxicology in Vitro 27 (2013) 191-197	2013	Young-hee Kim, Jung-rak Hong, Hyo-wook Gil, Ho-yeon Song, Sae-yong Hong	Department of immunology. College of Medicine, Soonchunhyang University. Cheonan. Republic of Korea	細胞毒性	原著
136	####	720	Glyphosate induces human breast cancer cells growth via estrogen receptors	Food and Chemical Toxicology, 59(2013)129-136 ASB2013-11991	2013	Siriporn Thongprakaisa, Apinya Thiantanawat, Nuchanart Rangkadilok, Tawit Suriyo, Jutamaad Satayavivad	Environmental Toxicology Program and 2Applied Biological Sciences Program, Chulabhorn Graduate Institute, Kamphaengphet 6 Road, Laksi, Bangkok 10210, Thailand.	発がん性	原著
137	####	1592	Glyphosate-rich air samples induce IL-33, TSLP and generate IL-13 dependent airway inflammation	Toxicology 325 (2014) 42-51	2014	Sudhir Kumar, Marat Khodoun, Eric M. Kettleson	Department of Environmental Health, College of Medicine, University of Cincinnati, OH 45267, USA	吸入毒性	原著

						Christopher McKnight, Tiina Reponen, Sergey A. Grinshpun, Atin Adhikari			
138	####	684	Differential Effects of Glyphosate and Roundup on Human Placental Cells and Aromatase	Environmental Health Perspectives, Jun., 2005, Vol. 113, No. 6 (Jun.. 2005), pp.716-720	2005	Sophie Richard, Safa Moslem!, Herbert Sipahutar, Nora Benachour and Gilles Eric Seralini	Laboratoire de Biochimie et Biologie Moleculaire, USC-INCRA, Universite de Caen, Caen, France	細胞毒性	原著
139	20001	46	NTP technical report on toxicity studies of Glyphosate administered in dosed feed to F344/N rats and B6C3F1 mice	National Institutes of Health 16(1992) 1-57 TOX9551954	1992	Po C, Chan et al	National Toxicology Program	短期毒性	原著
140	20002	318	Cytotoxicity and genotoxicity of human cells exposed in vitro to glyphosate	Biomedica 25, 335-345	2005	Monroy, C et al	Laboratorio de Genética Humana, Universidad de los Andes, Bogotá	細胞毒性	原著

141	20004	507	Avis de l'Agence française de sécurité sanitaire des aliments relatif au glyphosate et aux préparations phytopharmaceutiques à base de cette substance active	Afssa - saisine n° 2008-SA-0034 - Glyphosate	2009	Maisons-Alfort	-	細胞毒性	review
142	20005	536	Fatal poisoning with Glyphosate - surfactant herbicide	JICS Volume 12, Number 1, January 2011	2011	Beswick, E. ; Millo, J.	ST5 Emergency Medicine, Consultant in Intensive Care Anaesthesia	症例研究	原著
143	20006	541	Herbicides found in Human Urine	Delinat Institute for Ecology and Climate-farming	2012	Dirk Brändli and Sandra Reinacher	Ithaka Journal	尿中の混在	review
144	20009	579	Differential effects of glyphosate and Roundup on human placental cells and aromatase.	Environmental Health Perspectives No.6 vol:113 716-720	2005	Richard S et al	Laboratoire de Biochimie et Biologie Moléculaire, USC-INCRA, Université de Caen, Caen, France	細胞毒性	原著
145	20010	644	Chapter Two -Pesticides Used in South American GMO-Based Agriculture: A Review of Their Effects on Humans and Animal Models	December 2012Advances in Molecular Toxicology 6:41-75	2012	Silvia L. López, et al	Laboratorio de Embriología Molecular, Instituto de Biología Celular y Neurociencias, Facultad de Medicina, Universidad de Buenos Aires, Paraguay 2155, 3 piso (1121), Ciudad Autónoma de Buenos Aires, Argentina	遺伝毒性、催奇形性、および細胞損傷をバイオセンサーとしてすることを提案	Review

146	20011	645	Glyphosate-surfactant herbicide-induced reversible encephalopathy	Case Reports / Journal of Clinical Neuroscience 17 (2010) 1472-1473	2010	R. C. Malhotra, D. K. Ghia, D. J. Cordato R. G. Beran	Department of Neurology, Liverpool Health Service	グリホサート製剤の服毒自殺の症例研究	原著
147	20020	1665	Report on Carcinogens, Fifteenth Edition, 1,4-Dioxane	Cover 15th report on carcinogens 2021	2021		The U.S. Department of Health and Human Services (HHS)		review
148	20022	586	In vitro effects of some herbicides and fungicides on human erythrocyte carbonic anhydrase activity	Fresenius Environmental Bulletin, Volume 21 - No 3.	2012	Gencer, N. ; Ergün, A. ; Demir, D.	Balikesir University, Science and Art Faculty, Department of Chemistry	細胞毒性	原著
149	20023	606	Glyphosate Testing Report: Findings in American Mothers' Breast Milk, Urine and Water.	Moms Across America” and ” Sustainable Pulse	2014	Honeycutt, Z et al	Founder and Director of Moms Across America		review

表 14-2 海外評価書に引用されている文献の食品安全委員会の様式 ②動物種、用量等

No.	海外評価書での引用の有無	ドシエでの引用の有無	<i>in vivo</i> (動物種) / <i>in vitro</i>	用量(mg/kg 体重又は g/kg 体重/日)	NOAEL/NOEL	LOAEL/LOEL	Klimischコード	評価の目的との適合性に関する情報	備考
1	有	-	-	-	-	-	-	-	発がん性の評価
2	有	-	<i>in vitro</i>	グリホサート 48%製剤を培養液で 2000 倍希釈	-	-	-	海外評価書の引用文献 脂肪細胞の増殖・分化および 3T3-L1 線維芽細胞のアポトーシスにグリホサートが与える影響を調べた研究	-
3	有	-	-	-	-	-	-	-	疫学研究方法
4	有	-	-	-	-	-	-	-	毒性評価方法
5	有	-	<i>in vivo</i>	Swiss CD1 マウス両性 8-10 週齢 グリホサートイソプロピルアミン 園 130, 270mg/kg 製剤ラウンドアップ 400, 500, 600mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献 腎細胞、肝細胞の DNA 付加 反応に除草剤が与える影響 について調査	-
6	有	-	<i>in vitro</i>	培養液中の濃度 15 mM AMPA, 5 mM MAA	-	-	-	海外評価書の引用文献 AMPA, MAA による前立腺癌細	-

								胞のアポトーシス誘導の研究	
7	有	-	in vitro/in vivo ラット	-	-	-	2	海外評価書の引用文献グリホサートの遺伝毒性	-
8	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサートの細胞毒性	-
9	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 残留農薬のリスク評価	-
10	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 化学構造による毒性の分類	-
11	有	-	in vivo マウス/in vitro	グリホサート 41%製剤 25, 50 mg/kg bwt	-	-	2	海外評価書の引用文献 マウス染色体異常、小核試験	-
12	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサート中毒患者の治療	-
13	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサート系 6 剤の内分泌系への影響の研究	-
14	有	-	in vivo マウス/in vitro	製剤 1080mg/kg (小核試験) 他	-	-	2	海外評価書の引用文献動物及び植物系での染色体異常、小核試験	-
15	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサート中毒患者の治療	-

16	有	-	-	-	-	-	-	-	内分泌系かく乱作用についての総説
17	有	-	in vitro	グリホサート原体 10-200 mg/L 培地濃度	-	-	-	海外評価書の引用文献 細胞毒性とDNA 損傷に関する研究	-
18	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 薬用植物抽出物による解毒作用	-
19	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサート中毒患者の血中および尿中濃度の研究	-
20	有	-	-	-	-	-	-	-	IARC と EFSA の評価方法の比較
21	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献細胞毒性に対する植物抽出物による保護作用	-
22	有	-	in vitro	ラウンドアップ製剤 0-100 μ g/mL	-	-	-	海外評価書の引用文献 ライディッヒ細胞におけるグリホサートによるプロゲステロン産生阻害	-

23	有	-	in vivo ラット	グリホサート原体 5, 50, 500mg/kg 他	-	-	2	海外評価書の引用文献 グリホサートのラットの生殖器への影響	-
24	有	-	in vitro	グリホサート 0.01-0.1 mM	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサートの細胞毒性	-
25	有	-	in vitro	-	-	-	2	海外評価書の引用文献 農薬の内分泌系かく乱作用の研究	-
26	有	-	in vivo マウス	グリホサート製剤 50, 500 mg/kgbw	-	-	1	海外評価書の引用文献 15 日間マウス強制経口毒性試験	-
27	有	-	-	-	-	-	-	-	ウサギの心血管系奇形とグリホサート暴露に関係性は認められない。
28	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
29	有	-	-	-	-	-	-	-	実験法の研究

30	有	-	in vitro	培地中の濃度 グリホサート製剤 28-1120 $\mu\text{mol/L}$	-	-	-	海外評価書の引用文献 ウ シ1 番染色体のみを観察し ている。	-
31	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 C elegans を対象にした神経毒 性実験	-
32	有	-	in vivo	-	-	-	-	-	遺伝子組み 換えトウモ ロコシとグ リホサート の併用によ る影響の調 査
33	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 ウ ニを対象にした発生毒性実 験	-
34	有	-	in vitro	-	-	-	2	海外評価書の引用文献 復 帰突然変異	-
35	有	-	in vivo マ ウス/in vitro	グリホサート原体 300 mg/kgbw、 グリホサート製剤 450 mg/kgbw	-	-	2	海外評価書の引用文献 用 量設定が 1 用量	-
36	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 ウ シリンパ球を用いた遺伝毒 性実験	-

37	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト Hep-2 細胞を用いた遺伝毒性実験	-
38	有	-	in vitro	グリホサート原体 5, 10, 50, 100 μ g/mL	-	-	2	海外評価書の引用文献 CHO-K1 細胞を用いた小核試験	-
39	有	-	in ovo	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 ワニを対象とした遺伝毒性実験	-
40	有	-	in vivo マウス/in vitro	グリホサート原体 100-200 mg/kg ほか	-	-	2	海外評価書の引用文献 マウス小核試験ほか	-
41	有	-	in vitro	培地中濃度 グリホサート G 製剤 100-1000 mg/L	-	-	-	海外評価書の引用文献 HepG2 細胞を用いた細胞毒性試験	-
42	有	-	in vitro	製剤中のグリホサート原体 7.2, 360, 400, or 450 g/L 他	-	-	-	海外評価書の引用文献 3 種のヒト細胞へのグリホサートの影響	-
43	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサート中毒の治療	-
44	有	-	in vivo ラット	グリホサート製剤 50 mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献用量設定が 1 用量。グリホサートによる生殖への影響	-

45	有	-	-	-	-	-	-	-	グリホサートの毒性についての総説
46	有	-	in vivo (ウシガエル)	ラウンドアップ 1.687, 6.75, 27, 108 mg/l	-	-	-	海外評価書の引用文献 遺伝毒性	-
47	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	P450 酵素及びアミノ酸生合成への影響
48	有	-	<i>in vitro</i>	グリホサート製剤 (Amega, Cargly, Cosmic, Roundup Biovert) グリホサート濃度 : 0.1, 1, 2, 8, 10, 30 mM	-	-	-	海外評価書の引用文献 細胞毒性	-
49	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート製剤 (Bushfire, 360 g グリホサート/L) 14.4, 375 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献 血液に対する毒性	-
50	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	Roundup 摂取により引き起こされる症状の治療

									療法に関する意見書
51	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート 125 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献 生殖毒性	-
52	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート 300 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献 血液に対する毒性	-
53	有	-	<i>in vitro</i>	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 環境中化学物質の活性評価 方法の確立	-
54	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 発がん性	農薬及び発 がん性の関 連性に関する 総説
55	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート 14.4, 375 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
56	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
57	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	US EPA の評 価書
58	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート 50 ng/L, 400 mg/kg, 2.25 g/L	-	-	-	海外評価書の引用文献	撤回された 論文
59	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-

60	有	-	<i>in vitro</i>	グリホサート 1, 10, 100, 1000, 10000 ppm	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
61	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート 0.38%水溶液	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
62	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
63	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	10 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
64	有	-	<i>in vivo</i> (シヨウジ ヨウバエ)	Roundup 1 ppm	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
65	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	Grandjean P, Landrigan PJ. Neurobehav ioral eff ects of developmen tal toxicity. Lancet Neurol 2014; 13:

									330-38. に対する意見書
66	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	ポルトガル語
67	有	-	<i>in vivo</i> (カエノラ ブディティ ス・エレガ ンス)	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
68	有	-	<i>in vivo</i> (マウス)	グリホサート 40, 400 mg/kg 体重/日	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
69	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	グリホサート 10 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
70	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
71	有	-	<i>in vitro</i>	グリホサート 28, 56, 140, 280, 560 µmol/l	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
72	有	-	<i>in vivo</i> (ラット)	Roundup 5, 50, 250 mg/kg 体重	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
73	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	グリホサート製剤の毒性は界面活性剤由来で

									はないか、 との趣旨の 意見書
74	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
75	有	-	in vivo ラ ット	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
76	有	-	in vivo マ ウス	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
77	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
78	有	-	in vitro	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
79	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
80	有	-	-	ラウンドアップ製剤 (180g/L) :20, 40, 60, 80, 100 µg/mL	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
81	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
82	有	-	-	グリホサート : 50mg/kg, 3.750 mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
83	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-

84	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
85	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
86	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
87	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
88	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
89	有	-	-	ラウンドアップ製剤：0.25, 2.5, 25 mg/ml	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
90	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
91	有	-	in vitro ラ ット	グリホサート：4.87、48.7 487mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
92	有	-	in vitro ラ ット	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
93	有	-	in vitro ラ ット	グリホサート：500、750 1000mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
94	有	-	in vitro	ラウンドアップ製剤 Tyrode 溶液希 釈：2.5, 25, 50, 500, 5000, 20000 ppm	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラウンドアップが与える影 響についてラット及びウサ	-

								ギの心室組織を用いた電気組織的研究	
95	有	-	in vitro	グリホサート：3μM, 9μM	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト神経細胞およびメラノーマが農薬の暴露で α シヌレチンタンパクを変化させることを測定した論文	-
96	有	-	in vivo	-	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト女性とその胎児の血液に除草剤と代謝物を発見した論文	-
97	有	-	in vivo ラット	グリホサート PEG400 希釈：10 mg/kg bw	-	-	-	海外評価書の引用文献 農薬の暴露がラット肝臓、脳へもたらす酸化ストレスについて調べた論文	-
98	有	-	in vivo ラット	ラウンドアップ製剤飲水投与：0.7, 7mg/L	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサート投与による異物代謝酵素の活性の変化を調べた研究	-
99	有	-	in vivo マウス	グリホサート：1, 3, 10, 30, 100, 300, 600μM	-	-	-	海外評価書の引用文献 ライディッヒ細胞のテストステロン産生に与える内分泌かく乱物質の影響の調査	-

100	有	-	in vivo ラット	ラウンドアップ 0.5%	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラウンドアップ製剤のラット内分泌、精巣機能に与える影響	-
101	有	-	in vitro	ラウンドアップ 1-20000ppm	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサートと他の農薬の複合的な作用をヒト腎細胞で調査した論文	-
102	有	-	in vitro	グリホサート、ラウンドアップ製剤： 10, 20, 40, 60, 80, 100, 150, 200, 1000, 2000 mg/L	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト上皮細胞を用いた細胞毒性、DNA 損傷に関する研究	-
103	有	-	in vivo ラット	グリホサート飲水投与：0.7, 7 mg/L	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラットにグリホサートを飲水投与した際の酵素活性を調べた研究	-
104	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
105	有	-	in vivo ラット	グリホサート：0.036 g/L	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラットの精子形成に関する酵素にグリホサートが関わることを調査した論文	-
106	有	-	in vivo ラット	ラウンドアップ製剤 0.25 mg/100g	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラットにおいてラウンドア	-

								ップ製剤がテストステロンをかく乱させることを示した論文	
107	有	-	in vivo ウサギ	グリホサート LD50 の 1/100, 1/10 の 2 用量	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサートの慢性経口投与がウサギの性機能を減少させることを示した	-
108	有	-	in vitro	グリホサート : 0.5, 2.91, 3.5, 92.8, 580 pg/	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒトリンパ球を用いた DNA 損傷の調査	-
109	有	-	in vitro	グリホサート製剤 : 28, 56, 140, 280, 560, 1120µmol/L	-	-	-	海外評価書の引用文献 培養ウシリンパ球における染色体異常を示した論文	-
110	有	-	in vitro	グリホサートイソプロピルアミン塩 : 0.0007, 0.007, 0.07, 0.7mM	-	-	-	海外評価書の引用文献 コメットアッセイによる遺伝毒性の確認	-
111	有	-	in vitro	グリホサート代謝物 AMPA ; 2.5, 4.5, 5.5, 6.5, 7.5 mM (DNA 損傷試験)、0.9, 1.8 mM (染色体異常)、200, 400 mg/kg (小核試験)	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
112	有	-	in vivo ラット	グリホサート飲水投与 : 0.2, 0.4ml/ml water	-	-	-	海外評価書の引用文献 妊娠ラット臓器に含まれる酵素へグリホサートが与える効果についての研究	-

113	有	-	in vitro	ラウンドアップ製 剤:7.2, 360, 400, 450g/l	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト肝臓細胞を用いたアッ セイにより遺伝子毒性を調 べた研究	-
114	有	-	in vitro	ラウンドアップ製剤(グリホサート 360g/L) : 0.01, 0.05, 0.1, 0.5, 0.8, 1, 2%	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト胚、胎盤細胞を用いた 細胞毒性、内分泌かく乱作 用を調べた論文	-
115	有	-	in vitro	グリホサート希釈 : 0.1, 0.01, 0.001, 0.0001%	-	-	-	海外評価書の引用文献 ヒト細胞における DNA マイ クロアレイ解析を行った論 文	-
116	有	-	in vitro	Atanor® plus 2.5% v/v	-	-	-	海外評価書の引用文献 噴霧アジュバントとグリホ サートの混合がヒト細胞に 与える効果について	-
117	有	-	in vitro	グリホサートイソプロピルアミン 塩 : 0.05, 0.1, 0.15, 0.2, 0.25, 0.3 μM	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
118	有	-	in vitro	ラウンドアップ製剤 2 %希釈	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラウンドアップが人胎盤細 胞に毒性があることを示し た論文	-

119	有	-	in vivo ラット	ラウンドアップ：56, 560 mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラット肝臓の酵素苛性にラウンドアップが及ぼす影響を調べた研究	-
120	有	-	in vitro	グリホサートおよび AMPA 等代謝物：0.01, 0.05, 0.1, 0.25, 0.5, 5 mM	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
121	有	-	in vitro	グリホサート： 0.01, 0.05, 0.1, 0.25, 0.5, 5 mM	-	-	-	海外評価書の引用文献 グリホサートとその代謝物がヒト赤血球に与える変化を測定した論文	-
122	有	-	in vitro	グリホサート：0.5, 5µg/mL	-	-	-	海外評価書の引用文献 ウシ細胞をモデルに細胞毒性を調べた研究	-
123	有	-	in vivo X. laevis 胚	ラウンドアップ製剤（48% w/v）： 1/3000, 4000, 5000 希釈 胚注入： 360 pg	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
124	有	-	in vivo ラット	ラウンドアップ希釈倍率： 0.01, 0.1, 1 %	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラット精巣細胞を用いてテストステロン産生等への影響を調べた論文	-
125	有	-	in vivo ラット	グリホサート：0.4ml/20mL water	-	-	-	海外評価書の引用文献 妊娠ラットに対するグリホサート投与が抗酸化防御系に与える影響を調べた研究	-

126	有	-	in vivo ラット	グリホサート：134.95mg/kg ラウンドアップ：269.9 mg/kg	-	-	-	海外評価書の引用文献 ラットの抗酸化ストレスに対する応対を調べた研究	-
127	有	-	in vivo マウス	グリホサート：50, 100 µM	-	-	-	海外評価書の引用文献 界面活性剤とグリホサートの混合が毒性に影響するかを調べた研究	-
128	有	-	in vivo マウス	グリホサート：50 mg/kg bw マウス	-	-	-	海外評価書の引用文献 プロテオミクス解析によるマウスの発がん性の研究	-
129	有	-	in vitro	グリホサート： 0, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70 mM	-	ヒト表皮 HaCaT 細胞 IC50： 30mM (0.5 -1 h:53mM)	-	海外評価書の引用文献	-
130	有	-	in vivo マウス	グリホサート製剤：600, 900 mg/kg	-	-	2	海外評価書の引用文献 作用機序も含めたマウスの肝毒性、腎毒性の調査	-
131	有	-	in vivo ラット	グリホサート：50, 150, 450mg/kg	-	-	2	海外評価書の引用文献 ラット両性に対するグリホサートの繁殖毒性を調査した論文	-

132	有	-	in vitro	グリホサート含有製剤： 1, 10, 100, 1000, 10000 ppm	-	-	-	海外評価書の引用文献 農薬の添加物とグリホサートの混合毒性について肝細胞を調べた研究	-
133	有	-	in vitro	グリホサート：28, 56, 140, 280, 560 μM	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
134	有	-	in vivo D. magna	グリホサート： 0.1, 0.15, 0.20, 0.25, 0.3, 0.35, 0.4 , 0.45, 0.5, 0.6, 0.8, 1, 5, 7.06, 10, 6 0 mg/L	-	LD50:0.2 2±0.012 g/L	-	海外評価書の引用文献	-
135	有	-	in vitro	グリホサート：5, 10 μM、TN-20： 5 μM 及びその混合	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
136	有	-	in vitro	グリホサート：10 ⁻¹² M から 10 ⁻⁶ M	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
137	有	-	in vivo マウス	グリホサート：100 ng, 1 μg, 100μg	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
138	有	-	in vitro	ラウンドアップ製剤（360 g/L）：0.05, 0.1, 0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1, 2 % と同等量のグリホサート	-	-	-	海外評価書の引用文献	-
139	有	-	in vivo ラット	混餌投与グリホサート 0.3125, 0.625, 1.25, 2.5 5 %	-	-	-	海外評価書の引用文献	
140	有	-	in vitro	グリホサート 4.5, 4.75, 5, 5.25, 5.5, 5.75, 6, 6.5 mM	-	-	-	海外評価書の引用文献	

141	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	
142	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	
143	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	
144	有	-	in vitro	グリホサートおよびラウンドアップ 0.05, 0.1 0.2 0.4, 0.6, 0.8, 1, 2 %	-	-	-	海外評価書の引用文献	
145	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	
146	有	-	人	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	
147	有	-	-	-	-	-	-	発がん性物質辞典	
148	有	-	in vitro	グリホサートイソプロピルアミン 塩 : 0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1 mM	-	-	-	海外評価書の引用文献	
149	有	-	-	-	-	-	-	海外評価書の引用文献	

表 15-1 海外評価書に引用されている文献のうち疫学的研究に関する文献の様式 ①研究デザイン

No.	文献 番号	付録 1 リ スト 番号	文献名	著者名	国名（地域 名、研究 名）	試験設計	調査時期	対象者、 年齢	アウトカム の定義	アウトカム の確認方法	暴露指標の 定義	暴露の確認 方法
1	15	384	A case-control study of non-Hodgkin lymphoma and exposure to pesticides	Lennart Hardell et al	スウェーデン北部	人口ベースの症例対照研究	1987-1990	25 歳以上の男性	非ホジキンリンパ腫	病理学的診断および地域のがん登録	フェノキン酢酸及び他の農薬の暴露	質問票およびインタビュー
2	16	1346	A Case-Control Study of Non-Hodgkin's Lymphoma and the Herbicide 2,4-Dichlorophenoxyacetic Acid (2,4-D) in Eastern Nebraska	Shelia Hoar Zahm et al	アメリカネブラスカ州	人口ベースのケースコントロール調査	1983-1986	21 歳以上の白人男女	非ホジキンリンパ腫	Nebraska Lymphoma Study Group および地域の病院から収集	農薬使用	電話インタビュー
3	17	527	A case-control study of pesticides and fetal death due to congenital anomalies	Erin M. Bell et al	アメリカカリフォルニア州	農薬使用地までの距離と胎児死亡の関連性分析	1984	出生児	胎児及び出生 24 時間以内の死亡	州保険局の生命統計データ	住所と散布地のリンク	農薬使用報告データベース
4	59	1236	Agricultural herbicide use and risk of lymphoma and soft-tissue sarcoma.	Shelia K. Hoar et al	アメリカカンザス州	集団ベースのケースコントロール	1976-1982	21 歳以上の白人男性に診断された腫瘍	ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫、軟部腫瘍	カンザス大学がんデータサービスの登録	除草剤の使用	インタビュー

5	60	393	Agricultural pesticide use and adenocarcinomas of the stomach and oesophagus	W J Lee et al	アメリカ ネブラスカ 州	人口に基づく症例対 象研究	1988-1993	胃または 食道の腺 癌と診断 された男 女	胃または食 道の腺癌	医師の診断 記録、病理 記録	農業及び農 薬の使用	電話による インタビュー
6	61	369	Agricultural pesticide use and pancreatic cancer risk in the Agricultural Health Study Cohort	Gabriella Andreotti et al	アメリカ アイオワ州 ノースカロ ライナ州	症例対照分析	1993-1997	農薬の散 布者とそ の配偶者	すい臓がん	州に登録さ れた癌デー タ	農薬使用	自己記入式 アンケート
7	62	394	Agricultural pesticide use and risk of glioma in Nebraska, United States	W J Lee, et al	アメリカ ネブラスカ 州	集団ベースの症例対 照研究	1988-1993	指定地域 の 21 歳 以上の白 人男女	神経膠腫	Nebraska Health Study II よ り収集され た神経膠腫 のデータ	農薬の使用 歴、農場で の勤務	質問票、電 話によるイ ンタビュー
8	63	1788	Agricultural use of organophosphate pesticides and the risk of non-Hodgkin's lymphoma among male farmers (United States).	Barry, L, Waddell, et al	アメリカ カンザス 州、ネブラ スカ州、ア イオワ州、 ミネソタ州	集団ベースの症例対 照研究	1979-1986	30(カン ザス、ネ ブラスカ は 21) 歳 以上の白 人男性	非ホジキン リンパ腫	各地域の病 院の診察記 録及び登録 された癌デー タ	殺虫剤等の 農薬の使用	電話及び対 面のインタ ビュー
9	82	518	An exploratory analysis of the effect of pesticide exposure on the risk of spontaneous abortion in an Ontario farm population	Tye E. Arbuckle, et al	カナダ オ ンタリオ	農薬使用歴と自然流 産の関連性調査	-	農場に住 む 44 歳 以下の夫 婦	自然流産	アンケート による聞き 取り調査	農薬使用実 績の有無	アンケート による聞き 取り調査

10	87	1189	Glyphosate Use and Cancer Incidence in the Agricultural Health Study.	Andreotti G., et al	アメリカ ノースカロ ライナ州 アイオワ州	前向きコホート研究	1993-2005	農薬散布 者	がん発生	がんの診断	農薬使用実 績の有無	アンケート による聞き 取り調査
11	103	1478	Association of in utero organophosphate pesticide exposure and fetal growth and length of gestation in an agricultural population.	Brenda Eskenazi, et al	アメリカ カリフォル ニア州	前向きコホート研究	1999-2000	農業コミ ュニティ に属する 女性とそ の胎児	胎児の成長 と妊娠期間	Natividad Medical Center での 計測	母体尿中の 有機リン代 謝物、農薬 代謝物	GC-MS による 測定
12	114	647	Biomonitoring for farm families in the farm family exposure study	-	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
13	117	1285	Canadian Male Farm Residents, Pesticide Safety Handling Practices, Exposure to Animals and Non-Hodgkin's Lymphoma (NHL)	H.H. McDuffie, et al	カナダ	人口ベースのケース コントロール調査	1994	農場に居 住する男 性	非ホジキン リンパ腫	アンケート 調査	農薬の使用 方法、使用 実績	アンケート による聞き 取り調査
14	119	380	Cancer risk and parental pesticide application in children of agricultural health study participants	Kori B. Flower, et al	アメリカ アイオワ州 ノースカロ ライナ州	前向きコホート研究	1993-1997	農薬散布 者とその 子供	小児がん	アイオワ州 がん登録情 報	農薬の使用 実績	質問票によ る聞き取り
15	140	1681	Cohort mortality and nested case-control study of lung cancer among structural pest control workers in Florida (United States).	Angela C. Pesatori, et al	アメリカ フロリダ州	前向きコホート研究	1977-1982	害虫駆除 作業着	肺がん	フロリダ州 保険リハビ リテーショ ンサービスの 情報	農薬の使用 実績	ライセンス に基づく農 薬使用

16	239	1237	Exposure to multiple pesticides and risk of non-Hodgkin lymphoma in men from six Canadian provinces.	Karin Hohenadel, et al	カナダ Alberta, British Columbia, Manitoba, Ontario, Quebec, and Saskatchewan 州	症例対照研究	1991-1994	農薬の使用	非ホジキン リンパ腫	対象地域の 病院記録と がん登録情 報	農薬の使用	電話による インタビュー
17	240	385	Exposure to pesticides as risk factor for nonHodgkin's lymphoma and hairy cell leukemia: Pooled analysis of two Swedish case-control studies	LENNART HARDELL, et al	スウェーデン	症例対照研究	1987-1990	農薬の使用	非ホジキン リンパ腫 白血病	がん登録情 報	農薬の使用	アンケート 及び電話に よるインタ ビュー
18	260	533	Genetic variation in base excision repair pathway genes, pesticide exposure, and prostate cancer risk	Kathryn Hughes Barry et al	アメリカ	ケースコントロール	1993-1997	農薬の使用	前立腺がん	白人農業健 康調査に基 づくデータ	農薬の使用	質問票によ る聞き取り
19	272	1315	Gliomas and farm pesticide exposure in men: the upper midwest health study.	Avima M Ruder, et al	アメリカ ミシガン州	人口ベースの対照研究	1995-1997	18-80 歳 の成人男 性	神経膠腫	医療施設及 び医師の報 告	農場の殺虫 剤使用	医療財政管 理局のメデ ィカルデー タとの照合
20	273	375	Gliomas and farm pesticide exposure in women: The Upper Midwest Health Study	Tania Carreón, et al	アメリカ アイオワ州 他	症例対照研究	1995-1997	18-80 歳 の成人女 性	神経膠腫	医療施設及 び医師の報 告	農場での居 住、農薬の 使用	電話による インタビュー

21	288	42	Glyphosate biomonitoring for farmers and their families: Results from the farm family exposure study	-	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
22	370	387	Hodgkin Lymphoma and Pesticides Exposure in Men: A Canadian Case-Control Study	Chandima R Karunanayake, et al	カナダ 6 地域	集団ベースの症例対照研究	1991-1994	19 歳以上の男性	ホジキンリンパ腫	州のがん登録情報	インタビューによる農薬の暴露報告	質問票および電話インタビュー
23	381	1381	Impact of pesticide exposure misclassification on estimates of relative risks in the Agricultural Health Study.	Aaron Blair, et al	アメリカ アイオワ州 ノースカロライナ州	前向きコホート研究	1998-2003	農薬散布者とその配偶者	-	-	-	-
24	389	624	Increased levels of oxidative DNA damage in pesticide sprayers in Thessaly Region (Greece). Implications of pesticide exposure.	Michalis Koureas et al	ギリシャ テッサリア 地域	症例対照研究	2010	殺虫剤使用者、農村部住民、他市民	尿中、血液中の代謝物	GC-MS による定量分析	農薬の使用	農薬の暴露に関する直接的な報告
25	400	404	Integrative assessment of multiple pesticides as risk factors for non-Hodgkin's lymphoma among men.	A J De Roos, et al	アメリカ 中西部	レビュー	-	-	-	-	-	-
26	409	1600	Non hodgkin's lymphoma among asthmatics exposed to pesticides.	Won Jin LEE ,et al	アメリカ アイオワ州、ミネソタ州、ネブラスカ州	症例対照研究	1980-1986	ぜんそくの病歴を持つ人	非ホジキンリンパ腫	医療従事者による診断	農薬の使用	インタビュー

27	415	1653	Leveraging epidemiology to improve risk assessment.	Keeve E. Nachman	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
28	422	1640	Lymphohematopoietic cancers in the United Farm Workers of America (UFW), 1988-2001.	Paul K.Mills, et al	アメリカ カリフォルニア州	ケースコントロール研究	1988-1997	農場労働者組合メンバー	リンパ造血器がん	California Cancer Registry の登録情報	農薬の使用	州農薬規制局の使用報告
29	423	558	Lymphoma risk and occupational exposure to pesticides: results of the Epilymph study	Pierluigi Cocco, et al	チェコ、フランス、ドイツ、イタリア、アイerland、スペイン	症例対照研究	1998-2004	農業従事者	リンパ腫	WHO による分類による診断	農作業、農薬の使用	各国研究センターの産業衛生士、専門家の報告
30	427	582	Male reproductive hormones and thyroid function in pesticide applicators in the Red River Valley of Minnesota	Vincent F, et al	アメリカ ミネソタ州	症例対照研究	1998	農薬散布者	ホルモンレベルの変動	ホルモン量分析アッセイ	殺虫剤使用	電話アンケート
31	441	279	Micronucleus monitoring of a floriculturist population from western Liguria, Italy	Claudia Bolognesi, et al	イタリア リグーリア州	バイオモニタリング	-	花卉栽培者	小核レベル	小核分析	農薬の使用	アンケート調査
32	445	1271	Mortality among California highway workers.	Neil Maizklisch, et al	アメリカ カリフォルニア州	モニタリング	1970-1983	カリフォルニア州運輸省に勤務経験のある労働者	死亡死因	カリフォルニア州健康サービス局提供情報	-	-

33	450	400	Multiple Myeloma and Exposure to Pesticides: A Canadian Case-Control Study	Punam Pahwa et al	カナダ ケベック州他	症例対照研究	1991-1994	男性 19-21 歳	多発性骨髄腫	医師の診断記録、病理記録	農薬の暴露	質問票およびインタビュー
34	451	614	Multiple pesticide exposures and the risk of multiple myeloma in Canadian men	Linda Kachuri, et al	カナダ ケベック州他	人口ベースの症例対照研究	1991-1994	19 歳以上の男性	癌の発生	州のがん登録情報	農薬の使用	郵送と電話によるアンケート調査
35	462	1629	Non-Hodgkin's lymphoma and specific pesticide exposures in men: cross-Canada study of pesticides and health.	H.H. McDuffie, et al	カナダ	症例対照研究	1991-1994	19 歳以上の男性	非ホジキンリンパ腫	州のがん登録情報	農薬の使用	郵送によるアンケート調査
36	466	703	Non-Hodgkin lymphoma and occupational exposure to agricultural pesticide chemical groups and active ingredients: A systematic review and meta-analysis	Leah Schinasi ,et al	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
37	467	1356	Non-Hodgkin lymphoma risk and insecticide, fungicide and fumigant use in the agricultural health study.	Michael C. R. Alavanja et al	アメリカ アイオワ州、ノースカロライナ州	コホート研究	1993-1997	農家及び商業農薬散布者	癌の発生	州のがん登録情報	農薬の使用、農作業への従事	アンケート調査
38	471	398	Occupational exposures, animal exposure and smoking as risk factors for hairy cell leukaemia evaluated in a case-control study.	M Nordstroml, et al	スウェーデン	人口ベースの症例対照研究	1987-1992	121 人の白血病患者男性	白血病	スウェーデンのがん登録簿	農薬の使用	郵送によるアンケート調査

39	476	1244	Occupational exposure to ionizing and non-ionizing radiation and risk of non-Hodgkin lymphoma.	Ken K Karipidis, et al	-	農薬の関連なし	-	-	-	-	-	-
40	477	1297	Occupational exposure to pesticides and lymphoid neoplasms among men: results of a French case-control study.	L Orsi, et al	フランス	症例対照研究	2000-2004	18-75 歳のリンパ腫と診断された男性	リンパ腫	医師の診断記録、病理記録	農薬の職業的暴露、農作業	対面によるインタビュー
41	479	1335	Occupational exposure to solvents and risk of non-Hodgkin lymphoma in Connecticut women.	Rong Wang, et al	アメリカコネチカット州	集団ベースの症例対照研究	1996-2000	21-84 歳の女性	非ホジキンリンパ腫	医師の診断記録、病理記録	有機溶剤等への暴露	対面によるインタビュー
42	480	1245	Occupational exposures and non-Hodgkin's lymphoma: Canadian case-control study.	Chandima P Karunanayake, et al	カナダ	人口ベースの症例対照研究	1991-1994	対象地域に居住する男性	非ホジキンリンパ腫	州のがん登録情報	有害物質への職業暴露	アンケート調査
43	482	511	Occupational pesticide exposures and cancer risk: a review	Michael C.R. Alavanja, et al	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
44	490	1602	Organophosphate insecticide use and cancer incidence among spouses of pesticide applicators in the Agricultural Health Study.	Catherine C. Lerro, et al	アメリカアイオワ州、ノースカロライナ州	コホート研究	1993-1997	殺虫剤使用者とその配偶者	癌の発生	州のがん登録情報	殺虫剤の使用	アンケート調査
45	495	395	Parental occupational exposure to pesticides and the risk of childhood leukemia in Costa Rica	Monge P, Wesseling C	コスタリカ	集団ベースのケースコントロール	1995-2000	小児白血病の子供とその親	小児白血病	小児病院とがん登録の報告	農薬の使用、農作業への従事	インタビュー調査

46	496	460	Parkinsonism after chronic occupational exposure to glyphosate	GangWang, X	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
47	498	453	Parkinsonism and occupational exposure to pesticides	L S Engel, et al	アメリカ ワシントン 州	コホート研究	1972-1976	農薬製剤 工場労働 者、農家	パーキンソ ン病	医師の診断 記録、病理 記録	農薬の使 用、農作業 への従事	自己記入式 アンケート
48	499	713	Pathological and toxicological findings in Glyphosate-surfactant herbicide fatality	Pongruk Sribandimongkol MD	-	ケースレポート	-	-	-	-	-	-
49	502	539	Patterns of pesticide use among farmers: implications for epidemiologic research	Aaron Blair, et al	アメリカ カンザス州 他	症例対照研究	1990	農作業従 事者	農薬の使用 パターン	インタビューによる調 査	-	-
50	505	1248	Personal and occupational exposure to organic solvents and risk of nonHodgkin' s lymphoma (NHL) in women (United States).	Ikuko Kato, et al	アメリカ ニューヨー ク州	人口ベースの症例対 照研究	1995-1998	20-79 歳 の女性	非ホジキン リンパ腫	メディケア 受益者ファ イルの報告	有機溶剤の 使用	電話による インタビュー
51	506	615	Pesticide exposure and amyotrophic lateral sclerosis	Freya Kamel, et al	アメリカ アイオワ 州、ノース カロライナ 州	コホート研究	1993-1997	殺虫剤の 使用	ALS（筋萎縮 性側索硬化 症）	州の死亡率 ファイル	農薬の散布	アンケート 調査
52	508	578	Pesticide exposure and Parkinson' s disease: Epidemiological evidence of association	Carmen Freire, et al	-	レビュー	-	-	-	-	-	-

53	509	673	Pesticide exposure and poor pregnancy outcomes: weaknesses of the evidence // Exposição a agrotóxicos e resultados adversos da gravidez: a fragilidade da evidência	Francisco José Roma Paumgartten	-	レビュー	-	-	-	-	-	-
54	510	390	Pesticide exposure and risk of monoclonal gammopathy of undetermined significance in the Agricultural Health Study	Ola Landgren, et al	アメリカ アイオワ 州、ノース カロライナ 州	前向きコホート研究	1993-1997	農薬の散布者	単クローン 性免疫グロ ブリン血症 (MGUS)	医療従事者 による診断	農薬の使用	アンケート 調査
55	511	457	Pesticide exposure and self-reported Parkinson's disease in the agricultural health study	F. Kamel	アメリカ アイオワ 州、ノース カロライナ 州	前向きコホート研究	1993-1997	農薬の散布者	パーキンソ ン病	医療従事者 による診断	農薬の使用 実績	自己記入式 アンケート
56	512	686	Pesticide exposure in children	James R. Roberts, MD, MPH, Catherine J. Karr, MD, PhD, and COUNCIL ON ENVIRONMENTAL HEALTH	American Academy of Pediatrics and its Board of Directors.	農薬利用の子供への 影響に関する Review である。	-	-	-	-	-	-
57	513	1199	Pesticide Exposures and Multiple Myeloma in Iowa Men.	Brown, L.M., Burmeister, L.F.,	米国アイオ ワ州	白人男性集団ベース の症例研究の前向き コホート試験	1981 -1984	白人男性	多発性骨髄 腫 (MM)	アイオワ健 康登録簿の (SEER) プロ	関連性をイ ンタビュー	インタビュ ー

				Everett, G.D., and Blair, A. (1993)						グラムからMMを専門の病理学者による審査		
58	514	1198	Pesticide exposures and other agricultural risk factors for leukemia among men in Iowa and Minnesota.	Brown LM, Blair A, Gibson R, Everett GD, Cantor KP, Schuman LM et al.	米国アイオワ州およびミネソタ州	白人男性集団ベースの症例研究の前向きコホート試験	1981-1984	白人男性	白血病、非ホジキン病、リンパ腫	病院の記録	関連性をインタビュー	インタビュー
59	515	678	National toxicovigilance for pesticide exposures resulting in health care contact - An example from the UK's National Poisons Information Service	Perry, L. et al	イギリス	TOXBASE のアクセス状況と NPIS への問い合わせのモニタリング	2004-2013	農薬関連の問い合わせ件数	-	-	意図的、非意図的双方の農薬の暴露	通報者及び医療スタッフによる重症度の判断
60	518	377	Pesticide use and breast cancer risk among farmers' wives in the agricultural health study	Eduardo Lorenzatti1, Maria Ines Maitrel1, Lenardón Argelí1, Lawrence S. Engell1,2, Deirdre A. Hill1, Jane A. Hoppin3, Jay H. Lubin1, Charles F. Lynch4, Joy Pierce5, Claudine Samanic1,	米国アイオワ州及びノースカロライナ州	農家の妻の農薬使用と乳がん発生率との関連の前向きコホート試験	1993-1997	乳癌の病歴のない30,454人の女性	乳がん	cancer registries in Iowa and North Carolina	農薬散布	暴露状況のアンケート

				Dale P. Sandler ³ , Aaron Blair ¹ , and Michael C. Alavanjal								
61	519	1262	Pesticide use and colorectal cancer risk in the Agricultural Health Study.	Lee, W.J., Sandler, D.P., Blair, A., Samanic, C., Cross, A.J., and Alavanja, M.C.	米国アイオ ワ州及びノ ースカロラ イナ州	農薬と大腸がん発生 率の関係に関する前 向きコホート試験	1993-1997	結腸直腸 癌の既往 歴のない 合計 56,813 人の農薬 散布者	結腸直腸癌	cancer registry files in Iowa and North Carolina	農薬散布	自記式アン ケート
62	520	1213	Pesticide use and cutaneous melanoma in pesticide applicators in the agricultural health study.	Dennis, L.K., Lynch, C.F., Sandler, D.P., and Alavanja, M.C	米国アイオ ワ州及びノ ースカロラ イナ州	農薬散布と黒色腫の 発生率に関する前向 きコホート試験	1993-1997	個人散布 車および 職業散布 車および その配偶 者	黒色腫	cancer registry files in Iowa and North Carolina	農薬散布	アンケート
63	521	1672	Pesticide use, immunologic conditions, and risk of non-Hodgkin lymphoma in Canadian men in six provinces. Int J Cancer. 131(1):2650-9	Pahwa M, Harris SA, Hohenadel K, McLaughlin JR, Spinelli JJ, Pahwa P et al.	カナダの 6 州	NHL の症例 (n = 5,513) を州のがん 登録と入院記録から 集め、1,506 人の対 照と比較した。	1991-1994	19 歳以 上のカナ ダ人	農薬暴露と 免疫抑制の 相互的な非 ホジキン リ ンパ腫 (NHL)への影 響	provincial cancer registries and hospitaliza tion records	農薬散布	-

64	526	1355	Pesticides and lung cancer risk in the agricultural health study cohort.	Alavanja MC, Dosemeci M, Samanic C, Lubin J, Lynch CF, Knott C et al	米国アイオワ州及びノースカロライナ州	肺がんに関する前向きコンホート研究	1993-1997	農業従事者および配偶者	肺がん	provincial cancer registries	農薬散布	アンケート
65	527	1203	Pesticides and other agricultural risk factors for non-Hodgkin's lymphoma among men in Iowa and Minnesota.	Kenneth P. Cantor, 1 Aaron Blair, 等	米国アイオワ州及びミネソタ州	非ホジキンリンパ腫患者 622 人と 1245 人の対照区の比較	1981-1983	-	非ホジキンリンパ腫	Iowa State Health Registry records and a special surveillance of Minnesota hospitals and pathology laboratory	農業従事者	インタビュー
66	537	544	Prevalencia al nacimiento de 27 anomalías congénitas seleccionadas, en 7 regiones geográficas de la Argentina. Births prevalence of 27 selected congenital anomalies in 7 geographic regions of Argentina	Dra. Hebe Campaña, Lic. Mariela S. Pawluka 等	アルゼンチンの 7 地域	研究された 27 の先天性異常のうち 14 は、1 つ以上の領域で頻度が有意に増加したことを示しました。	1994～2007	-	-	研究された 27 の先天性異常のうち 14 は、1 つ以上の領域で頻度が有意に増加し	-	-

										たことが示された。		
67	555	1739	Recommendations for examining and interpreting funnel plot asymmetry in meta-analyses of randomised controlled trials.	Sterne JA, Sutton AJ, 等	-	メタアナリシスのため記述中止	-	-	-	-	-	-
68	562	737	Residential agricultural pesticide exposures and risk of neural tube defects and orofacial clefts among offspring in the San Joaquin Valley of California	Wei Yang, Suzan L. 等	米国カルフォルニア	妊娠初期の農薬曝露との無脳症、二分脊椎、口蓋裂（CLP）を伴うまたは伴わない口唇裂、または口蓋裂のみのリスクの増加と関連を調べる	1997～2006 年	先天性欠損症の子供を持つ母親	先天性欠損症	母親へのインタビュー	農薬暴露	母親へのインタビュー
69	570	553	Risk and prognostic factors of inpatient mortality associated with unintentional insecticide and herbicide poisonings: A retrospective cohort study	Wu-ChienChien 等	台湾	後向きコホート研究	1999～2008 年	中毒入院患者	入院死亡	NHI Research Database (NHIRD)	農薬中毒	病院情報
70	571	1247	Risk factors for leukemia in Thailand.	DavidW・Kalllinan 等	タイ、バンコク	成人発症性白血病 180 例に対する携帯電話その他の原因の解明。各種の農薬の影響も調べられた。	-	-	-	インタビュー	-	-

71	572	1296	Risk of non-Hodgkin' s lymphoma among men occupationally exposed to organic solvents.	Hakan Olsson, MD	スウェーデン	有機溶剤の職業的な取扱者（男性）と非ホジキンリンパ腫も関連性の研究	1978-1981	患者 167 人、兼全者 130 日	非ホジキンリンパ腫患者と非患者の有機溶剤取扱い経験割合	インタビュー	-	-
72	573	1254	Risk of total and aggressive prostate cancer and pesticide use in the Agricultural Health Study.	Koutros, S., Beane Freeman 等	米国アイオワ州及びノースカロライナ州	散布業者 4,916 及び農家散布者 52,394 の前向きコホート研究	1993-2007	散布業者 4,916 及び農家散布者 52,394	進行性前立腺癌	state cancer registries.	-	-
73	588	675	Soft-tissue sarcoma and pesticides exposure in men results of a canadian case-control study	Punam Pahwa 等	カナダ 6 州	357 の患者と 1506 人の非患者が分析された。	-	-	軟部組織肉腫	provincial cancer registries.	散布者	電話インタビュー
74	597	58	Suggested corrections to the Farm Family Exposure Study	-	-	review	-	-	-	-	-	-
75	605	1596	The case of the misleading funnel plot.	-	-	review	-	-	-	-	-	-
76	620	514	The Interaction between pesticide use and genetic variants involved in lipid metabolism on prostate cancer risk	Gabriella Andreotti 等	米国アイオワ州及びノースカロライナ州	脂質代謝変異と農薬散布者の前向きコホート研究	1993-2007	職業あるいは農家の農薬散布者 57310 人	一塩基変異型脂質代謝	BeadChip Assays	農薬散布	アンケート

77	653	368	Use of agricultural pesticides and prostate cancer risk in the Agricultural Health Study cohort	Michael C 等	米国アイオワ州及びノースカロライナ州	前立腺がんと農薬散布者の前向きコホート研究	1993-2007	職業あるいは農家の農薬散布者 55332 人	前立腺がん	cancer registry files in Iowa and North Carolina	農薬散布	自己記入式アンケート
78	1982	702	Male pesticide exposure and pregnancy outcome	Savitz, David A. et al	カナダ オンタリオ州	農薬の暴露と妊娠出産の聞き取り調査	1991-1992	農場で働く夫婦	女性の妊娠および出産	聞き取り調査	過去 5 年間の農薬使用実績	チェックリストによる聞き取り
79	2203	485	Human ocular effects from self-reported exposures to Roundup (R) herbicides	Acquavella, J. F. et al	アメリカ モンサント社	米国毒物管理センター協会 (AAPCC) に対する申告	1993-1997	センターに寄せられた通報	AAPCC の影響評価カテゴリー	眼の異常に対する自己申告	-	-
80	2480	551	The epidemiology of glyphosate-surfactant herbicide poisoning in Taiwan, 1986-2007: a poison center study	Chen, Ying-Ju et al	台湾	毒物管理センターに報告された暴露の分析	1986-2007	患者	段階分けされた症状	医療従事者による診断	経口、またはそれ以外による摂取	医療従事者による報告
81	2822	547	Diurnal variation in probability of death following self-poisoning in Sri Lanka-evidence for chronotoxicity in humans	Carroll, Robert	スリランカ	多種の毒物を自家中毒で摂取した人のコホート研究	2002-2009	自家中毒患者のデータ	死亡	-	-	-
82	3012	378	Pesticide exposure as risk factor for non-Hodgkin lymphoma including histopathological subgroup analysis	Mikael Eriksson et al	スウェーデン	農薬の暴露に対する集団ベースの症例対照研究	1999, 12, 1 - 2002, 4, 30	スウェーデン在住の男女 18-74 歳	非ホジキンリンパ腫	WHO による分類	使用実績の有無	本人へのインタビュー

83	3601	1758	ACUTE POISONING WITH A GLYPHOSATE SURFACTANT HERBICIDE ROUND-UP A REVIEW OF 93 CASES	TALBOT A R	中国	症例研究	1980-1989	グリホサートを経口摂取した 93 人	口内不快感など段階分けされた各種症状	医療従事者による診断	-	-
84	3938	1326	Multiple myeloma and glyphosate use: A re-analysis of US Agricultural Health Study (AHS) data	Sorahan, Tom	アメリカ	発性骨髄腫リスクとグリホサートの使用歴の再解析	1993-2001	民間の農薬散布車 53711 人含むデータセット	多発性骨髄腫	医療従事者による診断	-	-
85	4779	561	Urinary pesticide concentrations among children, mothers and fathers living in farm and non-farm households in Iowa	Curwin, Brian D. (bcurwin@cdc.gov)	アメリカ	農家と非農家の尿中農薬の対象研究	2001	アイオワ州の農家及び非農家	尿中の農薬とその代謝物 部屋の粉塵	GC、HPLC 等定量分析	除草剤の使用	使用実績
86	7517	320	Evaluation of DNA damage in an Ecuadorian population exposed to glyphosate	César Paz-y-Miñr 等	エクアドル北部	空中散布被爆者と非被爆者の遺伝毒性影響調査	2003	空中散布被爆者と非被爆者の各 24 人	遺伝毒性	コメットアッセイ	-	-
87	8249	403	Cancer incidence among glyphosate-exposed pesticide applicators in the agricultural health study	De Roos, Anneclaire J. (deroos@u.washington.edu)	アメリカ	前向きコホート研究の発がん性との関連評価	1993-1997	農薬散布者	がん発生率	-	農薬使用	自記式質問紙
88	8349	277	Biomonitoring of genotoxic risk in agricultural workers from five colombian regions: association to	C. BoIognes 等	コロンビア 5 地域	空中散布被爆者と非被爆者の遺伝毒性影響試験	2006-2007	妊娠可能年齢の女性 (15	染色体損傷と細胞毒性を評価	小核試験	-	-

			occupational exposure to glyphosate					歳から 49 歳ま での 137 名) とそ の配偶者 (137 名)				
89	9452	1564	A multicenter retrospective survey of poisoning after ingestion of herbicides containing glyphosate potassium salt or other glyphosate salts in Japan.	Kamijo Y 等	日本	グリホサート除草剤 中毒患者のレトロス ペクティブ調査	2006 年 10 月から 2014 年 3 月	グリホサ ート中毒 患者 138 人	-	-	-	-
90	2000 3	376	Non-Hodgkin' s Lymphoma and Specific Pesticide Exposures in Men:Cross-Canada Study of Pesticides and Health	Helen H. McDuffie et al	カナダ	多施設共同集団ベー スの症例対照研究	1991~1994 年	19 歳以 上の男性	非ホジキン リンパ腫	州のがん登 録	除草剤、殺 虫剤、殺菌 剤各種農薬 の使用	質問票の記 入および電 話アンケー ト
91	2000 8	546	Hypospadias and Residential Proximity to Pesticide Applications	Suzan L. Carmichael et al	アメリカ カリフォル ニア州	症例対照研究	1991-2004 年	期間中に 出生した 男児	尿道下裂 (hypospadi as)	カリフォル ニア州出生 児障碍児監 視プログラ ム	農薬散布地 との居住地 の隣接	調査対象郡 の病院、遺 伝学的セン ターの医療 記録
92	2001 4	728	Epidemiologic evidence of relationships between reproductive and child health outcomes and environmental chemical contaminants	Wigle, D. T. ; Arbuckle, T.	-	review	-	-	-	-	-	-

93	2001 8	1344	The upper midwest health study: a case-control study of pesticide applicators and risk of glioma	Yiin et al. Environmental Health 2012, 11:39	米国イオワ州、ミシガン州、ミネソタ州、ウィスコンシン州	農業従事者の農薬使用における脳腫瘍の過剰発生率	1995 年から 1997 年	農薬暴露者	原発性頭蓋内神経膠腫の症例 798 例と対照 1,175 例の比較研究	産業衛生士による評価と分析	農薬使用	アンケート調査の分析
94	2001 9	1347	Ultraviolet Radiation Exposure and Risk of Non-Hodgkin' s Lymphoma American Journal of EpidemiologyVol. 165, No. 11	Yawei Zhangl etal	米国コネチカット州	日光に当たると、非ホジキンリンパ腫のリスクの検証	1996 年から 2000 年	女性	非ホジキンリンパ腫	症例対照研究のデータを分析	日焼け	面接聞き取り
95	2002 1	1678	Baseline determination in social, health, and genetic areas in communities affected by glyphosate aerial spraying on the northeastern Ecuadorian border Reviews on Environmental Health 26(1):45-51	Cesar Paz-y-Mino etal	エクアドル北東部の国境	144 人がインタビューを受け、521 人の医学的診断と 182 の末梢血サンプル	2004-2006 年	地域住民	グリホサートの遺伝毒性	DNA damage	航空散布による暴露	面接聞き取り

表 15-2 海外評価書に引用されている文献のうち疫学的研究に関する文献の様式 ②健康関連の事象の情報

No.	試験全体の N 数（症例/対照）	アウトカムの N 数	分析カテゴリー	暴露に係る N 数	相対リスク/オッズ比等	95%信頼区間	p 値	交絡因子の考慮	備考
1	404/741	404	-	61/81（グリホサート:4/3）	除草剤全体：1.6	1.0-2.5	-	-	-
2	201/725	201	-	75/203	1.3	0.8-2.0	-	-	-
3	73/611 例	73 例	-	73/611 例	-	-	-	-	-
4	524/948 人	STS:121 人 HD:121 人 NHL:170 人	-	-	-	-	-	-	-
5	胃がん 170 人、食道がん 137 人/502 人	胃がん 170 人、食道がん 137 人	無条件ロジスティック回帰	胃がん 88 人、食道がん 56 人/対照 221 人	胃がん 0.9 および食道がん 0.7	胃がん 0.6-1.3、食道がん 0.5-1.2	-	-	-
6	約 89000 人	93 例	-	約 89000 人	全除草剤：0.7	0.4-1.4	-	-	-
7	251/503 人	251	-	除草剤:38/70 人	除草剤:1.7	1.0-3.0	-	-	-
8	993/2918 人	437 人	-	有機リン系殺虫剤の使用：158/279	1.5	1.2-1.9	-	-	-
9	3936 件	395 件	-	3936 件	除草剤：1.3	1.0-1.6	-	-	-
10	54251 人	5779 人	-	グリホサート暴露 Q4：1451	0.99	0.91 to 1.08)	0.91	-	-

11	538 人	485 人	-	538 人	- 0.2	- 0.55-0.15	0.27	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	517 人/1506 人	106 人/322 人	-	517 人	0.95	0.69-1.31	-	-	-
14	52395 人	50 人	-	17357 人	1.36	1.03-1.79	-	-	-
15	4411 人	54 人	-	4411 人	1.4	1.0-1.8	-	-	-
16	513 人/1506 人	農薬使用回数 5 回 以上 : 80 人	-	80 人/179 人	農薬使用回数 5 回以上 : 1.63	1.20-2.21	0.01	-	-
17	515 人/1141 人	442 人	-	442 人	除草剤全体 : 1.76	1.26-2.42	-	-	-
18	776 人/1444 人	276 人	-	グリホサート暴露 276/540	0.93	0.74-1.18	0.78	-	-
19	457 人/648 人	123 人/204 人	-	294 人/440 人	0.89	0.63-1.26	-	-	-
20	341 人/527 人	除草剤使用 70 人 /114 人	-	農場居住歴がある 186/313 人	1	0.7-1.3	-	-	-
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	316 人/1506 人	5 人/155 人	-	316 人	1.19	1.03-1.37	-	-	-
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	286 人	286 人	-	286 人	グリホサート暴露 : 1.47	0.78-2.77	0.227	-	-

25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	872/2381 人	グリホサート暴 露：6/12 人	-	177	1.2	0.4-3.3	-	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	139000 人	131 人	無条件ロジス ティック回帰	139000 人	メチルプロマイド：1.44 他	0.7-2.96	-	-	-
29	2348/2462 人	2348 人	-	有機農薬；342 人	1.2	0.9-1.4	-	-	-
30	3000 人	42 人	-	193 人	-	-	-	-	-
31	-	107/61 人	-	107/61 人	-	-	-	-	-
32	1570 人	-	標準化死亡率の 計算	1570 人	-	-	-	-	-
33	342/1506 人	342 人	-	ラウンドアップ： 32/133 人 他	1.22	0.77-1.93	-	-	-
34	342/1357 人	342 人	ロジスティック 回帰	除草剤 1 回使用： 43/138 人 他	1.41	0.95-2.11	0.18	-	-
35	517/1506 人	517 人	条件付きロジス ティック回帰	ラウンドアップ： 51/133 人 他	1.2	0.83-1.74	-	-	-
36	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	54306 人	523 人	-	NHL、カルボフラ ン：147/317	1.1	0.9-1.3	-	-	-

38	121/484 人	121 人	-	グリホサート暴露： 4/5 人	3.1	0.8-12	-	-	-
39	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	491 例	HL (n = 87)、NHL (n = 244)、MM (n =56) および LPS (n = 104)	-	491 例	飼料と HL : 3.0	1.1-8.5	-	-	-
41	601/717 人	601 人	-	270/284 人	1.3	1.0-1.6	-	-	-
42	513/1506 人	513 人	-	農場近辺への居住 235/673 人 他	1.02	0.82-1.27	-	-	-
43	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	30003 人	718 人	-	718 人	乳がんリスク : 1.2	1.01-1.43	-	-	-
45	334 例	334 例	-	妊娠中の母親、除草 剤全般への暴露 : 13	2.2	1.0-4.8	-	-	-
46	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47	310 人	65 人	-	238 人	除草剤の使用群 : 0.8	0.5-1.8	-	-	-
48	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	-	グリホサート : 55 人	-	-	-	-	-	-	-

50	285/362 人	202/269 人	-	家又は職場での暴 露：174/194 人	1.46	1.05-2.03	-	-	-
51	84739 人	除草剤使用： 30/60709 人	無条件ロジス ティック回帰	60739 人	1.6	0.7-3.7	-	-	-
52	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	9469 人	グリホサート暴 露：27/11 人	ロジスティック 回帰モデル	678 人	0.5	0.2 - 1.0	-	-	-
55	79557 人	83 人	-	67 人/65116 人	0.5	0.2-1.1	-	-	-
56	-	-	-	-	-	-	-	-	-
57	173/650	-	-	-	オッズ比 [OR] = 1.2	95% 信頼区間 [CI] = 0.8-1.7)	-	-	農薬利用との関 連性なし
58	578/1245	-	-	-	全ての白血病（オッズ比（OR）1.2） および慢性リンパ性白血病（OR 1.4）	-	-	-	個別の農薬との 関連性が調べら れがグリホサー トは含まれな い。
59	34092 件（うち 7804 件が農薬 関連）	-	-	非意図的急性：6789 慢性非意図的：217 急性故意 755	-	-	-	-	-
60	-	-	-	-	-	-	-	-	個別の農薬を含 めて乳がんと

									農薬散布の間に 関連性は認めら れなかった
61	合計 305 件の結腸直腸がん (結腸 212 件、直腸 93 件)/57311 人の農薬散布者	-	-	-	-	-	-	-	私たちの研究 は、いくつかの 農薬と黒色腫と の関連を示して おり、農薬が黒 色腫リスクの別 の重要な原因で ある可能性があ るという仮説を 支持
62	52,394 個人散布者および 4,916 職業散布者およびその 配偶者 32347 人のうち、271 例のメラノーマ症、追加アン ケートでは 150 人に黒色腫	-	-	-	研究された 50 種類の農薬のほとん どは結腸直腸がんのリスクと関連し ていなかったが、クロルピリホスの 使用は直腸がんの有意な暴露反応傾 向（傾向 5 の p 0.008）を示し、 2.7 倍（95% 信頼区間：1.2-6.4）に 上昇した。	-	-	-	-
63	NHL の症例（n = 5,513）を 州のがん登録と入院記録から 集め、1,506 人の対照と比較 した。	-	-	-	MCPA の使用に関連する NHL のリス クが有意ではないが上昇した（OR 5 2.67、95% 信頼区間 [CI]：0.90- 7.93）これらの条件のいずれも持たな	-	-	-	農薬使用と NHL との関連に対す るこれらの免疫 学的条件による 影響の変更に関

					い被験者 (OR 5 0.81、95% CI: 0.39-1.70)。				するいくつかの影響が認められたが、少数例、測定誤差、およびリコール バiasのため信頼性に問題がある。
64	57,284 人の農薬散布者と 32,333 人の農業従事者の配偶者	-	-	-	A lung cancer standardized incidence ratio of 0.44 であり、数種の農薬で ODD 比が高まった。グリホサートは含まれない。	-	-	-	-
65	非ホジキンリンパ腫患者 622 人と 1245 人の対照区の比較	-	-	-	農業をしたことがある男性は、特定の作物や特定の動物に関連していない非ホジキンリンパ腫のリスクがわずかに高かった (オッズ比 = 1.2、95% 信頼区間 = 1.0-1.5)。	-	-	-	-
66	-	-	-	-	-	-	-	-	スペイン語。農薬の話は出てこない。
67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
68	-	-	-	-	共変量の調整後に 95% 信頼区間のオッズ比の上昇は比較的小さかった	-	-	-	さまざまな農薬への曝露と選択された先天性欠

									損症のリスクと の間に一般的な 関連性がないこ とが示された。
69	3986 人の農薬中毒入院患者の うち 168 人が死亡した。	-	-	-	-	-	-	-	-
70	携帯電話の影響は明確になら なかった。また、農薬も影響 は認められなかった。	-	-	-	-	-	-	-	-
71	有機溶剤取扱いの曝露期間が 長くなるにつれて、リンパ腫 のリスクが有意に増加した。	-	-	-	3 種類の有機リン系殺虫剤が進行性 前立腺癌と有意に関連。有機塩素系 殺虫剤のアルドリンも、前立腺がん のリスク増加と関連	-	-	-	-
72	-	-	-	-	-	-	-	-	-
73	STS の発生率は、他の独立し た予測因子で調整した後、特 定の殺虫剤と関連していた。	-	-	-	-	-	-	-	-
74	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
76	農薬曝露による前立腺がんリ スクの有意な単調増加を示す 17 の相互作用を発見した	-	-	-	-	-	-	-	-

77	50 歳以上の散布者における 塩素系殺虫剤の使用と臭化メ チルの使用は、前立腺がんの リスクと有意に関連した。	-	-	-	-	-	-	-	-
78	2693 の農家とその近くに住む 2946 組の夫婦	5853	回帰分析	農薬総数 133 グリホサート : 17	グリホサートオッズ比 : 1.5	0.8-2.7	-	-	-
79	1540 件の報告	合計 1095 件の症例	-	-	-	-	-	-	-
80	2186 人の患者	1777 件の軽度の症 状と 246 件の重度 の症状	多変量ロジス テ ィックス解析	2178 人	51-100mL 暴露 : オッズ比 3.2	1.9-5.6	<0.001	-	-
81	14840 人 (グリホサート 1499 人含む)	37 人	ノンパラメトリ ック検定	-	-	-	-	-	-
82	症例 : 910 対照 : 1016	-	Unconditional logistic regression analysis	症例 : 29 対照 : 18	農薬全体オッズ比 : 1.72 グリホサートオッズ比 : 2.02	農薬全体 : 1.18-2.51 グリホサート : 1.10- 3.71	-	-	-
83	93 人	軽度～重度の 4 段 階 : 13, 38, 22, 4 人	-	-	-	-	-	-	-
84	53711 人	32 例	-	-	-	-	-	-	-
85	父親 47 人、母親 48 人、子供 117 人	-	-	-	-	-	-	-	-
86	空中散布被爆者に遺伝毒性の 影響が認められた。	-	-	-	-	-	-	-	-

87	57311 人	がん発生人数： 2088 人	-	-	-	0.9-1.2	-	-	-
88	コカとケシの根絶のために除草剤が適用される地域でのグリホサートへの曝露に潜在的に関連する遺伝毒性リスクが低いことを示した。	-	-	-	-	-	-	-	-
89	グリホサート イソプロピルアミンまたはアンモニウム塩、およびポリオキシエチレンアミン（POEA）を界面活性剤として含む製品を摂取すると、深刻な臓器損傷を引き起こす可能性がある	-	-	-	-	-	-	-	-
90	症例：517 対照：1506	-	-	症例：51 対照：133	1.26	0.87-1.80	-	-	-
91	症例：690 対照：2195	-	-	症例：690 対照：2195	1	0.98-1.02	0.93	-	-
92	-	-	-	-	-	-	-	-	
93	原発性頭蓋内神経膠腫の症例 798 例と対照 1,175 例の比較研究	-	-	-	-	-	-	-	農薬と神経膠腫の間に正の関連性がない
94	非ホジキンリンパ腫の発生症例が確認され、そのうち 601	-	-	-	日焼けをしたことがあると報告した女性は、日焼けをしたことがないと	-	-	-	-

	人（72%） 対面インタビュー				報告した女性と比較して、持続期間が長くなるにつれて非ホジキンリンパ腫のリスクが高くなった。 (Ptrend= 0.0062)				
95	44 人がインタビューを受け、521 人の医学的診断と182 の末梢血サンプル収集	-	-	-	研究対象集団は、染色体および DNA の有意な変化を示さなかった。	-	-	-	-

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1	1:ヒトに対する毒性	Crook, S. J.	2007	Glyphosate: Provision of independent laboratory validation data to support analytical methods RAM 328/01 and RAM 308/01	455-456 ASB2013-10993	EFSA	①
2	2:農作物及び畜産物への残留	Klimmek, S.	2007	Validation of the analytical method DFG Method 405 for determination of residues of Glyphosate and its Metabolite AMPA in various plant materials	0FC00014427 ! FCS-0703V BVL-2309041, ASB2008-5606	EFSA	①
3	2:農作物及び畜産物への残留	Klimmek, S.; Weber, H.	2008	First Amendment to final report - Validation of the analytical method DFG Method 405 for the determination of residues of Glyphosate and its metabolite AMPA in various plant materials	FCS-0703V BVL-2309043, ASB2008-5607	EFSA	①
4	2:農作物及び畜産物への残留	Weber, H.	2012	Validation of an analytical method for the determination of Glyphosate and AMPA in Raw Agricultural Commodities using LC/MS/MS	S11-03331 BVL-2309045, ASB2012-12489	EFSA	①
5	2:農作物及び畜産物への残留	Alferness P. L. and Wiebe L. A.	2001	Determination of Glyphosate and Aminomethylphosphonic Acid in Crops by Capillary Gas Chromatography with Mass-Selective Detection: Collaborative Study,	J AOAC International 84 (2001) 823 – 846, ASB2012-12387	EFSA	①
6	2:農作物及び畜産物への残留	Karnik, S., Dillon, R.	2007	Independent laboratory validation of DuPont-20009, "Analytical method for the determination of N-acetalglyphosate and other analytes in various animal matrices using LC/MS/MS"	DuPont-21372, Pyxant Labs Inc. ID: 1806 BVL-1748764, ASB2008-2634	EFSA	①
7	2:農作物及び畜産物への残留	Pentz, A.M., Bramble, F.Q.	2007a	Analytical method for the determination of glyphosate and degradate residues in various crop matrices using LC/MS/MS	DuPont-15444 Revision-1 BVL-1748765, ASB2008-2635	EFSA	①
8	2:農作物及び畜産物への残留	Pentz, A. M., Bramble, F. Q.	2007b	Analytical method for the determination of N-acetylglphosate and other analytes in various animal matrices using LC/MS/MS	DuPont-20009 BVL-1748766, ASB2008-2636	EFSA	①
9	2:農作物及び畜産物への残留	Seal, S., Dillon, R.	2007	Independent laboratory validation of DuPont-15444, "Analytical method for the determination of glyphosate and relevant metabolite residues in various crop matrices using LC/MS/MS"	DuPont-21313, Pyxant Labs Project no. 1763 BVL-1748767, ASB2008-2637	EFSA	①
10	4:環境動態	Schneider, E.	2001b	Validation of an analytical method for the determination of Glyphosate in soil	PR01/006 BVL-2309063, MET2005-371	EFSA	①
11	4:環境動態	Szuter, S. L.	1996	Glyphosate Acid: Independent laboratory validation of the method for determining residues of N-(Phosphonomethyl)glycine and (Aminomethyl)phosphonic acid in soil (WRC-96-082) (WINO 23013)	Study number ZPMG-96-MT-01, Report number RR 96-059B not published, MET2000-699	EFSA	①
12	4:環境動態	Geschke, S.	2011	Independent laboratory validation of an analytical method for the determination of residues of Glyphosate and AMPA in drinking water	S10-02882 BVL-2309067, ASB2012-12426	EFSA	①
13	4:環境動態	Knoch, E.	2010	Validation of an analytical method: Determination of Glyphosate and AMPA in water matrices using FMOC derivatization, manual SPE cleanup and LC-MS/MS quantitation	IF-10/01618859 BVL-2309065, ASB2012-12445	EFSA	①
14	4:環境動態	Schneider, E.	2001c	Validation of an analytical method for the determination of Glyphosate in air	PR01/007 BVL-2309069, MET2005-368	EFSA	①
15	2:農作物及び畜産物への残留	Bleeke, M. S.	1997	Nature of Glyphosate residues in cotton plants tolerant to Roundup herbicide.	Report No. MSL-14113 GLP: yes not published RIP9700619	EFSA	①
16	2:農作物及び畜産物への残留	Chapleo, S.; McLachlan, T.	2010	The metabolism of [14C]Glyphosate in 0827 canola Sponsor	Study No: DuPont-26109 GLP: yes not published BVL-2200198, ASB2011-13744	EFSA	①
17	2:農作物及び畜産物への残留	George, Ch.	1995	Nature of Glyphosate residues in corn plants which are tolerant to Roundup herbicide	Report No. MSL-14018 GLP: yes not published RIP9700618	EFSA	①
18	2:農作物及び畜産物への残留	Goure, W. F.	1994	Nature of Glyphosate residues in soybeans tolerant to Roundup herbicide	Report No. MSL-13520 GLP: yes not published RIP9800117	EFSA	①
19	2:農作物及び畜産物への残留	Green, M.	2007	The metabolism of [14C]Glyphosate in Optimum GAT (Event DP-098140-6) field corn	DuPont-19529 BVL-1748787, ASB2008-2657	EFSA	①
20	2:農作物及び畜産物への残留	Lowrie, Ch.	2007	Metabolism of [14C]-N-Acetylglphosate (IN-MCX20) in the lactating goat	Report No.: DuPont-19796 GLP: yes not published BVL-1748790, ASB2008-2660	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
21	2:農作物及び畜産物への残留	MacDonald, A. M. G.	2007	The metabolism of [14C]Glyphosate in GAT/GM-HRA (DP-356043-5, PHP20163a) soybeans	DuPont-19530 BVL-1748788, ASB2008-2658	EFSA	①
22	2:農作物及び畜産物への残留	Mehrsheikh, A.	2000	Metabolism of Glyphosate in Roundup Ready Sugarbeet	Report No. MSL-16247 GLP: yes not published RIP2001-906	EFSA	①
23	2:農作物及び畜産物への残留	Patanella, J. E.; Feng, P.	1988	Metabolism study of synthetic 13C/14Clabeled Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid in lactating goats.	Part II Report: MSL-7458 GLP: yes not published RIP9501204	EFSA	①
24	2:農作物及び畜産物への残留	Powles, P.	1994	(14C-Glyphosate): Absorption, distribution, metabolism and excretion following repeated oral administration to the dairy goat	Report No. 676/9-1011 GLP: yes not published RIP9501207	EFSA	①
25	2:農作物及び畜産物への残留	Bates, C.	2001	Determination of glyphosate content in formulations MON 78043, MON 78044 and MON 2139 (glyphosate 360g/l) SL by HPLC : validation of the analytical method	MSL-17401 GLP: Y, published: N 2315973	EFSA	①
26	1:ヒトに対する毒性	Probst, D. A.	2012	NNG and formaldehyde method validations in MON 52276 and MON 77973	MSL0024115 GLP: Y, published: N 2315974	EFSA	①
27	2:農作物及び畜産物への残留	EFSA	2009	Reasoned opinion: Modification of the residue definition of Glyphosate in genetically modified maize grain and soybeans, and in products of animal origin	EFSA Journal 2009; 7(9):1310 ! EFSA-Q2009-00372 ASB2012-3480	EFSA	①
28	1:ヒトに対する毒性	EFSA	2012	Final review of the Séralini et al. (2012a) publication on a 2-year rodent feeding study with glyphosate formulations and GM maize NK603 as published online on 19 September 2012 in Food and Chemical Toxicology	EFSA Journal 2012;10(11):2986 ASB2012-15513	EFSA	①
29	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	European	2002	Review report for the active substance glyphosate. Finalised in the Standing Committee on Plant Health at its meeting on 29 June 2001 in view of the inclusion of glyphosate in Annex I of Directive 91/414/EEC.	Glyphosat 6511/VI/99-final ASB2009-4191	EFSA	①
30	1:ヒトに対する毒性	Germany	1998	Glyphosate (Monograph)	ASB2010-10302	EFSA	①
31	1:ヒトに対する毒性	Germany	1998	Glyphosate-trimesium (Monograph),	ASB2010-10493	EFSA	①
32	1:ヒトに対する毒性	Germany	2000	Glyphosate (Monograph): Addendum B.6,	ASB2013-2748	EFSA	①
33	1:ヒトに対する毒性	OECD	2002	OECD: Guidance Notes for Analysis and Evaluation of Chronic Toxicity and Carcinogenicity Studies	ENV/JM/MONO(2002)19 ASB2013-3754	EFSA	①
34	1:ヒトに対する毒性	Anonymous	2006	Background Response to “Glyphosate Toxic & Roundup Worse”. Monsanto statement.	http://www.monsanto.com/products/Documents/glyphosate-background-materials/Response_ISIS_apr_06.pdf ASB2013-5455	EFSA	①
35	1:ヒトに対する毒性	Akerman, G.	2015	US EPA Memorandum - EDSP: Weight of evidence analysis of potential interaction with the estrogen, androgen or thyroid pathways.	Chemical: Glyphosate GLP: Open Published: No BVL-3194149, BVL-3194153, ASB201611617	EFSA	①
36	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	2016	Literature Search on Glyphosate -	ED Properties GLP: Open Published: No BVL-3194154, BVL-3194156, ASB201611618	EFSA	①
37	1:ヒトに対する毒性	Levine, S. L.	2016	Glyphosat: Toxicological and metabolism studies on the active substance - Tier 2, IIA5 (Weight-of - the evidence (WoE) Analysis for Glyphosate: An evaluation of results from the EDSP Tier I screening assays) Doc. MII / Sec. 3 !	MSL0027951 GLP: Yes Published: No BVL-3189460, BVL-3194162, ASB201611615	EFSA	①
38	1:ヒトに対する毒性	Levine, S. L.	2016	Glyphosat: Toxicological and metabolism studies on the active substance - Tier 2, IIA5 (OECD Tier II Study summaries of the Glyphosate endocrine disruptor screening program (EDSP) Tier 1 assays) Doc. MII / Sec. 3 !	MSL0027952 GLP: Open Published: Yes BVL-3194135, BVL-3194145, ASB201611616	EFSA	①
39	1:ヒトに対する毒性	Antoniou M.	2011	Roundup and birth defects: Is the public being kept in the dark? Earth Open Source report.	Available from: http://www.earthopensource.org/files/pdfs/Roundup-and-birth-defects/RoundupandBirthDefectsv5.pdf ASB2011-7202	EFSA	①
40	1:ヒトに対する毒性	Carr, K.H., Bleeker, M.S.	2012	Process Description for Identification, Review, and Categorization of Scientific Literature Concerning Glyphosate and AMPA Side-Effects on Health,	the Environment, and Non-Target Species k.A. GLP: N, published: Y 2309656 / ASB2012-11583	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
41	1:ヒトに対する毒性	Klimisch, H.J., Andreae, M., Tillmann, U.	1997	A systematic approach for evaluating the quality of experimental toxicological and ecotoxicological data	Regulatory Toxicology and Pharmacology 25, 1-5 GLP: N, published: Y 2309856 / ASB2010-14388	EFSA	①
42	1:ヒトに対する毒性	Acquavella,	2004	Glyphosate biomonitoring for farmers and their families: Results from the farm family exposure study	Environmental Health Perspectives 112, 321-326 GLP: N, published: Y 2309536 / ASB2012-11528	EFSA	①
43	1:ヒトに対する毒性	Anadon, A.,	2009	Toxicokinetics of glyphosate and its metabolite aminomethyl phosphonic acid in rats	Toxicol Lett 190, 91-95 GLP: N, published: Y 2309568 / ASB2012-11542	EFSA	①
44	1:ヒトに対する毒性	Blech, S.,	1995	Glyphosate: ADME-study in rats - Final report	A&M 038/94, TOX9552251	EFSA	①
45	1:ヒトに対する毒性	Brewster, D.	1991	Metabolism of glyphosate in Sprague-Dawley rats: Tissue distribution, identification, and quantitation of glyphosate-derived materials following a single oral dose,	Fundamental and Applied Toxicology 17(1991): 43-51 TOX9551791	EFSA	①
46	1:ヒトに対する毒性	Chan, P. C.; Mahler, J. F.	1992	NTP technical report on toxicity studies of Glyphosate administered in dosed feed to F344/N rats and B6C3F1 mice,	National Institutes of Health 16(1992) 1-57 TOX9551954	EFSA	①
47	2:農作物及び畜産物への残留	Colvin, L. B.; Miller, J. A.	1973	Final report on CP 67573 residue and metabolism.	Part 9: The gross distribution of n-phosphonomethylglycine-14C in the rabbit TOX9552353	EFSA	①
48	2:農作物及び畜産物への残留	Colvin, L. B.; Miller, J. A.,	1973	CP 67573 residue and metabolism. Part 13: The dynamics of accumulation and depletion of orally ingested N-phosphonomethylglycine14C	TOX9552355	EFSA	①
49	1:ヒトに対する毒性	Davies, D.J.	1996	Glyphosate acid: Excretion and tissue retention of a single oral dose (10 mg/kg) in the rat	CTL/4940 SYN GLP: Y, published: N 2309074 / TOX2000-1977	EFSA	①
50	1:ヒトに対する毒性	Davies, D.J.	1996	Glyphosate acid: Excretion and tissue retention of a single oral dose (1000 mg/kg) in the rat	CTL/4942 SYN GLP: Y, published: N 2309076 / TOX2000-1978	EFSA	①
51	1:ヒトに対する毒性	Davies, D. J.	1996	Glyphosate acid: Excretion and Tissue Retention of a Single Oral Dose (10 mg/kg) in the Rat Following Repeat Dosing	CTL/P/4944 SYN GLP: Y, published: N 2309078 / TOX2000-1979	EFSA	①
52	1:ヒトに対する毒性	Davies, D. J.	1996	Glyphosate acid: Whole body autoradiography in the rat (10 mg/kg)	CTL/P/4943 SYN GLP: Y, published: N 2309080 / TOX2000-1980	EFSA	①
53	1:ヒトに対する毒性	Hoppe, H.-W.	2013	Glyphosate and AMPA: Determination of glyphosate residues in human urine samples from 18 European countries Medical Laboratory Bremen,	MLHB-201306-06 ASB2013-8037	EFSA	①
54	1:ヒトに対する毒性	Howe, R. K.;	1988	The metabolism of glyphosate in Sprague/Dawley rats. Part II. Identification, characterization, and quantitation of glyphosate and its metabolites after intravenous and oral administration,	MSL-7206 I 206300, TOX9552357	EFSA	①
55	1:ヒトに対する毒性	Knowles, S.L.; Mookherjee, C.R.	1996	[14C]-glyphosate: Absorption, distribution, metabolism and excretion following oral administration to the rat	1413/2-1011 NUF GLP: Y, published: N 2309072 / ASB2012-11380	EFSA	①
56	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	1995	Metabolism study of 14C-labelled glyphosate after single oral and intravenous administration to Sprague-Dawley rats,	9202/95 TOX9650071	EFSA	①
57	1:ヒトに対する毒性	Macpherson, D.	1996	Glyphosate acid: Biotransformation in the rat	CTL/P/5058 SYN GLP: Y, published: N 2309082 / TOX2000-1981	EFSA	①
58	1:ヒトに対する毒性	Mage, D.T.	2006	Suggested corrections to the Farm Family Exposure Study	Environmental Health Perspectives 114, A633-A634 GLP: N, published: Y 2309900 / ASB2012-11888	EFSA	①
59	1:ヒトに対する毒性	McEwen, A.B.	1995	HR-001: Metabolism in the rat	SNY 332/951256 HLS GLP: Y, published: N 2309070 / ASB2012-11379	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
60	1:ヒトに対する毒性	Powles, P.; Hopkins, R.	1992	(14C)-glyphosate: Absorption and distribution in the rat -	preliminary study 6365-676/1 TOX9552358	EFSA	①
61	1:ヒトに対する毒性	Powles, P.; Hopkins, R.	1992	(14C)-glyphosate: Absorption, distribution, metabolism and excretion in the rat,	7006-676/2 TOX9300343	EFSA	①
62	1:ヒトに対する毒性	Ridley, W.P.; Mirly, K.	1988	The metabolism of glyphosate in Sprague/Dawley rats. I. Excretion and tissue distribution of Glyphosate and its metabolites following intravenous and oral administration	MSL-7215 ! EHL 86139 ! ML-86-438 TOX9552356	EFSA	①
63	1:ヒトに対する毒性	Arcelin, G.	2007	Glyphosate technical material: Acute oral toxicity study in rats (Up and Down procedure)	B02755; T007035-05 SYN GLP: Y, published: N 2309111 / ASB2012-11391	EFSA	①
64	1:ヒトに対する毒性	Branch, D. K.	1981	Acute oral toxicity of MON 0139 to rats	800257 ! ML-80-261 TOX9552321	EFSA	①
65	1:ヒトに対する毒性	Brett, M. G	1990	Acute oral toxicity in the rat: Glyphosate technical	R231 ! AGC-900823B ! AGC-101 TOX9500261	EFSA	①
66	1:ヒトに対する毒性	Brown, J. C.; Ogilvie, S. W.	1995	Glyphosate technical 95 %: Acute oral toxicity (LD50) test in rat	10670 ! IRI 556073 TOX9500377	EFSA	①
67	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1989	Glyphosate technical: Acute oral toxicity (limit) test in rats	5883 ! IRI 243268 TOX9552319	EFSA	①
68	1:ヒトに対する毒性	Dideriksen, L.	1981	Assessment of acute oral toxicity of "Glyphosate technical" to mice -	incl. Addendum 12321TOX9552320	EFSA	①
69	1:ヒトに対する毒性	Do Amaral Guimaraes, S.P.	2008	Acute Oral Toxicity Study in Wistar Hannover Rats for Glyphosate Technical RF -	3996.305.475.07 HAG GLP: Y, published: N 2309100 / ASB2012-11389	EFSA	①
70	1:ヒトに対する毒性	Doyle, C.E.	1996	Glyphosate Acid: Acute Oral Toxicity Study in Rats	CTL/P/4660 SYN GLP: Y, published: N 2309109 / TOX2000-1982	EFSA	①
71	1:ヒトに対する毒性	Dreher, D. M.	1994	Glyphosate premix: Acute oral toxicity (limit test) in the rat	545/37 TOX9552322	EFSA	①
72	1:ヒトに対する毒性	Enami, T.,	1995	Acute Toxicity Study of MON 0139 By Oral Administration in Mice	XX-95-205 MON GLP: Y, published: N 2309115 / ASB2012-11393	EFSA	①
73	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2009	Acute Oral Toxicity Study of Glyphosate TC in Rats	23910 HAG GLP: Y, published: N 2309092 / ASB2012-11385	EFSA	①
74	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Acute Oral Toxicity Study of Glyphosate TC in Rats	24874 HAG GLP: Y, published: N 2309094 / ASB2012-11386	EFSA	①
75	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Acute Oral Toxicity Study of Glyphosate TC in Rats	24602 HAG GLP: Y, published: N 2309096 / ASB2012-11387	EFSA	①
76	1:ヒトに対する毒性	Heenehan,	1979	Acute Oral Toxicity Study in Rats.	BD-77-428 MON GLP: N, published: N 2309107 / Z3541	EFSA	①
77	1:ヒトに対する毒性	Komura,	1995	HR-001: Acute Oral Toxicity Study In Rats	IET 94-0134 ALS GLP: Y, published: N 2309086 / ASB2012-11382	EFSA	①
78	1:ヒトに対する毒性	Komura,	1995	HR-001: Acute Oral Toxicity Study In Mice	IET 94-0133 ALS GLP: Y, published: N 2309088 / ASB2012-11383	EFSA	①
79	1:ヒトに対する毒性	Merkel, D.	2005	Glyphosate Acid Technical - Acute Oral Toxicity Up and Down Procedure in Rats	PSL 15274 HAG GLP: Y, published: N 2309098 / ASB2012-11388	EFSA	①
80	1:ヒトに対する毒性	Moore, G.E.	1999	NUP5a99 62 % glyphosate MUP: Acute oral toxicity study in rats - Limit test	7907 NUF GLP: Y, published: N 2309117 / ASB2012-11394	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
81	1:ヒトに対する毒性	Pooles, A.	2014	Glyphosate: Acute oral toxicity in the rat - fixed dose method	Report No.: 41401853, Harlan Laboratories Ltd., Derbyshire, DE72 2GD, UK Date: 2014-00-01, not published ASB2014-9147	EFSA	①
82	1:ヒトに対する毒性	Reagan, E. L.	1987	Acute oral LD50 study of MON-8750 in Sprague-Dawley rats	FDRL 9308A TOX9552323	EFSA	①
83	1:ヒトに対する毒性	Reagan, E. L.	1987	Acute oral toxicity of MON 8750 in Sprague-Dawley rats	FD-86-431/9308A Z85869	EFSA	①
84	1:ヒトに対する毒性	Reagan, E.L. and Laveglia, J.	1988	Acute Oral Toxicity Study of Glyphosate Batch/lot/nbr no. XLI-55 in Sprague/Dawley rats	FD-88-29 (FDRL 88.20 MON 88.2053.007) GLP: Y, published: N 2309105 / Z35389	EFSA	①
85	1:ヒトに対する毒性	Sharp, V. M.	1995	Final report for oral and dermal LD50 tests with Sanachem glyphosate acid technical in rats, limit test	917TOX9650909	EFSA	①
86	1:ヒトに対する毒性	Sharp, V. M.	1995	Final report for oral and dermal LD50 tests with Sanachem glyphosate 62 % IPA in rats, limit test	926TOX9650910	EFSA	①
87	1:ヒトに対する毒性	Simon, C.	2009	Glyphosate Technical: Acute oral Toxicity Study in Rat,	C22864, C22864 EXC GLP: Y, published: N 2309090 / ASB2012-11384	EFSA	①
88	1:ヒトに対する毒性	Snell, K.	1994	Glyphosate: Acute oral toxicity (limit test) in the rat	710/14 TOX9500245	EFSA	①
89	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	Acute oral toxicity study with glyphosate technical (FSG 03090 H/05 march 90) in Wistar rats	ES.874.AOR ! ES-GPT-AOR ! TOXI874/1990 TOX9551088	EFSA	①
90	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	Acute oral toxicity study with glyphosate technical (FSG 03090 H/05 march 90) in swiss albino mice	ES.875.AOM ! ES-GPT-AOM ! TOXI875/1990 TOX9551089	EFSA	①
91	1:ヒトに対する毒性	Talvioja, K.	2007	GLYPHOSATE TECHNICAL (NUP05068) : Acute oral toxicity study in rats	BO2272 NUF GLP: Y, published: N 2309103 / ASB2012-11390	EFSA	①
92	1:ヒトに対する毒性	Tavaszi, J.	2011	Glyphosate technical - Acute Oral Toxicity Study in the Rat (Up and Down Procedure)	10/218-001P SYN GLP: Y, published: N 2309113 / ASB2012-11392	EFSA	①
93	1:ヒトに対する毒性	Tornai, A.;	1994	Glyphosate (Alkaloida, Tiszavasvari): Acute oral toxicity in rats	GHA-94-401/R TOX9650142	EFSA	①
94	1:ヒトに対する毒性	Tos, E. G.;	1994	Glyphosate technical: Acute oral toxicity study in mice	940020 ! PRO629 TOX9551624	EFSA	①
95	1:ヒトに対する毒性	Ullmann, L.;	1989	Acute oral toxicity study with glyphosate technical (isopropylamine salt 62 % in water equivalent to 46 % of Nphosphonomethylglycine acid) in rats	238050 ! PRO439 TOX9551623	EFSA	①
96	1:ヒトに対する毒性	Walker, D. J.; Jones, J. R.	1992	Glyphosate technical: Acute oral toxicity (limit test) in the rat	134/37 TOX9551810	EFSA	①
97	1:ヒトに対する毒性	Wang, S. C.	1987	Acute oral toxicity of 41 % SN750721 solution in mice - Test report entrusted by Shinung Corporation	TX58AO2 TOX9500376	EFSA	①
98	1:ヒトに対する毒性	Wang, S.-C.	1987	Acute oral toxicity of 64 % SN750721 technical liquid in mice Test report entrusted by Shinung Corporation T	X58AO1 TOX9500375	EFSA	①
99	1:ヒトに対する毒性	You, J.	2009	Glyphosate: Acute Oral Toxicity Study (UDP) In Rats	12170-08 HEL GLP: Y, published: N 2309084 / ASB2012-11381	EFSA	①
100	1:ヒトに対する毒性	Arcelin, G.	2007	Glyphosate technical material: Acute dermal toxicity study in rats	B02766 (T007036-05) SYN GLP: Y, published: N 2309141 / ASB2012-11404	EFSA	①
101	1:ヒトに対する毒性	Branch, D. K.	1981	Acute dermal toxicity of MON 0139 to rabbits	800258 ! ML-80-261 TOX9552326	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
102	1:ヒトに対する毒性	Brett, M. G.	1990	Acute dermal toxicity study in the rat: Glyphosate technical	AGC-900823A ! AGC-301 ! R232 TOX9551793	EFSA	①
103	1:ヒトに対する毒性	Busch, B.	1987	Acute dermal toxicity study of Mon 8750 in New Zealand white rabbits	FDRL 9308A ! FD-86-431 TOX9552327	EFSA	①
104	1:ヒトに対する毒性	Busch, B.	1987	Acute dermal toxicity study of Mon 8722 in New Zealand white rabbits	FDRL 9307A ! FD-86-430 TOX9552328	EFSA	①
105	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J.A., Jackson, D.	1989	Glyphosate Technical Acute Dermal Toxicity (Limit) Test in Rats	5884 CHE GLP: Y, published: N 2309119 / TOX9300328	EFSA	①
106	1:ヒトに対する毒性	Do Amaral Guimaraes, S.P.	2008	Acute Dermal Toxicity in Wistar Hannover Rats for Glyphosate Technical	RF-3996.310.456.07 HAG GLP: Y, published: N 2309135 / ASB2012-11402	EFSA	①
107	1:ヒトに対する毒性	Doyle, C.E.	1996	Glyphosate Acid: Acute Dermal Toxicity in the Rat	CTL/P/4664 SYN GLP: Y, published: N 2309139 / TOX2000-1983	EFSA	①
108	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2009	Acute Dermal Toxicity Study of Glyphosate TC in CD Rats	LPT 23912 HAG GLP: Y, published: N 2309127 / ASB2012-11398	EFSA	①
109	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Acute Dermal Toxicity Study of Glyphosate TC in CD Rats	LPT 24876 HAG GLP: Y, published: N 2309129 / ASB2012-11399	EFSA	①
110	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Acute Dermal Toxicity Study of Glyphosate TC in CD Rats	LPT 24604 HAG GLP: Y, published: N 2309131 / ASB2012-11400	EFSA	①
111	1:ヒトに対する毒性	Komura,	1995	HR-001: Acute dermal toxicity study in rats	IET 94-0154 ALS GLP: Y, published: N 2309123 / ASB2012-11396	EFSA	①
112	1:ヒトに対する毒性	Merkel, D.	2005	Glyphosate Acid Technical: Acute Dermal Toxicity Study in Rats - Limit Test	PSL 15275 HAG GLP: Y, published: N 2309133 / ASB2012-11401	EFSA	①
113	1:ヒトに対する毒性	Meyer-Carrive, I.; Bolt, A. G.	1994	Acute dermal toxicity of glyphosate technical in the rat	T1586.3.A TOX9500378	EFSA	①
114	1:ヒトに対する毒性	Reagan, E. L.; Laveglia, J.	1988	Acute dermal toxicity of glyphosate Batch/lot/nbr no. XLI-55 in new zealand white rabbits	88.2053.008 ! FD-88-29 TOX9552325	EFSA	①
115	1:ヒトに対する毒性	Simon, C.	2009	Glyphosate Technical: Acute Dermal Toxicity Study in Rat	C22875 EXC GLP: Y, published: N 2309125 / ASB2012-11397	EFSA	①
116	1:ヒトに対する毒性	Snell, K.	1994	Glyphosate: Acute dermal toxicity (limit test) in the rat	710/15 TOX9500246	EFSA	①
117	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	Acute dermal toxicity study with glyphosate technical (FSG 03090 H/05 march 90) in Wistar rats	ES.876.ADR ! ES-GPT-ARD ! TOXI876/1990 TOX9551090	EFSA	①
118	1:ヒトに対する毒性	Talvioja, K.	2007	GLYPHOSATE TECHNICAL (NUP05068): Acute dermal toxicity study in rats	B02283 NUF GLP: Y, published: N 2309137 / ASB2012-11403	EFSA	①
119	1:ヒトに対する毒性	Tornai, A.;	1994	Glyphosate (Alkaloida, Tiszavasvari): Acute dermal toxicity in rats	GHA-94-402/R TOX9650143	EFSA	①
120	1:ヒトに対する毒性	Ullmann, L.;	1989	Acute dermal toxicity study with glyphosate technical (isopropylamine salt 62 % in water equivalent to 46 % of Nphosphonomethylglycine acid) in rats	238061 ! PRO425 TOX9551625	EFSA	①
121	1:ヒトに対する毒性	Walker, D. J.; Jones, J. R.	1992	Glyphosate technical: Acute dermal toxicity (limit test) in the rat	134/38 TOX9551813	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
122	1:ヒトに対する毒性	You, J.	2009	Glyphosate - Acute Dermal Toxicity Study in Rats	12171-08 HAG GLP: Y, published: N 2309121 / ASB2012-11395	EFSA	①
123	1:ヒトに対する毒性	Zelenak	2011	Glyphosate Technical - Acute Dermal Toxicity Study in Rats - Final Report Amendmend 1	10/218-002P SYN GLP: Y, published: N 2309143 / ASB2012-11405	EFSA	①
124	1:ヒトに対する毒性	Bechtel, C. L.	1988	Acute inhalation study of MON 8750 technical	EHL 87147 ! ML-87-228 TOX9552332	EFSA	①
125	1:ヒトに対する毒性	Blagden, S. M.	1994	Glyphosate premix: Acute inhalation toxicity study four-hour exposure (nose only) in the rat	523-001 ! 545/39 TOX9552331	EFSA	①
126	1:ヒトに対する毒性	Blagden, S. M.	1995	Glyphosate: Acute inhalation toxicity study four-hour exposure (nose only) in the rat	710/16 TOX9500247	EFSA	①
127	1:ヒトに対する毒性	Bonnette	2004	An acute nose-only inhalation toxicity study in rats with MON 78623	SB-2003-116 MON GLP: Y, published: N 2309169 / ASB2012-11417	EFSA	①
128	1:ヒトに対する毒性	Carter, L.	2009	Glyphosate - Acute Inhalation Toxicity Study in Rats	12107-08 HAG GLP: Y, published: N 2309155 / ASB2012-11411	EFSA	①
129	1:ヒトに対する毒性	Decker, U.	2007	Glyphosate technical (NUP05068) : 4-Hour acute inhalation toxicity study in rats	B02327 NUF GLP: Y, published: N 2309161 / ASB2012-11414	EFSA	①
130	1:ヒトに対する毒性	Dudek, B. R.	1987	Acute toxicity of Rodeo herbicide administered by inhalation to male and female Sprague-Dawley rats	EHL 86105 ! ML-86-281 ! MSL 6582 TOX9552330	EFSA	①
131	1:ヒトに対する毒性	Griffith, D.R.	2009	Glyphosate Tech: Acute Inhalation Toxicity (Nose only) Study in the Rat	2743/0001 EXC GLP: Y, published: N 2309149 / ASB2012-11408	EFSA	①
132	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2009	Acute Inhalation Toxicity Study of Glyphosate TC in Rats	LPT 23911 HAG GLP: Y, published: N 2309151 / ASB2012-11409	EFSA	①
133	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Acute Inhalation Toxicity Study of Glyphosate TC In Rats	24603 HEL GLP: Y, published: N 2309145 / ASB2012-11406	EFSA	①
134	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Acute Inhalation Toxicity Study of Glyphosate TC in Rats	LPT 24875 HAG GLP: Y, published: N 2309153 / ASB2012-11410	EFSA	①
135	1:ヒトに対する毒性	Koichi, E.	1995	HR-001: Acute inhalation toxicity study in rats	IET 94-0155 ALS GLP: Y, published: N 2309147 / ASB2012-11407	EFSA	①
136	1:ヒトに対する毒性	McDonald, P.; Anderson, B. T.	1989	Glyphosate technical: Acute inhalation toxicity study in rats (limit test)	5993 ! IRI 642062 TOX9552329	EFSA	①
137	1:ヒトに対する毒性	Merkel, D.	2005	Glyphosate Acid Technical: Acute Inhalation Toxicity Study in Rats - Limit Test	PSL 15276 HAG GLP: Y, published: N 2309157 / ASB2012-11412	EFSA	①
138	1:ヒトに対する毒性	Nagy, K.	2011	Glyphosate Technical - Acute inhalation Toxicity Study (Nose-only) in the Rat	11/054-004P SYN GLP: Y, published: N 2309165 / ASB2012-11415	EFSA	①
139	1:ヒトに対する毒性	Rattray, N.J.	1996	Glyphosate Acid: 4-Hour Acute Inhalation Toxicity Study in the Rat	CTL/P/4882 SYN GLP: Y, published: N 2309163 / TOX2000-1984	EFSA	①
140	1:ヒトに対する毒性	Thevenaz, P.; Biedermann, K.	1989	4-hour, acute inhalation toxicity study with glyphosate technical in rats	238105 ! PRO426 TOX9551626	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
141	1:ヒトに対する毒性	Tornai, A.;	1994	Glyphosate (Alkaloida, Tiszavasvari): Acute inhalation toxicity in rats	GHA-94-403/R TOX9650144	EFSA	①
142	1:ヒトに対する毒性	Wnorowski, G.	1999	NUP5a99 62 % glyphosate MUP: Acute inhalation toxicity study in rats - Limit test	7909 NUF GLP: Y, published: N 2309167 / ASB2012-11416	EFSA	①
143	1:ヒトに対する毒性	Arcelin, G.	2007	Glyphosate technical material: Primary skin irritation study in rabbits (4-hour semioclusive application)	B02777 (T007037-05) SYN GLP: Y, published: N 2309193 / ASB2012-11426	EFSA	①
144	1:ヒトに対する毒性	Brett, M. G.	1990	Acute dermal irritation/corrosion of glyphosate technical in the rabbit (intact and abraded skin)	AGC-900822A ! AGC-001 ! R233 TOX9551794	EFSA	①
145	1:ヒトに対する毒性	Busch, B.	1987	Primary dermal irritation study of Mon-8750 in New Zealand white rabbits	FDRL 9308A ! FD-86-431 TOX9552336	EFSA	①
146	1:ヒトに対する毒性	Canabrava	2008	Acute Dermal Irritation/Corrosion Study in Rabbits with Glyphosate Technical	RF-3996.311.476.07 HAG GLP: Y, published: N 2309185 / ASB2012-11425	EFSA	①
147	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1989	Glyphosate technical: Primary skin irritation test in rabbits	5885 ! IRI 243268 TOX9552333	EFSA	①
148	1:ヒトに対する毒性	Doyle, C.E.	1996	Glyphosate Acid: Skin Irritation To The Rabbit	CTL/P/4695 SYN GLP: Y, published: N 2309191 / TOX2000-1985	EFSA	①
149	1:ヒトに対する毒性	Dreher, D. M.	1994	Glyphosate premix: Acute dermal irritation test in the rabbit	565-003 ! 545/40 TOX9552335	EFSA	①
150	1:ヒトに対する毒性	Hideo, U.	1995	HR-001: Primary Dermal irritation study in rabbits	IET 95-0035 ALS GLP: Y, published: N 2309175 / ASB2012-11420	EFSA	①
151	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2009	Acute Dermal Irritation/Corrosion Test (Patch Test) of Glyphosate TC In Rabbits	24877 HEL GLP: Y, published: N 2309173 / ASB2012-11419	EFSA	①
152	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2009	Acute Dermal Irritation/Corrosion Test (Patch Test) of Glyphosate TC in Rabbits	LPT 23913 HAG GLP: Y, published: N 2309177 / ASB2012-11421	EFSA	①
153	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2010	Acute Dermal Irritation/Corrosion Test (Patch Test) of Glyphosate TC in Rabbits	LPT 24605 HAG GLP: Y, published: N 2309179 / ASB2012-11422	EFSA	①
154	1:ヒトに対する毒性	Merkel, D.	2005	Glyphosate Acid Technical - Primary Skin Irritation Study in Rabbits	PSL 15278 HAG GLP: Y, published: N 2309183 / ASB2012-11424	EFSA	①
155	1:ヒトに対する毒性	Reagan, E.L. & Laveglia, J.	1988	Primary Dermal Irritation Study of Glyphosate Batch/lot/nbr no. XLI-55 in New Zealand White Rabbits	FD-88-29 (FDRL 88.20 MON GLP: Y, published: N 2309187 / Z35394	EFSA	①
156	1:ヒトに対する毒性	Snell, K.	1994	Glyphosate 360g/L: Acute dermal irritation test in the rabbit	710/29 TOX9500248	EFSA	①
157	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	Primary skin irritation study with glyphosate technical (FSG 03090 H/05 march 90) in New Zealand white rabbits	ES.878.SKIN ! TOXI-878/1990 ! ES-GPTSKIN TOX9551092	EFSA	①
158	1:ヒトに対する毒性	Talvioja, K.	2007	Glyphosate Technical (NUP 05068): Primary Skin Irritation Study in Rabbits (4-Hour Semi-Occlusive Application)	B02294 NUF GLP: Y, published: N 2309171 / ASB2012-11418	EFSA	①
159	1:ヒトに対する毒性	Tornai, A.;	1994	Glyphosate (Alkaloida, Tiszavasvari): Primary dermal irritation study in rabbits	GHA-93-404/N TOX9650145	EFSA	①
160	1:ヒトに対する毒性	Tos, E. G.;	1991	Acute dermal irritation study in New Zealand White rabbits treated with the test article glyphosate tecnico 98 %	910259 ! PRO495 TOX9551627	EFSA	①
161	1:ヒトに対する毒性	Ullmann, L.; Porricello, T.; Janiak, T.	1989	Primary skin irritation study with glyphosate technical (isopropylamine salt 62 % in water equivalent to 46 % of N-phosphonomethylglycine acid) in rabbits (4hour semi-occlusive application on intact and abraded skin)	238072 ! PRO438 TOX9551628	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
162	1:ヒトに対する毒性	You, J.	2009	Glyphosate - Acute Dermal Irritation Study in Rabbits	12173-08 HAG GLP: Y, published: N 2309181 / ASB2012-11423	EFSA	①
163	1:ヒトに対する毒性	Zelenák, V.	2011	Glyphosate technical - Primary skin irritation study in rabbits - Final report Amendment 1	10/218-006N SYN GLP: Y, published: N 2309195 / ASB2012-11427	EFSA	①
164	1:ヒトに対する毒性	Arcelin, G.	2007	Glyphosate technical material: Primary eye irritation study in rabbits	B02788 (T007038-05) SYN GLP: Y, published: N 2309219 / ASB2012-11437	EFSA	①
165	1:ヒトに対する毒性	Brett, M.	1990	Acute eye irritation/corrosion of glyphosate technical in the rabbit	AGC-900822 ! AGC-002 ! R234 TOX9500264	EFSA	①
166	1:ヒトに対する毒性	Busch, B.	1987	Primary eye irritation of Mon 8722 in New Zealand white rabbits	FDRL 9307A ! FD-86-430 TOX9552342	EFSA	①
167	1:ヒトに対する毒性	Canabrava Frossard de	2008	Acute Eye Irritation/Corrosion Study in Rabbits with Glyphosate Technical	RF-3996.312.599.07 HAG GLP: Y, published: N 2309213 / ASB2012-11436	EFSA	①
168	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1989	Glyphosate technical: Primary eye irritation test in rabbits	5886 ! IRI 243268 TOX9552338	EFSA	①
169	1:ヒトに対する毒性	Dreher, D. M.	1994	Glyphosate premix: Acute eye irritation test in the rabbit	566-003 ! 545/41 TOX9552340	EFSA	①
170	1:ヒトに対する毒性	Hideo, U.	1995	HR-001: Primary Eye Irritation study in rabbits	IET 95-0034 ALS GLP: Y, published: N 2309201 / ASB2012-11430	EFSA	①
171	1:ヒトに対する毒性	Johnson, I.R.	1997	Glyphosate Acid: Eye Irritation to the Rabbit	CTL/P/5138 SYN GLP: Y, published: N 2309217 / TOX2000-1986	EFSA	①
172	1:ヒトに対する毒性	Kuhn, J. O.; Harrison, L. V.	1996	CHA 440: Primary eye irritation study in rabbits	2981-96 ! S9-FF81-4.C41 TOX1999-881	EFSA	①
173	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2009	Acute Eye Irritation/Corrosion Test Of Glyphosate TC In Rabbits	24878 HEL GLP: Y, published: N 2309199 / ASB2012-11429	EFSA	①
174	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2009	Acute Eye Irritation/Corrosion Test of Glyphosate TC in Rabbits	LPT 23914 HAG GLP: Y, published: N 2309205 / ASB2012-11432	EFSA	①
175	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2010	Acute Eye Irritation/Corrosion Test of Glyphosate TC in Rabbits	LPT 24606 HAG GLP: Y, published: N 2309207 / ASB2012-11433	EFSA	①
176	1:ヒトに対する毒性	Merkel, D.	2005	Eye Irritation/Corrosion Effects in Rabbits (Oryctolagus cuniculus) of Glyphosate 95 TC	PSL 15277 HAG GLP: Y, published: N 2309211 / ASB2012-11435	EFSA	①
177	1:ヒトに対する毒性	Reagan, E.L., Laveglia, J.	1988	Primary Eye Irritation Study of Glyphosate	FD-88-29 MON GLP: N, published: N 2309215 / Z35395	EFSA	①
178	1:ヒトに対する毒性	Simon, C.	2009	Expert Statement Expert Statement Expert Statement Glyphosate technical: Primary eye irritation study in rat	C22897 EXC GLP: Y, published: N 2309203 / ASB2012-11431	EFSA	①
179	1:ヒトに対する毒性	Snell, K.	1994	Glyphosate: Acute eye irritation test in the rabbit	710/18 TOX9500249	EFSA	①
180	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	Primary eye irritation study with glyphosate technical (FSG 03090 H/05 march 90) in New Zealand white rabbits	ES.879.EYE ! TOXI-879/1990 ! ES-GPTEYE TOX9551093	EFSA	①
181	1:ヒトに対する毒性	Talvioja, K.	2007	Glyphosate Technical (NUP 05068): Primary Eye Irritation Study In Rabbits	B02305 NUF GLP: Y, published: N 2309197 / ASB2012-11428	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
182	1:ヒトに対する毒性	Tavaszi, J.	2011	Glyphosate Technical - Acute Eye Irritation Study in Rabbits	10/218-005N NUF GLP: Y, published: N 2309221 / ASB2012-11438	EFSA	①
183	1:ヒトに対する毒性	Tornai, A.;	1994	Glyphosate (Alkaloida, Tiszavasvari): Primary eye irritation study in rabbits	GHA-93-405/N TOX9650146	EFSA	①
184	1:ヒトに対する毒性	Tos, E. G.; Maraschin, R.	1991	Acute eye irritation study in New Zealand White rabbits treated with the test article glyphosate tecnico 98 %	910260 ! PRO496 Z101610	EFSA	①
185	1:ヒトに対する毒性	Ullmann, L.; Porricello, T.; Janiak, Th.	1989	Primary eye irritation with glyphosate technical (isopropylamine salt 62 % in water equivalent to 46 % of Nphosphonomethylglycine acid) in the rabbit (rinsed / unrinsed eyes)	238083 ! PRO423 TOX9551629	EFSA	①
186	1:ヒトに対する毒性	You, J.	2009	Glyphosate - Acute Eye Irritation Study in Rabbits	12172-08 HAG GLP: Y, published: N 2309209 / ASB2012-11434	EFSA	①
187	1:ヒトに対する毒性	Auletta, C. S.	1983	A dermal sensitization study in guinea pigs with Glyphosate	BD-83-008 ! B/d 4235-82 Z35238	EFSA	①
188	1:ヒトに対する毒性	Betts, C.J.	2007	Glyphosate Technical Material - Skin Sensitisation (Local Lymph Node Assay in the Mouse)	GM8048-REG SYN GLP: Y, published: N 2309245 / ASB2012-11449	EFSA	①
189	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1989	Glyphosate technical: Magnusson-Kligman maximisation test in guinea pigs	5887 ! IRI 243268 TOX9552343	EFSA	①
190	1:ヒトに対する毒性	Doyle, C.E.	1996	Glyphosate Acid: Skin Sensitisation to the Guinea Pig	CTL/P/4699 SYN GLP: Y, published: N 2309243 / TOX2000-1987	EFSA	①
191	1:ヒトに対する毒性	Dreher, D. M.	1994	Glyphosate premix: Magnusson & Kligman maximisation study in the guinea pig	567-003 ! 545/42 TOX9552345	EFSA	①
192	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2009	Examination of Glyphosate TC in Skin Sensitisation Test in Guinea Pigs according to Magnusson and Kligman (Maximisation Test)	LPT 23915 HAG GLP: Y, published: N 2309231 / ASB2012-11443	EFSA	①
193	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Examination Of Glyphosate TC In The Skin Sensitisation Test In Guinea Pigs According To Magnusson And Kligman (Maximisation Test)	24879 HEL GLP: Y, published: N 2309225 / ASB2012-11440	EFSA	①
194	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn, J.	2010	Examination of Glyphosate TC in Skin Sensitisation Test in Guinea Pigs according to Magnusson and Kligman (Maximisation Test)	LPT 24607 HAG GLP: Y, published: N 2309233 / ASB2012-11444	EFSA	①
195	1:ヒトに対する毒性	Hideo, U.	1995	HR-001: Dermal sensitisation study in guinea pigs	IET 95-0036 ALS GLP: Y, published: N 2309227 / ASB2012-11441	EFSA	①
196	1:ヒトに対する毒性	Lima Dallago, B.S.	2008	Skin Sensitisation Test for Glyphosate Technical in Guinea Pigs. Buehler Test	RF-3996.318.431.07 HAG GLP: Y, published: N 2309239 / ASB2012-11447	EFSA	①
197	1:ヒトに対する毒性	Merkel, D.	2005	Glyphosate acid technical - Dermal Sensitisation in Guinea Pigs (Buehler Method)	PSL 15279 HAG GLP: Y, published: N 2309237 / ASB2012-11446	EFSA	①
198	1:ヒトに対する毒性	Pore, M. P.;	1993	Skin sensitisation test in guinea-pigs with glyphosate technical 95 % min of Excel Industries Ltd., Bombay.	IIT 1230 TOX9650652	EFSA	①
199	1:ヒトに対する毒性	Richeux, F.	2006	Glyphosate Technical: Skin Sensitisation in the Guinea Pig - Magnusson and Kligman Maximisation method	2060/009 (SMK-PH-05- NUF GLP: Y, published: N 2309241 / ASB2012-11448	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
200	1:ヒトに対する毒性	Simon, C.	2009	Glyphosate Technical: Contact Hypersensitivity in albino guinea pigs - Maximisation-Test	C22908 EXC GLP: Y, published: N 2309229 / ASB2012-11442	EFSA	①
201	1:ヒトに対する毒性	Snell, K.	1994	Glyphosate: Magnusson & Kligman maximisation study in the guinea pig	710/19 TOX9500250	EFSA	①
202	1:ヒトに対する毒性	Talvioja, K.	2007	Glyphosate Technical (NUP 05068): Contact Hypersensitivity in Albino Guinea Pigs, Maximisation Test	B02316 NUF GLP: Y, published: N 2309223 / ASB2012-11439	EFSA	①
203	1:ヒトに対する毒性	Török-Bathó, M.	2011	Glyphosate technical - Local lymph node assay in the mouse - Final report amendment	210/218-037E SYN GLP: Y, published: N 2309247 / ASB2012-11450	EFSA	①
204	1:ヒトに対する毒性	Walker, D. J.; Pateman, J. R.; Jones, J. R.	1991	Luxan glyphosate techn.: Magnusson & Kligman maximisation study in the guinea pig	349/11 TOX9551796	EFSA	①
205	1:ヒトに対する毒性	You, J.	2009	Glyphosate - Skin Sensitisation Study in Guinea Pigs. Buehler Test	12174-08 HAG GLP: Y, published: N 2309235 / ASB2012-11445	EFSA	①
206	1:ヒトに対する毒性	Atkinson, C.;	1989	Glyphosate: 4 week dietary toxicity study in rats	5626 ! IRI 437462 TOX9552351	EFSA	①
207	1:ヒトに対する毒性	Goburdhun, R.; Oshodi, R. O.	1989	Glyphosate: Oral maximum tolerated dose study in dogs	5660 ! IRI 640683 TOX9552352	EFSA	①
208	1:ヒトに対する毒性	Hadfield, N.	2012	Glyphosate acid - In Vitro absorption through abraded rabbit skin using [14C]-glyphosate	JV2182-REG GTF GLP: Y, published: N 2309282 / ASB2012-11459	EFSA	①
209	1:ヒトに対する毒性	Heath, J.;	1993	Glyphosate: 3 week toxicity study in rats with dermal administration	7839 ! IRI 450881 TOX9552367	EFSA	①
210	1:ヒトに対する毒性	Johnson, D.E.	1982	21-Day dermal toxicity study in rabbits	IR-81-195 MON GLP: N, published: N 2309280 / TOX9552366	EFSA	①
211	1:ヒトに対する毒性	Naylor, M. W.	1982	Range finding study of MON 0139 and isopropylamine administered orally to dogs	ML-81-032/810036 ! MSL-2155 TOX9552349	EFSA	①
212	1:ヒトに対する毒性	Pinto, P.J.	1996	Glyphosate acid: 21-day dermal toxicity study in rats	CTL/P/4985 SYN GLP: Y, published: N 2309288 / ASB2012-11461	EFSA	①
213	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	28-day dietary study in rats on glyphosate technical	ES.881.28 DDR ! TOXI-881/1991 ! ES-GPT28 DDR TOX9551095	EFSA	①
214	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1994	28-day dietary study in rats on glyphosate technical -Amendment	ES.881.28 DDR ! TOXI-881/1991 ! ES-GPT28 DDR Z102035	EFSA	①
215	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1994	28-day dietary study in rats on glyphosate technical - Second Amendment	ES.881.28 DDR ! TOXI-881/1991 ! ES-GPT28 DDR Z102043	EFSA	①
216	1:ヒトに対する毒性	Tornai, A.	1994	GGlyphosate technical (Alkaloida, Tiszavasvári): Repeated dose twenty-eightDay dermal toxicity study in rabbits	MÜF 214/94 MON GLP: Y, published: N 2309284 / TOX9650151	EFSA	①
217	1:ヒトに対する毒性	Velasquez, D.	1983	Four-week study of 33-1/3 % use-dilution of Roundup in water administered to male and female Sprague-Dawley rats by inhalation	830025 ! ML-83-015 TOX2002-694	EFSA	①
218	1:ヒトに対する毒性	Antal, A.	1981	Glyphosate: Subchronic toxicological study 90-day rats	TOX9650152	EFSA	①
219	1:ヒトに対する毒性	Botham, P.A.	1996	First Revision to Glyphosate Acid: 90 Day Oral Feeding Study in Rats	CTL/P/1599 SYN GLP: Y, published: N 2309249 / TOX2000-1990	EFSA	①
220	1:ヒトに対する毒性	Brett, M.;	1990	Glyphosate technical: 90 day oral toxicity study in the rat	AGC-900914 ! AGC-401 ! R230 TOX9500266	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
221	1:ヒトに対する毒性	Coles, L.J.,	1996	Technical Glyphosate: Ninety Day SubChronic Oral (Dietary) Toxicity Study In The Rat	434/016 NUF GLP: Y, published: N 2309256 / ASB2012-11451	EFSA	①
222	1:ヒトに対する毒性	Eadie, A.;	1989	Glyphosate technical: 90 day oral toxicity study in the rats - incl.	Amendment to Protocol BY-401 BY-891002 ! BY-401 TOX9551821	EFSA	①
223	1:ヒトに対する毒性	Kinoshita, M.	1995	HR-001: 13-week Subchronic Oral Toxicity Study in Rats	IET 94-0138 ALS GLP: Y, published: N 2309258 / ASB2012-11452	EFSA	①
224	1:ヒトに対する毒性	Kuwahara	1995	HR-001: 13-week Oral Subchronic Toxicity Study in Mice	IET 94-0136 ALS GLP: Y, published: N 2309260 / ASB2012-11453	EFSA	①
225	1:ヒトに対する毒性	Parker, R.M.	1993	90 day range finding study of glyphosate in rats	011-0001 ALK GLP: Y, published: N 2309252 / TOX9650149	EFSA	①
226	1:ヒトに対する毒性	Perry, C. J.;	1991	Glyphosate: 13-week dietary toxicity study in rats	7136 ! IRI 437876 TOX9552364	EFSA	①
227	1:ヒトに対する毒性	Stout, L. D.;	1987	90-day study of glyphosate administered in feed to Sprague-Dawley rats	MSL 7375 ! ML-86-351 ! EHL 86128 TOX9552362	EFSA	①
228	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1992	Glyphosat techn. (FSG 03090 H/05 March 1990): 90 day oral toxicity study in wistar rats	TOXI-882/1991 ! ES-GPT-90 OR ! ES-882 90 OR TOX9551096	EFSA	①
229	1:ヒトに対する毒性	Gaou, I.	2007	Glyphosate Technical: 13-Week Toxicity Study By Oral Route (Capsule) In Beagle Dogs	29646 TCC NUF GLP: Y, published: N 2309262 / ASB2012-11454	EFSA	①
230	1:ヒトに対する毒性	Hodge, M.C.E.	1996	First Revision to Glyphosate Acid: 90-Day Oral Toxicity Study in Dogs	CTL/P/1802 SYN GLP: Y, published: N 2309271 / TOX2000-1991	EFSA	①
231	1:ヒトに対する毒性	Prakash, P.J.	1999	Subchronic (90 Day) Oral Toxicity Study With Glyphosate Technical In Beagle Dogs AND Test compound stability in experimental diet (dog feed)	1816 / 1817-R.FST FSG GLP: Y, published: N 2309264 / ASB2012-11455	EFSA	①
232	1:ヒトに対する毒性	Reyna, M.S.	1985	Twelve month study of glyphosate administered by gelatin capsule to beagle dogs	MSL-5069 ! 636 Z35385	EFSA	①
233	1:ヒトに対する毒性	Reyna, M. S.; Thake, D.	1983	Six month study of MON 0139 administered by gelatin capsule to beagle dogs	810166 ! ML-81-368 TOX9552361	EFSA	①
234	1:ヒトに対する毒性	Yoshida, A.	1996	HR-001: 13-week Oral Subchronic Toxicity Study in Dogs	IET 94-0158 ALS GLP: Y, published: N 2309269 / ASB2012-11456	EFSA	①
235	1:ヒトに対する毒性	Brammer, A.	1996	Glyphosate Acid: 1 Year Dietary Toxicity Study in Dogs	CTL/P/5079 SYN GLP: Y, published: N 2309278 / TOX2000-1992	EFSA	①
236	1:ヒトに対する毒性	Goburdhun, R.	1990	Glyphosate: 52-week oral toxicity study in dogs	7502 ! IRI 642675 TOX9552384	EFSA	①
237	1:ヒトに対する毒性	Haag, V.	2007	Glyphosate technical: 52-week Toxicity Study by Oral Route (Capsule)in Beagle Dogs	29647 TCC NUF GLP: Y, published: N 2309274 / ASB2012-11457	EFSA	①
238	1:ヒトに対する毒性	Nakashima, N.	1997	HR-001: 12-Month Oral Chronic Toxicity Study in Dogs	IET 94-0157 ALS GLP: Y, published: N 2309276 / ASB2012-11458	EFSA	①
239	1:ヒトに対する毒性	Akanuma, M.	1995	HR-001: Reverse Mutation Test	IET 94-0142 ALS GLP: Y, published: N 2309291 / ASB2012-11462	EFSA	①
240	1:ヒトに対する毒性	Callander, R.D.	1996	Glyphosate acid: An evaluation of mutagenic potential using S. typhimurium and E. coli	CTL/P/4874 SYN GLP: Y, published: N 2309313 / ASB2012-11473	EFSA	①
241	1:ヒトに対する毒性	Flügge, C.	2009	Mutagenicity Study of Glyphosate TC in the Salmonella typhimurium Reverse Mutation Assay (in vitro)	LPT 23916 HAG GLP: Y, published: N 2309303 / ASB2012-11468	EFSA	①
242	1:ヒトに対する毒性	Flügge, C.	2010	Mutagenicity Study of Glyphosate TC in the Salmonella typhimurium Reverse Mutation Assay (in vitro)	LPT 24880 HAG GLP: Y, published: N 2309305 / ASB2012-11469	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
243	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J. C.	1991	Mutagenicity test: Ames salmonella assay with glyphosate,	batch 206-JaK-25-1 Report: 12323, TOX9552371	EFSA	①
244	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.;	1992	Ames/salmonella mutagenicity assay of MON 2139 (Roundup herbicide formulation)	EHL 91183 ! ML-91-440 ! MSL-11729 TOX1999-239	EFSA	①
245	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.;	1992	Ames/salmonella mutagenicity assay of MON 14445 (DIRECT Herbicide formulation)	MSL-11731 ! EHL 91185/ML-91-442 TOX1999-320	EFSA	①
246	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.;	1992	Ames/Salmonella mutagenicity assay of Rodeo	MSL-11730 ! EHL 91184/ML-91-441 TOX9552373	EFSA	①
247	1:ヒトに対する毒性	Li, A. P. ; Long, T. J.	1988	An evaluation of the genotoxic potential of glyphosate,	Fundamental and Applied Toxicology 10 (1988)537 – 546 published: Y, TOX9500253	EFSA	①
248	1:ヒトに対する毒性	Rank, J.;	1993	Genotoxicity testing of the herbicide roundup and its active ingredient glyphosate isopropylamine using the mouse bone marrow micronucleus test, Salmonella mutagenicity test, and Allium anaphasetelephase test	Mutation Research, 300 (1993) 29-36 Z82234	EFSA	①
249	1:ヒトに対する毒性	Rasmussen, E.	1997	Genotoxicity of Roundup/Glyphosate,	Danish Environmental Protection Agency, AA036753, 7042-0110 ASB2013-9671	EFSA	①
250	1:ヒトに対する毒性	Riberri do Val, R.	2007	Bacterial reverse mutation test (Ames Test) for Glifosato	Técnico Helm 3393/2007-2.0AM-B HAG GLP: Y, published: N 2309299 / ASB2012-11466	EFSA	①
251	1:ヒトに対する毒性	Schreib, G.	2012	Reverse mutation assay using Bacteria (Salmonella typhimurium) with Glyphosate tech.	126159ASB2014-9133	EFSA	①
252	1:ヒトに対する毒性	Shirasu, Y.;	1978	Glyphosate: The report of mutagenic study with bacteria for CP 67573 -	Microbial mutagenicity testing on CP67573 Report: ET-78-241, TOX9552368	EFSA	①
253	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse mutation assay with glyphosate technical (NUP-05068)	1061401 NUF GLP: Y, published: N 2309293 / ASB2012-11463	EFSA	①
254	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse mutation assay with glyphosate technical (NUP-05070)	1061402 NUF GLP: Y, published: N 2309295 / ASB2012-11464	EFSA	①
255	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse mutation assay with glyphosate technical (NUP-05067)	1061403 NUF GLP: Y, published: N 2309297 / ASB2012-11465	EFSA	①
256	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2009	Glyphosate technical - Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse Mutation Assay	1264500 SYN GLP: Y, published: N 2309315 / ASB2012-11474	EFSA	①
257	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2010	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse Mutation Assay with Solution of Glyphosate TC spiked with Glyphosine	1332300 HAG GLP: Y, published: N 2309307 / ASB2012-11470	EFSA	①
258	1:ヒトに対する毒性	Thompson, P.W.	1996	Technical glyphosate: Reverse mutation assay "Ames test" using Salmonella typhimurium and Escherichia coli	434/014 NUF GLP: Y, published: N 2309311 / ASB2012-11472	EFSA	①
259	1:ヒトに対する毒性	Thompson, P.	2014	Glyphosate: Reverse mutation assay 'Ames test' using Salmonella typhimurium and Escherichia coli	41401854ASB2014-9148	EFSA	①
260	1:ヒトに対する毒性	Vargas, A. A.	1996	The Salmonella typhimurium reverse mutation by Glifos G.1.1 -	050/96 TOX1999-884	EFSA	①
261	1:ヒトに対する毒性	Wallner, B.	2010	Reverse Mutation Assay using Bacteria (Salmonella typhimurium) with Glyphosate TC	BSL 101268 HAG GLP: Y, published: N 2309309 / ASB2012-11471	EFSA	①
262	1:ヒトに対する毒性	Fox, V.	1998	Glyphosate acid: In vitro cytogenetic assay in human lymphocytes	CTL/P/6050 SYN GLP: Y, published: N 2309321 / TOX2000-1995	EFSA	①
263	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J. C.	1991	Mutagenicity test: In vitro mammalian cell gene mutation test with glyphosate,	batch 206-JaK-25-1, Report: 12325, published: N, TOX9552372	EFSA	①
264	1:ヒトに対する毒性	Kyomu, M.	1995	HR-001: In vitro cytogenetics test	IET 94-0143 ALS GLP: Y, published: N 2309317 / ASB2012-11475	EFSA	①
265	1:ヒトに対する毒性	Li, A. P.	1983	CHO/HGPRT gene mutation assay with glyphosate,	Report ML-83-155 ! 830079, published: N, TOX9552369	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
266	1:ヒトに対する毒性	Rossberger, S.	1994	Glyphosate: DNA repair test with primary rat hepatocytes,	Report: 931564 ! 94-03-28 ro, published: N, TOX9400697/TOX9551099	EFSA	①
267	1:ヒトに対する毒性	van de Waart,	1995	Evaluation of the ability of glyphosate to induce chromosome aberrations in cultured peripheral human lymphocytes (with independent repeat)	Report: 141918, published: N, TOX9651525	EFSA	①
268	1:ヒトに対する毒性	Wright, N.P.	1996	Technical glyphosate: Chromosome aberration test in CHL cells in vitro	434/015 NUF GLP: Y, published: N 2309319 / ASB2012-11476	EFSA	①
269	1:ヒトに対する毒性	Akanuma, M.	1995	HR-001: DNA Repair Test (Rec-Assay)	IET 94-0141 ALS GLP: Y, published: N 2309325 / ASB2012-11477	EFSA	①
270	1:ヒトに対する毒性	Clay, P.	1996	Glyphosate acid: L5178 TK+/- mouse lymphoma gene mutation assay	CTL/P/4991 SYN GLP: Y, published: N 2309323 / TOX2000-1994	EFSA	①
271	1:ヒトに対する毒性	Alvarez-Moya,	2011	Evaluation of genetic damage induced by glyphosate isopropylamine salt using Tradescantia bioassays	Genetics and Molecular Biology 34 (1):127-130 34, 127-130 GLP: N, published: Y 2309560 / ASB2012-11538	EFSA	①
272	1:ヒトに対する毒性	Amer, S.M.,	2006	In vitro and in vivo evaluation of the genotoxicity of the herbicide glyphosate in mice	Bulletin of the National Research Centre (Egypt) 31, 427-446 GLP: N, published: Y 2309562 / ASB2012-11539	EFSA	①
273	1:ヒトに対する毒性	Andre, V.,	2007	Evaluation of bulky DNA adduct levels after pesticide use: Comparison between openfield farmers and fruit growers	Toxicological & Environmental Chemistry 89, 125-139 GLP: N, published: Y 2309570 / ASB2012-11543	EFSA	①
274	2:農作物及び畜産物への残留	Anonym.	2004	WORLD HEALTH ORGANIZATION and FOOD AND AGRICULTURE ORGANIZATION OF THE UNITED NATIONS, Rome: Pesticide residues in food –	2004; Report of the Joint Meeting of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and the WHO Core Assessment Group on Pesticide Residues Rome, Italy, 20–29 September 2004, ASB2008-6266	EFSA	①
275	1:ヒトに対する毒性	Benachour, N., Seralini, G.E.	2009	Glyphosate formulations induce apoptosis and necrosis in human umbilical, embryonic, and placental cells	Chem Res Toxicol 22, 97-105 GLP: N, published: Y 2309606 / ASB2012-11561	EFSA	①
276	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi, C.,	1997	Genotoxic activity of glyphosate and its technical formulation roundup	Journal of Agricultural and Food Chemistry 45, 1957-1962 GLP: N, published: Y 2309628 / Z59299	EFSA	①
277	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi, C.,	2009	Biomonitoring of genotoxic risk in agricultural workers from five colombian regions: association to occupational exposure to glyphosate	J Toxicol Environ Health A 72, 986-997 GLP: N, published: Y 2309630 / ASB2012-11570	EFSA	①
278	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi, C.,	2004	Cytogenetic biomonitoring of a floriculturist population in Italy: micronucleus analysis by fluorescence in situ hybridization (FISH) with an all-chromosome centromeric probe	Mutation Research-Genetic Toxicology and Environmental Mutagenesis 557, 109-117 GLP: N, published: Y 2309634 / ASB2012-11572	EFSA	①
279	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi, C., Perrone, E., Landini, E.	2002	Micronucleus monitoring of a floriculturist population from western Liguria, Italy	Mutagenesis 175, 391-397 GLP: N, published: Y 2309636 / ASB2012-11573	EFSA	①
280	1:ヒトに対する毒性	Carvalho	1999	A micronucleus study in mice for glifosate técnico Nufarm	RF-G12.79/99 NUF GLP: Y, published: N 2309335 / ASB2012-11482	EFSA	①
281	1:ヒトに対する毒性	Cavalcante,	2008	Genotoxic effects of Roundup (R) on the fish Prochilodus lineatus	Mutation Research-Genetic Toxicology and Environmental Mutagenesis 655, 41-46 GLP: N, published: Y 2309662 / ASB2012-11586	EFSA	①
282	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Cavas, T., Konen, S.	2007	Detection of cytogenetic and DNA damage in peripheral erythrocytes of goldfish (Carassius auratus) exposed to a glyphosate formulation using the micronucleus test and the comet assay	Mutagenesis 22, 263-268 GLP: N, published: Y 2309664 / ASB2012-11587	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
283	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska, .	2000	Glyphosate: Evaluation of chronic activity and possible far -reaching effects - Part 2. Studies on mutagenic activity	Pestycydy, 2000, (3-4), 21-25 ASB2013-9830	EFSA	①
284	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Clements, C.; Ralph, S.; Petras, M.	1997	Glyphosate: Genotoxicity of select herbicides in Rana catesbeiana tadpoles using the alkaline single-cell gel DNA electrophoresis (comet) assay	Environ. Molec. Mutagen., 29, 277-288 Z101728	EFSA	①
285	1:ヒトに対する毒性	N do	2000	Comparative analysis between micronuclei tests in mice and in peripheral erythrocytes of Oreochromis niloticus in evaluation ofmutagenic potential of the agrotoxins deltamethrin, dicofol, glyphosate, and Imazapyr	ASB2013-11477	EFSA	①
286	1:ヒトに対する毒性	Costa, K. C.	2008	Evaluation of the mutagenic potential of Glyphosate Technical Micronucleus assay in mice Bioagri Laboratories Ltda., Brazil Data owner: HAG (original sponsor: Jingma Chemicals, Longyou Zhejian, China)	Report No.: RF - 3996.402.395.07 Date: 2008-09-29 Unpublished; ASB2012-11481	EFSA	①
287	1:ヒトに対する毒性	Costa, K. C.	2010	Amendment No. 1 to report: Evaluation of the mutagenic potential of Glyphosate technical by micronucleus assay in mice 3996.402.395.07 ASB2014-9284	3996.402.395.07 ASB2014-9284	EFSA	①
288	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska, K.; Brzezinski,	2000	Glyphosate: Evaluation of chronic activity and possible far - reaching effects - Part 1. Studies on chronic toxicity	Pestycydy, 2000, (3 -4), 11-20 ASB2013-9829	EFSA	①
289	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska, .	2000	Glyphosate: Evaluation of chronic activity and possible far - reaching effects - Part 3. Prenatal toxicity	Pestycydy, 2000, (3-4), 27-31 ASB2013-9831	EFSA	①
290	1:ヒトに対する毒性	Dimitrov, B.D.,	2006	Comparative genotoxicity of the herbicides Roundup, Stomp and Reglone in plant and mammalian test systems	Mutagenesis 21, 375-382 GLP: N, published: Y 2309708 / ASB2012-11607	EFSA	①
291	1:ヒトに対する毒性	Durward, R.	2006	Glyphosate Technical: Micronucleus Test In The Mouse	2060/014 NUF GLP: Y, published: N 2309327 / ASB2012-11478	EFSA	①
292	1:ヒトに対する毒性	Flowers, L. J.	1981	Ames/salmonella mutagenicity assay of MON	8080 MSL 1538 ! ML-80-294/800281 TOX1999-319	EFSA	①
293	1:ヒトに対する毒性	Flügge, C.	2009	Micronucleus Test of Glyphosate TC in Bone Marrow Cells of the CD Rat by oral administration	LPT 23917 HAG GLP: Y, published: N 2309329 / ASB2012-11479	EFSA	①
294	1:ヒトに対する毒性	Fox, V.,	1996	Glyphosate acid: mouse bone marrow micronucleus test	CTL/P/4954 SYN GLP: Y, published: N 2309337 / TOX2000-1996	EFSA	①
295	1:ヒトに対する毒性	Grisolia, C.K.	2002	A comparison between mouse and fish micronucleus test using cyclophosphamide, mitomycin C and various pesticides	Mutation Research-Genetic Toxicology and Environmental Mutagenesis 518, 145-150 GLP: N, published: Y 2309776 / ASB2012-11834	EFSA	①
296	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Guilherme, S.,	2010	European eel (Anguilla anguilla) genotoxic and pro-oxidant responses following shortterm exposure to Roundup®a glyphosatebased herbicide	Mutagenesis 25, 523-530 GLP: N, published: Y 2309780 / ASB2012-11836	EFSA	①
297	1:ヒトに対する毒性	Helal, A.D., Moussa, H.M.	2005	Chromosomal aberrations induced by glyphosate isopropylamine herbicide and trials for diminuting its toxicity using some chemical inactivators and antioxidant	Veterinary Medical Journal Giza 53, 169187 GLP: N, published: Y 2309794 / ASB2012-11841	EFSA	①
298	1:ヒトに対する毒性	Heydens, W.F.,	2008	Genotoxic potential of glyphosate formulations: Mode-of-action investigations	Journal of Agricultural and Food Chemistry 56, 1517-1523 GLP: N, published: Y 2309802 / ASB2012-11845	EFSA	①
299	1:ヒトに対する毒性	Holeckova, B.	2006	Evaluation of the in vitro effect of glyphosate-based herbicide on bovine lymphocytes using chromosome painting	Bulletin of the Veterinary Research Institute in Pulawy 50, 533-536 GLP: N, published: Y 2309806 / ASB2012-11847	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
300	1:ヒトに対する毒性	Honarvar, N.	2008	Glyphosate Technical - Micronucleus Assay in Bone Marrow Cells of the Mouse	1158500 SYN GLP: Y, published: N 2309339 / ASB2012-11483	EFSA	①
301	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J. C.	1991	Mutagenicity test: Micronucleus test with glyphosate, batch 206-JaK-25-1,	Report: 12324, published: N, TOX9552374	EFSA	①
302	1:ヒトに対する毒性	Kale, P.G.,	1995	Mutagenicity testing of 9 herbicides and pesticides currently used in agriculture	Environmental and Molecular Mutagenesis 25, 148-153 GLP: N, published: Y 2309834 / Z73986, ASB2012-11860	EFSA	①
303	1:ヒトに対する毒性	Kaya, B.:	2000	Use of the Drosophila wing spot test in the genotoxicity testing of different herbicides	ASB2013-9832	EFSA	①
304	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.; Flowers, L. J.; Huffman, M. B.	1992	Mouse micronucleus study of Rodeo herbicide formulation	MSL-11772 ! EHL 91201/91205/ML-91-438 TOX9552376	EFSA	①
305	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.; Flowers, L. J.; Huffman, M. B.	1992	Mouse micronucleus study of Roundup herbicide formulation	MSL-11771 ! EHL 91200/91204 ! ML-91-434/ML-91-437 TOX1999-242	EFSA	①
306	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.; Flowers, L. J.; Huffman, M. B.	1992	Glyphosate: Mouse micronucleus study of DIRECT Herbicide formulation	MSL-11773 ! EHL 91202/91206 ! ML-91-436/ML-91-439 TOX1999-322	EFSA	①
307	1:ヒトに対する毒性	Knopper, L.D., Lean, D.R.S.	2004	Carcinogenic and genotoxic potential of turf pesticides commonly used on golf courses	Journal of Toxicology and Environmental Health-Part B-Critical Reviews 7, 267-279 GLP: N, published: Y 2309864 / ASB2012-11871	EFSA	①
308	1:ヒトに対する毒性	Lebailly, P.,	2003	Urine mutagenicity and lymphocyte DNA damage in fruit growers occupationally exposed to the fungicide captan	Occupational & Environmental Medicine 60, 910-917 GLP: N, published: Y 2309878 / ASB2012-11878	EFSA	①
309	1:ヒトに対する毒性	Levine, S.L.,	2007	Disrupting mitochondrial function with surfactants inhibits MA-10 Leydig cell steroidogenesis	Cell Biol Toxicol 23, 385-400 GLP: N, published: Y 2309890 / ASB2009-9030	EFSA	①
310	1:ヒトに対する毒性	Li, A. P.	1983	In vivo bone marrow cytogenetics study of glyphosate in Sprague-Dawley rats,	Report: ML-83-236 ! 830083, published: N, TOX9552375	EFSA	①
311	1:ヒトに対する毒性	Lioi, M. B.;	1998	Genotoxicity and oxidative stress induced by pesticide exposure in bovine lymphocyte cultures in vitro	Mutation Research 403 (1998) 13-20 ASB2013-9836	EFSA	①
312	1:ヒトに対する毒性	Lioi, M. B.;	1998	Cytogenetic damage and induction of prooxidant state in human lymphocytes exposed in vitro to glyphosate, vinclozolin,aAtrazine and DPX-E9636	Environmental and Molecular Mutagenesis 32: 39-46 (1998) ASB2013-9837	EFSA	①
313	1:ヒトに対する毒性	Manas, F.,	2009	Genotoxicity of glyphosate assessed by the comet assay and cytogenetic tests	Environmental Toxicology and Pharmacology 28, 37-41 GLP: N, published: Y 2309908 / ASB2012-11892	EFSA	①
314	1:ヒトに対する毒性	Martinez, T. T.; Brown, K.	1991	Glyphosate: Oral and pulmonary toxicology of the surfactant used in Roundup herbicide	Proceedings of the Western Pharmacology Society; 34 (1991), 43-46. Z80636	EFSA	①
315	1:ヒトに対する毒性	Mensink, H.;	1994	Environmental health criteria 159, Glyphosate	TOX9500301	EFSA	①
316	1:ヒトに対する毒性	Mladinic, M.,	2009	Evaluation of genome damage and its relation to oxidative stress induced by glyphosate in human lymphocytes in vitro	Environmental and Molecular Mutagenesis 50, 800-807 GLP: N, published: Y 2309942 / ASB2012-11906	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
317	1:ヒトに対する毒性	Mladinic, M., Perkovic, P., Zeljetic, D.	2009	Characterization of chromatin instabilities induced by glyphosate, terbuthylazine and carbofuran using cytome FISH assay	Toxicol Lett 189, 130-137 GLP: N, published: Y 2309944 / ASB2012-11907	EFSA	①
318	1:ヒトに対する毒性	Monroy, C.,	2005	Cytotoxicity and genotoxicity of human cells exposed in vitro to glyphosate	Biomedica 25, 335-345 GLP: N, published: Y 2309950 / ASB2012-11910	EFSA	①
319	1:ヒトに対する毒性	Pastor, S.,	2003	Biomonitoring of four European populations occupationally exposed to pesticides: use of micronuclei as biomarkers	Mutagenesis 18, 249-258 GLP: N, published: Y 2310004 / ASB2012-11991	EFSA	①
320	1:ヒトに対する毒性	Paz-Y-Mino,	2007	Evaluation of DNA damage in an Ecuadorian population exposed to glyphosate	Genetics and Molecular Biology 30, 456-460 GLP: N, published: Y 2310006 / ASB2012-11992	EFSA	①
321	1:ヒトに対する毒性	Peluso, M.,	1998	32P-postlabeling detection of DNA adducts in mice treated with the herbicide Roundup	Environmental and Molecular Mutagenesis 31, 55-59 GLP: N, published: Y 2310014 / TOX1999-318	EFSA	①
322	1:ヒトに対する毒性	Piesova, E.	2004	The Influence Of Different Treatment Length On the Induction Of Micronuclei In Bovine Lymphocytes After Exposure To Glyphosate	Folia Veterinaria 48, 130-134 GLP: N, published: Y 2310026 / ASB2012-12001	EFSA	①
323	1:ヒトに対する毒性	Piesova, E.	2005	The effect of glyphosate on the frequency of micronuclei in bovine lymphocytes in vitro	Acta Veterinaria-Beograd 55, 101-109 GLP: N, published: Y 2310024 / ASB2012-12000	EFSA	①
324	1:ヒトに対する毒性	Poletta, G.L.,	2009	Genotoxicity of the herbicide formulation Roundup (R) (glyphosate) in broad-snouted caiman (Caiman latirostris) evidenced by the Comet assay and the Micronucleus test	Mutation Research-Genetic Toxicology and Environmental Mutagenesis 672, 95-102 GLP: N, published: Y 2310028 / ASB2012-12002	EFSA	①
325	1:ヒトに対する毒性	Prasad, S.,	2009	Clastogenic effects of glyphosate in bone marrow cells of swiss albino mice	J Toxicol GLP: N, published: Y 2310034 / ASB2012-12005	EFSA	①
326	1:ヒトに対する毒性	Raipulis, J.,	2009	Toxicity and genotoxicity testing of Roundup	Proceedings of the Latvian Academy of Sciences. Section B. Natural, Exact, and Applied Sciences. 63, 29-32 GLP: N, published: Y 2310040 / ASB2012-12008	EFSA	①
327	1:ヒトに対する毒性	Rodrigues,	2011	Effects of Roundup Pesticide on the Stability of Human Erythrocyte Membranes and Micronuclei Frequency in Bone Marrow Cells of Swiss Mice	Open Biology Journal 54-59 GLP: N, published: Y 2310046 / ASB2012-12010	EFSA	①
328	1:ヒトに対する毒性	Roth, M.	2012	Glyphosate technical - Micronucleus assay in bone marrow cells of the mouse	1479200 ! TK0112981 ASB2014-9333	EFSA	①
329	1:ヒトに対する毒性	Salvagni, J., Ternus, R.,	2011	Assessment of the genotoxic impact of pesticides on farming communities in the countryside of Santa Catarina State, Brazil	Genetics and Molecular Biology 34, 122126 GLP: N, published: Y 2310060 / ASB2012-12017	EFSA	①
330	1:ヒトに対する毒性	Sawada, Y., Nagai, Y.	1987	Roundup® poisoning - its clinical observation possible involvement - englische Version	Journal of Clinical and Experimental Medicine (paper) 143, 25-27 GLP: N, published: Y 2309502 / Z35531	EFSA	①
331	1:ヒトに対する毒性	Shaham, J.,	2001	Frequency of sister-chromatid exchange among greenhouse farmers exposed to pesticides	Mutat Res 491-, 71-80 GLP: N, published: Y 2310076 / ASB2012-12025	EFSA	①
332	1:ヒトに対する毒性	Sivikova, K., Dianovsky, J.	2006	Cytogenetic effect of technical glyphosate on cultivated bovine peripheral lymphocytes	Int J Hyg Environ Health 209, 15-20 GLP: N, published: Y 2310084 / ASB2012-12029	EFSA	①
333	1:ヒトに対する毒性	Stammberger,	1992	Dodigen 4022: Chromosome aberrations in vitro in V79 chinese hamster cells	92.1024 ! 92.0337 TOX1999-325	EFSA	①
334	1:ヒトに対する毒性	Stammberger, r, I.; Mayer, D.	1992	Dodigen 4022: Study of the mutagenic potential in strains of Salmonella typhimurium (ames test) and Escherichia coli	92.0487 ! 92.0336 TOX1999-324	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
335	1:ヒトに対する毒性	Stegeman, S.	1998	Mouse micronucleus screening assay of MON 0818	ML-89-463 ! EHL 89182 TOX1999-240	EFSA	①
336	1:ヒトに対する毒性	Stegeman, S. D.; Li, A. P.	1990	Ames/salmonella mutagenicity assay of MON 0818	EHL 89178 ! ML-89-461 ! MSL-10625 TOX1999-241	EFSA	①
337	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1993	Glyphosate technical (FSG 03090 H/05 March 1990): Mutagenicity-micronucleus test in swiss albino mice,	Report: 889-MUT.MN ! TOXI-889/1993 ! ES-GPT-MUT-MN, published: N, TOX9551100	EFSA	①
338	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.;	1994	Glyphosate technical (FSG 03090 H/05 March 1990): Genetic toxicology - In vivo mammalian bone marrow cytogenetic test,	Report: 890-MUT-CH.AB ! TOXI-890/1993 ! ES-GPT-MUT-CH.AB, published: N, TOX9400323 / TOX9551101	EFSA	①
339	1:ヒトに対する毒性	Vigfusson,	1980	The effect of the pesticides Dexon, Captan and Roundup on sister chromatid exchanges in human lymphocytes in vitro	Mutation Research 79, 53-57 GLP: N, published: Y 2310114 / TOX970056 / ASB2012-12044	EFSA	①
340	1:ヒトに対する毒性	Vlastos, D.,	2006	Pesticide exposure and genotoxicity correlations within a Greek farmers' group	International Journal of Environmental Analytical Chemistry 86, 215-223 GLP: N, published: Y 2310116 / ASB2012-12045	EFSA	①
341	1:ヒトに対する毒性	Williams,	2000	Safety evaluation and risk assessment of the herbicide Roundup and its active ingredient, glyphosate, for humans	Regulatory Toxicology and Pharmacology 31, 117-165 GLP: N, published: Y 2310132 / ASB2012-12053	EFSA	①
342	1:ヒトに対する毒性	Zaccaria, C. B.; Vargas, A. A. T.	1996	A micronucleus study in mice for the product GILFOS	G1206096 ! G.1.2 - 60/96 TOX1999-253	EFSA	①
343	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P. et al.	1992	Glyphosate technical (FSG 03090 H/05, March 1990): Dominant lethal test in wistar rats	Report: 888-DLT ! TOXI-888/1992 ! ES-GPT-DLT, published: N, TOX9551102	EFSA	①
344	1:ヒトに対する毒性	Wrenn, J. M.;	1980	Dominant lethal mutagenicity assay with technical Glyphosate in mice,	Report: 401-064 ! IR-79-014, published: N, TOX9552377	EFSA	①
345	1:ヒトに対する毒性	Anon.	2015	Lesion-related incidence data.	RITA database ASB2015-2532	EFSA	①
346	1:ヒトに対する毒性	Eaton, G.;	1980	The Icr:Ha(ICR) mouse: a current account of breeding, mutations, diseases and mortality Lab.	Animals 14(1980)17-24 ASB2015-2537	EFSA	①
347	1:ヒトに対する毒性	Giknis, M. L.	2005	Spontaneous neoplastic lesions in the CrI:CD1 (ICR) mouse in control groups from 18 month to 2 year studies Selected pages	CHARLES RIVER LABORATORIES ASB2015-2529	EFSA	①
348	1:ヒトに対する毒性	Greim, H.;	2015	Evaluation of carcinogenic potential of the herbicide glyphosate, drawing on tumor incidence data from fourteen chronic/carcinogenicity rodent studies Crit Rev	Toxicol, 2015; 45(3): 185-208 ASB2015-2287	EFSA	①
349	1:ヒトに対する毒性	Roe, F. J. C.; Tucker, M. J.;	1974	Recent developments in the design of carcinogenicity tests on laboratory animals	Proc. Europ. Soc. Stud. Drug Tox., 15:171177 (1974) ASB2015-2534	EFSA	①
350	1:ヒトに対する毒性	Sher, S. P.	1974	Review article - Tumors in control mice: Literature tabulation	Toxicol. Appl. Pharmacol. 30(1974)337-359 Z22020	EFSA	①
351	1:ヒトに対する毒性	Son, W.-C.; Gopinath, C.;	2004	Early occurrence of spontaneous tumors in CD-1 mice and Sprague-Dawley rats	Toxicologic Pathology, 32:371-374, 2004 ASB2015-2533	EFSA	①
352	1:ヒトに対する毒性	TaddesseHeath, L.;	2000	Lymphomas and high-level expression of murine leukemia viruses in CFW mice	J. Virol. 74(2000)15:6832-6837 ASB2015-2535	EFSA	①
353	1:ヒトに対する毒性	Toth, B.;	1963	Influence of dose and age on the induction of malignant lymphomas and other tumors by 7,12-Dimethylbenz(α)anthracene in Swiss mice	J. Nat. Cancer Institute, 30(1963)4:723-732 ASB2015-2536	EFSA	①
354	1:ヒトに対する毒性	Tucker, M. J.	1979	The effect of long-term food restriction on tumours in rodents	Int. J. Cancer: 23, 803-807 (1979) Z83266	EFSA	①
355	1:ヒトに対する毒性	Wood, E.;	2010	Historical Incidence of Malignant lymphoma in CD-1 Mouse	ASB2015-2531	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
356	1:ヒトに対する毒性	Milburn, G.M.	1996	Glyphosate Acid: One Year Dietary Toxicity Study in Rats	CTL/P/5143 SYN GLP: Y, published: N 2309341 / TOX2000-1998	EFSA	①
357	1:ヒトに対する毒性	Atkinson, C.,	1993	Glyphosate - 104 week combined chronic feeding / oncogenicity study in rats with 52 week interim kill (results after 104 weeks)	7867 CHE GLP: Y, published: N 2309374 / TOX9750499	EFSA	①
358	1:ヒトに対する毒性	Brammer, A.	2001	Glyphosate Acid: Two Year Dietary Toxicity and Oncogenicity Study in Rats	CTL/PR1111 SYN GLP: Y, published: N 2309368 / ASB2012-11488	EFSA	①
359	1:ヒトに対する毒性	Calandra, J. C.	1974	2-year chronic oral toxicity study with CP 67573 in albino rats	B564 ! BTL-71-32 Z35230	EFSA	①
360	1:ヒトに対する毒性	Enomoto, A.	1997	HR-001: 24-Month Oral Chronic Toxicity and Oncogenicity Study in Rats, Vol. 1 (Seite 1-500)	IET 94-0150 Vol.1 ALS GLP: Y, published: N 2309360 / ASB2012-11484	EFSA	①
361	1:ヒトに対する毒性	Enomoto, A.	1997	HR-001: 24-Month Oral Chronic Toxicity and Oncogenicity Study in Rats, Vol. 2 (Seite 501-1000)	IET 94-0150 Vol. 2 ALS GLP: Y, published: N 2309362 / ASB2012-11485	EFSA	①
362	1:ヒトに対する毒性	Enomoto, A.	1997	HR-001: 24-Month Oral Chronic Toxicity and Oncogenicity Study in Rats, Vol.3 (Seite 1001-1500)	IET 94-0150 Vol. 3 ALS GLP: Y, published: N 2309364 / ASB2012-11486	EFSA	①
363	1:ヒトに対する毒性	Enomoto, A.	1997	HR-001: 24-Month Oral Chronic Toxicity and Oncogenicity Study in Rats, Vol. 4 (Seite 1501-2051)	IET 94-0150 Vol. 4 ALS GLP: Y, published: N 2309366 / ASB2012-11487	EFSA	①
364	1:ヒトに対する毒性	Stout, L.D., Ruecker, F.A.	1990	Chronic study of glyphosate administered in feed to Albino rats	MSL-10495 MON GLP: Y, published: N 2309384 / TOX9300244	EFSA	①
365	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1996	Combined Chronic Toxicity and Carcinogenicity Study with Glyphosate Technical in Wistar Rats	TOXI:886.C.C-R FSG GLP: Y, published: N 2309343 / TOX9651587 / TOX9600015	EFSA	①
366	1:ヒトに対する毒性	Wood, E.,	2009	Glyphosate Technical: Dietary combined chronic toxicity / carcinogenicity study in the rat	SPL2060-0012 NUF GLP: Y, published: N 2309391 / ASB2012-11490	EFSA	①
367	1:ヒトに対する毒性	Acquavella,	2005	Implications for epidemiologic research on variation by pesticide in studies of farmers and their families	Scandinavian Journal of Work Environment & Health 31, 105-109 GLP: N, published: Y 2309540 / ASB2012-11530	EFSA	①
368	1:ヒトに対する毒性	Alavanja,	2003	Use of agricultural pesticides and prostate cancer risk in the Agricultural Health Study cohort	Am J Epidemiol 157, 800-814 GLP: N, published: Y 2309554 / ASB2012-11535	EFSA	①
369	1:ヒトに対する毒性	Andreotti, G.,	2009	Agricultural pesticide use and pancreatic cancer risk in the Agricultural Health Study Cohort	International Journal of Cancer 124, 24952500 GLP: N, published: Y 2309572 / ASB2012-11544	EFSA	①
370	1:ヒトに対する毒性	Atkinson, C.;	1993	Glyphosate: 104-week dietary carcinogenicity study in mice	7793 ! IRI 438618 TOX9552382	EFSA	①
371	1:ヒトに対する毒性	Band, P.R.,	2011	Prostate Cancer Risk and Exposure to Pesticides in British Columbia Farmers	Prostate 71, 168-183 GLP: N, published: Y 2309594 / ASB2012-11555	EFSA	①
372	1:ヒトに対する毒性	BaraleThom as, E.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013) 473–474 ASB2013-10998	473–474 ASB2013-10998	EFSA	①
373	1:ヒトに対する毒性	Berry, C.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013) 445–446 ASB2013-10988	445–446 ASB2013-10988	EFSA	①
374	1:ヒトに対する毒性	Blair, A.,	2009	Epidemiologic Studies in Agricultural Populations: Observations and Future Directions	Journal of Agromedicine 14, 125-131 GLP: N, published: Y 2309618 / ASB2012-11566	EFSA	①
375	1:ヒトに対する毒性	Carreon, T.,	2005	Gliomas and farm pesticide exposure in women: The Upper Midwest Health Study	Environmental Health Perspectives 113, 546-551 GLP: N, published: Y 2309660 / ASB2012-11585	EFSA	①
376	1:ヒトに対する毒性	McDuffie,	2001	Non-Hodgkin's lymphoma and specific pesticide exposures in men: cross-Canada study of pesticides and health Cancer Epidemiol Biomarkers	Prev 10, 1155-1163 GLP: N, published: Y 2309924 / ASB2011-364	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
377	1:ヒトに対する毒性	Engel, L.S.,	2005	Pesticide use and breast cancer risk among farmers' wives in the agricultural health study	American Journal of Epidemiology 161, 121-135 GLP: N, published: Y 2309720 / ASB2012-11613	EFSA	①
378	1:ヒトに対する毒性	Eriksson, M.,	2008	Pesticide exposure as risk factor for nonHodgkin lymphoma including histopathological subgroup analysis	Int J Cancer 123, 1657-1663 GLP: N, published: Y 2309722 / ASB2012-11614	EFSA	①
379	1:ヒトに対する毒性	Farmer, D.R.,	2005	Glyphosate Results Revisited	Environmental Health Perspectives 113, A365-A366 GLP: N, published: Y 2309726 / ASB2012-11616	EFSA	①
380	1:ヒトに対する毒性	Flower, K.B.,	2004	Cancer risk and parental pesticide application in children of agricultural health study participants	Environmental Health Perspectives 112, 361-635 GLP: N, published: Y 2309734 / ASB2012-11620	EFSA	①
381	1:ヒトに対する毒性	Freeman,L.B.	2009	Evaluation of agricultural exposures: the agricultural health study and the agricultural cohort consortium	Reviews on Environmental Health 24, 311318 GLP: N, published: Y 2309740 / ASB2012-11623	EFSA	①
382	1:ヒトに対する毒性	Fritschi, L.,	2005	Occupational exposure to pesticides and risk of non-Hodgkin's lymphoma	American Journal of Epidemiology 162, 849-857 GLP: N, published: Y 2309746 / ASB2012-11624	EFSA	①
383	1:ヒトに対する毒性	George, J.,	2010	Studies on glyphosate-induced carcinogenicity in mouse skin: a proteomic approach	J Proteomics 73, 951-964 GLP: N, published: Y 2309766 / ASB2012-11829	EFSA	①
384	1:ヒトに対する毒性	Hardell, L., Eriksson, M.	1999	A case-control study of non-Hodgkin lymphoma and exposure to pesticides	Cancer 85, 1353-1360 GLP: N, published: Y 2309788 / ASB2012-11838	EFSA	①
385	1:ヒトに対する毒性	Hardell, L.,	2002	Exposure to pesticides as risk factor for nonHodgkin's lymphoma and hairy cell leukemia: Pooled analysis of two Swedish case-control studies	Leukemia & Lymphoma 43, 1043-1049 GLP: N, published: Y 2309790 / ASB2012-11839	EFSA	①
386	1:ヒトに対する毒性	Heinemann, J.	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	442ASB2013-10987	EFSA	①
387	1:ヒトに対する毒性	Karunanayake,	2011	Hodgkin Lymphoma and Pesticides Exposure in Men: A Canadian Case-Control Study	Journal of Agromedicine 17, 30-39 GLP: N, published: Y 2309844 / ASB2012-11865	EFSA	①
388	1:ヒトに対する毒性	Knezevich, A. L.; Hogan, G.	1983	A chronic feeding study of glyphosate (Roundup technical) in mice	77-2061 ! (BDN-77-420) TOX9552381	EFSA	①
389	1:ヒトに対する毒性	Kumar, D.P.S.	2001	Carcinogenicity Study with Glyphosate Technical in Swiss Albino Mice	TOXi: 1559.CARCI-M FSG GLP: Y, published: N 2309396 / ASB2012-11491	EFSA	①
390	1:ヒトに対する毒性	Landgren, O.,	2009	Pesticide exposure and risk of monoclonal gammopathy of undetermined significance in the Agricultural Health Study	Blood vol113, No25, 6386-6391 GLP: N, published: Y 2309874 / ASB2012-11875	EFSA	①
391	1:ヒトに対する毒性	Langridge, P.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	441ASB2013-10986	EFSA	①
392	1:ヒトに対する毒性	Lash, T.L.	2007	Bias analysis applied to Agricultural Health Study publications to estimate non-random sources of uncertainty	J Occup Med Toxicol 2, 1-9 GLP: N, published: Y 2309876 / ASB2012-11877	EFSA	①
393	1:ヒトに対する毒性	Lee, W.J.,	2004	Agricultural pesticide use and adenocarcinomas of the stomach and oesophagus	Occupational and Environmental Medicine 61 (9):743-749 61, 743-749 GLP: N, published: Y 2309888 / ASB2012-11883	EFSA	①
394	1:ヒトに対する毒性	Lee, W.J., Colt,	2005	Agricultural pesticide use and risk of glioma in Nebraska, United States	Occupational and Environmental Medicine 62, 786-792 GLP: N, published: Y 2309886 / ASB2012-11882	EFSA	①
395	1:ヒトに対する毒性	Monge, P.,	2007	Parental occupational exposure to pesticides and the risk of childhood leukemia in Costa Rica	Scandinavian Journal of Work Environment & Health 33, 293-303 GLP: N, published: Y 2309948 / ASB2012-11909	EFSA	①
396	1:ヒトに対する毒性	Multigner, L.,	2008	Environmental pollutants and prostate cancer: epidemiological data	Gynecol Obstet Fertil 36, 848-856 GLP: N, published: Y 2309964 / ASB2012-11917	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
397	1:ヒトに対する毒性	Ndong, J.R.,	2009	Pesticides and prostate cancer: epidemiological data	Bulletin Du Cancer 96, 171-180 GLP: N, published: Y 2309974 / ASB2012-11922	EFSA	①
398	1:ヒトに対する毒性	Nordström, M.;	1998	Occupational exposures, animal exposure and smoking as risk factors for hairy cell leukaemia evaluated in a case-control study	British Journal of Cancer (1998) 77(11), 2048-2052 TOX1999-687	EFSA	①
399	1:ヒトに対する毒性	Ollivier, L.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	458ASB2013-11000	EFSA	①
400	1:ヒトに対する毒性	Pahwa, P.,	2011	Multiple Myeloma and Exposure to Pesticides: A Canadian Case-Control Study	Journal of Agromedicine 17, 40-50 GLP: N, published: Y 2309996 / ASB2012-11987	EFSA	①
401	1:ヒトに対する毒性	Panchin, A. Y.;	2013	Toxicity of roundup-tolerant genetically modified maize is not supported by statistical tests	Food and Chemical Toxicology 53 (2013) 475ASB2013-10937	EFSA	①
402	1:ヒトに対する毒性	Pilu, R.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	454ASB2013-10992	EFSA	①
403	1:ヒトに対する毒性	De Roos, A.J.,	2005	Cancer incidence among glyphosate-exposed pesticide applicators in the agricultural health study	Environmental Health Perspectives 113, 49-54GLP: N, published: Y 2309704 / ASB2012-11605	EFSA	①
404	1:ヒトに対する毒性	De Roos, A.J.,	2003	Integrative assessment of multiple pesticides as risk factors for non-Hodgkin's lymphoma among men	Occupational and Environmental Medicine 60GLP: N, published: Y 2309706 / ASB2012-11606	EFSA	①
405	1:ヒトに対する毒性	Schorsch, F.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	465-466 ASB2013-10996	EFSA	①
406	1:ヒトに対する毒性	Séralini, G.-E.;	2012	Long term toxicity of a Roundup herbicide and a Roundup-tolerant genetically modified maize.	Food and Chem Toxicol., in Press, 50 (2012) 4221-4231 ASB2012-15514	EFSA	①
407	1:ヒトに対する毒性	Séralini, G. E.;	2013	Answers to critics: Why there is a long term toxicity due to a Rounduptolerant genetically modified maize and to a Roundup herbicide	Food and Chemical Toxicology 53 (2013) 476-483 ASB2013-10985	EFSA	①
408	1:ヒトに対する毒性	de Souza, L.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	440ASB2013-10999	EFSA	①
409	1:ヒトに対する毒性	Sugimoto, K.	1997	HR-001: 18-Month Oral Oncogenicity Study in Mice	IET 940151 ALS GLP: Y, published: N 2309415 / ASB2012-11493	EFSA	①
410	1:ヒトに対する毒性	Tester, M.;	2012	Letter to the Editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	457ASB2013-10994	EFSA	①
411	1:ヒトに対する毒性	Tien, D. L.;	2012	Comments on "Long term toxicity of a Roundup herbicide and a Roundup-tolerant genetically modified maize"	Food and Chemical Toxicology 53 (2013) 443-444 ASB2013-10984	EFSA	①
412	1:ヒトに対する毒性	Trewavas, A.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	449ASB2013-10989	EFSA	①
413	1:ヒトに対する毒性	Tribe, D.;	2012	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	467-472 ASB2013-10997	EFSA	①
414	1:ヒトに対する毒性	Wager, R.;	2013	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology 53 (2013)	455-456 ASB2013-10993	EFSA	①
415	1:ヒトに対する毒性	Weichenthal, S., Moase, C., Chan, P.	2010	A review of pesticide exposure and cancer incidence in the Agricultural Health Study cohort	Environ Health Perspect 118, 1117-1125 GLP: N, published: Y 2310122 / ASB2012-12048	EFSA	①
416	1:ヒトに対する毒性	Wood, E.,	2009	Glyphosate Technical: Dietary carcinogenicity study in the mouse	SPL 2060-0011 NUF GLP: Y, published: N 2309412 / ASB2012-11492	EFSA	①
417	1:ヒトに対する毒性	Antal, A.	1985	Three-generation reproduction study in rats with the oral administration of glyphosate	TOX9650161	EFSA	①
418	1:ヒトに対する毒性	Bhide, M. B.	1988	Report on effect of glyphosate technical of Excel Industries Ltd.,	Bombay, on fertility and general reproductive performance (Segment I) TOX9551832	EFSA	①
419	1:ヒトに対する毒性	Bhide, M. B.	1988	Report on effect of pesticides on reproductive process - Segment IV - three generation reproduction study with albino rats using glyphosate technical of Excel Industries Ltd.,	Bombay TOX9551965	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
420	1:ヒトに対する毒性	Brooker, A. J.;	1991	Dietary range finding study of glyphosate in pregnant rats and their juvenile offspring	CHV 42/90619 TOX9552388	EFSA	①
421	1:ヒトに対する毒性	Brooker, A.J.,	1992	The Effect of Dietary Administration of Glyphosate on Reproductive Function of Two Generations in the Rat	CHV 47/911129 CHE GLP: Y, published: N 2309436 / TOX9552389	EFSA	①
422	1:ヒトに対する毒性	Dhinsa, N.K.,	2007	Glyphosate technical: Dietary Two Generation Reproduction Study in the Rat	2060/0013 NUF GLP: Y, published: N 2309418 / ASB2012-11494	EFSA	①
423	1:ヒトに対する毒性	Moxon, M.E.	2000	Glyphosate acid: Multigeneration reproduction toxicity study in rats	CTL/P/6332 SYN / MON GLP: Y, published: N 2309423 / TOX2000-2000	EFSA	①
424	1:ヒトに対する毒性	Reyna, M.S.	1990	Two Generation Reproduction Feeding Study with Glyphosate in Sprague-Dawley Rats	MSL-10387 MON GLP: Y, published: N 2309439 / ASB2012-11496 / TOX9552387	EFSA	①
425	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1993	Two Generation Reproduction Study in Wistar Rats	TOXI: 885-RP-G2 GLP: Y, published: N 2309427 / TOX9300009 / TOX9551104	EFSA	①
426	1:ヒトに対する毒性	Takahashi, K.	1997	HR-001: A two-generation reproduction study in rats	IET 96-0031 ALS GLP: Y, published: N 2309425 / ASB2012-11495	EFSA	①
427	1:ヒトに対する毒性	Brooker, A. J.;	1992	The effect of dietary administration of Glyphosate on reproductive function of two generations in the rat	CHV 47/911129 GLP: Open (14) Yes (30) Published: No (29) Open (15) BVL-2328496, BVL-2328509, TOX9552389	EFSA	①
428	1:ヒトに対する毒性	Antoniou, M.;	2012	Teratogenic Effects of Glyphosate-Based Herbicides: Divergence of Regulatory Decisions from Scientific Evidence	J Environ Anal Toxicol 2012, S:4, ASB2012-15927	EFSA	①
429	1:ヒトに対する毒性	Brooker, A. J.;	1991	The effect of glyphosate on pregnancy of the rat (incorporates preliminary investigation)	CHV 43 u. 41/90716 TOX9552393	EFSA	①
430	1:ヒトに対する毒性	Hatakenaka	1995	HR-001: Teratogenicity Study in Rats	IET 94-0152 ALS GLP: Y, published: N 2309444 / ASB2012-11497	EFSA	①
431	1:ヒトに対する毒性	Mesnage, R.; Bernay, B.; Séralini, G.-E.	2012	Ethoxylated adjuvants of glyphosate-based herbicides are active principles of human cell toxicity	Toxicology,2013,313,122-128 in Press ASB2012-13917	EFSA	①
432	1:ヒトに対する毒性	Moxon, M. E.	2002	Amendment 001 to glyphosate acid: Developmental toxicity study in the rat	CTL/P/4819 ! RR0690 ASB2012-10080	EFSA	①
433	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T. P.	1991	Glyphosate techn. (FSG 03090 H/05 March 1990): Teratogenicity study in Wistar rats	ES.883.TER-R ! TOXI-883/1991 ! ES-GPTTER-R TOX9551105	EFSA	①
434	1:ヒトに対する毒性	Tasker, E. J.;	1980	Glyphosate: Teratology study in rats	401-054 ! IR-79-016 TOX9552392	EFSA	①
435	1:ヒトに対する毒性	Bailey, J.;	2013	No evidence of endocrine disruption by glyphosate in male and female pubertal assays.	Abstract ASB2013-3464	EFSA	①
436	1:ヒトに対する毒性	Bhide, M.B., Patil, U.M.	1989	Rabbit Teratology Study with Glyphosate Technical	IIT Project No. 1086 EXC GLP: Y, published: N 2309462 / TOX9551960	EFSA	①
437	1:ヒトに対する毒性	Brooker, A.J.,	1991	The Effect of Glyphosate on Pregnancy of the Rabbit (Incorporates Preliminary Investigations)	CHV 45 & 39 & 40/901 CHE GLP: Y, published: N 2309454 / TOX9552391	EFSA	①
438	1:ヒトに対する毒性	Coles, R.J., Doleman, N.	1996	Glyphosate technical: Oral gavage teratology study in the rabbit	434/020 NUF GLP: Y, published: N 2309448 / ASB2012-11499	EFSA	①
439	1:ヒトに対する毒性	Hojo, H.	1995	HR-001: A Teratogenicity Study in Rabbits	IET 94-0153 ALS GLP: Y, published: N 2309446 / ASB2012-11498	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
440	1:ヒトに対する毒性	Kimmel, G.L.,	2013	Evaluation of developmental toxicity studies of glyphosate with attention to cardiovascular development	Critical Reviews in Toxicology 43(2013)2: 79-95, ASB2013-3462	EFSA	①
441	1:ヒトに対する毒性	Moxon, M.E.	1996	Glyphosate acid: Developmental toxicity study in the rabbit	CTL/P/5009 SYN GLP: Y, published: N 2309450 / TOX2000-2002	EFSA	①
442	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1993	Teratogenicity study in rabbits - Tets compound: Glyphosate technical	TOXI: 884-TER-RB GLP: Y, published: N 2309457 / TOX9551106	EFSA	①
443	1:ヒトに対する毒性	Tasker, E.J.,	1980	Technical Glyphosate: Teratology study in rabbits	IR-79-018 MON GLP: N, published: N 2309452 / TOX9552390	EFSA	①
444	1:ヒトに対する毒性	Moxon, M. E.	1996	Glyphosate acid: Developmental toxicity study in the rat	29.03.1996 CTL/P/4819 ! RR 0690 TOX2000-2001	EFSA	①
445	1:ヒトに対する毒性	Wood, E.	2011	Glyphosate Technical: Dietary carcinogenicity study in the mouse – Amendment	SPL 2060-0011 ASB2014-9149	EFSA	①
446	1:ヒトに対する毒性	Wood, E.	2011	Assessment and further discussion on relevance of perceived elevation in testicular atrophy for SafePharm project number 2060/0011 (Glyphosate technical: mouse oncogenicity study)	SPL 2060-0011 ASB2014-9150	EFSA	①
447	1:ヒトに対する毒性	Johnson, A. J.	1996	Glyphosat Acid: Acute delayed neurotoxicity study with in the domestic hen	CTL/C/3122 ! C2.8/01 ! ISN 361 ASB2013-9828	EFSA	①
448	1:ヒトに対する毒性	Horner, S.A	1996	Glyphosate acid: Acute neurotoxicity study in rats	CTL/P/4866 SYN GLP: Y, published: N 2309464 / ASB2012-11500	EFSA	①
449	1:ヒトに対する毒性	Astiz, M., de	2009	Effect of pesticides on cell survival in liver and brain rat tissues	Ecotoxicol Environ Saf 72, 2025-2032 GLP: N, published: Y 2309582 / ASB2012-11549	EFSA	①
450	1:ヒトに対する毒性	Barbosa, E.R., da Costa, M.D.L.,	2001	Parkinsonism after glycine-derivate exposure	Movement Disorders 16, 565-568 GLP: N, published: Y 2309598 / ASB2012-11557	EFSA	①
451	1:ヒトに対する毒性	Cole, R.D.,	2004	The nematode Caenorhabditis elegans as a model of organophosphate-induced mammalian neurotoxicity	Toxicology and Applied Pharmacology 194, 248-256 GLP: N, published: Y 2309680 / ASB2012-11594	EFSA	①
452	1:ヒトに対する毒性	da Costa, M.D.L.,	2003	ALTERAÇÕES DE NEUROIMAGEM NO PARKINSONISMO Estudo de cinco casos (Neuroimaging abnormalities in parkinsonism: study of five cases)	Arquivos De Neuro-Psiquiatria 61, 381-386 GLP: N, published: Y 2309688 / ASB2012-11598	EFSA	①
453	1:ヒトに対する毒性	Engel, L.S.,	2001	Parkinsonism and occupational exposure to pesticides	Occup Environ Med 28, 582-589 GLP: N, published: Y 2309718 / ASB2012-11612	EFSA	①
454	1:ヒトに対する毒性	Gui, Y.-x., Fan,	2012	Glyphosate induced cell death through apoptotic and autophagic mechanisms	Neurotoxicology and Teratology GLP: N, published: Y 2309778 / ASB2012-11835	EFSA	①
455	1:ヒトに対する毒性	Heu, C., Elie-	2012	A step further toward glyphosate-induced epidermal cell death: Involvement of mitochondrial and oxidative mechanisms	Environmental Toxicology and Pharmacology 34, 144-153 GLP: N, published: Y 2309800 / ASB2012-11844	EFSA	①
456	1:ヒトに対する毒性	Horner, S.A.	1996	Glyphosate Acid: Subchronic Neurotoxicity Study In Rats	CTL/P/4867 SYN GLP: Y, published: N 2309466 / ASB2012-11501	EFSA	①
457	1:ヒトに対する毒性	Kamel, F.,	2007	Pesticide exposure and self-reported Parkinson's disease in the agricultural health study	American Journal of Epidemiology 165, 364-374GLP: N, published: Y 2309838 / ASB2012-11862	EFSA	①
458	1:ヒトに対する毒性	Mink, P.J.,	2011	Epidemiologic studies of glyphosate and noncancer health outcomes:	A review Regulatory Toxicology and Pharmacology 61, 172-184 GLP: N, published: Y 2309938 / ASB2012-11904	EFSA	①
459	1:ヒトに対する毒性	Negga, R., Rudd, D.A.,	2011	Exposure to Mn/Zn ethylene-bisdithiocarbamate and glyphosate pesticides leads to neurodegeneration in Caenorhabditis elegans	NeuroToxicology 32, 331-341 GLP: N, published: Y 2309976 / ASB2012-11923	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書 情報
460	1:ヒトに対する毒性	Wang, G., Fan,	2011	Parkinsonism after chronic occupational exposure to glyphosate	Parkinsonism & Related Disorders 17, 486487 GLP: N, published: Y 2310120 / ASB2012-12047	EFSA	①
461	1:ヒトに対する毒性	Akanuma, M.	1996	AMPA, Reverse Mutation Test	IET 96-0076 ALS GLP: Y, published: N 2309478 / ASB2012- 11507	EFSA	①
462	1:ヒトに対する毒性	Avigliano, L.;	2014	Effects of Glyphosate on egg incubation, larvae hatching, and ovarian rematuration in the estuarine carb neohelice granulata 10.1002/etc.2635	Environmental Toxicology and Chemistry, 2014, 33, 1879-1884 BVL-3194154, ASB2017-3434	EFSA	①
463	1:ヒトに対する毒性	Bakke, J. P.	1991	Evaluation of the potential of AMPA to induce unscheduled DNA synthesis in the in vitro hepatocyte DNA repair assay using the male F-344 rats	2495-V01-91 ! SR-91-234 TOX9552409	EFSA	①
464	1:ヒトに対する毒性	Callander, R.D.	1988	Aminomethyl Phosphonic Acid: An Evaluation of Mutagenic Potential Using S. typhimurium and E. coli	CTL/P/2206 SYN GLP: Y, published: N 2309476 / TOX9500043	EFSA	①
465	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1993	AMPA: Acute oral toxicity (limit) test in rats	8763 ! IRI 552409 TOX9552395	EFSA	①
466	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1993	AMPA: Acute dermal toxicity (limit) test in rats	8764 ! IRI 552409 TOX9552396	EFSA	①
467	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert, J. A.; Jackson, D.	1993	AMPA: Magnusson-Kligman maximisation test in guinea pigs	8765 ! IRI 552409 TOX9300374	EFSA	①
468	1:ヒトに対する毒性	Estes, F. L.;; Jefferson, N.	1979	CP 50435: 90-day subacute rat toxicity study	401-050 ! IRD-78-174 TOX9552401	EFSA	①
469	1:ヒトに対する毒性	Hazelden, K. P.	1992	AMPA: Teratogenicity study in rats	7891 ! IRI 490421 TOX9300348	EFSA	①
470	1:ヒトに対する毒性	Heath, J.;; Strutt, A.;	1993	AMPA: 4 week dose range finding study in rats with administration by gavage	7803 ! IRI 450860 TOX9300349	EFSA	①
471	1:ヒトに対する毒性	Holson, J. F.	1991	A developmental toxicity study of AMPA in rats	WIL-50159 ! WI-90-266 TOX9552414	EFSA	①
472	1:ヒトに対する毒性	Jacobsen, S.	1991	Assessment of acute oral toxicity of (Nmethyl-N-phosphonomethyl)glycine to rats	12837TOX9552398	EFSA	①
473	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J. C.	1993	Mutagenicity test: Ames salmonella test with AMPA, batch 286-JRJ-73-4,	13269TOX9300378	EFSA	①
474	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J. C.	1993	AMPA, batch 286-JRJ-73-4: Mutagenicity test: In vitro mammalian cell gene mutation test performed with mouse lymphoma cells (L5178Y)	13270TOX9300380	EFSA	①
475	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J. C.	1993	Mutagenicity test: Micronucleus test with AMPA, batch 286-JRJ-73-4	13268TOX9300379	EFSA	①
476	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.;; Stegeman, S. D.	1993	Mouse micronucleus study of AMPA	EHL-90170/ML-90-404 ! MSL 13243 TOX9552413	EFSA	①
477	1:ヒトに対する毒性	Komura, H.	1996	AMPA: Acute Oral Toxicity Study In Mice	IET 96-0075 ALS GLP: Y, published: N 2309468 / ASB2012- 11502	EFSA	①
478	1:ヒトに対する毒性	Leah, A.M.	1988	Aminomethyl Phosphonic Acid: Acute Oral Toxicity to the Rat	CTL/P/2266 SYN GLP: Y, published: N 2309470 / TOX9500044	EFSA	①
479	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2002	Acute Toxicity Study of AMPA (Aminomethyl Phosphonic Acid) in CD Rats by Dermal Administration - LIMIT TEST	16168/02 GLP: Y, published: N 2309472 / ASB2012-11503	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
480	1:ヒトに対する毒性	Leuschner, J.	2002	Examination of AMPA (Aminomethyl Phosphonic Acid) in the Skin Sensitisation Test in Guinea Pigs according to Magnusson And Kligman (Maximisation Test)	16169/02 GLP: Y, published: N 2309474 / ASB2012-11506	EFSA	①
481	1:ヒトに対する毒性	Nesslany, F.	2002	Measurement of unscheduled DNA synthesis (UDS) in rat hepatocytes in vitro procedure with AMPA (Amino methyl phosphonic acid)	IPL-R 020625 ALS GLP: Y, published: N 2309480 / ASB2012-11508	EFSA	①
482	1:ヒトに対する毒性	Strutt, A. V.;	1993	AMPA: 13-week toxicity study in rats with administration by gavage	7866 ! IRI 450876 TOX9300377	EFSA	①
483	1:ヒトに対する毒性	Tompkins, E. C.	1991	90-day oral (capsule) toxicity study in dogs with AMPA	WIL-50173 ! WI-90-354 TOX9552406	EFSA	①
484	1:ヒトに対する毒性	Perego, M. C.;	2016	Evidence for direct effects of Glyphosate on ovarian function: Glyphosate influences steroidogenesis and proliferation of bovine granulosa but not theca cells in vitro	Journal of Applied Toxicology, 2017, 37, 6, 692-698 10.1002/jat.3417 J. Appl. Toxicol. 2016 ASB2017-3492	EFSA	①
485	1:ヒトに対する毒性	Acquavella,	1999	Human ocular effects from self-reported exposures to Roundup(R) herbicides	Human & Experimental Toxicology (paper) 18, 479-486 GLP: N, published: Y 2309482 / TOX2002-699	EFSA	①
486	1:ヒトに対する毒性	Bando, H.,	2010	[Extreme hyperkalemia in a patient with a new glyphosate potassium herbicide poisoning: report of a case]	Chudoku Kenkyu 23, 246-249 GLP: N, published: Y 2309596 / ASB2012-11556	EFSA	①
487	1:ヒトに対する毒性	BfR	2011	Frauenmilch: Dioxingehalte sinken kontinuierlich.	Information Nr. 011/2011 des BfR vom 23.03.2011 ASB2014-8171	EFSA	①
488	1:ヒトに対する毒性	Bradberry,	2004	Glyphosate poisoning	Toxicological reviews (paper), 23, 159-167 GLP: N, published: Y 2309484 / ASB2012-11509	EFSA	①
489	1:ヒトに対する毒性	Bradberry,	2004	Glyphosate poisoning	Toxicol Rev 23, 159-167 GLP: N, published: Y 2309642 / ASB2012-11576	EFSA	①
490	1:ヒトに対する毒性	Burger, R.;	2009	Severe dyspnoea after spraying of a pesticide containing glyphosate. Lung damage histologically confirmed	Clinical Toxicology (2009) 47, 506 ASB2013-11831	EFSA	①
491	1:ヒトに対する毒性	Chang, C.-J.,	1999	Clinical impact of upper gastrointestinal tract injuries in glyphosate-surfactant oral intoxication	Human & Experimental Toxicology (paper), 18, 475-478 GLP: N, published: Y 2309486 / ASB2012-11510	EFSA	①
492	1:ヒトに対する毒性	Fromme, H.;	2011	Phthalates and their metabolites in breast milk — Results from the Bavarian Monitoring of Breast Milk (BAMBI)	Environment International 37 (2011) 715– 722 ASB2014-8169	EFSA	①
493	1:ヒトに対する毒性	Fürst, P.	2006	Dioxins, polychlorinated biphenyls and other organohalogen compounds in human milk	Mol. Nutr. Food Res. 2006, 50, 922 – 933 ASB2014-8168	EFSA	①
494	1:ヒトに対する毒性	Goldstein,	1999	Pneumonitis and herbicide exposure	Chest (paper), 16, 1139-1140 GLP: N, published: Y 2309490 / ASB2012-11511	EFSA	①
495	1:ヒトに対する毒性	Goldstein,	2002	An analysis of glyphosate data from the California Environmental Protection Agency Pesticide Illness Surveillance Program	Journal of Toxicology-Clinical Toxicology 40, 885-892 GLP: N, published: Y 2309770 / ASB2012-11831	EFSA	①
496	1:ヒトに対する毒性	Kamijo, Y.,	2012	Glyphosate-surfactant herbicide products containing glyphosate potassium salt can cause fatal hyperkalemia if ingested in massive amounts	Clinical Toxicology 50, 159 GLP: N, published: Y 2309840 / ASB2012-11863	EFSA	①
497	1:ヒトに対する毒性	Lee, H.-L.,	2000	Clone and Age-Dependent Toxicity of a Glyphosate Commercial	Academic Emergency Medicine (paper) 7, 906-910 GLP: N, published: Y 2309492 / ASB2012-11512	EFSA	①
498	1:ヒトに対する毒性	Lee, C.H.,	2008	The early prognostic factors of glyphosate-surfactant intoxication	Am J Emerg Med 26, 275-281 GLP: N, published: Y 2309880 / ASB2012-11879	EFSA	①
499	1:ヒトに対する毒性	Mizuyama, K.	1987	Irritating effect of glyphosate, surfactant and roundup on stomach and small intestine in dogs	MON GLP: N, published: N 2309496 / TOX9552430	EFSA	①
500	1:ヒトに対する毒性	Paumgartten, F.J.R.	2012	ANVISA - Glyphosate Intoxications 2010 to 2012 in Brasil;	ASB2013-13413	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
501	1:ヒトに対する毒性	Pushnoy, L.A., Avnon, L.S., Carel, R.S.	1998	Herbicide (Roundup) Pneumonitis	Chest (paper), 114, 1769-1771 GLP: N, published: Y 2309498 / ASB2012-11513	EFSA	①
502	1:ヒトに対する毒性	Raab, U.;	2013	Organochlorine compounds, nitro musks and perfluorinated substances in breast milk – Results from Bavarian Monitoring of Breast Milk 2007/8	Chemosphere 93 (2013) 461–467 ASB2014-8170	EFSA	①
503	1:ヒトに対する毒性	Sawada, Y.,	1988	Probable toxicity of surface-active agent in commercial herbicide containing glyphosate	The Lancet (paper) 1, 299 GLP: N, published: Y 2309504 / Z35532	EFSA	①
504	1:ヒトに対する毒性	Tominack, R., Conner, P.,	1989	Clinical Management of Roundup® herbicide exposure	The Japanese Journal of Toxicology (paper) 2, 187-192 GLP: N, published: Y 2309506 / TOX9552426	EFSA	①
505	1:ヒトに対する毒性	UBA	2008	Aktualisierung der Referenzwerte für HCB, β-HCH, DDT und PCB in Frauenmilch. Stellungnahme der Kommission Human-Biomonitoring des Umweltbundesamtes	BfR Stillkommission Bundesgesundheitsbl - Gesundheitsforsch - Gesundheitsschutz 2008 · 51:1239–1242 ASB2014-8167	EFSA	①
506	1:ヒトに対する毒性	Verdugo-Raab,	2012	Ergebnisse der Muttermilchuntersuchungen 1984–2010 Bayerisches Landesamt für Gesundheit und Lebensmittelsicherheit	ASB2014-8173	EFSA	①
507	1:ヒトに対する毒性	AFSSA	2009	Avis de l'Agence française de sécurité sanitaire des aliments relatif au glyphosate et aux préparations phytopharmaceutiques à base de cette substance active	GLP: N, published: Y 2309546 / ASB2012-11532	EFSA	①
508	1:ヒトに対する毒性	Allen, S.L.	1996	Glyphosate Acid: Comparison of Salivary Gland Effects in Three Strains of Rat	CTL/P/5160 SYN GLP: Y, published: N 2309518 / ASB2012-11520	EFSA	①
509	1:ヒトに対する毒性	Allen, S.L.	1996	Glyphosate Acid: Comparison of Salivary Gland Effects in Three Strains of Rat	CTL/P/5160 SYN GLP: Y, published: N 2309558 / ASB2012-11537	EFSA	①
510	1:ヒトに対する毒性	Alavanja, M.	2013	Increased cancer burden among pesticide applicators and others due to pesticide exposure	CA: A Cancer Journal for Clinicians, 2013;63:120–142 ASB2014-9174	EFSA	①
511	1:ヒトに対する毒性	Alavanja, M.	2012	Occupational pesticide exposures and cancer risk: a review	a review Journal of Toxicology and Environmental Health, Part B, 15:238–263, 2012 ASB2014-9173	EFSA	①
512	1:ヒトに対する毒性	Alvarez-Moya,	2014	Comparison of the in vivo and in vitro genotoxicity of Glyphosate Isopropylamine salt in three different organisms	Genetics and Molecular Biology, 37, 1, 105-110 (2014) ASB2014-6902	EFSA	①
513	1:ヒトに対する毒性	Altenburger,	2012	Mixture toxicity revisited from a toxicogenomic perspective	Environ. Sci. Technol. 2012, 46, 2508 – 2522 ASB2014-9176	EFSA	①
514	1:ヒトに対する毒性	Andreotti, G.;	2012	The Interaction between pesticide use and genetic variants involved in lipid metabolism on prostate cancer risk	Journal of Cancer Epidemiology Volume 2012, Article ID 358076, ASB2014-9198	EFSA	①
515	1:ヒトに対する毒性	Anonymous	2009	Final List of Initial Pesticide Active Ingredients and Pesticide Inert Ingredients to be Screened Under the Federal Food, Drug, and Cosmetic Act	Federal Register /Vol. 74, No. 71 /Wednesday, April 15, 2009 /Notices, 1757917585 74, 17579-17585 GLP: N, published: Y 2310108 / ASB2012-12041	EFSA	①
516	1:ヒトに対する毒性	Anonymous	2012	GM Soy linked to health damage in pigs -- a Danish Dossier	ASB2013-11007	EFSA	①
517	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Anonymous	2013	Effects on ruminants and other herbivores (livestock and wild life)	ASB2013-11007	EFSA	①
518	1:ヒトに対する毒性	Arbuckle, T.E., Lin, Z.Q.,	2001	An exploratory analysis of the effect of pesticide exposure on the risk of spontaneous abortion in an Ontario farm population	Environmental Health Perspectives 109, 851-857 GLP: N, published: Y 2309574 / ASB2012-11545	EFSA	①
519	1:ヒトに対する毒性	Aris, A.,	2011	Maternal and fetal exposure to pesticides associated to genetically modified foods in Eastern Townships of Quebec, Canada	Reproductive Toxicology 31, 528-533 GLP: N, published: Y 2309578 / ASB2012-11547	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
520	1:ヒトに対する毒性	Astiz, M.; de Catalfo, G.; Garcia, M.	2013	Pesticide-induced decrease in rat testicular steroidogenesis differentially prevented by lipoate and tocopherol	Ecotoxicology and Environmental Safety 91 (2013) 129–138 ASB2014-7493	EFSA	①
521	1:ヒトに対する毒性	Astiz, M.; de Alaniz, M. J.	2012	The oxidative damage and inflammation caused by pesticides are reverted by lipoic acid in rat brain	Neurochemistry International 61 (2012) 1231–1241 ASB2014-9201	EFSA	①
522	1:ヒトに対する毒性	Axelrad, J.C.,	2003	The effects of acute pesticide exposure on neuroblastoma cells chronically exposed to diazinon	Toxicology 185, 67-78 GLP: N, published: Y 2309590 / ASB2012-11553	EFSA	①
523	1:ヒトに対する毒性	Bailey, J.,	2013	No evidence of endocrine disruption by glyphosate in male and female pubertal assays.	Abstract SOT 2013 Annual Meeting, PS 1937: p 412 ASB2013-3464	EFSA	①
524	1:ヒトに対する毒性	Basrur, P. K.;	2006	Disrupted sex differentiation and feminization of man and domestic animals	Environmental Research 100 (2006) 18–38 ASB2014-7492	EFSA	①
525	1:ヒトに対する毒性	Bates, N.; Edwards, N.	2013	Letter to the editor: Glyphosate toxicity in animals	Clinical Toxicology (2013), 51, 1243 ASB2014-9249	EFSA	①
526	1:ヒトに対する毒性	Brennan, J. C.; Bassal, A.; He,	2016	Development of a recombinant human ovarian (BG1) cell line containing estrogen receptor alpha and beta for improved detection of estrogenic/antiestrogenic chemicals	Environmental toxicology and chemistry / SETAC. Volume 35, Number 1, Pages 91– 100 BVL-3194154, ASB2016-11621	EFSA	①
527	1:ヒトに対する毒性	Bell, E.M.,	2001	A case-control study of pesticides and fetal death due to congenital anomalies	Epidemiology 12, 148-156 GLP: N, published: Y 2309602 / ASB2012-11559	EFSA	①
528	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Belle, R., Le	2007	Sea urchin embryo, DNA-damaged cell cycle checkpoint and the mechanisms initiating cancer development	J Soc Biol 201, 317-327 GLP: N, published: Y 2309604 / ASB2012-11560	EFSA	①
529	1:ヒトに対する毒性	Bellé, R.;	2012	Letter to the editor: Toxicity of Roundup and Glyphosate	Journal of Toxicology and Environmental Health, Part B, 15:233–237, 2012 ASB2014-9251	EFSA	①
530	1:ヒトに対する毒性	Benachour, N.,	2007	Time- and dose-dependent effects of roundup on human embryonic and placental cells	Archives of Environmental Contamination and Toxicology 53, 126-133 GLP: N, published: Y 2309608 / ASB2009-9018	EFSA	①
531	1:ヒトに対する毒性	Benedetti,	2004	The effects of sub-chronic exposure of Wistar rats to the herbicide Glyphosate-Biocarb (R)	Toxicology Letters 153, 227-232 GLP: N, published: Y 2309610 / ASB2012-11562	EFSA	①
532	1:ヒトに対する毒性	Benitez-Leite, S., Macchi, M., Acosta, M.	2009	Malformaciones congénitas asociadas a agrotóxicos	Archives of Pediatrics 80 (3):377-378. 80, 377-378 GLP: N, published: Y 2309612 / ASB2012-11563	EFSA	①
533	1:ヒトに対する毒性	Barry, K.;	2011	Genetic variation in base excision repair pathway genes, pesticide exposure, and prostate cancer risk	Environmental Health Perspectives, 119(2011)12 ASB2014-9247	EFSA	①
534	1:ヒトに対する毒性	Benedettia, D.;	2013	Genetic damage in soybean workers exposed to pesticides: Evaluation with the comet and buccal micronucleus cytome assays	Mutation Research 752 (2013) 28– 33 ASB2014-9279	EFSA	①
535	1:ヒトに対する毒性	Beuret, C.J., Zirulnik, F.,	2005	Effect of the herbicide glyphosate on liver lipoperoxidation in pregnant rats and their fetuses	Reproductive Toxicology 19, 501-504 GLP: N, published: Y 2309614 / ASB2012-11564	EFSA	①
536	1:ヒトに対する毒性	Beswick, E.; Millo, J.	2011	Fatal poisoning with Glyphosate - surfactant herbicide	JICS Volume 12, Number 1, January 2011 ASB2014-9283	EFSA	①
537	1:ヒトに対する毒性	BfR	2009	BfR-Bewertung der Studie "Glyphosatebased herbicides are toxic and endocrine disruptors in human cell lines"	vom 06.08.2009 GLP: N, published: Y 2309616 / ASB2012-11565	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
538	1:ヒトに対する毒性	Bhide, M. B.; Naik, P. Y.	1987	Synergism and potentiation in rats of Glyphosate (tech.) of Excel Industries Ltd.,	Bombay TOX9551964	EFSA	①
539	1:ヒトに対する毒性	Blair, A., Zahm, S.H.	1993	Patterns of pesticide use among farmers: implications for epidemiologic research	Epidemiology 4, 55-62 GLP: N, published: Y 2309620 / ASB2012-11567	EFSA	①
540	1:ヒトに対する毒性	Bleeke, M.S.,	2010	Dietary Exposure Assessment of Polyoxyethylenealkylamines (POEA) Surfactants	MON GLP: N, published: Y 2309622 / ASB2010-6123	EFSA	①
541	1:ヒトに対する毒性	Brändli, D.; Reinacher, S.	2011	Herbizide im Urin Ithaka Journal 1	2012:1-4 ASB2012-804	EFSA	①
542	1:ヒトに対する毒性	BVL	2010	Glyphosate - Comments from Germany on the paper by Paganelli, A. et al. (2010): "Glyphosate-based Herbicides Produce Teratogenic Effects on Vertebrates by Impairing Retinoic Acid Signaling"	GLP: N, published: Y 2309648 / ASB2012-11579	EFSA	①
543	1:ヒトに対する毒性	Caglar, S.,	2008	The effect of sub-acute and sub-chronic exposure of rats to the glyphosate-based herbicide Roundup	Environmental Toxicology and Pharmacology 25 (2008) 57-62 ASB2012-11580	EFSA	①
544	1:ヒトに対する毒性	Campaña, H.,	2010	Prevalencia al nacimiento de 27 anomalías congénitas seleccionadas, en 7 regiones geográficas de la Argentina. Births prevalence of 27 selected congenital anomalies in 7 geographic regions of Argentina	Arch Argent Pediatr 2010;108(5):409-417 ASB2013-10559	EFSA	①
545	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Campo, N. B.C.; Zarate, D.	2009	Toxicity of the main pesticides used in Popayán Valley with Bacillus subtilis Facultad de Ciencias Agropecuarias 16	Vol 7 No. 1 Enero - Junio 2009 ASB2014-9281	EFSA	①
546	1:ヒトに対する毒性	Carmichael, S. L.; Yang, W.; Roberts, E. M. et al.	2013	Hypospadias and residential proximity to pesticide applications	Pediatrics 2013;132(5)e1216-e1226 ASB2014-9307	EFSA	①
547	1:ヒトに対する毒性	Carroll, R.,	2012	Diurnal variation in probability of death following self-poisoning in Sri Lanka—evidence for chronotoxicity in humans	International Journal of Epidemiology 2012;41:1821-1828 ASB2014-9308	EFSA	①
548	1:ヒトに対する毒性	CassaultMeyer, E.,	2014	An acute exposure to glyphosate-based herbicide alters aromatase levels in testis and sperm nuclear quality	Environ Toxicol. Pharmacol 38 (2014) 131- 140 ASB2014-5615	EFSA	①
549	1:ヒトに対する毒性	Cattani, D.; de	2014	Mechanisms underlying the neurotoxicity induced by Glyphosate-based herbicide in immature rat hippocampus: Involvement of glutamate excitotoxicity	Toxicology 320 (2014) 34-45 ASB2014-3919	EFSA	①
550	1:ヒトに対する毒性	Chaufan, G.; Coalova, I.; Molina, M.	2014	Glyphosate commercial formulation causes cytotoxicity, oxidative effects, and apoptosis on human cells: Differences with its active ingredient	International Journal of Toxicology 2014, Vol. 33(1) 29-38 ASB2014-9314 / ASB2014-7616	EFSA	①
551	1:ヒトに対する毒性	Chen, Y. J.,	2009	The epidemiology of Glyphosate-surfactant herbicide poisoning in Taiwan, 1986-2007: a poison center study	Clinical Toxicology (2009) 47, 670-677 ASB2014-9318	EFSA	①
552	1:ヒトに対する毒性	Chen, H.-H.,	2013	Spectrum of corrosive esophageal injury after intentional paraquat or Glyphosate-surfactant herbicide ingestion	International Journal of General Medicine 2013:6 677-683 ASB2014-9321	EFSA	①
553	1:ヒトに対する毒性	Chien, W.-C.,	2012	Risk and prognostic factors of inpatient mortality associated with unintentional insecticide and herbicide poisonings: A retrospective cohort study	PLOS one September 2012 Volume 7 Issue 9 e45627 ASB2014-9326	EFSA	①
554	1:ヒトに対する毒性	Chorfa, A.,	2013	Specific pesticide-dependent increases in alpha-synuclein levels in human neuroblastoma (SH-SY5Y) and melanoma (SK-MEL-2) cell lines	Toxicological Sciences 133(2), 289-297 2013 ASB2014-9328	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
555	1:ヒトに対する毒性	Clair, E., Linn, L., Travert, C., Amiel, C., Seralini, G.- E., Panoff, J.-M.	2012	Effects of Roundup and Glyphosate on Three Food Microorganisms: <i>Geotrichum candidum</i> , <i>Lactococcus lactis</i> subsp. <i>cremoris</i> and <i>Lactobacillus delbrueckii</i> subsp. <i>bulgaricus</i>	Current Microbiology 64, 486-491 GLP: N, published: Y 2309674 / ASB2012-11592	EFSA	①
556	1:ヒトに対する毒性	Clair, E.,	2012	A glyphosate-based herbicide induces necrosis and apoptosis in mature rat testicular cells in vitro, and testosterone decrease at lower levels	Toxicology in Vitro 26, 269-279 GLP: N, published: Y 2309678 / ASB2012-1628	EFSA	①
557	1:ヒトに対する毒性	Coalova, I.;	2014	Influence of the spray adjuvant on the toxicity effects of a Glyphosate formulation	Toxicology in Vitro 28 (2014) 1306-1311 ASB2014-7615	EFSA	①
558	1:ヒトに対する毒性	Cocco, P.;	2014	Lymphoma risk and occupational exposure to pesticides: results of the Epilymph study	Occup Environ Med 2013;70:91-98 ASB2014-7523	EFSA	①
559	1:ヒトに対する毒性	Corsini, E.;	2012	Pesticide induced immunotoxicity in humans: A comprehensive review of the existing evidence Toxicology (2012)	ASB2014-9352	EFSA	①
560	1:ヒトに対する毒性	Culbreth, M.	2012	Comparison of chemical-induced changes in proliferation and apoptosis in human and mouse neuroprogenitor cells	NeuroToxicology 33 (2012) 1499-1510 ASB2014-9355	EFSA	①
561	1:ヒトに対する毒性	Curwin, B.D.,	2006	NTP technical report on toxicity studies of Glyphosate administered in dosed feed to F344/N rats and B6C3F1 mice, National Institutes of Health 161992) 1-57 TOX9551954	Ann. Occup. Vol. 51, No. 1, pp. 53-65, 2007 ASB2012-11597	EFSA	①
562	1:ヒトに対する毒性	Dai, P.; Hu,	2016	Effect of glyphosate on reproductive organs in male rat	Acta histochemical Volume 118, Issue 5, June 2016, Pages 519-526 BVL-3194154, ASB2016-11622	EFSA	①
563	1:ヒトに対する毒性	Dallegrave, E.,	2003	The teratogenic potential of the herbicide glyphosate-Roundup (R) in Wistar rats	Toxicology Letters 142, 45-52 GLP: N, published: Y 2309692 / ASB2012-11600	EFSA	①
564	1:ヒトに対する毒性	Dallegrave, E.,	2007	Pre- and postnatal toxicity of the commercial glyphosate formulation in Wistar rats	Archives of Toxicology 81, 665-673 GLP: N, published: Y 2309694 / ASB2012-2721	EFSA	①
565	1:ヒトに対する毒性	Defarge, N.; Takacs, E.; Lozano, V. L. et al.	2016	Co-formulants in Glyphosate-based herbicides disrupt aromatase activity in human cells below toxic levels	International Journal of Environmental Research and Public Health, 2016, 13, 264 10.3390/ijerph13030264 BVL-3194154, ASB2016-2568	EFSA	①
566	1:ヒトに対する毒性	Dhinsa, N.K.,	2007	Glyphosate technical: Dietary Two Generation Reproduction Study in the Rat	2060/0013 GLP: Yes Published: No BVL-2309418, ASB2012-11494	EFSA	①
567	1:ヒトに対する毒性	de Liz Oliveira	2013	Roundup disrupts male reproductive functions by triggering calcium-mediated cell death in rat testis and Sertoli cells	FreeRadicalBiologyandMedicine65(2013)335-346 ASB2014-7495	EFSA	①
568	1:ヒトに対する毒性	Daruich, J.,	2001	Effect of the herbicide glyphosate on enzymatic activity in pregnant rats and their fetuses	Environmental Research 85, 226-231 GLP: N, published: Y 2309696 / ASB2012-11601	EFSA	①
569	1:ヒトに対する毒性	Da Silva, F. R.; Kvitko, K.; Rohr, P. et al.	2014	Genotoxic assessment in tobacco farmers at different crop times	Science of the Total Environment 490 (2014) 334-341 ASB2014-9358	EFSA	①
570	1:ヒトに対する毒性	DeSesso, J. M.; Williams, A.	2012	Comment on "Glyphosate impairs male offspring reproductive development by disrupting gonadotropin expression" by Romano et al. 2012	Arch Toxicol (2012) 86:1791-1793 ASB2014-9369	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
571	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	De Souza	2013	Mutagenicity and genotoxicity in gill erythrocyte cells of Poecilia reticulata exposed to a Glyphosate formulation	Bull Environ Contam Toxicol (2013) 91:583–587ASB2014-7617	EFSA	①
572	1:ヒトに対する毒性	El-Shenawy, N.S.	2009	Oxidative stress responses of rats exposed to Roundup and its active ingredient glyphosate	Environmental Toxicology and Pharmacology 28 (2009) 379–385 ASB2012-11611	EFSA	①
573	1:ヒトに対する毒性	El-Zaemey, S.; Heyworth, J.	2013	Noticing pesticide spray drift from agricultural pesticide application areas and breast cancer: a case-control study	Aust NZ J Public Health. 2013; Online ASB2014-9473	EFSA	①
574	1:ヒトに対する毒性	European	2011	Standing Committee on the Food Chain and Animal Health, Section Phytopharmaceuticals -	Plant Protection Products - Legislation - 22-23 November 2010GLP: N, published: Y 2309724 / ASB2012-11615	EFSA	①
575	1:ヒトに対する毒性	Faria, N. M.	2014	Occupational exposure to pesticides, nicotine and minor psychiatric disorders among tobacco farmers in southern Brazil	NeuroToxicology (2014) in Press ASB2014-9477	EFSA	①
576	1:ヒトに対する毒性	Folta, K.	2014	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology: 65 (2014)	392ASB2014-9478	EFSA	①
577	1:ヒトに対する毒性	Forgacs, A.L.,	2012	BLTK1 Murine Leydig Cells: A Novel Steroidogenic Model for Evaluating the Effects of Reproductive and Developmental Toxicants	Toxicological Sciences 2012,127,2,391-402 GLP: N, published: Y 2309736 / ASB2012-11621	EFSA	①
578	1:ヒトに対する毒性	Freire, C.;	2012	Pesticide exposure and Parkinson's disease: Epidemiological evidence of association	NeuroToxicology 33 (2012) 947–971 ASB2014-9479	EFSA	①
579	1:ヒトに対する毒性	French Committee for the Study of Toxicity	2005	Enquiry into the referral of the Committee for the Study of Toxicity by the DGAL regarding the article "Differential effects of glyphosate and Roundup on human placental cells and aromatase." Richard S., Moslemi S., Sipahutar H.,	Benachour GLP: N, published: Y 2309742 / ASB2009-9025	EFSA	①
580	1:ヒトに対する毒性	Garlich, F. M.;	2014	Hemodialysis clearance of glyphosate following a life-threatening ingestion of glyphosate-surfactant herbicide	Clinical Toxicology (2014), 52, 66–71 ASB2014-9480	EFSA	①
581	1:ヒトに対する毒性	Garry, V.F.,	2002	Birth defects, season of conception, and sex of children born to pesticide applicators living in the Red River Valley of Minnesota, USA	Environmental Health Perspectives 110:441-449 110, 441-449 GLP: N, published: Y 2309750 / ASB2012-11626	EFSA	①
582	1:ヒトに対する毒性	Garry, V.F.,	2003	Male reproductive hormones and thyroid function in pesticide applicators in the Red River Valley of Minnesota	Journal of Toxicology and Environmental Health-Part A 66, 965-986 GLP: N, published: Y 2309752 / ASB2012-11627	EFSA	①
583	1:ヒトに対する毒性	Gasnier, C.,	2010	Dig1 protects against cell death provoked by glyphosate-based herbicides in human liver cell lines	J Occup Med Toxicol 5:29 GLP: N, published: Y 2309754 / ASB2012-11628	EFSA	①
584	1:ヒトに対する毒性	Gasnier, C.,	2009	Glyphosate-based herbicides are toxic and endocrine disruptors in human cell lines	Toxicology. 21:262(3):184-91 GLP: N, published: Y BVL-2716328, ASB2009-7384	EFSA	①
585	1:ヒトに対する毒性	Gasnier, C.,	2011	Defined plant extracts can protect human cells against combined xenobiotic effects	J Occup Med Toxicol 6, 3 GLP: N, published: Y 2309758 / ASB2012-11630	EFSA	①
586	1:ヒトに対する毒性	Gencer, N.; Ergün, A.; Demir, D.	2012	In vitro effects of some herbicides and fungicides on human erythrocyte carbonic anhydrase activity	Fresenius Environmental Bulletin, Volume 21 - No 3. 2012 ASB2014-9481	EFSA	①
587	1:ヒトに対する毒性	Gentile, N.;	2012	Micronucleus assay as a biomarker of genotoxicity in the occupational exposure to agrochemicals in rural workers	Bull Environ Contam Toxicol (2012) 88:816–822ASB2014-9482	EFSA	①
588	1:ヒトに対する毒性	George, J.;	2013	Emptying of intracellular calcium pool and oxidative stress imbalance are associated with the Glyphosate-induced proliferation in human skin keratinocytes HaCaT cells	ISRN Dermatology, Volume 2013, Article ID 825180ASB2014-8034	EFSA	①
589	1:ヒトに対する毒性	Gil, H. W.;	2013	Effect of intravenous lipid emulsion in patients with acute Glyphosate intoxication	Clinical Toxicology (2013), 51, 767–771 ASB2014-9488	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
590	1:ヒトに対する毒性	Glyphosat task	2014	Response to EFSA non-confidential comment 48	(EFSA non-confidential letter page 9, in reference to public comment 2(78 ASB2014-9624	EFSA	①
591	1:ヒトに対する毒性	Goldner, W. S.; Sandler, D. P.; Yu, F. et al.	2013	Hypothyroidism and pesticide use among male private pesticide applicators in the agricultural health study	JOEM Volume 55, Number 10, October 2013 ASB2014-9492	EFSA	①
592	1:ヒトに対する毒性	Goldstein, D.	2014	Neurodevelopmental toxicity: still more questions than answers	The Lancet Neurology Vol 13 July 2014 ASB2014-9493	EFSA	①
593	1:ヒトに対する毒性	Grandjean, P.; Landrigan, P. J.	2014	Neurobehavioural effects of developmental toxicity	Lancet Neurol 2014; 13: 330-38 ASB2014-9494	EFSA	①
594	2:農作物及び畜産物への残留	Greenpeace	2011	Herbicide tolerance and GM cropsfedd - Why the world should be ready to round up Glyphosate	ASB2012-810	EFSA	①
595	1:ヒトに対する毒性	Gress, S.;	2014	Cardiotoxic electrophysiological effects of the herbicide Roundup in rat and rabbit ventricular myocardium in vitro	Cardiovasc Toxicol 2015;15,4,324-335 ASB2014-12161	EFSA	①
596	1:ヒトに対する毒性	Guilherme, S.;	2012	Differential genotoxicity of Roundupformulation and its constituents in blood cells of fish (<i>Anguilla anguilla</i>): considerations on chemical interactions and DNA damaging mechanisms	Ecotoxicology (2012) 21:1381-1390 ASB2014-7619	EFSA	①
597	1:ヒトに対する毒性	Haas, M.C.	2012	Glyphosate - A 28-Day Oral (Dietary) Immunotoxicity Study in Female B6C3F1 Mice	WIL-50393 MON GLP: Y, published: N 2309522 / ASB2012-11521	EFSA	①
598	1:ヒトに対する毒性	Harrill, J. A.;	2011	Comparative sensitivity of human and rat neural cultures to chemical-induced inhibition of neurite outgrowth	Toxicology and Applied Pharmacology 256 (2011) 268-280 ASB2014-9558	EFSA	①
599	2:農作物及び畜産物への残留	Hayes; A. W.	2014	Reply to letter to the editor Food and Chemical Toxicology: 65 (2014) 394-395	ASB2014-9559	EFSA	①
600	1:ヒトに対する毒性	Hecker, M.,	2011	The OECD validation program of the H295R steroidogenesis assay: Phase 3. Final interlaboratory validation study	Environmental Science and Pollution Research 18, 503-515 GLP: N, published: Y 2309792 / ASB2012-11840	EFSA	①
601	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Hedberg, D.;	2010	Effects of Roundup and glyphosate formulations on intracellular transport, microtubules and actin filaments in <i>Xenopus laevis</i> melanophores	Toxicology in Vitro 24 (2010) 795-802 ASB2014-7494	EFSA	①
602	1:ヒトに対する毒性	Heu, C.,	2012	Glyphosate-induced stiffening of HaCaT keratinocytes, a Peak Force Tapping study on living cells	Journal of structural biology 178, 1-7 GLP: N, published: Y 2309798 / ASB2012-11843	EFSA	①
603	1:ヒトに対する毒性	Hinojosa, R.;	2013	Severe poisonings in intensive care unit: Study of announced substances in 2011	Annales Pharmaceutiques Françaises (2013) 71, 174-185 ASB2014-9566	EFSA	①
604	1:ヒトに対する毒性	Hoare, A.	2014	QSAR assessment on the toxicological properties of Glyphosate and its impurities	Report EE/14/002, Battelle UK Limited ASB2014-9157	EFSA	①
605	1:ヒトに対する毒性	Hokanson, R.,	2007	Alteration of estrogen-regulated gene expression in human cells induced by the agricultural and horticultural herbicide glyphosate	Hum Exp Toxicol 26, 747-752 GLP: N, published: Y 2309804 / ASB2012-11846	EFSA	①
606	1:ヒトに対する毒性	Honeycutt, Z.;	2014	Glyphosate Testing Report: Findings in American Mothers' Breast Milk, Urine and Water.	"Moms Across America" and "Sustainable Pulse" ASB2014-6793	EFSA	①
607	1:ヒトに対する毒性	Horiuchi, N.;	2007	Pesticide-related dermatitis in Saku District, Japan, 1975-2000	Int. J Occup. Environ Health 2007;14:25-34 ASB2014-9570	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
608	1:ヒトに対する毒性	Hour, B. T.; Belen, C.; Zar, T. et al.	2012	Herbicide Roundup Intoxication: Successful Treatment with Continuous Renal Replacement Therapy	The American Journal of Medicine, Vol 125, No 8, August 2012 ASB2014-9571	EFSA	①
609	1:ヒトに対する毒性	Jamkhande, P.	2014	Teratogenicity: A mechanism based short review on common teratogenic agents Asian Pac	J Trop Dis 2014; 4(6): 421-432 ASB2014-9573	EFSA	①
610	1:ヒトに対する毒性	Jany, K.-D.	2013	Die Langzeitfütterungsstudie von Seralini et al. (2012) -	eine kritische Replik Ernährungs Umschau 8/2013 ASB2014-9580	EFSA	①
611	1:ヒトに対する毒性	Jasper, R.; Locatelli, G.	2012	Evaluation of biochemical, hematological and oxidative parameters in mice exposed to the herbicide Glyphosate-Roundup	Interdiscip Toxicol. 2012; Vol. 5(3): 133-140. ASB2014-9583	EFSA	①
612	1:ヒトに対する毒性	Jayasumana,	2014	Glyphosate, hard water and nephrotoxic metals: Are they the culprits behind the epidemic of chronic kidney disease of unknown etiology in Sri Lanka?	Int. J. Environ. Res. Public Health 2014, 11, 2125-2147 ASB2014-3085	EFSA	①
613	1:ヒトに対する毒性	John, B.	2014	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology:65 (2014)	391ASB2014-9584	EFSA	①
614	1:ヒトに対する毒性	Kachuri, L.; Demers, P. A.; Blair, A. et al.	2013	Multiple pesticide exposures and the risk of multiple myeloma in Canadian men	Int. J. Cancer: 133, 1846-1858 (2013) ASB2014-8030	EFSA	①
615	1:ヒトに対する毒性	Kamel, F.;	2012	Pesticide exposure and amyotrophic lateral sclerosis	NeuroToxicology 33 (2012) 457-462 ASB2014-9586	EFSA	①
616	1:ヒトに対する毒性	Kelce, W.R., Lamb, J.C.,	2010	A Critique of prepubertal exposure to commercial formulation of the herbicide glyphosate	GLP: N, published: Y 2309848 / ASB2012-11867	EFSA	①
617	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.; Kirkland, D. J.	2013	Review of genotoxicity studies of Glyphosate and Glyphosate-based formulations	Crit Rev Toxicol, 2013; 43(4): 283-315 ASB2014-9587	EFSA	①
618	1:ヒトに対する毒性	Kilinc, N.;	2013	Influence of pesticide exposure on carbonic anhydrase II from sheep stomach	Toxicology and Industrial Health Volume 31, Issue 9, September 2015, Pages 823-830 ASB2014-9588	EFSA	①
619	1:ヒトに対する毒性	Kim, J.; Ko, W.; Lee, W. J.	2013	Depressive symptoms and severity of acute occupational pesticide poisoning among male farmers	Occup Environ Med 2013;0:1-7 ASB2014-9592	EFSA	①
620	1:ヒトに対する毒性	Kim, Y.; Hong,	2013	Mixtures of Glyphosate and surfactant TN20 accelerate cell death via mitochondrial damage-induced apoptosis and necrosis	Toxicology in Vitro 27 (2013) 191-197 ASB2014-9591	EFSA	①
621	1:ヒトに対する毒性	Kitazawa, T.	2013	IET historical control data on malignant lymphoma incidence in control ICR (Crj:CD1) mice HR-001: Carcinogenicity study in mice (IET 94-0151)	13-C015 ASB2014-9146	EFSA	①
622	1:ヒトに対する毒性	Knezevic, V.;	2012	Early continuous dialysis in acute Glyphosate-surfactant poisoning	Srp Arh Celok Lek. 2012 Sep-Oct;140(9-10):648-652 ASB2014-9593	EFSA	①
623	1:ヒトに対する毒性	Koller, V. J.;	2012	Cytotoxic and DNA-damaging properties of Glyphosate and Roundup in human-derived buccal epithelial cells	Arch Toxicol (2012) 86:805-813 ASB2014-7618	EFSA	①
624	1:ヒトに対する毒性	Koureas, M.;	2014	Increased levels of oxidative DNA damage in pesticide sprayers in Thessaly Region (Greece). Implications of pesticide exposure	Science of the Total Environment 496 (2014) 358-364 ASB2014-9724	EFSA	①
625	1:ヒトに対する毒性	Koutros, S.;	2011	Xenobiotic-metabolizing gene variants, pesticide use, and the risk of prostate cancer	Pharmacogenetics and Genomics 2011, Vol 21 No 10 ASB2014-9594	EFSA	①
626	2:農作物及び畜産物への残留	Krüger, M.;	2013	Field investigations of glyphosate in urine of Danish dairy cows	J Environ Anal Toxicol, 3:5 ASB2013-11599	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
627	1:ヒトに対する毒性	Krüger, M.;	2013	Glyphosate suppresses the antagonistic effect of Enterococcus spp. on Clostridium botulinum in Press,	Anaerobe 20: 74-78 (2013) ASB2013-8527	EFSA	①
628	2:農作物及び畜産物への残留	Krüger, M.;	2014	Detection of Glyphosate residues in animals and humans	J Environ Anal Toxicol 2014, 4:2 ASB2014-5024	EFSA	①
629	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Krüger,	2012	Visceral botulism at dairy farms in Schleswig Holstein, Germany - Prevalence of Clostridium botulinum in feces of cows, in animal feeds, in feces of the farmers, and in house dust	Anaerobe 18 (2012) 221-223 ASB2013-13312	EFSA	①
630	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Krüger, M.;	2014	Detection of Glyphosate in malformed piglets	J Environ Anal Toxicol 2014, 4:5 ASB2014-8935	EFSA	①
631	1:ヒトに対する毒性	Kumar, S.	2011	Occupational, environmental and lifestyle factors associated with spontaneous abortion	Reproductive Sciences 18(10) 915-930 ASB2014-9725	EFSA	①
632	1:ヒトに対する毒性	Kwiatkowsk a, M.; Huras, B.; Bukowska, B.	2014	The effect of metabolites and impurities of Glyphosate on human erythrocytes (in vitro)	Pesticide Biochemistry and Physiology 109 (2014) 34-43 ASB2014-9603	EFSA	①
633	1:ヒトに対する毒性	Kwiatkowsk a,	2014	The effect of Glyphosate, its metabolites and impurities on erythrocyte acetylcholinesterase activity	Environ. Toxicol. Pharmacol. 37 (2014) 1101-1108 ASB2014-8085	EFSA	①
634	1:ヒトに対する毒性	Labite, H.;	2012	A quantitative approach for ranking human health risks from pesticides in Irish groundwater	Human and Ecological Risk Assessment, 18: 1156-1185, 2012 ASB2014-9604	EFSA	①
635	1:ヒトに対する毒性	Lamb, J. C.;	2014	Critical comments on the WHO-UNEP state of the science of endocrine disrupting chemicals – 2012	Regulatory Toxicology and Pharmacology 69 (2014) 22-40 ASB2014-9605	EFSA	①
636	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Lancotot, C.;	2014	Effects of glyphosate-based herbicides on survival, development, growth and sex ratios of wood frog (Lithobates sylvaticus) tadpoles. II: agriculturally relevant exposures to Roundup WeatherMax(R) and Vision(R) under laboratory conditions	Aquatic toxicology (Amsterdam, Netherlands). Volume 154, September 2014, Pages 291-303 BVL-3194154, ASB2016-11623	EFSA	①
637	1:ヒトに対する毒性	Larsen, K.;	2012	Effects of sub-lethal exposure of rats to the herbicide Glyphosate in drinking water: Glutathione transferase enzyme activities, levels of reduced Glutathione and lipid peroxidation in liver, kidneys and small intestine	Environ. Toxicol. Pharmacol. 34(2012)811-818ASB2014-6905	EFSA	①
638	1:ヒトに対する毒性	Larsen, K.;	2014	Effects of sublethal exposure to a Glyphosate-based herbicide formulation on metabolic activities of different xenobioticmetabolizing enzymes in rats	International Journal of Toxicology 2014, Vol. 33(4) 307-318 ASB2014-9606	EFSA	①
639	1:ヒトに対する毒性	Lee, B. K.;	2012	Continuous renal replacement therapy in a patient with cardiac arrest after Glyphosate-surfactant herbicide poisoning	Hong Kong Journal of Emergency Medicine ASB2014-9607	EFSA	①
640	1:ヒトに対する毒性	LeFew, W. R.; McConnell, E. R.; Crooks, J.	2013	Evaluation of microelectrode array data using Bayesian modeling as an approach to screening and prioritization for neurotoxicity testing	NeuroToxicology 36 (2013) 34-41 ASB2014-9608	EFSA	①
641	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Le Mer, C.;	2012	Effects of chronic exposures to the herbicides Atrazine and Glyphosate to larvae of the threespine stickleback (Gasterosteus aculeatus)	pp 174-181 ! dx.doi.org/10.1016/j.ecoenv.2012.11.027 Ecotoxicology and Environmental Safety (2013) 174-181 BVL-3194154, ASB2015-7350	EFSA	①
642	1:ヒトに対する毒性	Lesmes-Fabian,	2012	Dermal exposure assessment of pesticide use: The case of sprayers in potato farms in the Colombian highlands	Science of the Total Environment 430 (2012) 202-208 ASB2014-9726	EFSA	①
643	1:ヒトに対する毒性	Levine, S.	2012	EDSP assays and regulatory safety studies provide a weight of evidence that Glyphosate is not an endocrine disruptor	SETAC North America 33rd Annual Meeting ASB2014-9609	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
644	1:ヒトに対する毒性	Lopez, S. L.;	2012	Pesticides used in South American GMObased agriculture: A review of their effects on humans and animal models	Advances in Molecular Toxicology, Volume 6, 41-75 doi.org/10.1016/B978-0-444-59389-4.000021 ASB2013-10534	EFSA	①
645	1:ヒトに対する毒性	Malhotra, R.C.,	2010	Glyphosate-surfactant herbicide-induced reversible encephalopathy	Case Reports / Journal of Clinical Neuroscience 17 (2010) 1472-1473 ASB2012-11890	EFSA	①
646	1:ヒトに対する毒性	Manas, F.,	2009	Genotoxicity of AMPA, the environmental metabolite of glyphosate, assessed by the Comet assay and cytogenetic tests	Ecotoxicology and Environmental Safety 72, 834-837 GLP: N, published: Y 2309906 / ASB2012-11891	EFSA	①
647	1:ヒトに対する毒性	Mandel, J.S.,	2005	Biomonitoring for farm families in the farm family exposure study	Scand J Work Environ Health 31, 98-104 GLP: N, published: Y 2309910 / ASB2012-11893	EFSA	①
648	1:ヒトに対する毒性	Mañas, F.,	2013	Oxidative stress and comet assay in tissues of mice administered Glyphosate and Ampa in drinking water for 14 days	Journal of Basic & Applied Genetics 2013 Volume 24 Issue 2 Article 7 ASB2014-6909	EFSA	①
649	1:ヒトに対する毒性	Manfo, F. P.	2010	Effect of agropesticides use on male reproductive function: A study on farmers in Djutitsa (Cameroon)	Environ Toxicol 27: 423-432, 2012 ASB2014-9611	EFSA	①
650	1:ヒトに対する毒性	Markard, C.,	2014	Umweltprobenbank des Bundes. Ergebnisse der Vorstudie "HBM von Glyphosat" II	1.2-93404/21 ASB2014-2057	EFSA	①
651	1:ヒトに対する毒性	Marc, J.,	2003	Embryonic cell cycle for risk assessment of pesticides at the molecular level	Environmental Chemistry Letters 1, 8-12 GLP: N, published: Y 2309916 / ASB2009-9013	EFSA	①
652	1:ヒトに対する毒性	Marc, J., Belle,	2004	Formulated glyphosate activates the DNAresponse checkpoint of the cell cycle leading to the prevention of G2/M transition	Toxicological Sciences 82, 436-442 GLP: N, published: Y 2309912 / ASB2012-11894	EFSA	①
653	1:ヒトに対する毒性	Marc, J.,	2004	Glyphosate-based pesticides affect cell cycle regulation	Biology of the Cell 96, 245-249 GLP: N, published: Y 2309914 / ASB2009-9014	EFSA	①
654	1:ヒトに対する毒性	Marc, J.,	2003	Embryonic cell cycle for risk assessment of pesticides at the molecular level	Environmental Chemistry Letters 1, 8-12 GLP: N, published: Y 2309916 / ASB2009-9013	EFSA	①
655	1:ヒトに対する毒性	Mariager, T. P.; Madsen, P. V.; Ebbehoj, N. E. et al.	2013	Severe adverse effects related to dermal exposure to a Glyphosate-surfactant herbicide	Clinical Toxicology (2013), 51, 111-113 ASB2014-9612	EFSA	①
656	1:ヒトに対する毒性	Martini, C. M.; Gabrielli, M.	2012	A commercial formulation of Glyphosate inhibits proliferation and differentiation to adipocytes and induces apoptosis in 3T3-L1 fibroblasts	Toxicology in Vitro 26 (2012) 1007-1013 ASB2014-9613	EFSA	①
657	1:ヒトに対する毒性	McConnell, E.	2012	Evaluation of multi-well microelectrode arrays for neurotoxicity screening using a chemical training set	NeuroToxicology 33 (2012) 1048-1057 ASB2014-9615	EFSA	①
658	1:ヒトに対する毒性	McQueen, H.,	2012	Estimating maternal and prenatal exposure to glyphosate in the community setting.	International Journal of Hygiene and Environmental Health GLP: N, published: Y 2309926 / ASB2012-11898	EFSA	①
659	1:ヒトに対する毒性	Mesnage, R.,	2012	Cytotoxicity on human cells of Cry1Ab and Cry1Ac Bt insecticidal toxins alone or with a glyphosate-based herbicide	Journal of Applied Toxicology:n/a-n/a GLP: N, published: Y 2309930 / ASB2012-11900	EFSA	①
660	1:ヒトに対する毒性	Mesnage, R.; Moesch, C.; Le Grand, R. et al.	2012	Glyphosate exposure in a farmer's family	Journal of Environmental Protection, 2012, 3, 1001-1003 ASB2014-3846	EFSA	①
661	1:ヒトに対する毒性	Mesnage R.,	2014	Major pesticides are more toxic to human cells than their declared active principles	BioMed Reserch International Vol 2014 ASB2014-1755	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
662	2:農作物及び畜産物への残留	Mesnage, R.;	2014	The need for a closer look at pesticide toxicity during GMO assessment	Practical Food Safety: Contemporary Issues and Future Directions, First Edition. Edited by Rajeev Bhat and Vicente M. Gómez-López. ASB2014-9616	EFSA	①
663	1:ヒトに対する毒性	Mink, P. J.; Mandel, J. S.; Scurman, B.	2012	Epidemiologic studies of Gyphosate and cancer:	A review Regulatory Toxicology and Pharmacology 63 (2012) 440–452 ASB2014-9617	EFSA	①
664	1:ヒトに対する毒性	Modesto, K.	2010	Effects of roundup transorb on fish: Hematology, antioxidant defenses and acetylcholinesterase activity	Chemosphere 81 (2010) 781–787 ASB2012-811	EFSA	①
665	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Moreno, N. C.;	2014	Genotoxic effects of the herbicide RoundupTransorb®and its active ingredient glyphosate onthe fish Prochilodus lineatus	Environ. Toxicol. Pharmacol. 37 (2014) 448–454 ASB2014-7522	EFSA	①
666	1:ヒトに対する毒性	Mose, T.,	2008	Placental passage of benzoic acid, caffeine, and glyphosate in an ex vivo human perfusion system	Journal of Toxicology and Environmental Health-Part a-Current Issues 71, 984-991 GLP: N, published: Y 2309958 / ASB2012-11914	EFSA	①
667	1:ヒトに対する毒性	Mostafalou, S.; Abdollahi, M.	2013	Pesticides and human chronic diseases: Evidences, mechanisms, and perspectives	Toxicology and Applied Pharmacology 268 (2013) 157–177 ASB2014-9618	EFSA	①
668	1:ヒトに対する毒性	Mulet, J.M.	2011	Letter to the Editor Regarding the Article by Paganelli et al.	Chemical Research in Toxicology 24, 609 GLP: N, published: Y 2309962 / ASB2012-11916	EFSA	①
669	1:ヒトに対する毒性	NABU	2011	Glyphosat & Ag rogentechnik - Risiken des Anbaus herbizidresistenter Pflanzen für Mensch und Umwelt Ausgabe: 04/2011	ASB2012-8016	EFSA	①
670	1:ヒトに対する毒性	Narayan, S.; Liew, Z.; Paul, K. et al.	2013	Household organophosphorus pesticide use and Parkinson's disease	International Journal of Epidemiology 2013;1–10 ASB2014-9620	EFSA	①
671	1:ヒトに対する毒性	Niemann, L.; Sieke, C.; Pfeil,	2015	A critical review of glyphosate findings in human urine samples and comparison with the exposure of operators and consumers	J. Verbr. Lebensm., (2015) 10:3-12 ASB2014-11029	EFSA	①
672	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Omran, N. E.;	2013	The endocrine disrupter effect of atrazine and glyphosate on Biomphalaria alexandrina snails	Toxicology and Industrial Health 1–10 ASB2014-7614	EFSA	①
673	1:ヒトに対する毒性	Paumgartten, F.J.R.	2012	Pesticide exposure and poor pregnancy outcomes: weaknesses of the evidence // Exposição a agrotóxicos e resultados adversos da gravidez: a fragilidade da evidência	Cad. Saúde Pública, Rio de Janeiro, 28(10):2009-2012, out, 2012 ASB2013-10538	EFSA	①
674	1:ヒトに対する毒性	Paganelli, A.,	2010	Glyphosate-Based Herbicides Produce Teratogenic Effects on Vertebrates by Impairing Retinoic Acid Signaling	Chem Res Toxicol 23, 1586-1595 GLP: N, published: Y 2309994 / ASB2012-11986, ASB2010-11410	EFSA	①
675	1:ヒトに対する毒性	Pahwa, P. P.;	2011	Soft-tissue sarcoma and pesticides exposure in men results of a canadian case-control study	JOEM _ Volume 53, Number 11, November 2011ASB2014-9625	EFSA	①
676	1:ヒトに対する毒性	Palma, G.	2011	Letter to the Editor Regarding the Article by Paganelli et al.	Chemical Research in Toxicology 24, 775776 GLP: N, published: Y 2310000 / ASB2012-11989	EFSA	①
677	1:ヒトに対する毒性	PANAP	2009	Glyphosate - Summary	ASB2012-8017	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
678	1:ヒトに対する毒性	Perry, L.;	2014	National toxicovigilance for pesticide exposures resulting in health care contact – An example from the UK's National poisons information service	Clinical Toxicology (2014), 52, 549–555 ASB2014-9626	EFSA	①
679	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Quassinti, L.,	2009	Effects of paraquat and glyphosate on steroidogenesis in gonads of the frog <i>Rana esculenta</i> in vitro	Pesticide Biochemistry and Physiology 93, 91-95 GLP: N, published: Y 2310038 / ASB2012-12007	EFSA	①
680	1:ヒトに対する毒性	Razi, M.;	2012	Histological and histochemical effects of Glyphosate on testicular tissue and function	Iran J Reprod Med Vol. 10. No. 3. pp: 181-192, May 2012 ASB2014-9390	EFSA	①
681	1:ヒトに対する毒性	Relyea, A.R.	2005	The impact of insecticides and herbicides on the biodiversity and productivity of aquatic communities	Ecological Applications, 15(2), 2005, pp. 618–627 ASB2012-204	EFSA	①
682	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Relyea, A.R.	2012	New effects of Roundup on amphibians: Predators reduce herbicide mortality; herbicides induce antipredator morphology	Ecological Applications, 22(2), 2012, pp. 634–647 ASB2012-2791	EFSA	①
683	1:ヒトに対する毒性	Rhomberg, L.	2012	Low-dose effects and nonmonotonic dose– responses of endocrine disrupting chemicals: Has the case been made?	Regulatory Toxicology and Pharmacology 64 (2012) 130–133 ASB2014-9391	EFSA	①
684	1:ヒトに対する毒性	Richard, S.,	2005	Differential effects of glyphosate and roundup on human placental cells and aromatase	Environmental Health Perspectives 113, 716-720 GLP: N, published: Y 2310042 / ASB2009-9024 / TOX2005-1743	EFSA	①
685	1:ヒトに対する毒性	Riede, S.;	2014	Effects of a glyphosate-based herbicide on in vitro ruminal fermentation and microbial community with special attention to clostridia.	Proc. Soc. Nutr. Physiol. ; VOL 23 2014; 23; 34Gesellschaft fur Ernährungsphysiologie Conference; 68th, Gesellschaft fur Ernährungsphysiologie ASB2013-14684	EFSA	①
686	1:ヒトに対する毒性	Roberts, J. R.; Karr, C. J.	2012	Pesticide exposure in children	PEDIATRICS Volume 130, Number 6, 41244ASB2014-9394	EFSA	①
687	1:ヒトに対する毒性	Rodloff, A. C.;	2012	Chronic <i>Clostridium botulinum</i> infections in farmers	Anaerobe 18 (2012) 226-228 ASB2013-13311	EFSA	①
688	1:ヒトに対する毒性	Romano, M.,	2012	Glyphosate impairs male offspring reproductive development by disrupting gonadotropin expression	Archives of Toxicology 86, 663-673 GLP: N, published: Y 2310048 / ASB2012-12011	EFSA	①
689	1:ヒトに対する毒性	Romano, R.M.,	2010	Prepubertal exposure to commercial formulation of the herbicide glyphosate alters testosterone levels and testicular morphology	Arch Toxicol 84, 309-317 GLP: N, published: Y 2310050 / ASB2012-12012	EFSA	①
690	1:ヒトに対する毒性	Romano, M.	2012	Reply to comment of John M. DeSesso and Amy L. Williams regarding "Glyphosate impairs male offspring reproductive development by disrupting gonadotropin expression" by Romano et al. 2012	Arch Toxicol (2012) 86:1795–1797 ASB2014-9396	EFSA	①
691	1:ヒトに対する毒性	Rosanoff, A.	2014	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology: 65 (2014)	389ASB2014-9397	EFSA	①
692	1:ヒトに対する毒性	Roberfroid, M.	2014	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology: 65 (2014)	390ASB2014-9393	EFSA	①
693	1:ヒトに対する毒性	Roberfroid, M.	2014	Letter to the editor Food and Chemical Toxicology: 66 (2014)	385ASB2014-9392	EFSA	①
694	1:ヒトに対する毒性	Roustan, A.; Aye, M.; De	2014	Genotoxicity of mixtures of glyphosate and atrazine and their environmental transformation products before and after photoactivation	Chemosphere 108 (2014) 93–100 ASB2014-8086	EFSA	①
695	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Rowe, L. D.;	1987	The subacute oral toxicity of the isopropylamine salt of glyphosate (MON 0139) in female cattle	82002 ! VT-82-003 TOX9552424	EFSA	①
696	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Rowe, L. D.;	1987	The subacute toxicity of Roundup herbicide (MON-2139) in female cattle	82001 ! VT-82-002 ASB2010-8131	EFSA	①
697	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Rowe, L. D.;	1987	The acute toxicity of glyphosate in female goats	80006 ! VT-80-450 TOX9552422	EFSA	①
698	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Rowe, L. D.;	1987	The acute oral toxicity of the isopropylamine salt of glyphosate (MON 0139) in female goats	80007 ! VT-80-451 TOX9552423	EFSA	①
699	1:ヒトに対する毒性	Saltmirs, D.,	2011	Letter to the Editor Regarding the Article by Paganelli et al.	Chemical Research in Toxicology 24, 607608 GLP: N, published: Y 2310056 / ASB2012-12015	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
700	1:ヒトに対する毒性	Saltniras,	2012	No Evidence of Endocrine Disruption by Glyphosate in Hershberger and Uterotrophic Assays.	Abstract PS 2198 The Toxicologist (supplement to Toxicological Sciences) 126, 474 GLP: N, published: Y 2310058 / ASB2012-12016	EFSA	①
701	1:ヒトに対する毒性	Samsel, A.; Seneff, S.	2013	Glyphosate's suppression of Cytochrome P450 enzymes and amino acid biosynthesis by the Gut Microbiome: Pathways to modern diseases	Entropy 2013, 15, 1416-1463 ASB2013-8535	EFSA	①
702	1:ヒトに対する毒性	Savitz, D.A.,	1997	Male pesticide exposure and pregnancy outcome	American Journal of Epidemiology 146, 1025-1036 GLP: N, published: Y 2310070 / ASB2012-12022	EFSA	①
703	1:ヒトに対する毒性	Schinasi, L.;	2014	Non-Hodgkin lymphoma and occupational exposure to agricultural pesticide chemical groups and active ingredients: A systematic review and meta-analysis	Int. J. Environ. Res. Public Health 2014, 11, 4449-4527 ASB2014-4819	EFSA	①
704	1:ヒトに対する毒性	Seneff, S.; Lauritzen, A.; Davidson, R. M. et al.	2013	Is encephalopathy a mechanism to renew sulfate in autism?	Entropy 2013, 15, 372-406 ASB2014-9729	EFSA	①
705	1:ヒトに対する毒性	Sengupta, P.; Banerjee, R.	2013	Environmental toxins: Alarming impacts of pesticides on male fertility	Human and Experimental Toxicology 1-23 ASB2014-9730	EFSA	①
706	1:ヒトに対する毒性	Séralini, G. E.	2014	Conclusiveness of toxicity data and double standards	Food and Chemical Toxicology 69 (2014) 357-359 ASB2014-9632	EFSA	①
707	1:ヒトに対する毒性	Seyboldt, C.;	2014	Bedeutung von Clostridium botulinum bei chronischem Krankheitsgeschehen und Teilprojekt: Mikrobiologisches Risikopotenzial von Biogasanlagen unter besonderer Berücksichtigung von Hühner-trockenkot als Gärsubstrat. Abschlussbericht	Projekt: 2810HS005 Tierärztliche Hochschule Hannover ASB2014-10736	EFSA	①
708	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Shehata, A. A.;	2012	The effect of glyphosate on potential pathogens and beneficial members of poultry microbiota in vitro	Curr Microbiol, published online 09.12.2012 ASB2012-16301	EFSA	①
709	1:ヒトに対する毒性	Shehata, A.;	2012	Antagonistic effect of different bacteria on Clostridium botulinum types A, B, D and E in vitro	Downloaded from veterinaryrecord.bmj.com on December 19, 2012 ASB2013-8529	EFSA	①
710	1:ヒトに対する毒性	Sirinathsinghji,	2014	Sri Lanka Partially Bans Glyphosate for Deadly Kidney Disease Epidemic	ISIS Report 09/04/14 ASB2014-10742	EFSA	①
711	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Sørensen, M.	2014	Memorandum on "The feeding of genetically modified Glyphosate resistant soy products to livestock"	DCA – Danish Centre for Food and Agriculture, Aarhus University, Denmark. 4 February 2014 ASB2014-5761	EFSA	①
712	1:ヒトに対する毒性	Song, H. Y.;	2012	In vitro cytotoxic effect of glyphosate mixture containing surfactants	J Korean Med Sci 2012; 27: 711-715 ASB2013-10531	EFSA	①
713	1:ヒトに対する毒性	Sribanditmongkol, P.;	2012	Pathological and toxicological findings in Glyphosate-surfactant herbicide fatality	Am J Forensic Med Pathol & Volume 33, Number 3, September 2012 ASB2014-9731	EFSA	①
714	1:ヒトに対する毒性	Stump, D. G.	2012	A Uterotrophic Assay of Glyphosate Administered Orally in Ovariectomized Rats - FINAL REPORT -	WIL-843002 ! WI-2011-0272 GLP: Yes Published: No BVL-3189488, ASB2016-11605	EFSA	①
715	1:ヒトに対する毒性	Stump, D. G.	2012	A Hershberger assay of Glyphosate administered orally in peripupertal - Volume 1 of 2 -	WIL-843003 GLP: Yes Published: No BVL-3189496, ASB2016-11606	EFSA	①
716	1:ヒトに対する毒性	Stump, D. G.	2012	A pubertal development and thyroid function assay of Glyphosate administered orally in intact juvenile/peripubertal male rats - Volume 1 of 2 -	WIL-843005 ! WI-2011-0302 GLP: Yes Published: No BVL-3189507, ASB2016-11608	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
717	1:ヒトに対する毒性	Stump, D. G.	2012	A Pubertal Development and Thyroid Function Assay of Glyphosate Administered Orally in Intact Juvenile/Peripubertal Female Rats - Volume 1 of 2 -	WIL-843007 ! WI-2011-0303 GLP: Yes Published: No BVL-3189502, ASB2016-11607	EFSA	①
718	1:ヒトに対する毒性	Sugeng, A. J.;	2013	Hazard-ranking of agricultural pesticides for chronic health effects in Yuma County, Arizona	Science of the Total Environment 463-464 (2013) 35-41 ASB2014-9733	EFSA	①
719	1:ヒトに対する毒性	Takahashi, H.; Kakinuma, Y.	1992	Ammonium salt of glyphosate (MON 8750) general pharmacology study	IET 90-0149/ET-92-15 The Institute of Environmental Toxicology TOX9552421	EFSA	①
720	1:ヒトに対する毒性	Thongprakaisang, S.;	2013	Glyphosate induces human breast cancer cells growth via estrogen receptors	Food and Chemical Toxicology, 59(2013)129-136 ASB2013-11991	EFSA	①
721	1:ヒトに対する毒性	Tizhe, E. V.;	2013	Haematological changes induced by subchronic Glyphosate exposure: Ameliorative effect of zinc in Wistar rats	Sokoto Journal of Veterinary Sciences, Volume 11 (Number 2). December, 2013 ASB2014-6963	EFSA	①
722	1:ヒトに対する毒性	Tizhe, E. V.;	2013	Influence of zinc supplementation on histopathological changes in the stomach, liver, kidney, brain, pancreas and spleen during subchronic exposure of Wistar rats to Glyphosate	Comp Clin Pathol (2014) 23:1535-1543 ASB2014-6965	EFSA	①
723	1:ヒトに対する毒性	Tizhe, E. V.;	2013	Serum biochemical assessment of hepatic and renal functions of rats during oral exposure to Glyphosate with zinc	Comp Clin Pathol (2014) 23:1043-1050 ASB2014-6964	EFSA	①
724	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Uren Webster,	2014	Effects of Glyphosate and its formulation, Roundup, on reproduction in zebrafish (Danio rerio)	Environmental science & technology. Volume 48, Number 2, Pages 1271-1279 BVL-3194154, ASB2016-11624	EFSA	①
725	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Uren Webster,	2013	Effects of Glyphosate and its formulation, Roundup, on reproduction in Zebrafish (Danio rerio)	dx.doi.org/10.1021/es404258h Environ. Sci. Technol. 2014, 48, 1271−1279 BVL-3194154, ASB2015-8040	EFSA	①
726	1:ヒトに対する毒性	Vandenberg, L.	2012	Hormones and endocrine-disrupting chemicals: Low-dose effects and nonmonotonic dose responses	Endocrine Reviews, June 2012, 33(3):378-455ASB2014-9635	EFSA	①
727	1:ヒトに対する毒性	Walsh, L.P.,	2000	Roundup inhibits steroidogenesis by disrupting steroidogenic acute regulatory (StAR) protein expression	Environmental Health Perspectives 108, 769-776 GLP: N, published: Y 2310118 / ASB2012-12046	EFSA	①
728	1:ヒトに対する毒性	Wigle, D. T.;	2008	Epidemiologic evidence of relationships between reproductive and child health outcomes and environmental chemical contaminants	Journal of Toxicology and Environmental Health, Part B, 11:373-517, 2008 ASB2014-9637	EFSA	①
729	1:ヒトに対する毒性	Wilga, P. C.	2012	Glyphosate: Human recombinant aromatase assay	6500V-100334AROM ! CTX-11-027 GLP: Yes Published: No BVL-3189592, ASB2016-11612	EFSA	①
730	1:ヒトに対する毒性	Williams, A.L., Watson, R.E.,	2012	Developmental and Reproductive Outcomes in Humans and Animals After Glyphosate Exposure: A Critical Analysis	Journal of Toxicology and Environmental Health, Part B 15, 39-96 GLP: N, published: Y 2310130 / ASB2012-12052	EFSA	①
731	1:ヒトに対する毒性	Willoughby, J. A.	2012	Glyphosate: Androgen receptor binding (rat prostate Cytosol) Screening assay	6500V-100334ARB ! CTX-11-026 GLP: Yes Published: No BVL-3189603, ASB2016-11611	EFSA	①
732	1:ヒトに対する毒性	Willoughby, J. A.	2012	Glyphosate: Estrogen receptor binding (rat uterine Cytosol) Screening assay	6500V-100334ERB ! CTX-11-029 GLP: Yes Published: No BVL-3189569, ASB2016-11610	EFSA	①
733	1:ヒトに対する毒性	Willoughby, J. A.	2012	Estrogen receptor transcriptional activation (Human Cell Line (HeLa-9903)) Screening assay with Glyphosate	6500V-100334ERTA ! CTX-11-028 GLP: Yes Published: No BVL-3189551, ASB2016-11609	EFSA	①
734	1:ヒトに対する毒性	Wood, E.	1996	Glyphosate Technical: Pharmacology Screening Study in the Rat	434/021 NUF GLP: Y, published: N 2310134 / ASB2012-12054	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
735	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Xia, S.; Zhao, Y.-B.; Yang,	2013	Induction of vitellogenin gene expression in medaka exposed to Glyphosate and potential molecular mechanism	China Environmental Science 2013, 33(9): 1656-1663 ASB2014-9642	EFSA	①
736	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Xie, L.; Thrippleton, K.; Irwin, M.	2005	Evaluation of estrogenic activities of aquatic herbicides and surfactants using an rainbow trout vitellogenin assay	10.1093/toxsci/kfi249 TOXICOLOGICAL SCIENCES 87(2), 391-398 (2005) GLP: No Published: Yes BVL-2310138, ASB2012-12056	EFSA	①
737	1:ヒトに対する毒性	Yang, W.; Carmichael, S. L.; Roberts, E.	2013	Residential agricultural pesticide exposures and risk of neural tube defects and orofacial clefts among offspring in the San Joaquin Valley of California	American Journal of Epidemiology 2014;179(6):740-748 ASB2014-9644	EFSA	①
738	1:ヒトに対する毒性	Yousef, M.I.,	1995	Toxic effects of carbofuran and glyphosate on semen characteristics in rabbits	Journal of Environmental Science and Health Part B-Pesticides Food Contaminants and Agricultural Wastes 30, 513-534 GLP: N, published: Y 2310142 / ASB2012-12058	EFSA	①
739	1:ヒトに対する毒性	Zhang, Z.-L.; Yang, Z.-F.	2013	Research Progress on Reproductive and Developmental Toxicity of Glyphosate	J Environ o.:up Med. reb.2013 Vol.30 ""...2 ASB2014-9643	EFSA	①
740	1:ヒトに対する毒性	Zhao, W.; Yu, H.; Zhang, J. et al.	2013	Effects of Glyphosate on apoptosis and expressions of androgen-binding protein and vimentin mRNA in mouse Sertoli cells	J South Med Univ, 2013, 33(11): 1709-1712 ASB2014-9645	EFSA	①
741	1:ヒトに対する毒性	Zouaoui, K.;	2012	Determination of Glyphosate and AMPA in blood and urine from humans: About 13 cases of acute intoxication	Forensic Science International (2012) ASB2014-9734	EFSA	①
742	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak, D.L.	1991	Acute Oral Toxicity Study In Rats	BD-91-261 MON GLP: Y, published: N 2315976 / TOX9552438	EFSA	①
743	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak, D.L.	1991	Acute Dermal Toxicity Study In Rats	BD-91-262 MON GLP: Y, published: N 2315978 / TOX9552439	EFSA	①
744	1:ヒトに対する毒性	Polveche, V. Rombaut, M. Bonicelli, B.	1999	Measurements of granulometry and distribution of a spray nozzle - Comparison of different glyphosate formulations	106/Pulv MON GLP: N, published: N 2315980 / ASB2012-12069	EFSA	①
745	1:ヒトに対する毒性	Velasquez, D.	1982	Acute inhalation toxicity of Roundup formulation to male and female SpragueDawley rats - incl. Amendment No. 1, Date: 15.12.1982	810093 ! ML-81-201 TOX2002-693	EFSA	①
746	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak, D.L. Auletta, C.S	1991	Primary dermal irritation study in rabbits	BD-91-263 MON GLP: Y, published: N 2315983 / TOX9552440	EFSA	①
747	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak, D.L. Auletta, C.S	1991	Primary eye irritation study in rabbits	BD-91-60 MON GLP: Y, published: N 2315985 / TOX9552441	EFSA	①
748	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak, D.	1987	Genamin T-200 BM: A closed-patch repeated insult dermal sensitization study in guinea pigs - (Buehler method)	6816-86 ! BD-86-290 ASB2010-366	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
749	1:ヒトに対する毒性	Griffon, B.	2001	Skin sensitization test in guinea pigs (Modified Buehler test: 9 applications)	CI-2001-153 MON GLP: Y, published: N 2315987 / TOX2005-1135	EFSA	①
750	1:ヒトに対する毒性	Martin, S.;	2008	Guidance for exposure and risk evaluation for bystanders and residents exposed to plant protection products during and after application	2008/1070089 ! 1661-5751/00/000001-10 ! DOI 10.1007/s00003-008-0361-5 ASB2009-450	EFSA	①
751	1:ヒトに対する毒性	Krebs, B.;	2000	Uniform Principles for safeguarding the health of workers re-entering crop-growing areas after application of plant protection product	TOX2004-1971	EFSA	①
752	1:ヒトに対する毒性	Davies, D.J.	2003	Glyphosate SL (360 g/L) Formulation (A12798Q): in vitro absorption through human epidermis	CTL JV1732 SYN GLP: Y, published: N 2309514 / ASB2012-11518	EFSA	①
753	1:ヒトに対する毒性	Hadfield, N.	2011	Glyphosate 360 IPA Salt (CA2273): In Vitro Absorption through Human Epidermis using [14C]-glyphosate	JV2147-REG NUF GLP: Y, published: N 2309512 / ASB2012-11517	EFSA	①
754	2:農作物及び畜産物への残留	EFSA	2012	Panel on Plant Protection Products and their Residues (PPR). Guidance on Dermal Absorption.	EFSA Journal (2012), 10(4), 2665-2695, ASB2012-6959	EFSA	①
755	1:ヒトに対する毒性	Franz, T.J.	1983	Evaluation of the percutaneous absorption of Roundup formulations in man using an invitro technique	MON GLP: N, published: N 2309488 / TOX9552417	EFSA	①
756	1:ヒトに対する毒性	OECD	2011	Guidance notes on dermal absorption. Adopted 18 August 2011. Series on Testing and Assessment, No. 156.	ENV/JM/MONO(2011)36, JT03305971. ASB2013-2 http://www.oecd.org/dataoecd/63/12/4853220_4.pdf .	EFSA	①
757	1:ヒトに対する毒性	Ward, R.J.	2010	360 g/L Glyphosate SL Formulation (MON 52276) - In vitro absorption of glyphosate through human epidermis	JV2084-REG MON GLP: Y, published: N 2315989 / ASB2012-5383	EFSA	①
758	1:ヒトに対する毒性	Ward, R.J.	2010	450 g/L Glyphosate SL Formulation (MON 79545) - In vitro absorption of glyphosate through human epidermis	JV2083-REG MON GLP: Y, published: N 2309508 / ASB2012-11515	EFSA	①
759	1:ヒトに対する毒性	Ward, R.J.	2010	480 g/L Glyphosate SL Formulation (MON 79351) - In vitro absorption of glyphosate through human epidermis	JV2085-REG MON GLP: Y, published: N 2309510 / ASB2012-11516	EFSA	①
760	1:ヒトに対する毒性	Wester, R. C.;	1991	Glyphosate skin binding, absorption, residual tissue distribution and skin decontamination	Fundamental and Applied Toxicology, 1991; 16: 725-732 TOX9552418	EFSA	①
761	1:ヒトに対する毒性	Wester, R.C.,	2005	Percutaneous Absorption of Hazardous Chemicals from Fabric into and Through Human Skin. In Percutaneous Absorption: Drugs, Cosmetics, Mechanisms, Methods Boca Raton, FL. Taylor and Francis Group,	LLC. 22, 303-310 GLP: N, published: Y 2310126 / ASB2012-12050	EFSA	①
762	1:ヒトに対する毒性	EPA	2009	Alkyl Amine Polyalkoxylates; Exemption from the requirement of a tolerance	Fed. Reg. 74(2009)115:28616 ASB2009-9022	EFSA	①
763	1:ヒトに対する毒性	Fillmore, G. E.	1973	G-3780: 14-week oral subacute study in dogs	33372 ! MRD-165 ! XX-95-336 ! MON 0818 ASB2009-9026	EFSA	①
764	1:ヒトに対する毒性	Hahn, A.;	2007	Ärztliche Mitteilungen bei Vergiftungen 2007, BfR	ASB2013-4034	EFSA	①
765	1:ヒトに対する毒性	Holson, J.F.	1989	A dose range-finding developmental toxicity study of MON 0818 in rats. WIL Research Labs., Ashland, Ohio, USA, on behalf of Monsanto.	Project no. WIL-50042, Sponsor no. WI-88304, unpublished; ASB2009-9028	EFSA	①
766	1:ヒトに対する毒性	Holson, J. F.	1990	A developmental toxicity study of MON 0818 in rats,	Final report: WI-89-388 GLP: N, published: Y 2309808 / ASB2009-9029	EFSA	①
767	1:ヒトに対する毒性	Jauhiainen, A.;	1991	Occupational exposure of forest workers to glyphosate during brush saw spraying work	American Industrial Hygiene Association Journal, 52(1991)2:61-64 MET9600092	EFSA	①
768	1:ヒトに対する毒性	Knapp, J.F.	2007	A Reproduction/Developmental Toxicity Screening Study of MON 0818 in Rats	WIL-50282 GLP: Y, published: N 2309858 / ASB2010-365	EFSA	①
769	1:ヒトに対する毒性	Knapp, J.F.	2008	A Combined 28-Day Repeated Dose Oral (Dietary) Toxicity Study with the Reproduction/Developmental Toxicity Screening Test of MON 8109 and MON 0818 in Rats	WIL-50337 MON GLP: N, published: N 2309861 / ASB2010-364	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
770	1:ヒトに対する毒性	Martinez, T. T.; Long, W. C.; Hiller, R.	1990	Comparison of the toxicology of the herbicide Roundup by oral and pulmonary routes of exposure	Z44833	EFSA	①
771	1:ヒトに対する毒性	Stella, J., Ryan, M.	2004	Glyphosate herbicide formulation: a potentially lethal ingestion	Emerg Med Australas 16, 235-239 GLP: N, published: Y 2310102 / ASB2012-12038	EFSA	①
772	1:ヒトに対する毒性	Stout, L. D	1990	Ninety-day study of MON 0818 administered in feed to albino rats	MSL-10468 ! ML-89-359/EHL 89161 ASB2009-9027	EFSA	①
773	1:ヒトに対する毒性	Tai, T.;	1990	Hemodynamic effects of Roundup, glyphosate and surfactant in dogs	The Japanese Journal of Toxicology, 3, 6368. TOX9552419	EFSA	①
774	1:ヒトに対する毒性	Zoetis, T	1991	Subchronic toxicity study in rats with Atmer 163. Hazleton Washington, Inc., Vienna, Virginia, USA, on behalf of ICI Americas, submitted by Monsanto.	HWA 564-162 ASB2009-10488	EFSA	①
775	2:農作物及び畜産物への残留	EFSA	2009	Reasoned opinion: Modification of the residue definition of Glyphosate in genetically modified maize grain and soybeans, and in products of animal origin	EFSA Journal 2009; 7(9):1310 ! EFSA-Q2009-00372 ASB2012-3480	EFSA	①
776	2:農作物及び畜産物への残留	EFSA	2012	Reasoned Opinion - Modification of the existing MRL for Glyphosate in lentils	EFSA Journal 2012;10(1):2550 ! EFSA-Q-2011-00926 ASB2012-3184	EFSA	①
777	2:農作物及び畜産物への残留	Hubbart, N. S.	1993	Determination of Glyphosate in soybean raw agricultural commodities (RAC) - Stability report	Report No.: 91210 GLP: yes not published ASB2010-14765	EFSA	①
778	2:農作物及び畜産物への残留	Hubbart, N. S.	1993	Determination of Glyphosate in pasture grasses - Stability report	Report No.: 91212 GLP: yes not published ASB2010-14766	EFSA	①
779	2:農作物及び畜産物への残留	Manning, M. J.; Mueth, M. G.	1988	Storage stability of Glyphosate and AMPA in swine tissues, dairy cow tissues and milk laying hen tissues and eggs	Report No.: MSL-7515 GLP: yes not published RIP9501253	EFSA	①
780	2:農作物及び畜産物への残留	McKay, J. C.	1989	Storage stability validation for ICIA0224 in raw agricultural commodities	Report No.: WRC 89-22 GLP: yes not published RIP9500028	EFSA	①
781	2:農作物及び畜産物への残留	Morgenroth, U.	1995	Storage stability of Glyphosate and AMPA in wheat grain and straw and in rye grain and straw	Report No.: 303614 GLP: yes not published ASB2010-14764	EFSA	①
782	2:農作物及び畜産物への残留	Mueth, M. G.	1991	Storage stability of Glyphosate residues in crop commodities	Report No.: MSL-10843 GLP. yes not published RIP9501332	EFSA	①
783	2:農作物及び畜産物への残留	Mueth, M. G.; Allan, J. M.	2012	Storage stability of Glyphosate and AMPA on citrus fruit	Report No.: MSL0023608 GLP: yes not published ASB2012-12452	EFSA	①
784	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.	1997	Determination of the storage stability of Glyphosate in beans, oilseed rape and linseed	Report No.: IF-94/13882-00 GLP: yes not published ASB2010-14803	EFSA	①
785	2:農作物及び畜産物への残留	Schwartz, N. L.	2007	Stability of Glyphosate, N-Acetylglyphosate and Aminomethyl phosphonic acid in GAT corn forage, grain, and stover, stored frozen	Report No.: DuPont-17379 GLP: yes not published ASB2008-2655	EFSA	①
786	2:農作物及び畜産物への残留	Schwartz, N. L.	2007	Stability of Glyphosate and metabolites in corn green plant, forage, grain, and stover containing the GAT and ZM-HRA genes during frozen storage: Interim report	Report No.: DuPont-20094 GLP: yes not published ASB2008-2656	EFSA	①
787	2:農作物及び畜産物への残留	Schwartz, N. L.	2007	Stability of Glyphosate, N-Acetylglyphosate, Aminomethyl phosphonic acid and N-Acetyl AMPA in GAT soybean forage, seed, and hay stored frozen: Second interim report	Report No.: DuPont-17573 GLP: yes not published ASB2008-2654	EFSA	①
788	2:農作物及び畜産物への残留	Weber, H.	2010	Storage stability of residues of Glyphosate and AMPA in various plant materials	Report No.: FSG-0707 GLP: yes not published ASB2012-12488	EFSA	①
789	2:農作物及び畜産物への残留	Anonymous	1976	Glyphosate residue and metabolism studies in sugarcane and soils	Report No. RD93 GLP: no not published RIP9501198	EFSA	①
790	2:農作物及び畜産物への残留	Bleeke, M. S.	1997	Nature of Glyphosate residues in cotton plants tolerant to Roundup herbicide.	Report MSL-14113 GLP: yes not published RIP9700619	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
791	2:農作物及び畜産物への残留	Bohm, G. M.	2008	Residues of Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid and levels of Isoflavones in BRS 244 RR and BRS 154 soybean	GLP: no published: Ciência e Tecnologia de Alimentos, ISSN 0101-2061 ASB2012-12366	EFSA	①
792	2:農作物及び畜産物への残留	Bresnahan, G.	2003	Glyphosate applied preharvest induces shikimic acid accumulation in hard red spring wheat (Triticum aestivum)	GLP: no published: Journal of Agricultural and Food Chemistry 2003, 51, 4004-4007 ASB2012-12365	EFSA	①
793	2:農作物及び畜産物への残留	Cataneo, A. C.; Déstro, G. F.	2003	Glutathione S-transferase activity on the degradation of the herbicide Glyphosate in maize (Zea mays) plants	GLP: no published: Planta Daninha, Vicosa-MG, v.21, n.2, p.307-312, 2003 ASB2012-12384	EFSA	①
794	2:農作物及び畜産物への残留	Chapleo, S.; McLachlan, T.	2010	The metabolism of [14C]Glyphosate in 0827 canola	DuPont-26109 GLP: yes not published ASB2011-13744	EFSA	①
795	2:農作物及び畜産物への残留	Duke, S. O.	2011	Glyphosate degradation in Glyphosate-resistant and -Susceptible crops and weeds	GLP: no published: Journal of Agricultural and Food Chemistry 2011, 59, 5823-5841 ASB2012-12401	EFSA	①
796	2:農作物及び畜産物への残留	Duke, S. O.;	2003	Isoflavone, Glyphosate, and Aminomethylphosphonic acid levels in seeds of Glyphosate-treated, Glyphosate-resistant soybean	GLP: no published: Journal of Agricultural and Food Chemistry 2003, 51, 340-344 ASB2012-12400	EFSA	①
797	2:農作物及び畜産物への残留	George, Ch.	1995	Nature of Glyphosate residues in corn plants which are tolerant to Roundup herbicide	Report MSL-14018 GLP: yes not published RIP9700618	EFSA	①
798	2:農作物及び畜産物への残留	Goure, W. F.	1994	Nature of Glyphosate residues in soybeans tolerant to Roundup herbicide	MSL-13520 GLP: yes not published RIP9800117	EFSA	①
799	2:農作物及び畜産物への残留	Green, M. A.	2007	The metabolism of [14C]Glyphosate in Optimum GAT (Event DP-098140-6) field corn	DuPont-19529 GLP: yes not published ASB2008-2657	EFSA	①
800	2:農作物及び畜産物への残留	Hasegawa, L.	1995	Degradation of Glyphosate in avocado fruit	10.04.1995, L365, ASB2011-13642	EFSA	①
801	2:農作物及び畜産物への残留	MacDonald, A. M. G.	2007	The metabolism of [14C]Glyphosate in GAT/GM-HRA (DP-356043-5, PHP20163a) soybeans	DuPont-19530 GLP: yes not published ASB2008-2658	EFSA	①
802	2:農作物及び畜産物への残留	Malik, J. M.	1975	CP 67573 residue and metabolism Part 24: The metabolism of CP 67573 in coffee plants	Report No. 344 GLP: no not published RIP9501192	EFSA	①
803	2:農作物及び畜産物への残留	Malik, J. M.; Brightwell, B. B.	1976	CP 67573 residue and metabolism Part 29: The metabolism of CP 67573 in sugar beets	Report No. 394 GLP: no not published RIP9501195	EFSA	①
804	2:農作物及び畜産物への残留	Mehrsheikh, A.	1999	Protocol - Metabolism of Glyphosate in Roundup Ready(R) sugarbeet	99-63-M-7 GLP: yes not published RIP2003-1134	EFSA	①
805	2:農作物及び畜産物への残留	Mehrsheikh, A.	2000	Metabolism of Glyphosate in Roundup Ready Sugarbeet	MSL-16247 GLP: yes not published RIP2001-906	EFSA	①
806	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1976	CP 67573 : Determination of crop residues in kale, serradella, turnips	Report A10 GLP: no not published RIP9501212	EFSA	①
807	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1976	CP 67573: Determination of crop residues in grass	Report A11 GLP: no not published RIP9501213	EFSA	①
808	2:農作物及び畜産物への残留	Nadeau, R. G.	1975	CP 67573 residue and metabolism Part 26: The metabolism of CP 67573 in potato plants	Report No. 376 GLP. no not published RIP9501193	EFSA	①
809	2:農作物及び畜産物への残留	Nadeau, R. G.; Cozad, S. J.	1976	Absorption, translocation and metabolism of Roundup herbicide in walnut, almond and pecan trees	Report No. 403 GLP: no not published RIP9501196	EFSA	①
810	2:農作物及び畜産物への残留	Parker, S.; Harris, M.	1991	Glyphosate-trimesium: Uptake and metabolism in USA grape vines	RJ 1002B GLP: yes not published RIP9500012	EFSA	①
811	2:農作物及び畜産物への残留	Reddy, K. N.; Rimando, A.	2008	Aminomethylphosphonic acid accumulation in plant species treated with glyphosate	GLP: no published: Journal of Agricultural and Food Chemistry, 2008, 56, 2125-2130 ASB2012-12463	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
812	2:農作物及び畜産物への残留	Rogers, M. D.;	1994	Nature of Glyphosate residues in Roundup herbicide tolerant canola	MSL-13318 GLP: yes not published RIP9800118	EFSA	①
813	2:農作物及び畜産物への残留	Rojano-	2012	Limited uptake, translocation and enhanced metabolic degradation contribute to Glyphosate tolerance in Mucuna pruriens var. utilis plants	GLP: no published: Phytochemistry 73 (2012) 34-41 ASB2012-12462	EFSA	①
814	2:農作物及び畜産物への残留	Rueppel, M. L.; Moran, S. J.	1974	CP 67573 residue and metabolism Part 23: The metabolism of CP 67573 in apple trees	Report No. 342 GLP: no not published RIP9501190	EFSA	①
815	2:農作物及び畜産物への残留	Rueppel, M. L.; Suba, L. A.	1973	CP 67573, Residue and Metabolism Part 10: The Metabolism of CP 67573 in soybeans, cotton, wheat, and corn	Report No. 304 GLP: no not published RIP9600099	EFSA	①
816	2:農作物及び畜産物への残留	Rueppel, M. L.; Suba, L. A.;	1974	CP 67573 residue and metabolism Part 20: The metabolism of CP 67573 in grape plants	Report No. 335 GLP: no not published RIP9501191	EFSA	①
817	2:農作物及び畜産物への残留	Stuart, C.;	1989	ICIA0224: Metabolism on wheat following a preharvest foliar spray	RJ 0778B GLP: yes not published RIP9500014	EFSA	①
818	2:農作物及び畜産物への残留	Suba, L. A.; Georgieff, M. K.	1974	CP 67573 residue and metabolism Part 22: The metabolism of N-phosphonomethylglycine in barley, oats, rice and sorghum	Report No. 341 GLP: no not published RIP9501189	EFSA	①
819	2:農作物及び畜産物への残留	Sutherland, M. L.	1975	The metabolism of CP 67573 by citrus - February 1973 - October 1974	Report No. 328 GLP: no not published RIP9501194	EFSA	①
820	2:農作物及び畜産物への残留	Sutherland, M.	1976	The metabolism of Glyphosate in pasture crops	Report No. 404 GLP: no not published RIP9501197	EFSA	①
821	2:農作物及び畜産物への残留	Tambling, D. R.	1992	[14C-Anion] ICIA0224: Nature of the residue: Soybeans	RR 91-092B GLP: yes not published RIP9500015	EFSA	①
822	2:農作物及び畜産物への残留	Wagner, R.; Kogan, M.;	2003	Phytotoxic activity of root absorbed Glyphosate in corn seedlings (Zea mays L.)	GLP: no published: Weed Biology and Management 3, 228-232 (2003) ASB2012-12484	EFSA	①
823	2:農作物及び畜産物への残留	Wilkinson, M.	1990	ICIA0224: Uptake and metabolism in grapevines	RJ 0815B GLP: yes not published RIP9500017	EFSA	①
824	2:農作物及び畜産物への残留	Bohn, T.;	2013	Compositional differences in soybeans on the market: Glyphosate accumulates in Roundup Ready GM soybean,	Food Chemistry 153 (2014) 207-215, ASB2014-6353	EFSA	①
825	2:農作物及び畜産物への残留	Bodden, R. M.	1988	Metabolism study of synthetic 13C/14C-labeled Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid in laying hens. Part I	Report No: MSL-7591 GLP: yes not published RIP9501205	EFSA	①
826	2:農作物及び畜産物への残留	Bowler, D. T.	1994	[14C-PMG] Glyphosate-trimesium: Nature of the residue in tissues and eggs of laying hens	Report No: RR-93-064B GLP: yes not published RIP9500020	EFSA	①
827	2:農作物及び畜産物への残留	Lowrie, Ch.	2007	The metabolism of [14C]-N-Acetylglyphosate (IN-MCX20) in laying hens	Report No.: DuPont-19795 GLP: yes not published ASB2008-2659	EFSA	①
828	2:農作物及び畜産物への残留	Patanella, J. E.; Feng, P.	1988	Metabolism study of synthetic 13C/14C-labeled Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid in laying hens. Part II	Report No: MSL-7420 GLP: yes not published RIP9501206	EFSA	①
829	2:農作物及び畜産物への残留	Powles, P.	1994	(14C-Glyphosate): Absorption, distribution, metabolism and excretion following repeated oral administration to the laying hen	Report No. 676/8-1011 GLP: yes not published RIP9501208	EFSA	①
830	2:農作物及び畜産物への残留	Bodden, R. M.	1988	Metabolism study of synthetic 13C/14C-labeled Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid in lactating goats. Part I	Report: MSL 7586 GLP: yes not published RIP9501203	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
831	2:農作物及び畜産物への残留	Ericson, J. L.	1994	The nature of residues of orally administered [Phosphonomethylene-14C] glyphosatetrimesium in goat tissues and milk	Report No: RR 93-062B GLP: yes not published RIP9500022	EFSA	①
832	2:農作物及び畜産物への残留	Lowrie, Ch.	2007	Metabolism of [14C]-N-Acetylgllyphosate (INMCX20) in the lactating goat	Report No.: DuPont-19796 GLP: yes not published ASB2008-2660	EFSA	①
833	2:農作物及び畜産物への残留	Patanella, J. E.; Feng, P.	1988	Metabolism study of synthetic 13C/14C-labeled Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid in lactating goats. Part II	Report: MSL-7458 GLP: yes not published RIP9501204	EFSA	①
834	2:農作物及び畜産物への残留	Powles, P.	1994	(14C-Glyphosate): Absorption, distribution, metabolism and excretion following repeated oral administration to the dairy goat	Report No. 676/9-1011 GLP: yes not published RIP9501207	EFSA	①
835	2:農作物及び畜産物への残留	Anderson, L.; Butters, C.	2000	Glyphosate / Glyphosate-trimesium; Residue levels in barley from trials carried out in Nothern Europe during 1999	Report No.: RJ2907B GLP: yes not published RIP2000-2131	EFSA	①
836	2:農作物及び畜産物への残留	Anderson, L.; Butters, C.	2000	Glyphosate / Glyphosate-trimesium; Residue levels in wheat from trials carried out in Nothern Europe during 1999	Report No.: RJ2910B GLP: yes not published RIP2000-2130	EFSA	①
837	2:農作物及び畜産物への残留	Ando, C.;	2003	Dissipation and offsite movement of forestry herbicides in plants of importance to native Americans in California National Forests	GLP: no published: Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology (2003) 71:354-361ASB2012-12350	EFSA	①
838	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1975	Glyphosat - Pflanzenschutzmittel-Rückstände in Wein	Report No.: BBA II-08 GLP: no not published ASB2009-5293	EFSA	①
839	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1977	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Versuchsanstellung (Weintrauben)	Report No.: 12703 GLP: no not published ASB2009-5277	EFSA	①
840	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1977	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Versuchsanstellung (Weintrauben)	Report No.: 12703 GLP: no not published ASB2009-5279	EFSA	①
841	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1977	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Versuchsanstellung (Weintrauben)	Report No.: 12703 GLP: no not published ASB2009-5278	EFSA	①
842	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1980	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Hafer	Report No.: MOD 80-D/15 GLP: no not published ASB2009-5341	EFSA	①
843	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1980	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Lagergetreide (Hafer)	Report No.: CM 80-D-63 GLP: no not published ASB2009-5340	EFSA	①
844	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Zuckerrüben	Report No.: 002999 GLP: no not published ASB2009-2244	EFSA	①
845	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1988	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Weinrebe	Report No.:003118 GLP: yes not published ASB2009-2247	EFSA	①
846	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1988	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Weinrebe	Report No.:003119 GLP: yes not published ASB2009-2248	EFSA	①
847	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1988	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Weinrebe	Report No.:005723 GLP: yes not published ASB2009-2255	EFSA	①
848	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1988	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Weinrebe	Report No.:005724 GLP: yes not published ASB2009-2258	EFSA	①
849	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1988	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Weinrebe	Report No.:01879 GLP: yes not published ASB2009-2249	EFSA	①
850	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1988	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Weinrebe	Report No.:005725 GLP: yes not published ASB2009-2265	EFSA	①
851	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1991	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Wintergerste	Report No.: 16227 GLP: no not published ASB2009-4415	EFSA	①
852	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1991	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Wintergerste	Report No.: 16229 GLP: no not published ASB2009-4420	EFSA	①
853	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1991	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Wintergerste	Report No.: 16246 GLP: no not published ASB2009-4421	EFSA	①
854	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1991	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Wintergerste	Report No.: 11724 GLP: no not published ASB2009-4413	EFSA	①
855	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1991	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Wintergerste	Report No.: 16240 GLP: no not published ASB2009-4419	EFSA	①
856	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1991	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Wintergerste	Report No.: 16242 GLP: no not published ASB2009-4422	EFSA	①
857	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1992	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Weizen	Report No.: 12536 GLP: yes not published ASB2009-6583	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
858	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1992	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Weizen	Report No.: 12492 GLP: yes not published ASB2009-6581	EFSA	①
859	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1992	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Weizen	Report No.: 12535 GLP: yes not published ASB2009-6582	EFSA	①
860	2:農作物及び畜産物への残留	Anon.	1992	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Weizen	Report No.: 12491 GLP: yes not published ASB2009-6580	EFSA	①
861	2:農作物及び畜産物への残留	Arregui, M. C.;	2004	Monitoring Glyphosate residues in transgenic Glyphosate-resistant soybean	GLP: no published: Pest Management Science 60:163166 (online 2003) ASB2012-12351	EFSA	①
862	2:農作物及び畜産物への残留	Balluff, M.	1995	Determination of residues of Glistar in apples under field conditions at four locations in Germany	Report No.: 94035 GLP: yes not published RIP9501344	EFSA	①
863	2:農作物及び畜産物への残留	Balluff, M.	1995	Determination of residues of Glistar in winter wheat under field conditions at four locations in Germany	Report No.: 94035/01-FPWW GLP: yes not published RIP9501341	EFSA	①
864	2:農作物及び畜産物への残留	Block H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in sugar beet (outdoor) at 2 sites in Spain and Italy 2011	Report No.: S11-00266 GLP: yes not published ASB2012-12376	EFSA	①
865	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in carrots (outdoor) at 4 sites in France, Spain and Poland 2011	Report No.: S11-00259 GLP: yes not published ASB2012-12369	EFSA	①
866	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in potatoes (outdoor) at 4 sites in France, Germany and Italy 2011	Report No.: S11-00258 GLP: yes not published ASB2012-12368	EFSA	①
867	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in bulb onions (outdoor) at 4 sites in France, Spain and Bulgaria 2011	Report No.: S11-00260 GLP: yes not published ASB2012-12370	EFSA	①
868	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in tomato (outdoor) at 2 sites in Hungary and Germany 2011	Report No.: S11-00267 GLP: yes not published ASB2012-12377	EFSA	①
869	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in cucumber and zucchini (outdoor) at 3 sites in Italy, France and Germany 2011	Report No.: S11-00261 GLP: yes not published ASB2012-12371	EFSA	①
870	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in cauliflower (outdoor) at 4 sites in France, Hungary, Bulgaria and Italy 2011	Report No.: S11-00263 GLP: yes not published ASB2012-12373	EFSA	①
871	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in head cabbage (outdoor) at 4 sites in Hungary, France (North), Spain and Bulgaria 2011	Report No.: S11-00262 GLP: yes not published ASB2012-12372	EFSA	①
872	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in leaf and head lettuce (outdoor) at 4 sites in France, Spain, UK and Germany 2011	Report No.: S11-00264 GLP: yes not published ASB2012-12374	EFSA	①
873	2:農作物及び畜産物への残留	Block, H.	2012	Determination of residues of Glyphosate and AMPA after one application of MON 52276 in leek (outdoor) at 4 sites in France, United Kingdom, Bulgaria and Italy 2011	Report No.: S11-00265 GLP: yes not published ASB2012-12375	EFSA	①
874	2:農作物及び畜産物への残留	Bonin, J.	1982	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Hafer	Report No.: 003149 GLP: no not published ASB2009-5712	EFSA	①
875	2:農作物及び畜産物への残留	Bonin, J.	1982	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Hafer	Report No.: 003150 GLP: no not published ASB2009-5711	EFSA	①
876	2:農作物及び畜産物への残留	C. Harrison	2007	Final Report on Project AF/10436/AV; to determine the magnitude of Glyphosate and Diquat residues at harvest in the agricultural oilseed rape resulting from one application of Glyphosate or Reglone, with or without the adjuvant Companion Gold, in the UK, 2006	Report No.: AF/10436/AV GLP: yes not published ASB2008-7571	EFSA	①
877	2:農作物及び畜産物への残留	Dittrich, R.; Thomas, U.	1992	Prüfung des Rückstandsverhaltens von CHE 3607 in Winterweizen unter Freilandbedingungen	Report No.: RP-H 92 GLP: yes not published ASB2009-6573	EFSA	①
878	2:農作物及び畜産物への残留	Euler	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Winterraps (Jet Neuf)	Report No.: 008369 GLP: no not published ASB2009-4823	EFSA	①
879	2:農作物及び畜産物への残留	Euler	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Winterraps (Jet Neuf)	Report No.: 008370 GLP: no not published ASB2009-4824	EFSA	①
880	2:農作物及び畜産物への残留	Euler	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Winterraps (Jet Neuf)	Report No.: 008371 GLP: no not published ASB2009-4821	EFSA	①
881	2:農作物及び畜産物への残留	Euler	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Winterraps (Jet Neuf)	Report No.: 008380 GLP: no not published ASB2009-4822	EFSA	①
882	2:農作物及び畜産物への残留	Euler	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Winterraps (Jet Neuf)	Report No.: 06851 GLP: no not published ASB2009-4831	EFSA	①
883	2:農作物及び畜産物への残留	Euler	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenschutzmitteln - Winterraps (Jet Neuf)	Report No.: 06852 GLP: no not published ASB2009-4832	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
884	2:農作物及び畜産物への残留	Granby, K.; Vahl, M.	2001	Investigation of the herbicide Glyphosate and the plant growth regulators Chlormequat and mepiquat in cereals produced in Denmark	GLP: no published: Food Additives and Contaminants, 2001, Vol. 18, No. 10, 898-905 ASB2012-12423	EFSA	①
885	2:農作物及び畜産物への残留	Grolleau, G.	2001	Magnitude of the Residue of Glyphosate in Cherry raw agricultural commodity; Germany - 2000; incl. Amendment	Report No.: EA000181 GLP: yes not published RIP2001-558	EFSA	①
886	2:農作物及び畜産物への残留	Grolleau, G.	2001	Magnitude of the Residue of Glyphosate in Peach raw agricultural commodity; Spain - 2000	Report No.: EA000182 GLP: yes not published RIP2001-557	EFSA	①
887	2:農作物及び畜産物への残留	Gustin, C.	1999	Glyphosate and AMPA residues in wheat and barley treated pre-harvest with Roundup herbicide and MON 14420. 1998 Field trials in Belgium and France	Report No.: MLL 30815 GLP: yes not published RIP2000-1243	EFSA	①
888	2:農作物及び畜産物への残留	Gustin, C.	2000	Glyphosate and AMPA residues in oil seed rape treated pre-harvest with Roundup (MON 2139) and MON 78294. 1999 Field trials in Belgium and France	Report No.: MLL 31336 GLP: yes not published RIP2002-651	EFSA	①
889	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1989	Glyphosate and AMPA residues in oilseed rape following preharvest application of MON 14478 with Ammoniumsulfate and of Roundup herbicide. 1989 UK field trials	Report No.: MLL 30235 GLP: no not published RIP9501286	EFSA	①
890	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1991	Glyphosate and AMPA residues in wheat and barley following application of MON 52276, MON 44068 and Roundup herbicide, one week before crop harvest. French trials 1991	Report No.: MLL 30281 GLP: yes not published RIP9501287	EFSA	①
891	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1992	Residues of Glyphosate/AMPA in olives and olive oil following use of Sting SE - Spanish field trials 1990/1992	Report No.: MLL 30297 GLP: yes not published RIP9501289	EFSA	①
892	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1992	Glyphosate and AMPA residues in barley following preharvest application of MON 44068 and Roundup herbicide. German field trials 1991	Report No.: MLL 30286 GLP: yes not published RIP9500162	EFSA	①
893	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1992	Glyphosate and AMPA residues in barley following preharvest application of MON 44068 and Roundup herbicide. German field trials 1991	Report No.: MLL 30286 GLP: yes not published RIP9501288	EFSA	①
894	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1993	Residues of Glyphosate/AMPA in olives and olive oil following a soil treatment with MON 65040 herbicide. Italian field trials 1993	Report No.: MLL 30319 GLP: yes not published RIP9501290	EFSA	①
895	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1993	Residues of Glyphosate/AMPA in winter oilseed rape following an application of MON 52276, MON 44068 and Roundup herbicide, two weeks before harvest. UK field trials 1992	Report No.: MLL 30321 GLP: yes not published RIP9501292	EFSA	①
896	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1993	Residues of Glyphosate/AMPA in winter wheat following an application of MON 52276, MON 44068 and Roundup herbicide, one week before harvest. - U.K. field trials 1992.	Report No.: MLL 30320 GLP: yes not published RIP9501291	EFSA	①
897	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1996	Residues of Glyphosate and AMPA in peas treated pre-harvest with MON 52776 herbicide. U.K. and Belgian field trials, 1995	Report No.: MLL 30464 GLP: yes not published RIP9501283	EFSA	①
898	2:農作物及び畜産物への残留	Hontis, A. M.	1996	Residues of glyphosate and AMPA in olives and olive oil, following a soil treatment with Roundup herbicide. Spanish field trials, 1995	Report No.: MLL 30469 GLP: yes not published RIP9700184	EFSA	①
899	2:農作物及び畜産物への残留	Klimmek, S.; Weber, H.	2007	Decline and magnitude of residues of Glyphosate in lodged grain following application of Taifun Forte - Germany, season 2006	Report No.: FSG-0606 GLP: yes not published ASB2008-5610	EFSA	①
900	2:農作物及び畜産物への残留	Klimmek, S.; Weber, H.	2007	Decline and magnitude of residues of Glyphosate in sugar beet following application of Taifun Forte - Germany, season 2006	Report No.: FSG-0608 GLP: yes not published ASB2008-5609	EFSA	①
901	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.	1994	Final report on project AS/2208/CN - Programme to generate crop samples for residue analysis following application of glyphos for pre-harvest desiccation of winter sown oilseed rape	Report No.: AS/2208/CN GLP: yes not published ASB2010-14768	EFSA	①
902	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Tarpey, G.	1993	Report on the field phase of a study to generate crop samples for residue analysis following the application of CHE 3607 on linseed	Report No.: AS/1902/CN GLP: yes not published RIP9501325	EFSA	①
903	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Tarpey, G.	1993	Report on the field phase of a study to generate crop samples for residue analysis to monitor the dissipation of Glyphosate following the application of CHE 3607 on winter wheat	Report No.: AS/1906/CN GLP: yes not published RIP9501303	EFSA	①
904	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Webb R.	1993	Report on the field phase of the study to generate crop samples for residue analysis following the application of CHE 3607 on winter barley	Report No.: AS/1896/CN GLP: yes not published RIP9501293	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
905	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Webb, R.	1993	Report on the field phase of a study to generate crop samples for residue analysis to monitor the dissipation of Glyphosate following the application of CHE 3607 on winter barley	Report No.: AS/1905/CN GLP: yes not published RIP9501295	EFSA	①
906	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Webb, R.	1993	Report on the field phase of a study to generate crop samples for residue analysis to monitor the dissipation of Glyphosate following the application of CHE 3607 on oats	Report No.: AS/1907/CN GLP: yes not published RIP9501299	EFSA	①
907	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Webb, R.	1993	Report on the field phase of a study to generate crop samples for residue analysis following the application of CHE 3607 with and without the adjuvant Frigate for preharvest desiccation of oats	Report No.: AS/1897/CN GLP: yes not published RIP9501297	EFSA	①
908	2:農作物及び畜産物への残留	Leak, S.; Webb, R.	1993	Report on the field phase of a study to generate crop samples for residue analysis following the application of CHE 3607 on winter wheat	Report No.: AS/1898/CN GLP: yes not published RIP9501301	EFSA	①
909	2:農作物及び畜産物への残留	Lemaire, P.	1999	Glyphosate and AMPA residues in oilseed rape treated pre-harvest with Roundup herbicide and MON 14420. 1998 Field trials in Belgium and France	Report No.: MLL 30817 GLP: yes not published RIP2000-1244	EFSA	①
910	2:農作物及び畜産物への残留	Lorenzatti, E.; Maitre, M.I.;	2004	Pesticide residues in immature soybeans of Argentina croplands	GLP: no published: Fresenius Environmental Bulletin, Vol. 13 (7), 2004, 675-678 ASB2012-12448	EFSA	①
911	2:農作物及び畜産物への残留	Losseau, F.	1988	Glyphosate residues in cereals following preharvest applications of MON 14478, with and without Ammoniumsulfate (AS), in comparison to Roundup herbicide - 1987 France - Field trials	Report No.: MLL 30205 GLP: no not published RIP9501280	EFSA	①
912	2:農作物及び畜産物への残留	Losseau, F.	1988	Glyphosate residues in cereals following preharvest applications of MON 14474, MON 8791, MON 8755, MON 14456, in comparison to Roundup herbicide - 1987 Fed. Rep. Germany - Field trials.	Report No.: MLL 30209 GLP: no not published RIP9501282	EFSA	①
913	2:農作物及び畜産物への残留	Losseau, F.	1989	Glyphosate and AMPA residues in grapes following MON 8755 (Arcade) herbicide applications in vineyards. German field trials 1988	Report No.: MLL 30227 GLP: yes not published RIP9501285	EFSA	①
914	2:農作物及び畜産物への残留	Losseau, F.	1989	Glyphosate and AMPA residues in oilseedrape (OSR), peas and beans following preharvest applications of MON 14478 with Ammoniumsulfate (AS) in comparison to Roundup or Roundup 480 herbicide applications. 1988 UK fieldtrials	Report No.: MLL 30223 GLP: yes not published RIP9501284	EFSA	①
915	2:農作物及び畜産物への残留	Mastdagh, P.	1985	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Hafer	Report No.: 003188 GLP: no not published ASB2009-5710	EFSA	①
916	2:農作物及び畜産物への残留	Mellet, M.; Wasser, Ch.	1994	Determination of the residues of Glyphosate and AMPA in wheat treated with Glifogarde in France in 1994	Report No.: RF 4061-2 GLP: yes not published ASB2009-3523	EFSA	①
917	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, M.	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Zuckerrüben	Report No.: 008905 GLP: no not published ASB2009-2210	EFSA	①
918	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, M.	1986	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Zuckerrüben	Report No.: 01811 GLP: no not published ASB2009-2242	EFSA	①
919	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1979	Glyphosate residues in cereals following preharvest application of Roundup in the United Kingdom	Report No.: MLL 30037 GLP: no not published RIP9501230	EFSA	①
920	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1980	Glyphosate residues in apples following Roundup application in Denmark	Report No.: MLL 30053 GLP: no not published RIP9501235	EFSA	①
921	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1980	Glyphosate residues in cereals following preharvest application of Roundup in France	Report No.: MLL 30046 GLP: no not published RIP9501231	EFSA	①
922	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1982	Glyphosate residues in cereal grain and straw following preharvest treatment with Roundup herbicide in the United Kingdom - 1982 trials - Part I.	Report No.: MLL 30087 GLP: no not published RIP9501249	EFSA	①
923	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1983	Residue analysis for Glyphosate and AMPA in flax and processed fractions following preharvest Roundup herbicide treatments. UK and Ireland 1982 trials	Report No.: MLL 30106 GLP: no not published RIP9501266	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
924	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1983	Residue analysis for Glyphosate and AMPA in brassica seedcrops and processed fractions following preharvest Roundup herbicide treatments. UK and Scandinavian trials 1980/1982	Report No.: MLL 30104 GLP: no not published RIP9501265	EFSA	①
925	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1983	Glyphosate residues in cereals following Roundup herbicide preharvest applications using low spray water volumes and/or additional surfactant/active ingredient ratios. UK 1982 trails	Report No.: ML 30112 GLP: no not published RIP9501269	EFSA	①
926	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1985	Glyphosate residues in rye and oat following Roundup herbicide preharvest applications. Denmark 1984 trials	Report No.: MLL 30150 GLP: no not published RIP9501275	EFSA	①
927	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1988	Glyphosate and AMPA residues in oilseed rape and peas following preharvest Roundup herbicide applications. 1986-1987 field trials Fed. Rep. of Germany	Report No.: MLL 30204 GLP: no not published RIP9501279	EFSA	①
928	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1988	Glyphosate residues in cereals following preharvest applications of MON 14478, with and without Ammoniumsulfate (AS), in comparison to Roundup (MON 2139) and/or Roundup 480 (MON 8762) herbicide - 1987 UK field trials	Report No.: MLL 30200 GLP: no not published RIP9501278	EFSA	①
929	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1975	CP 67573: Determination of crop residues in grapes - Final	Report Report No.: A2 GLP: no not published ASB2009-5294	EFSA	①
930	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1975	CP 67573 : Determination of crop residues in sugar beets tops and roots	Report No.: A3 GLP:no not published RIP9501210	EFSA	①
931	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1976	CP 67573 : Determination of crop residues in apples and pears - Final report	Report No.: A9 GLP: no not published RIP9501211	EFSA	①
932	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1977	CP 67573: Determination of crop residues in grapes and apples	Report No.: MON 2139 GLP: no not published ASB2009-5276	EFSA	①
933	2:農作物及び畜産物への残留	Michaux, M.	1977	CP 67573 : Determination of crop residues in salads, onions, carrots, peas and beans	Report No.: A16 GLP: no not published RIP9501216	EFSA	①
934	2:農作物及び畜産物への残留	Nassoy, G.	1994	Gilfogarde (Glyphosat): Residus de glyphosate sur cultures de ble tendre d' hiver traitees avec le Glifogarde	Report No.: 94 H CP HX GLP: yes not published RIP2002-1448	EFSA	①
935	2:農作物及び畜産物への残留	Nassoy, G.	2000	Determination des residus a la recolte sur ble tendre d' hiver apres application avant recolte de l'herbicide Madrigal (Glyphosate) Dans le nord et le sud de la France	Report No.: 97 H CP HX P/A GLP: yes not published ASB2009-3524	EFSA	①
936	2:農作物及び畜産物への残留	Nassoy, G.	2000	Determination of Glyphosate and its main metabolite AMPA residues in wheat (grains and straw) after applications of the formulation HERBEX	Report No.: 15920 ADR GLP: yes not published ASB2009-3522	EFSA	①
937	2:農作物及び畜産物への残留	Perny, A.	2002	Glyphosate and AMPA residues in wheat and barley treated pre-harvest with Roundup(r) (MON 2139), MON 78273 and MON 78568. 2001 Field Trials in France, Germany and Italy.	Report No.: RA1157 GLP: yes not published RIP2005-200	EFSA	①
938	2:農作物及び畜産物への残留	Puy, E.	1993	Détermination des résidus de glyphosate et de son métabolite l'AMPA dans des échantillons de pailles et de grains de céréales traitées avec Glistar en France en 1992	Report No.: RF 2052 GLP: yes not published RIP9501345	EFSA	①
939	2:農作物及び畜産物への残留	Reding, M. A.	1978	Determination of crop residues in apples	Report No.: A22 GLP: no not published RIP9501218	EFSA	①
940	2:農作物及び畜産物への残留	Reding, M. A.	1978	Final report on CP 67573: Determination of crop residues in olives and olive oil	Report No.: A20-II GLP: no not published RIP9501217	EFSA	①
941	2:農作物及び畜産物への残留	Reding, M. A.	1986	Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid residues in cereal grain and straw following preharvest treatment with Roundup herbicide in Europe	Report No.: MLL 30177 GLP: no not published RIP9501276	EFSA	①
942	2:農作物及び畜産物への残留	Reding, M. A.	1987	Residual Glyphosate and AMPA in oilseed rape, beans and peas following application of MON 8762 - MON 8795 and Roundup herbicide. UK 1986 field trials	Report No.: MLL 30180 GLP: no not published RIP9501277	EFSA	①
943	2:農作物及び畜産物への残留	Reding, M. A.	1988	Residue determination of Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid in various crops following different Roundup, or Glyphosate based formulation, applications. 1978-1987 trial period	Report No.: MLL 30206 GLP: no not published RIP9501281	EFSA	①
944	2:農作物及び畜産物への残留	Riffart, K.	1981	Berichtsbogen für Rückstandsuntersuchungen mit Pflanzenbehandlungsmitteln - Hafer	Report No.: 001639 GLP: no not published ASB2009-5713	EFSA	①
945	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.	1992	Determination of the residues of Glyphosate and AMPA in cereals (SAG 539 00)	Report No.: 275837 GLP: yes not published RIP9501328	EFSA	①
946	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.	1994	Determination of the dissipation of Glyphosate in apples following treatment with Glifos under field conditions in Portugal 1993	Report No.: IF-93/04768-01 GLP: yes not published RIP9501330	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
947	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.	1997	Glyphosate residues in barley and wheat following preharvest application of Roundup and Glyphos in France 1996	Report No.: IF-96/07067-00 GLP: yes not published ASB2010-14804	EFSA	①
948	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in linseed - Treatment with CHE 3607 - UK, season 1992, Agrisearch UK Ltd., Study Plan AS/1902/CN	Report No.: IF-93/13836-01 GLP: yes not published RIP9501326	EFSA	①
949	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter sown oilseed rape (seed and pods) - Treatment with CHE 3607 - UK Season 1992 - Agrisearch UK Ltd. Study Plan AS/1908/CN	Report No.: IF-93/13839-01 GLP: yes not published RIP9501324	EFSA	①
950	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter sown oilseed rape - Treatment with CHE 3607 - UK Season 1992, Agrisearch UK Ltd. Study Plan AS/1899/CN	Report No.: IF-93/13831-01 GLP: yes not published RIP9501322	EFSA	①
951	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter barley (whole plant, grains and straws - Treatment with CHE 3607/Frigate - UK, Season 1992, Agrisearch UK Ltd, Study Plan AS/1905/CN	Report No.: IF-93/04573-01 GLP: yes not published RIP9501296	EFSA	①
952	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter barley (grains and straws) - Treatment with CHE 3607/Frigate - UK, Season 1992, Agrisearch UK Ltd, Study Plan AS/1896/CN	Report No.: IF-93/04568-01 GLP: yes not published RIP9501294	EFSA	①
953	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter oats (whole plant, grains and straw - Treatment with CHE 3607/Frigate - UK, Season 1992, Agrisearch UK Ltd, Study Plan AS/1907/CN	Report No.: IF-93/04575-01 GLP: yes not published RIP9501300	EFSA	①
954	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter oats (grains and straw) - Treatment with CHE 3607/Frigate - UK, Season 1992, Agrisearch UK Ltd, Study Plan AS/1897/CN	Report No.: IF-93/04569-01 GLP: yes not published RIP9501298	EFSA	①
955	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter wheat (grain and straw) - Treatment with CHE 3607/Frigate - UK, Season 1992, Agrisearch UK Ltd, Study Plan AS/1898/CN	Report No.: IF-93/04570-01 GLP: yes not published RIP9501302	EFSA	①
956	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.;	1994	Determination of residues of Glyphosate in winter wheat (whole plant, grains and straw - Treatment with CHE 3607/Frigate - UK, Season 1992, Agrisearch UK Ltd, Study Plan AS/1906/CN	Report No.: IF-93/04574-01 GLP: yes not published RIP9501304	EFSA	①
957	2:農作物及び畜産物への残留	Vanbellinghen, C.	2000	Glyphosate and AMPA residues in wheat and barley treated pre-harvest with Roundup herbicide (MON 2139) and MON 78294. 1999 Field trials in Belgium and France	Report No.: MLL 31337 GLP: yes not published RIP2002-650	EFSA	①
958	2:農作物及び畜産物への残留	Zietz, E.	1993	Determination of residues of Glyphosate in cereals and processing products - Treatment with GLYFOS - Germany season 1992	Report No.: IF-92/11567-01 GLP: yes not published RIP9501329, RIP9500134 & ASB2011-9181	EFSA	①
959	2:農作物及び畜産物への残留	Mestdagh, P.	1981	Residual Glyphosate in processed barley grains following a preharvest application of Roundup herbicide in the United Kingdom	Report No.: MLL.30.070 GLP: no not published RIP9501238	EFSA	①
960	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.	1992	Determination of residues of Glyphosate and AMPA in cereals - (CHE 03690H)	Report No.: 275848 GLP: yes not published RIP9501327	EFSA	①
961	2:農作物及び畜産物への残留	Schulz, H.	1992	Determination of residues of Glyphosate and AMPA in cereals - (SAG 539 00)	Report No.: 275837 GLP: yes not published RIP9501328	EFSA	①
962	2:農作物及び畜産物への残留	Steinmetz, J. R.	1984	Glyphosate residues in wheat and wheat grain milling/fractionation products following preharvest applications with Roundup herbicide	Report No.: MSL-3677 GLP: no not published RIP9501254	EFSA	①
963	2:農作物及び畜産物への残留	Steinmetz, J. R.; Cowell, J. E.	1984	Addendum to MSL-3612: Glyphosate residues in wheat grain milling/fractionation products.	Report No.: MSL-4005 GLP: no not published RIP9501255	EFSA	①
964	2:農作物及び畜産物への残留	Dibb-Fuller, M.; Bramble, F. Q.	2007	Magnitude of residues of N-Acetylglyphosate and degradates in laying hen tissues and eggs	Report No.: DuPont-20088 GLP: yes not published ASB2008-2652	EFSA	①
965	2:農作物及び畜産物への残留	Graham, D. G.	1987	Magnitude of SC-0224 residues in eggs and poultry	Report No.: RRC 87-43 GLP: yes not published RIP9500025	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
966	2:農作物及び畜産物への残留	Manning, M. J.; Wilson, G. R.	1987	Residue determination of Glyphosate and AMPA in laying hen tissues and eggs following a 28 day feeding study	Report No.: MSL-6676 GLP: yes not published RIP9501252	EFSA	①
967	2:農作物及び畜産物への残留	Cowell, J. E.	1987	Residue determination of Glyphosate and AMPA in dairy cow tissues and milk following a 28 day feeding study	Report No.: MSL-6729 GLP: yes not published RIP9501250	EFSA	①
968	2:農作物及び畜産物への残留	Graham, D. G.	1987	Magnitude of SC-0224 residues in meat and milk	Report No.: RRC 87-44 GLP: yes not published RIP9500024	EFSA	①
969	2:農作物及び畜産物への残留	McLellan, G.; Bramble, F. Q.	2007	Magnitude of residues of N-Acetylglyphosate and degradates in dairy cow tissues and milk	Report No.: DuPont-20087 GLP: yes not published ASB2008-2653	EFSA	①
970	2:農作物及び畜産物への残留	Krüger, M. et al	2014	Detection of Glyphosate Residues in Animals and Humans	J. Environ. Anal. Toxicol. 4:210 doi: 10.4172/2161-0525.1000210 ISSN: 2161-0525 GLP: no Published ASB2014-5024	EFSA	①
971	2:農作物及び畜産物への残留	Manning, M. J.; Wilson, G. R.	1987	Residue determination of Glyphosate and AMPA in swine tissues following a 28-day feeding study	Report-No.: MSL-6627 GLP: yes not published RIP9501251	EFSA	①
972	2:農作物及び畜産物への残留	Hiler, T.	2010	Nature of [14C]Glyphosate residues in processed commodities - High temperature hydrolysis	Report No.: MSL0023072 GLP: yes not published ASB2012-12432	EFSA	①
973	2:農作物及び畜産物への残留	Umstätter, S.; Peterson, B.	2006	High temperature hydrolysis of [14C]INMCX20 in buffered aqueous solution at pH 4, 5, and 6	Report No.: DuPont-19797 GLP: yes not published ASB2008-2675	EFSA	①
974	2:農作物及び畜産物への残留	Beasley, R. K.	1975	CP 57573, Residue and metabolism part 27: Determination of CP 67573 and CP 50435 residues in citrus process fractions	Report No.: 377 GLP: no not published RIP9501260	EFSA	①
975	2:農作物及び畜産物への残留	Caierao, E.;	2007	Industrial suitability for malting of grains from desiccated pre-harvest barley	GLP: no published: Pesq. agropec. bras., Brasília, v.42, p.1277-1282, set. 2007 ASB2012-12382	EFSA	①
976	2:農作物及び畜産物への残留	Cowell, J. E.	1986	Determination of Glyphosate and Aminomethylphosphonic acid residues in citrus fruit and process fractions following post-directed treatment with Roundup herbicide	Report No.: MSL-6194 GLP: no not published RIP9501261	EFSA	①
977	2:農作物及び畜産物への残留	Kunda, U. S.	1990	Glyphosate residues in or on corn grits and flour following preharvest applications of Roundup herbicide to corn	Report No.: MSL-9797 GLP: yes not published RIP9501258	EFSA	①
978	2:農作物及び畜産物への残留	Kunstman, J. L.	1987	Glyphosate residues in corn grain fractions following preharvest applications to corn with Roundup herbicide	Report No.: MSL-6917 GLP: yes not published RIP9501257	EFSA	①
979	2:農作物及び畜産物への残留	Kunstman, J. L.;	1983	Glyphosate residues in soybeans and soybean fractions following recirculating sprayer and preharvest topical treatment with Roundup herbicide	Report No.: MSL-3259 GLP: no not published RIP9501259	EFSA	①
980	2:農作物及び畜産物への残留	Low, F.; Shaw, I.; Gerrard, J.	2005	The effect of Saccharomyces cerevisiae on the stability of the herbicide Glyphosate during bread leavening	GLP: no published: Letters in Applied Microbiology 2005, 40, 133-137 ASB2012-12449	EFSA	①
981	2:農作物及び畜産物への残留	Mueth, M. G.	1988	Glyphosate residues in potatoes and processed fractions of potatoes after treatment with Roundup herbicide	Report No.: MSL-7877 GLP: yes not published RIP9501263	EFSA	①
982	2:農作物及び畜産物への残留	Oppenhuizen, M. E.	1995	Magnitude of Glyphosate residues in corn processed commodities following preharvest application of Roundup herbicide	Report No.: MSL-13655 GLP: yes not published RIP9800120	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
983	2:農作物及び畜産物への残留	Brightwell, B.; Cooper, B. J.	1978	Uptake and metabolism of Glyphosate in root, leaf and cereal type rotation crops	Report No.: MSL 0882 GLP: no not published RIP9501200	EFSA	①
984	2:農作物及び畜産物への残留	Hatterman, D. R.	1998	LX1146-02 (Glyphosate technical) confined rotational crop study on lettuce, radish, and wheat in California	Report No.: 1651-91-146-01-09B-17 GLP: yes not published RIP2003-1112	EFSA	①
985	2:農作物及び畜産物への残留	McMullan, P.	1990	Confined rotational crops study of Glyphosate - Part II: Quantitation, characterization and identification of Glyphosate and its metabolites in rotational crops	Report No.: MSL 9811 GLP: yes not published RIP9501202	EFSA	①
986	2:農作物及び畜産物への残留	Nicholls, R. G.	1990	Confined rotational crops study of Glyphosate - Part I: In-field portion	Report No.: MSL 9810 GLP: yes not published RIP9501201	EFSA	①
987	2:農作物及び畜産物への残留	Spillner, C. J.; Bowler, D. T.	1993	[14C-Anion] Glyphosate-trimesium: Confined accumulation studies on rotational crops	Report No.:RR92-096B GLP: yes not published RIP9500018	EFSA	①
988	2:農作物及び畜産物への残留	Suba, L. A.	1976	Metabolism of CP 67573 in representative vegetables and rotation crops	Report No.: 406 GLP: no not published RIP9501199	EFSA	①
989	2:農作物及び畜産物への残留	Gimou, M. M.;	2008	Dietary exposure to pesticide residues in Yaounde: the Cameroonian total diet study	GLP: no published: Food Additives and Contaminants, April 2008, 25(4): 458-471 ASB2012-12422	EFSA	①
990	2:農作物及び畜産物への残留	Harris, C. A.; Gaston, C. P.	2004	Effects of refining predicted chronic dietary intakes of pesticide residues: A case study using Glyphosate	GLP: no published: Food Additives and Contaminants, 2004, Vol. 21, No. 9, 857-864 ASB2012-12428	EFSA	①
991	2:農作物及び畜産物への残留	Nougadère, A., Reninger, J.-C., Volatier, J.-L., Leblanc, J.-C.	2011	Chronic dietary risk characterization for pesticide residues: A ranking and scoring method integrating agricultural uses and food contamination data	GLP: no published: Food and Chemical Toxicology 49 (2011) 1484-1510 ASB2012-11982	EFSA	①
992	4:環境動態	Hayes, S.E.	2000	Glyphosate Acid: Calculation of Half- Life by Reaction with Atmospheric Hydroxyl Radicals	46852/01 Date: 2000 GLP: yes Not published 2154359	EFSA	①
993	4:環境動態	De Vries	1995	Estimation of the photochemical-oxidative degradation of Glyphosate in the atmosphere	NOTOX Project 136384 34786GLP not applicable Not published 2006983	EFSA	①
994	4:環境動態	Ponte, M.	2010	Rate and route of degradation of [14C]-glyphosate in one soil incubated under aerobic conditions	Report No.: PTRL1923W-1 (study) MSL0023070 (sponsor) Date: October 6, 2010 GLP: yes Not published 2310242	EFSA	①
995	4:環境動態	Goodyear, A.	1996	(14C)-glyphosate: Aerobic Soil Metabolism	Report No.: 1413/1-1015 (study) Date: July 11, 1996 GLP: yes Not published 2310246	EFSA	①
996	4:環境動態	McLaughlin, S., Schanné, C.	1996	[14C]-Glyphosate: determination of soil degradation, bio-transformation and metabolism under aerobic conditions	Report No.: 96-120-1020 (study) Date: June 14, 1996 GLP: yes Not published 2310250	EFSA	①
997	4:環境動態	Esser, T.	1996	[P-Methylene-14C]glyphosate acid: aerobic soil metabolism	Report No.: PTRL548W-1 (study) RR 96-027B (sponsor) Date: July 11, 1996 GLP: yes Not published 2310248	EFSA	①
998	4:環境動態	Dean, G. M.	1995	Rate and route of degradation of [14C]glyphosate in one soil incubated under aerobic conditions	Report. No.: SNY 333/951445 (study) Date: December 1, 1995 GLP: yes Not published 2310244	EFSA	①
999	4:環境動態	Galicía, H.	1993	Degradation and metabolism of 14CGlyphosate in soil incubated under aerobic conditions	RCC project No: 246486 Date: April 6, 1993 GLP: .Yes. Not published 1932059	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1000	4:環境動態	Matla, Y.A. Vonk, J.W.	1993	Rate of degradation and metabolism of [14C]-glyphosate in soil under aerobic conditions	Report No: IMW-92-0022-01 IMW-R 93/047 Date: April 13, 1994 GLP: Yes Not published 2151389	EFSA	①
1001	4:環境動態	Honegger, J.L.	1992	Review of the aerobic metabolism of [14C]Glyphosate in soil. Addendum to Monsanto	Report No PTRL 368 Date: January 1992 GLP: No Not published 2325652	EFSA	①
1002	4:環境動態	Kesterson, A.L. Atkins, R.H.	1991	Aerobic metabolitism of [14C]-Glyphosate in sandy loam and silt loam soils with biometer flask	Report No. MSL-10578 Date: January 1, 1991 GLP: Yes Not published 1932061	EFSA	①
1003	4:環境動態	McBain, J.B.	1985	Metabolism of SC-0224 in soil: Fate of the anion moiety	Report no PSM 186 DOC 100465 MRC 85-11 Date: 1985 GLP: No Not published 1052660	EFSA	①
1004	4:環境動態	McBain, J.B.	1985	Metabolism of SC-0224 in soil: Fate of the cation moiety	Report no PSM 179 DOC 100464 MRC 85-10 Date: 1985 GLP: No Not published 1052661	EFSA	①
1005	4:環境動態	McEwen, A.	2004*	[14C]-Glyphosate: Anaerobic soil metabolism (rate and route of degradation in a sandy loam soil)	Report No.: SNN/05 Date: July 19, 2004 GLP: yes Not published	EFSA	①
1006	4:環境動態	Lowrie, C.,	2003	The degradation of [14C]-glyphosate in soil under anaerobic conditions	Report No.: 22581 (study); MSL-18018 (sponsor) Date: July 08, 2003 GLP: yes Not published 2310253	EFSA	①
1007	4:環境動態	Knoch, E.	2003*	Route and rate of anaerobic soil degradation of glyphosate according to SETAC, Part 1, 1.2 (March 1995)	Report No.: IF-02/00005224 Date: February 7, 2003 GLP: yes Not published	EFSA	①
1008	4:環境動態	Keirs, D.C.	2000	The degradation of [14C]-Glyphosate in soil under anaerobic conditions, 25 July 2000	Inveresk no. 395941 BOD2000-1308 Date: February 7, 2003 GLP: Yes Not published 1939595	EFSA	①
1009	4:環境動態	McBain, J.B.	1987	SC-0224: Anaerobic soil metabolism study: Fate of the Carboxymethylaminomethylphosphonic acid moiety	Report No: PSM 217 Date: 1987 GLP: No Not published 1031560	EFSA	①
1010	4:環境動態	Rueppel, M.L.	1972	The degradation and metabolism of MON0573 in soil	Report No AgRR269 Date: October 26, 1972 GLP: N Not published 1932065	EFSA	①
1011	4:環境動態	Esser	1996*	P-Methylene-14C] Glyphosate Acid: Photodegradation in-on Soil by Natural Sunlight (WRC-96-066)	ASF71/0159 ! RR 96-046B GLP: Yes not published 2154348	EFSA	①
1012	4:環境動態	Van Dijk, A. Burri, R.	1993	Photodegradation study of 14C-Glyphosate on soil	Report No RCC 315764 Date: 1993 GLP: Yes Not published 1932050	EFSA	①
1013	4:環境動態	Shepler, K.	1989	Photodegradation of [14C]-Glyohosate in/ on soil by natural sunlight	MSL-9271 ! No. 972 Date: 1989 GLP: Yes Not published 1932096	EFSA	①
1014	4:環境動態	McGahen, L.	1983	The photodegradation of SC-0224 applied to soil	PSM 137 BOD95-00420 Date: 1983 GLP: No Not published 1052662	EFSA	①
1015	4:環境動態	Brightwell, B.B.	1978	Photodegradation an anaerobic aquatic metabolism of Glyphosate, Nphosphonomethylglycine	Report No MSL-0598 Date: 1978 GLP: No Not published 1932052	EFSA	①
1016	4:環境動態	Ponte, M.	2010	Rate of degradation of [14C]glyphosate in three soils incubated under aerobic conditions	Report No.: PTRL1946W-1 (study); MSL0023071 (sponsor) Date: October 6, 2010 GLP: yes Not published 2310255	EFSA	①
1017	4:環境動態	Mamouni, A.	2002	First amendment (addendum) to report - Degradation of 14C-glyphosate in three soils incubated under aerobic conditions	RCC Study No. : 271618 Date: June 3, 2002 GLP: No Not published 2437068	EFSA	①
1018	4:環境動態	Dorn, S.	2012	Kinetic modelling analysis of the degradation behaviour of glyphosate and its metabolite AMPA from aerobic laboratory soil degradation studies	Report No.: 303604-1 Date: May 3, 2012 GLP: no (kinetic evaluation: does not contain laboratory work) Not published 2315991	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1019	4:環境動態	Galicia, H.	1993	Degradation of 14C-glyphosate in three soils incubated under aerobic conditions	Report NO RC 271618 Date: April 7, 1993 GLP: yes Not published 1932046	EFSA	①
1020	4:環境動態	Schneider, E.	1991	Behaviour of Glyphosate in water and soil, Part 5 Degradation in soil	Report no: PR93/009 Date: 1991 GLP: yes Not published 1062355	EFSA	①
1021	4:環境動態	Lewis, C.J.	1992	Glyphosate-Trimesium: Soil dissipation study and Glyphosate-Trimesium: Soil dissipation study (inkl. Addendum to final report)	Study No: 7043-38/165 Date: April 1992 GLP: No Not published 1052659	EFSA	①
1022	4:環境動態	Runnalls, J.K.	1991	Glyphosate-Trimesium: Laboratory degradation in four soils	Report no: RJ1064B Date: 1991 GLP: No Not published 2154349	EFSA	①
1023	4:環境動態	Kreschnak, C	2012	Kinetic modelling analysis of the degradation behaviour of glyphosate and its metabolite AMPA in field soil dissipation studies	Report No.: 303604-2 Date: April 27, 2012 GLP: no (kinetic evaluation: does not contain laboratory work) Not published 2315993	EFSA	①
1024	4:環境動態	Schulz, H.	1992	Field soil dissipation rate determination of Glyphosate 360 (Diegten, Switzerland)	RCC 273565 BOD95-00515 GLP: yes Not published 1932128	EFSA	①
1025	4:環境動態	Schulz, H.	1992	Field soil dissipation rate determination of Glyphosate 360 (Ekerlingen, Switzerland)	RCC 280416 BOD95-00514 GLP: yes Not published 1932131	EFSA	①
1026	4:環境動態	Schulz, H.	1992	Field soil dissipation rate determination of Glyphosate 360 (Bad Krozingen, Germany)	RCC 280427 BOD95-00512 GLP: yes Not published 1932073	EFSA	①
1027	4:環境動態	Schulz, H.	1992	Field soil dissipation rate determination of Glyphosate 360 (Menslage, Germany)	RCC 280438 BOD95-00513 GLP: yes Not published 1932133	EFSA	①
1028	4:環境動態	Hill, S.E.	1992	Glyphosate-Trimesium: Soil dissipation study (Germany 1990 – 1992)	RJ1294B BOD95-00424 GLP: yes Not published 2154352	EFSA	①
1029	4:環境動態	van Noorloos,	2001	Adsorption/desorption of glyphosate on soil Report No.: 320164 (study)	Date: December 10, 2001 GLP: yes Not published 2310257	EFSA	①
1030	4:環境動態	Thomas, P.K., Lane M.C.G.6	1996	Glyphosate acid: adsorption and desorption properties in 5 soils	Report No: RJ2152B Date: September 12, 1996 GLP: yes Not published 2310260	EFSA	①
1031	4:環境動態	van der Kolk, J.	1996	Glyphosate: determination of adsorption and desorption properties based on the OECD method 106	Report No.: 95-111-1020 (study) Date: April 26, 1996 GLP: yes Not published 2310258	EFSA	①
1032	4:環境動態	Schneider, E.	1993	Glyphosate isopropylamine salt adsorption/desorption	PR93/017 Date: June 17, 1993 GLP: yes Not published 1027844	EFSA	①
1033	4:環境動態	Waring, D.M.	1992	14C-Glyphosate : Adsorption/desorption in soil	Report 7180 GLP: Yes Not published 1932008	EFSA	①
1034	4:環境動態	Livingston, C.L.	1986	Australian notification base testing requirements for N- (Phosphonomethyl) Inodiactic Acid (Glaphosate Intermediate), Part II: Adsoption/Desooption Data.	MSL-5393 ! Report 7863 GLP: N Not published 2325589	EFSA	①
1035	4:環境動態	Knoch, E.	2003	Aminomethylphosphonic acid: adsorptiondesorption	Report No.: IF-02/00005220 (study) Date: February 07, 2003 GLP: yes Not published 2310262	EFSA	①
1036	4:環境動態	Wittig, A.	2002	Adsorption/desorption behaviour of AMPA on soil according OECD 106 (adopted January 2000)	Report No.: PR02/007 (study) Date: June 24, 2002 GLP: yes Not published 2310264	EFSA	①
1037	4:環境動態	Muller, K., Lane, M.C.G.	1996	Glyphosate acid: adsorption and desorption properties of the major metabolite, AMPA, in soil	Report No: RJ2129B Date: August 27, 1996 GLP: yes Not published 2310266	EFSA	①
1038	4:環境動態	Weeden, D.M.	1993	Aminomethylphosphonic acid – Determination of the sorption and desorption properties.	MSL-12703 Date: 1992 GLP: Yes Not published 2325586	EFSA	①
1039	4:環境動態	Burgener, A.	1992	Leaching characteristics of formulated 14CGlyphosate in three soils	RCC 281430 Date: 1992 GLP: Yes Not published 1932122	EFSA	①
1040	4:環境動態	McGinley, A.M.	1992	Glyphosate-Trimesium: Leaching of material in soil columns.	RJ247B, BOD95-00422 Date: 1992 GLP: Yes Not published 1052676	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1041	4:環境動態	Schneider, E.	1991	Behaviour of Glyphosate in water and soil, Part 4 Leaching behaviour, second performance	PR90/002 Date: 1991 GLP: Yes Not published 1062361	EFSA	①
1042	4:環境動態	Brightwell, B.B. Malik, J.M.	1978	Solubility, volatility, adsorption and partition coefficients, leaching and aquatic metabolism of MON 0573 and MON 0101	MSL-0207 Date: 1978 GLP: Yes Not published 1932009	EFSA	①
1043	4:環境動態	McLaughlin, S.	1996	Determination of the mobility of aged[14C]glyphosate residues in one soil Springborn Laboratories, Horn, Switzerland	Report No.: 96-121-1020 (study) Date: June 14, 1996 GLP: yes Not published 2310268	EFSA	①
1044	4:環境動態	Waring, A.R. Purser, D.	1992	(14C)-Glyphosate-Trimesium: Aged soil leaching	7113-38/172 Datw: 1992 GLP: No Not published 1052677	EFSA	①
1045	4:環境動態	De Vries, R.	1997*	Determination of the rate of volatilization of glyphosate from soil and plant surface (french beans)	Report No.: 191071 Date: 1997 GLP: yes Not published	EFSA	①
1046	4:環境動態	Schneider, E.	1996*	Glyphosate: Determination of volatilisation - Field study	Report No.: PR94/032 (study); Date: 1996 GLP: yes Not published	EFSA	①
1047	4:環境動態	Guth, S.,	1993	Determination of the volatilization of Glyphosate 360 SL from soil and plants	Study no. BE_EA-49-92-01-Vol-1 Date: 1993 GLP: No Not published 1939443	EFSA	①
1048	4:環境動態	Schulz, J	1995	Final report - About testing volatilization behavior of TAIFUN forte in bush beans under field conditions	Report No.: AGR/RV-95/ FSG Date: 1995 GLP: Yes Not published 1552734	EFSA	①
1049	4:環境動態	Burgener, A.	1990	Hydrolysis determination of 14C-glyphosate (PMG) at different pH values	RCC 238500 Date: 1990 GLP: Yes Not published 2442046	EFSA	①
1050	4:環境動態	Myers, H.W.	1983	Hydrolysis and photolysis degradation studies of SC-0224	WRC 83-53 Date: 1983 GLP: No Not published 1031582	EFSA	①
1051	4:環境動態	Van Dijk, A.	1992	Photodegradation study of 14C-Glyphosate in water at pH 5, 7 and 9	RCC 250751 Date: 1992 GLP: Yes Not published 2252558	EFSA	①
1052	4:環境動態	Ericson, L.J.	1992	Glyphosate-Trimesium- Aqueous photolysis.	RR91-065B Date: 1992 GLP: No Not published 1052518	EFSA	①
1053	4:環境動態	Feil, J.	2009*	Ready biodegradability of glyphosate in a manometric respirometry test	Report No.: 53981163 Date: December 10, 2009 GLP: yes Not published	EFSA	①
1054	4:環境動態	Carrick, T.R.	1991	A study to evaluate ready biodegradability of Glyphosate technical	FH-OECD-09RB Date: 1991 GLP: Yes Not published 2325628	EFSA	①
1055	4:環境動態	Wüthrich, V.	1990	Glyphosate technical: Inherent biodegradability, "Modified Zahn-Wellens test"	RCC 271653 Date: 1990 GLP: Yes Not published 1934369	EFSA	①
1056	4:環境動態	Anonymous	1990	Glyphosate COD and biodegradability	Report No.: n.a. Date: 1990 GLP: No Not published 1934372	EFSA	①
1057	4:環境動態	Brightwell, B.B., Malik,	1978	Solubility, volatility, adsorption and partition coefficients, leaching and aquatic metabolism of MON 0573 and Mon 0101	Report No: MSL-0207 Date: 1978 GLP: No Not published 1932009	EFSA	①
1058	4:環境動態	Henshall, A.,	1972	The degradation and metabolism of MON 0573 in river and lake bottom sediments and surface water	Report No. 276 Date: 1972 GLP: No Not published 1934355	EFSA	①
1059	4:環境動態	Feser-Züchner, W.	2002	Aminomethylphosphonic acid: fate and behaviour in water-sediment A&M Labor für Analytik und Metabolismusanforderung Service GmbH, Bergheim, Germany	Report No.: A & M 01-106 (study) Date: November 12, 2002 GLP: yes Not published 2310270	EFSA	①
1060	4:環境動態	Knoch, E.	2003c	Aerobic aquatic degradation of aminomethylphosphonic acid according to SETAC, part 1.8.2 (March 1995) CALLIOPE S.A.S. (sponsor) Institut Fresenius Chemische und Biologische Laboratorien AG, Herten, Germany	Report No.: IF-02/00005222 (study) Date: February 07, 2003 GLP: yes Not published 2310273	EFSA	①
1061	4:環境動態	McEwen, A.	2004b	[14C]-AMPA: Degradation and fate in water/sediment systems BioDynamics Research Limited, Northamptonshire, UK	Report No.: SNN/03 (study) Date: June 7, 2004 GLP: yes Not published 2310275	EFSA	①
1062	4:環境動態	Heintze, A.	1996*	Degradation and metabolism of glyphosate in two water/sediment systems under aerobic conditions - Laboratory test	Report No.: 96138/01-CUWS (study) Date: December 16, 1996 GLP: yes Not published 1939626	EFSA	①
1063	4:環境動態	Partsch, S.	2012	Kinetic modelling analysis of the disappearance behaviour of glyphosate and its metabolite AMPA in water-sediment studies	Report No.: 303604-3 Date: April 30, 2012 GLP: no (kinetic evaluation: does not contain laboratory work) Not published 2316005	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1064	4:環境動態	Bowler, D.T. and Johnson, J. A.	1999	Glyphosate-trimesium: Degradation of 14CPMG labelled compound in natural watersediment systems under laboratory conditions	Report No.: RR99-039B (study) Date: November 4, 1999 GLP: yes Not published 2154357	EFSA	①
1065	4:環境動態	Knoch, E. and	1999	Aminomethylphosphonic acid: Water/sediment Metabolism	Report No.: IF-98114727 -00 (study) Date: September 20,1999 GLP: yes Not published 1934122	EFSA	①
1066	4:環境動態	Steginsky, C.A.	1995	Determination of the degradability and persistence of 14C-Glyphosate in the water/sediment-system (Amendment)	Report No.: ET01SE01 (study) Date: August 1, 1995 GLP: yes Not published 1934389	EFSA	①
1067	4:環境動態	Möllerfeld, J.	1993	Determination of the degradability and persistence of 14C-Glyphosate in the water/sediment-system	Report No.: ET01SE01 (study) Date: May 17, 1993 GLP: yes Not published 193,4113	EFSA	①
1068	4:環境動態	Muttzall, P.I.	1993	Water/sediment biodegradation of [14C]glyphosate	Report No.: IMW-92-0022-02 Date: March 18, 1993 GLP: yes Not published 1982136	EFSA	①
1069	4:環境動態	Jönsson, J.	2012	Review of sustainable water treatment	UC8408v2 MON GLP: N, published: N 2316001 /	EFSA	①
1070	4:環境動態	Jönsson, J., Camm, R.	2010	Removal of Glyphosate and AMPA by water treatment	UC8164v2 MON GLP: N, published: N 2316003 /	EFSA	①
1071	4:環境動態	Anyusheva, M.	2012	Predicted environmental concentrations of glyphosate and its metabolite AMPA in soil (PECs) following application to various crops in the EU	Report No.: 303605-1 Date: April 25, 2012 GLP: no (modelling study: does not contain laboratory work) Not published 2315997	EFSA	①
1072	4:環境動態	Anyusheva, M.	2012	Predicted environmental concentrations of glyphosate and its metabolite AMPA in groundwater (PECgw) using FOCUS PEARL 4.4.4 and FOCUS PELMO 4.4.3 following application to various crops in the EU	Report No.: 303605-2 Date: April 25, 2012 GLP: no (modelling study: does not contain laboratory work) Not published 231599	EFSA	①
1073	4:環境動態	Anyusheva, M.	2012	Predicted environmental concentrations of glyphosate and its metabolites AMPA and HMPA in surface water (PECsw) and sediment (PECsed) following application to various crops in the EU	Report No.: 303605-3 Date: April 27, 2012 GLP: no (modelling study: does not contain laboratory work) Not published 2316007	EFSA	①
1074	4:環境動態	Calliera, M., Ferrari, F.,	2011	Investigation of the potential glyphosate groundwater contamination in Lombardia region (North Italy) Aefioria Srl, Fidenza, Italy	Report No.: - Date:20 October 2011 GLP: no (literature study: does not contain laboratory work) Published 2310280	EFSA	①
1075	4:環境動態	Schmidt, B., Reichert, N.	2006	Clarification of well-related findings of glyphosate and AMPA in groundwater SGS Institut Fresenius GmbH, Taunusstein, Germany	Report No.: IF-06/00603024 (study) Date: 14 December 2006 GLP: no (literature study: does not contain laboratory work) Not Published 2310282	EFSA	①
1076	4:環境動態	Franke, A.C.,	2010	Evaluatie van metingen van glyfosaat en AMPA in grondwater in Nederland (Evaluation of glyphosate and AMPA measurements in groundwater in The Netherlands) Plant Research International, Wageningen UR, The Netherlands	Report No.: 354 Date: October 2010 GLP: no (literature study: does not contain laboratory work) Not Published 2310284	EFSA	①
1077	4:環境動態	Carter, A., Pepper, T.	2005	An investigation of reported borehole contamination in the Vemmenhög Catchment, Sweden ADAS UK Ltd, Nottinghamshire, England	Report No.: - Date: December 2005 GLP: no (literature study: does not contain laboratory work) Not Published 2310285	EFSA	①
1078	4:環境動態	Anonymous	2012	Analysis of groundwater contamination with glyphosate/AMPA SCE Aménagement et Environnement, Nantes, France	Report No.: - Date: February 2012 GLP: no (desk study: does not contain laboratory work) Not published 2310289	EFSA	①
1079	4:環境動態	Horth, H.	2012	Survey of glyphosate and AMPA in groundwaters and surface waters in Europe HoHQ, UK	Report No.: - GLP: no (desk study: does not contain laboratory work) Not published 2310291	EFSA	①
1080	4:環境動態	Sanchis, J.,	2012	Erratum to:Determination of glyphosate in groundwater samples using an ultrasensitive immunoassay and confirmation by on-line solid-phase extraction followed by liquid chromatography coupled to tandem mass spectrometry	Anal Bioanal Chem 404, 617 GLP: N, published: Y 2537361	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1081	4:環境動態	Anonymous*	2011	Berichte zu Pflanzenschutzmitteln 2009 - Jahresbericht PflanzenschutzKontrollprogramm	BVL-Reporte 5, 1-33 GLP: N, published: Y 2537364	EFSA	①
1082	4:環境動態	Anonymous*	2012	Berichte zu Pflanzenschutzmitteln 2010 - Jahresbericht PflanzenschutzKontrollprogramm	BVL-Reporte 6, 1-37 GLP: N, published: Y 2537365	EFSA	①
1083	4:環境動態	Horth, H.,	2008	Review of glyphosate and AMPA in drinking water in selected European countries WRc Swindon, Wiltshire, UK	Report No.: UC7729.04 Date: September 2008 GLP: no (literature review: does not contain laboratory work) Published 2310278	EFSA	①
1084	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Kleiner, R.	1995	Testing Toxicity to Honeybee - Apis mellifera L. (laboratory) according to EPPO Guideline No 170. Glyphosate (tec.)	95 10 48 065 FSG GLP: Y, published: N 2311000 /	EFSA	①
1085	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Weyman, G. S.	1996	Glyphosate: Acute contact and oral toxicity to honeybees	1413/3-1018 NUF, CHE GLP: Y, published: N 2311002 /	EFSA	①
1086	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Thompson, H.M.	1998	Glyphosate Acid: Acute Contact and Oral Toxicity to Honey Bees (Apis mellifera)	FN9700 SYN GLP: Y, published: N 2311004 /	EFSA	①
1087	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	van der Steen, J.J.M.	1995	Honey Bees (Apis mellifera L.), oral toxicity study in the laboratory with Glyphosate	141907 AGC GLP: Y, published: N 2311007 /	EFSA	①
1088	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Halsall, N.	2003	Laboratory bioassays to determine acute oral and contact toxicity of MON 78623 to the honeybee, Apis mellifera	MON-02-10 ! MT-2002-108 MON GLP: Y, published: N 2311012 /	EFSA	①
1089	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	van der Steen, J.J.M.	1995	Honey Bees (Apis mellifera L.), contact toxicity study in the laboratory with Glyphosate	142335 AGC GLP: Y, published: N 2311009 /	EFSA	①
1090	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Franco Perina, V.C.	2000	Acute Contact Toxicity of GLIFOSATO IPA TECHNICO NUFARM to Honey Bees (Apis mellifera L.)	RF-D4.017/00 NUF GLP: Y, published: N 2311010 /	EFSA	①
1091	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Kleiner, R.	1995	Testing Toxicity to Honeybee - Apis mellifera L. (laboratory) according to EPPO Guideline No 170. Glyphosate (tec.)	95 10 48 065 FSG GLP: Y, published: N 2311014 /	EFSA	①
1092	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Weyman, G.S.	1996	Glyphosate: Acute contact and oral toxicity to honeybees	1413/3-1018 NUF, CHE GLP: Y, published: N 2320519 /	EFSA	①
1093	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Thompson, H.M.	1998	Glyphosate Acid: Acute Contact and Oral Toxicity to Honey Bees (Apis mellifera)	FN9700 SYN GLP: Y, published: N 2320520 /	EFSA	①
1094	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Halsall, N.	2003	Laboratory bioassays to determine acute oral and contact toxicity of MON 78623 to the honeybee, Apis mellifera	MON-02-10 ! MT-2002-108 MON GLP: Y, published: N 2320521 /	EFSA	①
1095	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Thompson, H.M.	2011	Glyphosate: Study to determine potential exposure of honeybee colonies to residues under semi-field conditions	V7YH1002 GTF GLP: Y, published: N 2311016 /	EFSA	①
1096	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Thompson, H.M.	2012	Glyphosate: Evaluating potential effects on honeybee brood (Apis mellifera) development	V7YH1001 GTF GLP: Y, published: N 2311020 /	EFSA	①
1097	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Stevens, J.	2011	A rate-response extended laboratory test to determine the effects of MON 52276 on the parasitic wasp, Aphidius rhopalosiphii (Hymenoptera, Braconidae)	MON-09-2 ! MT-2009-405 MON GLP: Y, published: N 2311022 /	EFSA	①
1098	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Fallowfield, L.	2010	An extended laboratory bioassay of the effects of MON 52276 on the predatory mite, Typhlodromus pyri (Acari: Phytoseiidae)	MON-09-3 ! MT-2009-404 GTF GLP: Y, published: N 2311024 /	EFSA	①
1099	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Spencer, D.	2010	An extended laboratory test to determine the effects of MON 52276 on the ground-active beetle, Aleochara bilineata (Coleoptera, Staphylinidae)	MON-09-4 ! MT-2009-403 MON GLP: Y, published: N 2311026 /	EFSA	①
1100	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Mallett, M.J.	2002	Sinon Glyphosate Technical: The Acute Toxicity to the Earthworm Eisenia foetida	CEMR-1875 SIN GLP: Y, published: N 2311027 /	EFSA	①

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1101	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Moser, T., R ömbke, J.	2000	AMPA: Acute toxicity of AMPA technical material to the earthworm <i>Eisenia andrei</i> in an artificial soil test	F13RA SYN GLP: Y, published: N 2311029 /	EFSA	①
1102	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Friedrich, S.	2009	MON0139 - Sublethal toxicity to the earthworm <i>Eisenia fetida</i>	09 10 48 056 S GTF GLP: Y, published: N 2311032 /	EFSA	①
1103	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Heyward, J.C., Mallett, M.J.	2000	A laboratory investigation of the effects of Glyphosate and its breakdown product AMPA on reproduction in the earthworm <i>Eisenia fetida</i>	CEMR-1173 MON GLP: Y, published: N 2311034 /	EFSA	①
1104	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Noack, M.	2002	AMPA - Earthworm (<i>Eisenia fetida</i>), effects on eproduction	011120FB FSG GLP: Y, published: N 2311035 /	EFSA	①
1105	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Servajean, E.	2003	Laboratory determination of the side-effects of aminomethyl phosphonic acid (AMPA) on the reproductive performance of earthworms (<i>Eisenia fetida</i>) using artificial soil substrate	01-64-077-ES ALS GLP: Y, published: N 2311037 /	EFSA	①
1106	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Schulz, L.	2009	MON0139 - Effects on the reproduction of the predatory mite <i>Hypoaspis aculeifer</i>	09 10 48 058 S GTF GLP: Y, published: N 2311040 /	EFSA	①
1107	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Friedrich, S.	2010	MON0139 - Effects on the reproduction of the collembolans <i>Folsomia candida</i>	09 10 48 057 S GTF GLP: Y, published: N 2311042 /	EFSA	①
1108	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Schulz, L.	2010	AMPA - Effects on the Reproduction of the Predatory Mite <i>Hypoaspis aculeifer</i>	10 10 48 053 S GTF GLP: Y, published: N 2311044 /	EFSA	①
1109	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Friedrich, S.	2010	AMPA - Effects on the Reproduction of the collembolans <i>Folsomia candida</i>	10 10 48 045 S GTF GLP: Y, published: N 2311046 /	EFSA	①
1110	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Schneider,	2012	Glyphosate: Amphibian Metamorphosis Assay for the Detection of Thyroid Active Substances	707A-103 GLP not published	EFSA	①
1111	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Lintott, D.R.	1992	MON 52276: Acute toxicity to rainbow trout, <i>Oncorhynchus mykiss</i> , under Flow- through test conditions	TO-91-296 GLP: Y, published: N 237591 /	EFSA	①
1112	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Lintott, D.R.	1992	MON 52276: Acute toxicity to common carp, <i>Cyprinus carpio</i> , under flow- through test conditions	TO-91-298 GLP: Y, published: N 2317595 /	EFSA	①
1113	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Lintott, D.R.	1992	MON 52276: Acute toxicity to the water flea, <i>Daphnia magna</i> , under flow- through test conditions	TO-91-295 GLP: Y, published: N 2317596 /	EFSA	①
1114	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Neven, B.	1992	Alga, Growth Inhibition Test. Effect of MON 52276 on the Growth of <i>Selenastrum capricornutum</i>	LI-91-389 GLP: Y, published: N 2317597 /	EFSA	①
1115	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Baxter, I.	2001	Laboratory bioassays to determine acute oral and contact toxicity of MON 52276 to the honeybee, <i>Apis mellifera</i>	MON-00-2 version 2 MON GLP: Y, published: N 2316011 /	EFSA	①
1116	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Hoxter, K. A., Smith, G. J.	1992	MON 52276: An acute toxicity study with the earthworm in an artificial soil substrate	139-306 ! WL-91-272 GLP: Y, published: N 2317598 /	EFSA	①
1117	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Hutcheson, K.	2012	MON 52276: Effect on soil microbial activity, Carbon and Nitrogen transformations	CEMR-5259 GTF GLP: Y, published: N 2316013 /	EFSA	①
1118	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Dengler, D.	2002	Assessment of toxic effects of MON 52276 on aquatic plants using the duckweed <i>Lemna gibba</i>	GA-2002-051 MON GLP: Y, published: N 2316015 /	EFSA	①
1119	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Wenzel, A.	2012	Effect of MON52276 (Glyphosate formulation) on the growth of <i>Myriophyllum aquaticum</i> in the presence of sediment, with a subsequent recovery period	CHE-016/4-80/A GTF GLP: Y, published: N 2316017 /	EFSA	①
1120	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Bergfield, A.	2014	MON 52276: Effects on the Vegetative Vigor of Non-Target Terrestrial Plants (Tier II)	80477GLP: Y, published: N 2716933	EFSA	①
1121	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Akcha, F., C. Spagnol, and J. Rouxel.	2012	Genotoxicity of diuron and glyphosate in oyster spermatozoa and embryos	Aquatic Toxicol. 106-107: 104-113.	USEPA	②
1122	4:環境動態	AL-Rajab, Abdul Jabbar and Michael Schiavon.	2010	Degradation of 14C-glyphosate and aminomethylphosphonic acid (AMPA) in three agricultural soils.	Journal of Agricultural Sciences. 22(9):1374-1380.	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1123	4:環境動態	Baker, N.T., Stone, W.W., Wilson, J.T., and Meyer, M.T.	2006	Occurrence and Transport of Agricultural Chemicals in Leary Weber Ditch Basin, Hancock County, Indiana, 2003-2004	2005 National Water Quality Assessment Program. U.S. Department of the Interior, U.S. Geological Survey, Scientific Investigations Report, 2006	USEPA	②
1124	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Barky, F. A.; Abdelsalam, H. A.; Mahmoud, M. B., and Hamdi, S. A. H.	2012	Influence of Atrazine and Roundup Pesticides on Biochemical and Molecular Aspects of Biomphalaria alexandrina Snails	Pesticide Biochem Physio. 104(1): 9-18	USEPA	②
1125	4:環境動態	Battaglin,W. A., Kolpin, D.W., Scribner, E.A, Kuivila, K.M., and sandstorm, M.W.	2005	GLYPHOSATE, OTHER HERBICIDES, AND TRANSFORMATION	Journal of the American Water Resources Association (JAWRA), April, pp. 323-332	USEPA	②
1126	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Bernal, M. H.; Solomon, K. R., and Carrasquilla, G	2009	Toxicity of Formulated Glyphosate (Glyphos) and Cosmo-Flux to Larval and Juvenile Colombian Frogs 2. Field and Laboratory Microcosm Acute Toxicity	J. Toxicol. Environ. Health, Part A. 72(15): 966- 973,	USEPA	②
1127	4:環境動態	Boutin, C., N. Elmegaard, and C.Kjaer.	2004	Toxicity testing of fifteen non-crop plant species with six herbicides in a greenhouse experiment: implications for risk assessment	Ecotoxicology. 13: 349-369	USEPA	②
1128	2:農作物及び畜産物への残留	Boutin, C., A. L. White, and D. Carpenter.	2010	Measuring variability in phytotoxicity testing using crop and wild plant species.	Environ. Toxicol. Chem. 29(2): 327-337.	USEPA	②
1129	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Boutin, C., K. L. Aya, D. Carpenter, P.J. Thomas, and O. Rowland	2012	Phytotoxicity testing for herbicide regulation: Shortcomings in relation to biodiversity and ecosystem services in agrarian systems.	Sci. Total Environ. 415:79-92	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1130	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Brausch J M, Cox S; Smith PN.	2006	Pesticide usage on the southern high plains and acute 'toxicity of four chemicals tothe fairy shrimp Thamnocephalus playurus Crustacea: "Anostraca)	Texas J Sei. 58(4):309-324.	USEPA	②
1131	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Brausch JM; Smith PN.	2007	Toxicity of Three Polyethoxylated Tallowamine Surfactant Formulations to Laboratory and Field Collected Fairy Shrimp, Thamnocephalus platyurus	Archives of Environmental Contamination and Toxicology, \$2(2), 217-221	USEPA	②
1132	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Brausch JM; Beall B; Smith PN	2007	Acute and Sub-Lethal Toxicity of Three POEA Surfactant Formulations to Daphnia magna.	Bull Environ Contam Toxicol, 78, \$10-S14,	USEPA	②
1133	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Bringolf RB; Cope WG; Mosher S; Barnhart MC; Shea D	2007	Acute and Chronic Toxicity 'of Glyphosate Compounds to Glochidia and Juveniles of Lampsilis siliquoidea (Unionidae)	Environ Toxicol Chem, 26(10) 2094-100.	USEPA	②
1134	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Casabe, N.; Piola, L; Fuchs, J; Oneto, M.L.; Pamparato, L.; Basack, S.; Gimenez, R.; Massaro, R.; Papa, J. C., and Kesten, E.	2007	Ecotoxicological Assessment of the Effects of Glyphosate and Chilorpyrifos in an Argentine Soya Field	Argentine Soya Field. 7 (4): 232.239	USEPA	②
1135	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Coler, R.A. ; Coler, R.R.; Felizardo, E. K.G., and Watanabe, T.	2005	Applying Weight Gain in Pomacea lineata (Spix 1824) (Mollusca: Prosobranchia) as a Measure of Herbicide	J Biol. 65(4): 617-623	USEPA	②
1136	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Contardo-Jara, V.; Klingelmann , E., and Wiegand, C.	2009	Bioaccumulation of Glyphosate and Its Formulation Roundup Ulira in Lumbriculus variegatus and Its Effects on Biotransformation and Antioxidant Enzymes.	Environ. Poll. 157(1): \$7-63	USEPA	②
1137	4:環境動態	Coupe, RH. \$.Kalkhoff, P.D. Capel, and C. Gregoire.	2011	Fate and transport of glyphosate 'and aminomethylphosphonic acid in surface water of agricultural basins	Pest Manag Sci, 168:16-30.	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1138	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Cubra, M.; Traavik, T., and Bohn, T.	2013	Clone- and Age-Dependent Toxicity of a Glyphosate Commercial Formulation and Its Active Ingredient in <i>Daphnia magna</i> ,	Ecotoxicol. 22:251-262	USEPA	②
1139	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	De Freitas Bueno, A.; De Freitas Bueno, R. C. O.; Parra, JR. P.,and Vieira, S	2008	Effects 'of Pesticides Used in Soybean Crops to the Egg Parasitoid <i>Trichogramma pretiosum</i>	Ciencia Rural. 38, (6): 1495-1503	USEPA	②
1140	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Dosnon- Olette, R.; Couderchet, M.; Oturan, M. A.; Oturan, N., and Eullafitoy, P	2011	Potential Use of <i>Lemna minor</i> for the Phytoremediation of Isoproturon and Glyphosate	Internat J Phytoremed. 13(6): 601-612	USEPA	②
1141	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Egan, JF, Graham, LM, and Mortensen, D.A	2014	comparison of the herbicide tolerances 'of rare and common plants in an agricultural landscape. Environ	Environ. Toxicol. Chem. 33(3). DOK: 10.1002/ext.2491	USEPA	②
1142	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Hartzler. R.G.	2010	Reduction in Common Milkweed (<i>Asclepias Syriaca</i>) Occurrence in Towa Cropland from 1999 0 2009	29 Crop Protection 1542	USEPA	②
1143	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Jones, D.K.,J. I. Hammond, and R. A. Relyea	2010	Roundup and amphibians: the importance 'of concentration, application time, and stratification	Environ, Toxicol. Chem. 29 (9):2016-2025.	USEPA	②
1144	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Jones, D.K., J. I. Hammond, and R.A. Relyea	2011	Competitive stress can make the herbicide 'Roundup more deadly to larval amphibians.	Environ. Toxicol. Chem. 30 (2): 446-454.	USEPA	②
1145	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	King, J.J. and Wagner, R. S.	2010	Toxic Effects of the Herbicide Roundup Registered Regular 'on Pacific Northwestern Amphibians.	Northwestern Naturalist. 91(3): 318-324	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1146	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Kolpin, D.W, Thurman, M.E. Lee, E.A., 7. Meyer, M.T, Furlong, E.T., and Glassmeyer, S.T	2006	Urban contributions of glyphosate and its degradate AMPA to streams in the United States	Science of the Total Environment; Volume 354, Issues 2-3, Pages 191-197	USEPA	②
1147	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Krogh, K.A.B, Halling- Sorensen, B.B Morgan, and K.V. Vejrurp	2003	Environmental properties and effects of nonionic surfactant adjuvants in pesticides: a review	Chemosphere. 50:871-901	USEPA	②
1148	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Kubena, L. F; Smalley, H. E., and Farr, F. M	1981	Influence of Glyphosate (N-(Phosphonomethyl)Glycine) on Performance and Selected Parameters in Broilers Veterinary Toxicology and Entomology Research Laboratory, Science and Education Administration/Agricultural Research, US Department of Agriculture, P. O. Drawer GE, College Station, Texas 77840	Poultry Sci. 60(1): 132-136	USEPA	②
1149	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Lee, E.A., Strahan, A.P., and Thurman, E.M.	2001	Methods of Analysis by the U.S. geological 'Survey Organic Geochemistry Research Group- Determination of Glyphosate, 'Aminomethyphosphonic Acid, and Glyphosate in Water Using Online Solid Phase Extraction and High Performance Liquid Chromatography/Mass Spectrometry	U. Geological Survey Open File Report 01-454. U.S. Geological Survey Open File Report 03-217	USEPA	②
1150	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Le Mer, C., Roy, R.L., Pellerin, J., Couillard, C.M., and Maltais, D	2013	Effects of chronic 'exposures to the herbicides atrazine and glyphosate to larvae of the threespine stickleback (Gasterosteus aculeatus)	Ecotoxicol. Environ. Saf. 89: 174-181.	USEPA	②
1151	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Lipok, I; Studnik, H, and Gruyaert, S	2010	The Toxicity of Roundup 360 SL Formulation and its Main Constituents: Glyphosate and Isopropylamine Towards Non-Target Water Photoautotrophs	Ecotox. Environ Saf. 73(7): 1681-1688	USEPA	②
1152	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Mann RM; Bidwell JR	1999	The toxicity of glyphosate and several glyphosate	Toxicol. 36(2): 193-199.	USEPA	②
1153	4:環境動態	McBride, Murray B.	1994	Environmental Chemistry in Soils	Oxford University Press, New York.	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1154	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	McComb, B. C.; Curtis, L.; Chambers, C. L.; Newton, M., and Bentson, K	2008	Acute Toxic Hazard Evaluations of Glyphosate Herbicide on Terrestrial Vertebrates of the Oregon Coast Range.	Environ, Sci, Pollut. Res. 15(3): 266-272	USEPA	②
1155	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	'Moore, L.J., L. Fuentes, J. H. Rodgers Jr., W. W. Bowerman, G. K. Yarrow, W. Y. Chao, W. C. 'Bridges Jr.	2012	Relative toxicity of the components of the original formulation of Roundup to five North American anurans	Ecotox. Environ, Saf. 78: 128-133,	USEPA	②
1156	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Mottier, A.; Kientz-Bouchart, V.; Serpentin, A.; Lebel, J. M; Jha, A..N., and Costil, K	2013	Effects of Glyphosate-Based Herbicides on Embryo-Larval Development and 'Metamorphosis in the Pacific Oyster, Crassostrea gigas	Aquatic Toxicol. 128/129, 67- 8	USEPA	②
1157	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Olszyk, David; Pleegeer, Thomas; Lee, E Henry; Plocher, Milton, and Olszyk, David	2009	Pea (Pisum Sativum) Seed Production as an Assay for Reproductive Effects Due to Herbicides	Environ. Toxicol. Chem. 28(9): 1920-1929	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1158	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Pileeger, Thomas; Olszyk, David; Lee, Ehenry; Plocher, Milton,	2011	Comparing Effects of Low Levels of Herbicides on Greenhouse- and Field-Grown Potatoes (Solanum Tuberosum L.), Soybeans (Glycine Max L.), And Peas (Pisum Sativum L).	Environ Toxicol. Chem. 30(2): 455-468	USEPA	②
1159	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	JM. & K.S. Oberhauser	2012	Milkweed Loss in Agricultural Fields Because	Mixture toxicity revisited from a toxicogenomic perspective Environ. Sci. Technol. 2012, 46, 2508 – 2522 ASB2014-9176	USEPA	②
1160	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Popov, Konstantin, Hannu Ronkkomaki, and Lauri HJ. Lajunens.	2001	Critical Evaluation of 'Stability Constants of Phosphonic Acids	Pure and Applied Chemistry. 73:1641-1677.	USEPA	②
1161	4:環境動態	—	—	PMRA 116813. Degradation and metabolism of 14C-glyphosate in soil incubated under aerobic conditions. (246486)., DACO:8.2.3.42.	PMRA 116813	USEPA	②
1162	4:環境動態	—	—	PMRA 1161822. Determination of the degradability and persistence of 14C-glyphosate in the 'water/sediment system. (ETOISE01)., DACO 8.2.35.2.8.33.3	PMRA 1161822	USEPA	②
1163	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Quaghebeur, D., De Smet B., De Wulf, E., Steurbaut, W.	2004	Pesticides in rainwater in Flanders, Belgium: results from the pesticide monitoring program 1997-2001	Journal of Environmental Monitoring 6: 182-190	USEPA	②
1164	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Relyea, R. A.	2005	The Impact of Insecticides and Herbicides on the Biodiversity and 'Productivity of Aquatic Communities	Ecol Appl. 15: 618-627	USEPA	②
1165	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Relyea, R. A.	2005	The Lethal Impact of Roundup on Aquatic and Terrestrial Amphibians	Ecol Appl. 15: W118-1124	USEPA	②
1166	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Relyea, R. A.	2005	The lethal impacts of Roundup and Predatory Stress on Six Species of 'North American Tadpoles	Toxicol. 48: 351-357.	USEPA	②
1167	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Relyea, R. A., Schoeppner, N. M., and Hoverman, J. T	2005	Pesticides and Amphibians: The 'Importance of Community Context	Ecol Appl. 15: 1125-1134	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1168	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Romano, M. A.; Romano, R. M.; Santos, L.D.; Wisniewski, P; Campos, D. A.; De Souza, P. B.; 'Viau, P.; Bernardi, M. M.; Nunes, M. T., and De Oliveira, C. A	2012	Glyphosate impairs Male Offspring Reproductive Development by Disrupting Gonadotropin Expression	Arch Toxicol. 86(4): 663-673.	USEPA	②
1169	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Romano, R. M; Romano, M. A.; Bemardi, M.M.; Furtado, P. V., and Oliveira, C. A	2010	Prepubertal Exposure to Commercial Formulation of the Herbicide Glyphosate Alters 'Testosterone Levels and Testicular Morphology	Arch Toxicol. 84(4): 309-317	USEPA	②
1170	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Salbego, J; Pretto, A.; Gioda, C. R; De Menezes, C. C.; Lazzari, R.; Neto, J. R.; Baldisserotto, B, and Loro, V. L	2010	Herbicide Formulation with Glyphosate Affects Growth, Acetylcholinesterase Activity, and Metabolic and Hematological Parameters in Piava (Leporinus obtusidens)	Arch Environ Contam Toxicol. \$8, (3): 740-745,	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1171	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Scribner, E.A., Battaglin, W.A., Dietze, J.E., and Thurman, E.M.	2003	Herbicide Formulation with Glyphosate Affects Growth, Acetylcholinesterase Activity, and Metabolic and Hematological Parameters in Piava (<i>Leporinus obtusidens</i>)	U.S. Geological Survey Open File Report 03- 17	USEPA	②
1172	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Thompson, D. G., Wojtaszek, B. F., Staznik, B., Chartrand, D. T., and Stephenson, G. R	2004	Chemical and Biomonitoring to Assess Potential Acute Effects of Vision Herbicide on Native Amphibian Larvae in Forest Wetlands	Environ. Toxicol. Chem. 23: 843-849	USEPA	②
1173	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Thompson, H.M, Levine, S.L., Doering, J., Norman, S., Manson, P., Sutton, P., and von Merey, G.	2014	Evaluating exposure and potential effects on honeybee brood (<i>Apis mellifera</i>) development using glyphosate as an example	Inegraed Environ. Assess Manage, 103):	USEPA	②
1174	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Turgut, C. and Fomin, A.	2002	Sensitivity of the Rooted Macrophyte <i>Myriophyllum aquaticum</i> (Vell.) Verdcourt to Seventeen Pesticides Determined on the Basis of EC50	Bl Environ, Contam, Toxicol. 69: 601-608	USEPA	②
1175	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	UGS, Department of Agriculture (USDA),	2003	Glyphosate ~ Human Health and Ecological 'Risk Assessment Final Report. Prepared for the United States Department of Agriculture Forest Service, Forest Health Protection	Syracuse Environmental Research Associates, Inc. Document Number SERA TR 02-43-09-04a. March 3, 2003,	USEPA	②
1176	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	US. Environmental Protection Agency (USEPA)	2004	Overview ofthe Ecological Risk 'Assessment Process in the Office of Pesticide Programs. Office of Prevention, Pesticides, and Toxic Substances	Office of Pesticide Programs. Washington, D.C. January 23, 2004	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1177	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	USS. Fish and Wildlife Service (USFWS) and National Marine Fisheries Service (NMFS)	1998	Endangered Species Consultation Handbook: Procedures for Conducting Consultation and Conference Activities Under Section 7 of the Endangered Species Act	Under Section 7 of the Endangered Species Act. Final Draft 'March 1998	USEPA	②
1178	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Tatum, V.L., D. L. Borton, W.R. Streblow, J. Louch, and J. P. Shepard.	2012	Acute toxicity of 'commonly used forestry herbicide mixtures to Ceriodaphnia dubia and Pimephales promelas	Environ. Toxicol. 27:671-684.	USEPA	②
1179	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Tsui MT; Chu LM	2003	Aquatic Toxicity of Glyphosate-Based Formulations: Comparison 'Between Different Organisms and the Effects of Environmental Factors	Chemosphere. 52(7)-1189-97.	USEPA	②
1180	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Tsui, MT. K_and Chu, L. M	2004	Comparative Toxicity of Glyphosate-Based Herbicides: "Aqueous and Sediment Pore water Exposures	Arch Environ. Contam.Toxicol. 46: 316-323	USEPA	②
1181	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Wan MT; Watts RG; Moul DJ	1989	Effects of different dilution water types on the acute toxicity to juvenile pacific salmonids and rainbow trout of glyphosate and its formulated products	Arch Environ. Contam.Toxicol. 46: 316-323	USEPA	②
1182	4:環境動態	Wang N; Besser JM; Buckler DR; Honegger JL; Ingersoll CG; Johnson BT; Kurtaweil ML; "MacGregor J; McKee MJ	2005	Influence of sediment on the fate and toxicity of a polyethoxylated tallowamine surfactant system (MON 0818) in aquatic microcosms	Chemosphere., 59(4), 545-551	USEPA	②
1183	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	White, A.L., and C. Boutin	2007	Herbicidal effects on nontarget vegetation: investigating the limitations of current pesticide registration guidelines	Environ, Toxicol. Chem. 26 (12): 2634-2643	USEPA	②

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1184	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Williams, B. K. and R. D. Semlitsch	2010	Larval Responses of Three Midwestern Anurans to Chronic, Low-Dose Exposures of Four Herbicides. Arch, Environ	Arch, Environ. Contam. Toxicol. 58: 819-827	USEPA	②
1185	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Wyrill II, .B., and Bumside, O.C	1977	Glyphosate toxicity to common milkweed and hemp dogbane as influenced by surfactants.	Weed Science Society of America. 25(3): 275-287,	USEPA	②
1186	1:ヒトに対する毒性	Akanuma, M.	1995	HR-001: Reverse Mutation Test. Kodaira Laboratories. The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan.	Laboratory Project ID: IET 94-0142. April 3, 1995. MRID 50017102. Unpublished.	EPA	③
1187	1:ヒトに対する毒性	Alvarez-Moya et al.	2014	"Comparison of the in vivo and in vitro genotoxicity of glyphosate isopropylamine salt in three different organisms".	Genetics and Molecular Biology, 37, 1, 105110	EPA	③
1188	1:ヒトに対する毒性	Andreotti, G., Freeman, L.E., Hou, L., Coble, J., Rusiecki, J., Hoppin, J.A., Silverman, D.T., and Alavanja, M.C.	2009	Agricultural pesticide use and pancreatic cancer risk in the Agricultural Health Study Cohort.	International Journal of Cancer 124, 2495-2500.	EPA	③
1189	1:ヒトに対する毒性	Andreotti G., Koutros S., Hofmann J.N., Sandler D.P., Lubin J.H., Lynch C.F., Lerro C.C., De Roos A.J., Parks C.G., Alavanja M.C., Silverman D.T., Beane Freeman L.E.	2017	Glyphosate Use and Cancer Incidence in the Agricultural Health Study.	J Natl Cancer Inst. 110 (5). Nov. 2017.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1190	1:ヒトに対する毒性	Atkinson, C., Strutt, A., Henderson, W., et al.	1993	104-Week Chronic Feeding/ Oncogenicity study in rats with 52-week interim kill.	MRID No. 49631701. Unpublished	EPA	③
1191	1:ヒトに対する毒性	Atkinson, C., Martin, T., Hudson, P., and Robb, D.	1993	Glyphosate: 104 week dietary carcinogenicity study in mice.	Inveresk Research International, Tranent, EH33 2NE, Scotland. IRI Project No. 438618. April 7, 1993. MRID 49631702. Unpublished.	EPA	③
1192	1:ヒトに対する毒性	Band, P.R., Abanto, Z., Bert, J., Lang, B., Fang, R., Gallagher, R.P., and Le, N.D.	2011	Prostate cancer risk and exposure to pesticides in British Columbia farmers.	The Prostate 71, 168-183.	EPA	③
1193	1:ヒトに対する毒性	Baris, D, Garrity, TJ, Telles, JL, Heineman, EF, Olshan, A, Hoar Zahm, S.	2001	American Journal of Industrial Medicine.	39: 463-476.	EPA	③
1194	1:ヒトに対する毒性	Benbrook	2016	Trends in glyphosate herbicide use in the United States and globally.	Environmental Sciences Europe. 28(3).	EPA	③
1195	1:ヒトに対する毒性	Benjamini, Y and Hochberg, Y.	1995	Controlling the false discovery rate: a practical and powerful approach to multiple testing.	Journal of the Royal Statistical Society B. 57: 289-300.	EPA	③
1196	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi, C., Bonatti, S., Degan, P., Gallerani, E., Peluso, M., Rabboni, R., Roggieri, P., and Abbondando lo, A.	1997	Genotoxic activity of glyphosate and its technical formulation roundup.	Journal of Agricultural and Food Chemistry 45, 1957-1962.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1197	1:ヒトに対する毒性	Brammer.	2001	Glyphosate Acid: Two Year Dietary Toxicity and Oncogenicity Study in Wistar Rats.	Central Toxicology Laboratory, Alderley Park Macclesfield, Cheshire, UK: Syngenta. MRID 49704601. Unpublished.	EPA	③
1198	1:ヒトに対する毒性	Brown, L.M., Blair, A., Gibson, R., Everett, G.D., Cantor, K.P., Schuman, L.M., Burmeister, L.F., Vanlier, S.F., and Dick, F.	1990	Pesticide Exposures and Other Agricultural Risk Factors for Leukemia among Men in Iowa and Minnesota.	Cancer Research 50, 6585-6591.	EPA	③
1199	1:ヒトに対する毒性	Brown, L.M., Burmeister, L.F., Everett, G.D., and Blair, A.	1993	Pesticide Exposures and Multiple Myeloma in Iowa Men.	Cancer Causes Control 4, 153-156.	EPA	③
1200	1:ヒトに対する毒性	Brayton et al.,	2012	Pathology of aging mice and GEM background strains and experimental design.	Vet Path. 49 (1): 85-105.	EPA	③
1201	1:ヒトに対する毒性	Burnett, P., Borders, J., Kush, J.	1979	(1979) Report to Monsanto Company: Two Year Chronic Oral Toxicity Study with CP- 76100 in Albino Rats: IBT	No. 8560-08924. (Unpublished study received Jun 24, 1982 under 524-308; prepared by Industrial Bio-Test Laboratories, Inc., submitted by Monsanto Co., Washington, DC; CDL:247746-A; 247745; 247747; 247748; 247749; 247750; 247751; 247752)	EPA	③
1202	1:ヒトに対する毒性	Collander R.D.	1996	Glyphosate Acid: An Evaluation of Mutagenic Potential Using S. typhimurium and E. coli.	Central Toxicology Laboratory, Cheshire, UK. Laboratory Project ID: CTL/P/4874 Study No. YV3611. February 16, 1996. MRID 44320617. Unpublished.	EPA	③
1203	1:ヒトに対する毒性	Cantor, K.P., Blair, A., Brown, L.M., Burmeister, L.F., and Everett, G.	1993	Pesticides and Other Agricultural Risk Factors for Non-Hodgkin's Lymphoma among Men in Iowa and Minnesota.	Cancer Res. 52:2447-55.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1204	1:ヒトに対する毒性	Carreón, T., Butler, M.A., Ruder, A.M., Waters, M.A., Davis- King, K.E., Calvert, G.M., Schulte, P.A., Connally, B., Ward, E.M., Sanderson, W.T., et al.	2005	Gliomas and Farm Pesticide Exposure in Women: The Upper Midwest Health Study.	Environmental Health Perspectives 113, 546-551.	EPA	③
1205	1:ヒトに対する毒性	Cimino, M.C.	2006	Comparative overview of current international strategies and guidelines for genetic toxicology testing for regulatory purposes.	Environmental and Molecular Mutagenesis 47 (9): 362-390.	EPA	③
1206	1:ヒトに対する毒性	Chang, E.T., and Delzell, E.	2016	Systematic review and meta-analysis of glyphosate exposure and risk of lymphohematopoietic cancers.	Journal of environmental science and health Part B, Pesticides, food contaminants, and agricultural wastes 51, 402-434.	EPA	③
1207	1:ヒトに対する毒性	Chhabra et al.	1990	An over view of prechronic and chronic toxicity/carcinogenicity experimental study designs and criteria used by the National Toxicology Program.	Environ Health Perspect. 86: 313-321.	EPA	③
1208	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska et al.	2000	Glyphosate: evaluation of chronic activity and possible far-reaching effects. Part 1. Studies on chronic toxicity.	Pestycydy (Warsaw). 3-4: 11-20.	EPA	③
1209	1:ヒトに対する毒性	Collins, A.R., Oscoz, A.A., Brunborg, G., Gaivão, I., Giovannelli, L., Kruszewski, M., C.C., Stetina, R.	2008	The Comet assay: topical issues.	Mutagenesis 23 (3): 143-151.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書 情報
1210	1:ヒトに対する毒性	Cocco, P., Satta, G., Dubois, S., Pili, C., Pilleri, M., Zucca, M., t Mannetje, A.M., Becker, N., Benavente, Y., de Sanjose, S., et al.	2013	Lymphoma risk and occupational exposure to pesticides: results of the Epilymph study.	Occupational and environmental medicine 70, 91-98.	EPA	③
1211	1:ヒトに対する毒性	Cooke et al.,	2003	Oxidative DNA damage: mechanisms, mutation, and disease.	FASEB J. 17 (10): 1195-214.	EPA	③
1212	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska , K. et al.	2000	Glyphosate Evaluation of chronic activity and possible far-reaching effects. Part 2. Studies on mutagenic activity.	Pestycydy, 2000, (3-4), 21-25. Published.	EPA	③
1213	1:ヒトに対する毒性	Dennis, L.K., Lynch, C.F., Sandler, D.P., and Alavanja, M.C.	2010	Pesticide use and cutaneous melanoma in pesticide applicators in the agricultural health study.	Environ Health Perspect 118, 812-817.	EPA	③
1214	1:ヒトに対する毒性	De Roos, A.J., Zahm, S.H., Cantor, K.P., Weisenburg er, D.D., Holmes, F.F., Burmeister, L.F., and Blair, A.	2003	Integrative assessment of multiple pesticides as risk factors for nonHodgkin's lymphoma among men.	Occupational and environmental medicine 60. 1-9.	EPA	③
1215	1:ヒトに対する毒性	De Roos, A. J., et al.	2005	"Cancer incidence among glyphosate-exposed pesticide applicators in the Agricultural Health Study."	Environ Health Perspect 113(1): 49-54.	EPA	③
1216	1:ヒトに対する毒性	Durward, R.	2006	Technical Glyphosate: Micronucleus Test in the Mouse.	Safepharm Laboratories Limited, Shardlow Business Park, Shardlow, Derbyshire DE72 2GD, UK, Study No. 2060/014. February 8, 2006. MRID 49957411. Unpublished.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1217	1:ヒトに対する毒性	Engel, L.S., Hill, D.A., Hoppin, J.A., Lubin, J.H., Lynch, C.F., Pierce, J., Samanic, C., Sandler, D.P., Blair, A., and Alavanja, M.C.	2005	Pesticide use and breast cancer risk among farmers' wives in the agricultural health study.	Am J Epidemiol 161, 121-135.	EPA	③
1218	1:ヒトに対する毒性	Enemoto, K.	1997	HR-001: 24-Month Oral Chronic Toxicity and Oncogenicity Study in Rats, Vol. 1.	The Institute of Environmental Toxicology, Kodaira-shi, Tokyo, Japan, Arysta Life Sciences, Study No.: IET 94-0150. MRID 50017104, 50017105, 5001703. Unpublished.	EPA	③
1219	1:ヒトに対する毒性	Eriksson, M., Hardell, L., Carlberg, M., and Akerman, M.	2008	Pesticide exposure as risk factor for non-Hodgkin lymphoma including histopathological subgroup analysis.	International journal of cancer 123, 1657-1663.	EPA	③
1220	1:ヒトに対する毒性	Excel	1997	Combined chronic toxicity/carcinogenicity study of glyphosate technical in Sprague Dawley rats.	Pune, India: Indian Institute of Toxicology.	EPA	③
1221	1:ヒトに対する毒性	Fisher, RA.	1950	Statistical methods for research workers.	Edinburgh, Scotland: Oliver and Boyd.	EPA	③
1222	1:ヒトに対する毒性	Flower, K.B., Hoppin, J.A., Lynch, C.F., Blair, A., Knott, C., Shore, D.L., and Sandler, D.P.	2004	Cancer Risk and Parental Pesticide Application in Children of Agricultural Health Study Participants.	Environmental Health Perspectives 112, 631-635.	EPA	③
1223	1:ヒトに対する毒性	Flowers, L.J., and Kier, L.D., Hannah, L.H.	1978	Final Report on Salmonella Mutagenicity Assay of Glyphosate:	Test No. LF-78-161. MRID 00078620. Unpublished.	EPA	③
1224	1:ヒトに対する毒性	Fontana et al	1998	Incidence rates of lymphomas and environmental measurements of phenoxy herbicides: ecological analysis and case-control study.	Archives of Environmental Health: An International Journal. 53: 384-387.	EPA	③
1225	1:ヒトに対する毒性	Fox, V.	1998	Glyphosate acid: In vitro cytogenetic assay in human lymphocytes.	Central Toxicology Laboratory, Cheshire, UK. Report CTL/P/6050. October 29, 1998. MRID 49961803. Unpublished	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1226	1:ヒトに対する毒性	Fox and Mackay	1996	Glyphosate acid: Mouse bone marrow micronucleus test.	Central Toxicology Laboratory, Cheshire, UK. March 21, 1996. MRID 44320619. Unpublished.	EPA	③
1227	1:ヒトに対する毒性	Green and Owen,	2011	Herbicide-resistant crops: utilities and limitations for herbicideresistant weed management.	J. Agric Food Chem. 59 (11): 5819-29.	EPA	③
1228	1:ヒトに対する毒性	Greim, H., et al.	2015	"Evaluation of carcinogenic potential of the herbicide glyphosate, drawing on tumor incidence data from fourteen chronic/carcinogenicity rodent studies."	Crit Rev Toxicol 45(3): 185-208.	EPA	③
1229	1:ヒトに対する毒性	George, J., et al.	2010	"Studies on glyphosate-induced carcinogenicity in mouse skin: a proteomic approach."	J Proteomics 73(5): 951-964.	EPA	③
1230	1:ヒトに対する毒性	Ghisi, N.d.C., de Oliveira, E.C., and Prioli, A.J.	2016	Does exposure to glyphosate lead to an increase in the micronuclei frequency? A systematic and meta-analytic review.	Chemosphere 145, 42-54.	EPA	③
1231	1:ヒトに対する毒性	Giknis, M. L. A., and Clifford, C. B.	2005	Spontaneous Neoplastic Lesions in the CrI:CD1 (ICR) Mouse in Control Groups from 18 Month to 2 Year Studies.	Charles River. http://www.criver.com/files/pdfs/rms/cd1/rm_rm_r_lesions_crl_cd_1_icr_mouse.aspx	EPA	③
1232	1:ヒトに対する毒性	Hardell, L., Eriksson, M., and Nordstrom, M.	2002	Exposure to pesticides as risk factor for non-Hodgkin's lymphoma and hairy cell leukemia: Pooled analysis of two Swedish case-control studies.	Leukemia & Lymphoma 43, 1043-1049.	EPA	③
1233	1:ヒトに対する毒性	Hardell, L., and Eriksson, M.	1999	A case-control study of non-Hodgkin lymphoma and exposure to pesticides.	Cancer 85, 1353-1360.	EPA	③
1234	1:ヒトに対する毒性	Haseman, JK.	1995	Data analysis: Statistical analysis and use of historical control data.	Regul Toxicol Pharmacol 21:52-59.	EPA	③
1235	1:ヒトに対する毒性	Hill AB	1965	The Environment and Disease: Association or Causation?	Proc R Soc Med. May 1965; 58(5): 295-300.	EPA	③
1236	1:ヒトに対する毒性	Hoar et al.	1986	Agricultural herbicide use and risk of lymphoma and soft-tissue sarcoma.	JAMA. 256:1141-1147.	EPA	③
1237	1:ヒトに対する毒性	Hohenadel, K., Harris, S.A., McLaughlin, J.R., Spinelli, J.J., Pahwa, P., Dosman, J.A., Demers, P.A., and Blair, A.	2011	Exposure to multiple pesticides and risk of non-Hodgkin lymphoma in men from six Canadian provinces.	International journal of environmental research and public health 8, 2320-2330.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1238	1:ヒトに対する毒性	Hornarvar, N.	2008	Technical Glyphosate: Micronucleus Test of the Mouse.	RCC, Cytotest Cell Research GmbH (RCC-CCR0, In den Leppsteinswiesen 19, 64380 Rossdorf, Germany, Study No. 1158500. June 9, 2008. MRID 49961802. Unpublished.	EPA	③
1239	1:ヒトに対する毒性	Hsu and Stedeford	2010	Cancer Risk Assessment: Chemical Carcinogenesis, Hazard Evaluation, and Risk Quantification.	John Wiley & Sons.	EPA	③
1240	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J.C.,	1991	Mutagenicity test: Ames Salmonella Assay with Glyphosate, Batch 206JaK-25-1.	Scantox A/S, Lemvig, Denmark. Laboratory No. 12323. October 9, 1991. MRID 49961502. Unpublished.	EPA	③
1241	1:ヒトに対する毒性	Jensen, J.C.	1991	Mutagenicity test: In vitro mammalian cell gene mutation test with glyphosate, batch 206-JaK-25-1.	Scantox A/S, Lemvig, Denmark. Laboratory No. 12325. October 9, 1991. MRID 49961504. Unpublished.	EPA	③
1242	1:ヒトに対する毒性	Jensen, JC	1991	Mutagenicity test: Micronucleus test with Glyphosate, batch 206-JAK-251.	Scantox A/S, Lemvig, Denmark. Report number 12324. December 9, 1991. MRID 49961503.	EPA	③
1243	1:ヒトに対する毒性	Kachuri, L., Demers, P.A., Blair, A., Spinelli, J.J., Pahwa, M., McLaughlin, J.R., Pahwa, P., Dosman, J.A., and Harris, S.A.	2013	Multiple pesticide exposures and the risk of multiple myeloma in Canadian men.	International journal of cancer 133, 1846-1858.	EPA	③
1244	1:ヒトに対する毒性	Karipidis et al.	2007	Occupational exposure to ionizing and non-ionizing radiation and risk of non-Hodgkin lymphoma.	Int Arch Occup Environ Health. 80: 663-670.	EPA	③
1245	1:ヒトに対する毒性	Karunanayake, CP, McDuffie, HH, Dosman, JA, Spinelli, JJ, Pahwa, P.	2008	Occupational exposures and non-Hodgkin's lymphoma: Canadian case-control study.	Environmental Health. 7:44.	EPA	③
1246	1:ヒトに対する毒性	Karunanayake, C.P., Spinelli, J.J., McLaughlin, J.R., Dosman, J.A., Pahwa, P., and McDuffie, H.H.	2012	Hodgkin lymphoma and pesticides exposure in men: a Canadian case-control study.	Journal of agromedicine 17, 30-39.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1247	1:ヒトに対する毒性	Kaufman, D.W., Anderson, T.E., and Issaragrisil, S.	2009	Risk factors for leukemia in Thailand.	Annals of hematology 88, 1079-1088.	EPA	③
1248	1:ヒトに対する毒性	Kato et al.	2005	Personal and occupational exposure to organic solvents and risk of nonHodgkin's lymphoma (NHL) in women (United States).	Cancer Causes & Control. 16:1215-1224.	EPA	③
1249	1:ヒトに対する毒性	Kier, L. D.	2015	"Review of genotoxicity biomonitoring studies of glyphosate-based formulations."	Crit Rev Toxicol 45(3): 209-218.	EPA	③
1250	1:ヒトに対する毒性	Kier and Kirkland	2013	Review of genotoxicity studies of glyphosate and glyphosate-based formulations.	Critical Reviews in Toxicology. 43: 283-315.	EPA	③
1251	1:ヒトに対する毒性	Knezevich, A.L and Hogan, G. K.	1983	A chronic feeding study of glyphosate in mice.	Unpublished report prepared by Bio/Dynamic Inc., dated July 21, 1983. Report No. 77-2011. EPA Accession No. 251007 – 251009, and 251014. EPA Accession no. 251007-09, 251014. Unpublished.	EPA	③
1252	1:ヒトに対する毒性	Koller, V.J., Furhacker, M., Nersesyan, A., Misik, M., Eisenbauer, M., and Knasmueller, S.	2012	Cytotoxic and DNA-damaging properties of glyphosate and Roundup in human-derived buccal epithelial cells.	Archives of toxicology 86, 805-813.	EPA	③
1253	1:ヒトに対する毒性	Koureas, M., Tsezou, A., Tsakalof, A., Orfanidou, T., and Hadjichristodoulou, C.	2014	Increased levels of oxidative DNA damage in pesticide sprayers in Thessaly Region (Greece). Implications of pesticide exposure.	The Science of the total environment 496, 358-364.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1254	1:ヒトに対する毒性	Koutros, S., Beane Freeman, L.E., Lubin, J.H., Heltshe, S.L., Andreotti, G., Barry, K.H., DellaValle, C.T., Hoppin, J.A., Sandler, D.P., Lynch, C.F., et al.	2013	Risk of total and aggressive prostate cancer and pesticide use in the Agricultural Health Study.	Am J Epidemiol 177, 59-74.	EPA	③
1255	1:ヒトに対する毒性	Kumar, D.P.S.	2001	Carcinogenicity Study with Glyphosate Technical in Swiss Albino Mice,	Toxicology Department Rallis Research Centre, Rallis India Limited. Study No. TOXI: 1559.CARCI-M. MRID 49987403. Unpublished.	EPA	③
1256	1:ヒトに対する毒性	Landgren, O., Kyle, R.A., Hoppin, J.A., Beane Freeman, L.E., Cerhan, J.R., Katzmann, J.A., Rajkumar, S.V., and Alavanja, M.C.	2009	Pesticide exposure and risk of monoclonal gammopathy of undetermined significance in the Agricultural Health Study.	Blood 113, 63866391.	EPA	③
1257	1:ヒトに対する毒性	J. Langsdale et al.	2009	Glyphosate. Human Health Assessment Scoping Document in Support of Registration Review.	June 3, 2009. D362745.	EPA	③
1258	1:ヒトに対する毒性	Lankas, G, P.	1981	A Lifetime Study of Glyphosate in Rats. Report No. 77-2062 prepared by Bio Dynamics, Inc.	EPA Accession. No. 247617 – 247621. December 23, 1981. MRID 00093879. Unpublished.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1259	1:ヒトに対する毒性	Lee, W.J., Cantor, K.P., Berzofsky, J.A., Zahm, S.H., and Blair, A.	2004	Non-Hodgkin's lymphoma among asthmatics exposed to pesticides.	International journal of cancer 111, 298-302.	EPA	③
1260	1:ヒトに対する毒性	Lee, W.J., Lijinsky, W., Heineman, E.F., Markin, R.S., Weisenburger, D.D., and Ward, M.H.	2004	Agricultural pesticide use and adenocarcinomas of the stomach and oesophagus.	Occupational and environmental medicine 61, 743-749.	EPA	③
1261	1:ヒトに対する毒性	Lee, W.J., Colt, J.S., Heineman, E.F., McComb, R., Weisenburger, D.D., Lijinsky, W., and Ward, M.H.	2005	Agricultural pesticide use and risk of glioma in Nebraska, United States.	Occupational and environmental medicine 62, 786-792.	EPA	③
1262	1:ヒトに対する毒性	Lee, W.J., Sandler, D.P., Blair, A., Samanic, C., Cross, A.J., and Alavanja, M.C.	2007	Pesticide use and colorectal cancer risk in the Agricultural Health Study.	International journal of cancer 121, 339-346.	EPA	③
1263	1:ヒトに対する毒性	Li, A.P.	1983	CHO/HGPRT gene mutation assay with glyphosate.	Environmental Health Lab, St. Louis, MO. Study Number T830044. October 20, 1983. MRID 00132681. Unpublished.	EPA	③
1264	1:ヒトに対する毒性	Li, A.P.	1983	In vivo bone marrow cytogenetic study of glyphosate in Sprague Dawley rats.	Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO. October 20, 1983. MRID 00132683. Unpublished.	EPA	③
1265	1:ヒトに対する毒性	Li, A. P. and T. J. Long	1988	An evaluation of the genotoxic potential of glyphosate.	Fundam Appl Toxicol 10(3): 537-546.	EPA	③
1266	1:ヒトに対する毒性	Lioi M.B., et al.	1998	Genotoxicity and oxidative stress induced by pesticide exposure in bovine lymphocyte cultures in vitro.	Mutation Research- Fundamental and Molecular Mechanisms of Mutagenesis. 403 (1-2), 13-20.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1267	1:ヒトに対する毒性	Lioi M.B., et al.	1998	Cytogenetic Damage and Induction of Pro-Oxidant State in Human Lymphocytes Exposed In Vitro to Glyphosate, Vinclozolin, Atrazine, and DPX-E9636.	Environmental and Molecular Mutagenesis 32: 39-46.	EPA	③
1268	1:ヒトに対する毒性	., Scarfi, M.R., Santoro, A., Barbieri, R., Zeni, O., Salvemini, F., Di Berardino, D., and Ursini, M.V.	1998	Lioi, M.B Cytogenetic damage and induction of pro-oxidant state in human lymphocytes exposed in vitro to glyphosate, vinclozolin, atrazine, and DPX-EP636.	Environmental and Molecular Mutagenesis 32, 39-46.	EPA	③
1269	1:ヒトに対する毒性	Lioi, M.B., Scarfi, M.R., Santoro, A., Barbieri, R., Zeni, O., Di Berardino, D., and Ursini, M.V.	1998	Genotoxicity and oxidative stress induced by pesticide exposure in bovine lymphocyte cultures in vitro.	Mutation Research-Fundamental and Molecular Mechanisms of Mutagenesis 403, 13-20.	EPA	③
1270	1:ヒトに対する毒性	Lowit et al.	2015	Literature Review on Neurodevelopmental Effects & FQPA Safety Factor Determination for the Organophosphate Pesticides.	Office of Pesticide Programs US Environmental Protection Agency September 15, 2015. D331251.	EPA	③
1271	1:ヒトに対する毒性	Maizlish, N, Beaumont, J, Singleton, J.	1998	Mortality among California highway workers.	American Journal of Industrial Medicine. 13: 363-379.	EPA	③
1272	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J.; Zameck, R.; Matheson, D.	1982	SC-0224 (Lot No. 7269- 10): Mutagenicity Evaluation in Salmonella typhimurium:	Report No. T-10847. MRID 00126612. Unpublished.	EPA	③
1273	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J.	1982	Morphological transformation of Balb/3T3 cells.	Report No. T-10884. MRID 00126616. Unpublished.	EPA	③
1274	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J.	1982	Mutagenicity evaluation of bone marrow cytogenetic analysis in rats.	Report No. T10884. MRID 00132176. Unpublished.	EPA	③
1275	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J.	1985	Mutagenicity Evaluation in Salmonella typhimurium:	SC-0224: Report No. T-12660. MRID 00155527. Unpublished.	EPA	③
1276	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J.	1985	Mutagenicity Evaluation in Mouse Lymphoma Multiple Endpoint Test Forward Mutation Assay:	SC-0224: Report No. T-12661. MRID 00155528. Unpublished.	EPA	③
1277	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J.	1985	Mutagenicity Evaluation in Chinese Hamster Ovary Cytogenetic Assay:	SC0224: Report No. T-12663. MRID 00155530. Unpublished.	EPA	③
1278	1:ヒトに対する毒性	Majeska, J	1987	Mutagenic evaluation in bone marrow micronucleus.	Environmental Health Center, Farmington, CT. Study Report No. T12689/SC-0024. April 23, 1987. MRID 40214004. Unpublished.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1279	1:ヒトに対する毒性	Mañas, F., Peralta, L., Raviolo, J., Ovando, H.G., Weyers, A., Ugnia, L., Cid, M.G., Larripa, I., and Gorla, N.	2009	Genotoxicity of glyphosate assessed by the comet assay and cytogenetic tests.	Environmental toxicology and pharmacology 28, 37-41.	EPA	③
1280	1:ヒトに対する毒性	Mañas, F., Peralta, L., Ugnia, L., Weyers, A., García Ovando, H., and Gorla, N.	2013	Oxidative stress and comet assay in tissues of mice administered glyphosate and ampa in drinking water for 14 days.	BAG Journal of basic and applied genetics 24, 67-75.	EPA	③
1281	1:ヒトに対する毒性	Marques, M.F.C.	1999	A Micronucleus Study in Mice for Glifosate Tecnico Nufarm. Bioagri Laboratorios Ltda.	Study No: RF-G12.79/99. December 27, 1999. MRID 49957412. Unpublished.	EPA	③
1282	1:ヒトに対する毒性	Matsumoto	1995	HR-001: In vitro cytogenetics test.	The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory Project ID: IET 94-0143. May 29, 1995. MRID 50017106. Unpublished.	EPA	③
1283	1:ヒトに対する毒性	McConnell, EE; Solleveld, HA; Swenberg, JA; et al.	1986	Guidelines for combining neoplasms for evaluation of rodent carcinogenesis studies.	J Natl Cancer Inst 76:283-289.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書 情報
1284	1:ヒトに対する毒性	McDuffie, H.H., Pahwa, P., McLaughlin, J.R., Spinelli, J.J., Fincham, S., Dosman, J.A., Robson, D., Skinnider, L.F., and Choi, N.W.	2001	Non-Hodgkin's lymphoma and specific pesticide exposures in men: Cross-Canada study of pesticides and health.	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 10, 1155-1163.	EPA	③
1285	1:ヒトに対する毒性	McDuffie, HH, Pahwa, P, McLaughlin, JR, Fincham, S, Robson, D, Dosman, JA, Hu, J.	2002	Canadian male farm residents, pesticide safety handling practices, exposure to animals and nonHodgkin's lymphoma (NHL).	American Journal of Industrial Medicine. 42: 54-61.	EPA	③
1286	1:ヒトに対する毒性	McDuffie, HH, P Pahwa, JJ Spinelli, JR McLaughlin, S. Fincham, D. Robson, JA Dosman, J. Hu.	2002	Canadian Male Farm Residents, Pesticide Safety Handling Practices, Exposure to Animals, and Non-Hodgkin's Lymphoma.	American Journal of Industrial Medicine Supplement 2: 54-61	EPA	③
1287	1:ヒトに対する毒性	Meek ME, Boobis A, Cote I, Dellarco V, Fotakis G, Munn S, Seed J, Vickers C.	2014	New developments in the evolution and application of the WHO/IPCS framework on mode of action/species concordance analysis.	J Appl Toxicol. 2014 Jan;34(1):1-18.	EPA	③
1288	1:ヒトに対する毒性	Mink, P. J., et al.	2012	"Epidemiologic studies of glyphosate and cancer: a review."	Regul Toxicol Pharmacol 63(3): 440-452.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1289	1:ヒトに対する毒性	Mladinic, M., Berend, S., Vrdoljak, A.L., Kopjar, N., Radic, B., and Zeljezic, D.	2009	Evaluation of genome damage and its relation to oxidative stress induced by glyphosate in human lymphocytes in vitro.	Environmental and molecular mutagenesis 50, 800-807.	EPA	③
1290	1:ヒトに対する毒性	Mladinic, M., Perkovic, P., and Zeljezic, D.	2009	Characterization of chromatin instabilities induced by glyphosate, terbuthylazine and carbofuran using cytome FISH assay.	Toxicology letters 189, 130-137.	EPA	③
1291	1:ヒトに対する毒性	Moriya, M. et al.	1983	Further mutagenicity studies on pesticides in bacterial reverse assay systems.	Mutation Research, 116 (1983), 185-216.	EPA	③
1292	1:ヒトに対する毒性	Morton et al.	2014	Etiologic heterogeneity among non-Hodgkin lymphoma subtypes: the interlymp non-Hodgkin lymphoma subtypes project.	J Natl Cancer Inst Monogr 48: 130-144.	EPA	③
1293	1:ヒトに対する毒性	Nordstrom, M., Hardell, L., Magnuson, A., Hagberg, H., and Rask-Andersen, A.	1998	Occupational exposures, animal exposure and smoking as risk factors for hairy cell leukaemia evaluated in a case-control study.	Br J Cancer 77, 2048-2052.	EPA	③
1294	1:ヒトに対する毒性	NTP	1992	NTP technical report on the toxicity studies of Glyphosate (CAS No. 1071-83-6) Administered In Dosed Feed To F344/N Rats And B6C3F1 Mice.	Toxic Rep Ser 16: 1-d3.	EPA	③
1295	1:ヒトに対する毒性	OECD	2015	Guidance Document on Revisions to OECD Genetic Toxicology Test Guidelines.	August 31, 2015.	EPA	③
1296	1:ヒトに対する毒性	Olsson and Brandt	1988	Risk of non-Hodgkin's lymphoma among men occupationally exposed to organic solvents.	Scandinavian Journal of Work, Environment, & Health.14 (1988) 246-251 14:246251.	EPA	③
1297	1:ヒトに対する毒性	Orsi, L., Delabre, L., Monnereau, A., Delval, P., Berthou, C., Fenaux, P., Marit, G., Soubeyran, P., Huguet, F., Milpied, N., et al.	2009	Occupational exposure to pesticides and lymphoid neoplasms among men: results of a French case-control study.	Occupational and environmental medicine 66, 291-298.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1298	1:ヒトに対する毒性	Pahwa, P., Karunanaya ke, C.P., Dosman, J.A., Spinelli, J.J., McLaughlin, J.R., and CrossCanada, G.	2011	Soft-tissue sarcoma and pesticides exposure in men: results of a Canadian case-control study. Journal of occupational and environmental medicine /	American College of Occupational and Environmental Medicine 53, 1279-1286.	EPA	③
1299	1:ヒトに対する毒性	Pahwa, P., Karunanaya ke, C.P., Dosman, J.A., Spinelli, J.J., McDuffie, H.H., and McLaughlin, J.R.	2012	Multiple myeloma and exposure to pesticides: a Canadian case-control study.	Journal of agromedicine 17, 40-50.	EPA	③
1300	1:ヒトに対する毒性	Parajuli, K. R., et al.	2015	"Aminomethylphosphonic acid and methoxyacetic acid induce apoptosis in prostate cancer cells."	Int J Mol Sci 16(5): 11750-11765.	EPA	③
1301	1:ヒトに対する毒性	Parajuli, K. R., et al.	2016	"Aminomethylphosphonic acid inhibits growth and metastasis of human prostate cancer in an orthotopic xenograft mouse model."	Oncotarget 7(9): 10616-10626.	EPA	③
1302	1:ヒトに対する毒性	Pavkov, K.L.I, Turnier, J.C.	1987	Two-Year Chronic Toxicity and Oncogenicity Dietary Study with SC-0224 in Mice.	Stauffer Chemical Company. MRID 40214006. Unpublished.	EPA	③
1303	1:ヒトに対する毒性	Pavkov, K.L.I, Wyand, S.	1987	Two-Year Chronic Toxicity and Oncogenicity Dietary Study with SC-0224 in Rats.	Stauffer Chemical Company. MRID 40214006. Unpublished.	EPA	③
1304	1:ヒトに対する毒性	Peluso M. et al.	1998	32P-Postlabeling detection of DNA adducts in mice treated with herbicide Roundup.	Environ and Mol Mutagen 31:55-59.	EPA	③
1305	1:ヒトに対する毒性	Piesova, E.	2004	The influence of different treatment length on the induction of micronuclei in bovine lymphocytes after exposure to glyphosate.	Folia Veterinaria 48, 130-134.	EPA	③
1306	1:ヒトに対する毒性	Piesova, E.	2005	The effect of glyphosate on the frequency of micronuclei in bovine lymphocytes in vitro.	Acta Veterinaria-Beograd 55, 101-109.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1307	1:ヒトに対する毒性	Portier, C.J., Armstrong, B.K., Baguley, B.C., Baur, X., Belyaev, I., Belle, R., Belpoggi, F., Biggeri, A., Bosland, M.C., Bruzzi, P., et al.	2016	Differences in the carcinogenic evaluation of glyphosate between the International Agency for Research on Cancer (IARC) and the European Food Safety Authority (EFSA).	Journal of epidemiology and community health. August 2016 Vol 70 No 8	EPA	③
1308	1:ヒトに対する毒性	Rank, J., et al.	1993	"Genotoxicity testing of the herbicide Roundup and its active ingredient glyphosate isopropylamine using the mouse bone marrow micronucleus test, Salmonella mutagenicity test, and Allium anaphase-telophase test."	Mutat Res 300(1): 29-36.	EPA	③
1309	1:ヒトに対する毒性	Recore et al.	2014	Glyphosate: Tier II incident report.	February 6, 2014. D417808.	EPA	③
1310	1:ヒトに対する毒性	Reyna, M.S. Gordon, D.E.	1973	18-Month Carcinogenic Study with CP67573 in Swiss White Mice:	IBT No. B569. (Unpublished study, including sponsor's validation report dated Feb 1, 1978, received Jun 21, 1978 under 524-308; prepared by Industrial Bio-Test Laboratories, Inc., submitted by Monsanto Co., Washington, D.C.; CDL:234136-G). MRID 00061113. Unpublished.	EPA	③
1311	1:ヒトに対する毒性	Reyna, M.S. Richter, W.R. Gordon, D.E.	1974	Two- Year Chronic Oral Toxicity Study with CP67573 in Albino Rats:	IBT No. B564. MRID 00062507. Unpublished.	EPA	③
1312	1:ヒトに対する毒性	Ribeiro do Val, R.	2007	Bacterial reverse mutation test (Ames test) for Glifosato Technico Helm.	TECAM Tecnologia Ambiental Ltda., Sao Paulo, Brasil. Study Number 3393/2007-2.0AM, Report Number RL3393/2007-2.0 AM-B, December 13, 2007. MRID 50000903. Unpublished.	EPA	③
1313	1:ヒトに対する毒性	Rodney, DE	1980	Dominant lethal study in mice.	International Research and Development Corp. May 23, 1980. MRID 0004634	EPA	③
1314	1:ヒトに対する毒性	Roustan, A., et al.	2014	"Genotoxicity of mixtures of glyphosate and atrazine and their environmental transformation products before and after photoactivation."	Chemosphere 108: 93100.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1315	1:ヒトに対する毒性	Ruder, A.M., Waters, M.A., Butler, M.A., Carreon, T., Calvert, G.M., Davis- King, K.E., Schulte, P.A., Sanderson, W.T., Ward, E.M., Connally, L.B., et al.	2004	Gliomas and farm pesticide exposure in men: the upper midwest health study.	Archives of environmental health 59, 650-657.	EPA	③
1316	1:ヒトに対する毒性	Schinasi, L., and Leon, M.E.	2014	Non-Hodgkin lymphoma and occupational exposure to agricultural pesticide chemical groups and active ingredients: a systematic review and metaanalysis.	International journal of environmental research and public health 11, 4449-4527.	EPA	③
1317	1:ヒトに対する毒性	Shirasu, Y.; Moriya, M.; Ohta, T.	1978	Microbial Mutagenicity Testing on CP67573 (Glyphosate).	Apr 25, 1979 under 524-308; prepared by Institute of Environmental Toxicology, Japan, submitted by Monsanto Co., Washington, D.C.; CDL:238233-A. MRID 00078619. Unpublished.	EPA	③
1318	1:ヒトに対する毒性	Sivikova, K. and J. Dianovsky	2006	"Cytogenetic effect of technical glyphosate on cultivated bovine peripheral lymphocytes."	Int J Hyg Environ Health 209(1): 15-20.	EPA	③
1319	1:ヒトに対する毒性	Smith et al.,	2016	Key characteristics of carcinogens as a basis for organizing data on mechanisms of carcinogenesis.	Environmental Health Perspectives. 124: 713.	EPA	③
1320	1:ヒトに対する毒性	Snedecor, GW; Cochran, WG.	1967	Statistical methods, 6th ed. Ames, Iowa:	Iowa State University Press.	EPA	③
1321	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse Mutation Assay with Glyphosate Technical (NUP-05068).	RCC Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Study Number 1061401. March, 16, 2007. MRID 49957406. Unpublished.	EPA	③
1322	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse Mutation Assay with Glyphosate Technical (NUP-05070).	RCC Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Study Number 1061402. March, 16, 2007. MRID 49957407. Unpublished.	EPA	③
1323	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse Mutation Assay with Glyphosate Technical (NUP-05067).	RCC Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Study Number 1061403. March, 16, 2007. MRID 49957408. Unpublished.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1324	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2009	Glyphosate technical- Salmonella Typhimurium and Escherichia Coli reverse mutation assay.	Cytotest Cell Research GmbH (Harlan CCR), Rossdorf, German. Study and Report Number 1264500. December 18, 2009. MRID 49961801. Unpublished.	EPA	③
1325	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski, A.	2010	Salmonella typhimurium and Escherichia coli Reverse Mutation Assay with Glyphosate TC spiked with glyphosine.	RCC Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Study Number 1332300. April 7, 2010. MRID 500000902. Unpublished.	EPA	③
1326	1:ヒトに対する毒性	Sorahan, T.	2015	"Multiple Myeloma and Glyphosate Use: A Re-Analysis of US Agricultural Health Study (AHS) Data."	Int J Environ Res Public Health 12(2): 1548-1559.	EPA	③
1327	1:ヒトに対する毒性	Stout, L. D. and Ruecker, P.A.	1990	Chronic Study of Glyphosate Administered in Feed to Albino Rats.	MRID No. 41643801; Historical Controls. MRID 41728700. Unpublished.	EPA	③
1328	1:ヒトに対する毒性	Sugimoto, K.	1997	HR-001: 18-Month Oral Oncogenicity Study in Mice, Vol. 1 and 2.	The Institute of Environmental Toxicology, 2-772, Suzuki-cho, Kodaira-shi, Tokyo, 187, Japan, Study No.: IET 94-0151. MRID 50017108, 50017109. Unpublished.	EPA	③
1329	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1993	Mutagenicity-Micronucleus Test in Swiss Albino Mice. Rallis India Limited.	Study No: TOXI: 889-MUT.MN. May 6, 1993. MRID 49987407. Unpublished.	EPA	③
1330	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1994	Genetic Toxicology- In vivo mammalian bone marrow cytogenetic test- Chromosomal analysis.	Rallis Agrochemical Research Station, Bangalore, India. January 1, 1994. MRID 49987408. Unpublished.	EPA	③
1331	1:ヒトに対する毒性	Suresh, T.P.	1996	Combined Chronic Toxicity and Carcinogenicity Study with Glyphosate Technical in Wistar Rats.	Toxicology Department Rallis Research Centre, Rallis India Limited, TOXI-1559, 002/1-GPT-CARCI-M. MRID 49987401. Unpublished.	EPA	③
1332	1:ヒトに対する毒性	Taddesse-Heath, L.; Chattopadhyay, S.K.; Dillehay, D.; Lander, M.R.; Nagashfar, Z.; Morse III, H.C.; Hartley, J.W.	2000	Lymphomas and high-level expression of murine leukemia viruses in CFW mice	Journal of Virology 74:6832-6837	EPA	③
1333	1:ヒトに対する毒性	Tarone, RE.	1982	The use of historical control information in testing for a trend in proportions.	Biometrics 38:215-220.	EPA	③
1334	1:ヒトに対する毒性	Thompson, P.W.	1996	Technical Glyphosate: Reverse Mutation Assay "Ames Test" using Salmonella typhimurium and Escherichia coli.	Safepharm Laboratories Limited, Derby, UK. Study Number 434/014. February 20, 1996. MRID 49957409. Unpublished.	EPA	③
1335	1:ヒトに対する毒性	Wang et al.	2009	Occupational exposure to solvents and risk of non-Hodgkin lymphoma in Connecticut women.	American Journal of Epidemiology. 169:176-185.	EPA	③
1336	1:ヒトに対する毒性	Ward, J. M.	2006	Lymphomas and leukemias in mice.	Experimental and Toxicologic Pathology, 57 (5-6): 377-381.	EPA	③
1337	1:ヒトに対する毒性	Weisenburger, D.D.	1992	Pathological Classification of Non-Hodgkin's Lymphoma for Epidemiological Studies.	Cancer Research 52, 5456S-5462S.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1338	1:ヒトに対する毒性	Wilderman, A.G. and Nazar, R.N.	1982	Significance of plant metabolism in the mutagenicity and toxicity of pesticides.	Canadian Journal of Genetics and Cytology 24(4): 437-449.	EPA	③
1339	1:ヒトに対する毒性	Williams, G. M., et al.	2000	"Safety Evaluation and Risk Assessment of the Herbicide Roundup and Its Active Ingredient, Glyphosate, for Humans."	Regulatory Toxicology and Pharmacology 31(2): 117-165.	EPA	③
1340	1:ヒトに対する毒性	Wood, E., Dunster, J., Watson, P., and Brooks, P.	2009	Glyphosate Technical: Dietary Combined Chronic Toxicity/Carcinogenicity Study in the Rat.	Harlan Laboratories Limited, Shardlow Business Park, Shardlow, Derbyshire DE72 2GD, UK. Study No. 2060-012. April, 23, 2009. MRID 49957404. Unpublished.	EPA	③
1341	1:ヒトに対する毒性	Wood, E., Dunster, J., Watson, P., and Brooks, P.	2009	Glyphosate Technical: Dietary Carcinogenicity Study in the Mouse.	Harlan Laboratories Limited, Shardlow Business Park, Shardlow, Derbyshire DE72 2GD, UK. Study No. 2060-011. April, 22, 2009. MRID 49957402. Unpublished.	EPA	③
1342	1:ヒトに対する毒性	Wright, N.P.	1996	Technical Glyphosate: Chromosomal aberration test in CHL cells in vitro.	Safepharm Laboratories Limited, Derby, UK. Study Number 434/015. March 13, 1996, MRID 49957410. Unpublished.	EPA	③
1343	1:ヒトに対する毒性	Yauk et al.,	2015	Approaches to identifying germ cell mutagens: Report of the 2013 IWGT workshop on germ cell assays.	Mutat Res Genet Toxicol Environ Mutagen, 783: 36-54.	EPA	③
1344	1:ヒトに対する毒性	Yiin, J.H., Ruder, A.M., Stewart, P.A., Waters, M.A., Carreon, T., Butler, M.A., Calvert, G.M., Davis-King, K.E., Schulte, P.A., Mandel, J.S., et al.	2012	The upper midwest health study: a case-control study of pesticide applicators and risk of glioma.	Environ Health 11, 13.	EPA	③
1345	1:ヒトに対する毒性	Zaccaria, C.B.	1996	A micronucleus study in mice for the product Glyphosate.	BioAgri. Study No: G.1.2 – 06/96. November 18, 1996. MRID 49961501. Unpublished.	EPA	③
1346	1:ヒトに対する毒性	Zahm et al	1990	A case-control study of non-Hodgkin's lymphoma and the herbicide 2,4dichlorophenoxyacetic acid (2,4-D) in Eastern Nebraska.	Epidemiology. 1:349-356.	EPA	③
1347	1:ヒトに対する毒性	Zhang et al.	2007	Ultraviolet radiation exposure and risk of non-Hodgkin's lymphoma.	American Journal of Epidemiology. 165: 1255-1264.	EPA	③

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1348	1:ヒトに対する毒性	Zoriki-Hosmi, Hosomi, R	2007	Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test for Glifosato Tecnico Helm.	Project Number: RL/3393/2007/3/OMN/B. MRID 50000901. Unpublished.	EPA	③
1349	1:ヒトに対する毒性	Ackermann W, Coenen M, Schrod W, Shehata AA, Krüger M	2015	The influence of glyphosate on the microbiota and production of botulinum neurotoxin during ruminal fermentation.	Curr Microbiol.. 70(3):374-82.	JMPR	④
1350	1:ヒトに対する毒性	cquavella JF, Alexander BH, Mandel JS, Gustin H, Baker B, Chapman P et al.	2004	AGlyphosate biomonitoring for farmers and their families: results from the Farm Family Exposure Study.	Environ Health Perspec.112:321-6.	JMPR	④
1351	1:ヒトに対する毒性	Acquavella JF, Weber JA, Cullen MR, Cruz OA, Martens MA, Holden LR et al.	1999	Human ocular effects from self-reported exposure to Roundup herbicides.	Hum Exp Toxicol. 18: 479-86.	JMPR	④
1352	1:ヒトに対する毒性	Akanuma M	1995	HR-001: Reverse mutation test.	The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Data owner: Arysta LifeScience. Study no.: IET 94-0142, dated 3 April 1995. Unpublished study.	JMPR	④
1353	1:ヒトに対する毒性	Akanuma M	1995	HR-001: DNA repair test (Rec-Assay).	The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET 94-0141, dated 14 March 1995. Sponsored by Sankyo Co. Ltd., Tokyo, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1354	1:ヒトに対する毒性	Akanuma M	1996	AMPA reverse mutation test.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET 96-0076. Sponsored by Sankyo Co., Ltd., Tokyo, Japan. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1355	1:ヒトに対する毒性	Alavanja MC, Dosemeci M, Samanic C, Lubin J, Lynch CF, Knott C et al.	2004	Pesticides and lung cancer risk in the agricultural health study cohort.	Am J Epidemiol. 160(9):876–85.	JMPR	④
1356	1:ヒトに対する毒性	Alavanja MC, Hofmann JN, Lynch CF, Hines CJ, Barry KH, Barker J et al.	2014	Non-Hodgkin lymphoma risk and insecticide, fungicide and fumigant use in the agricultural health study.	PLoS ONE.October 2014 Volume 9 Issue 10 9:e109332. doi:10.1371/journal.pone.0109332.	JMPR	④
1357	1:ヒトに対する毒性	Alison RH, Capen CC, Prentice DE	1994	Neoplastic lesions of questionable significance to humans.	Toxicol Pathol. 22;179–86.	JMPR	④
1358	1:ヒトに対する毒性	Allen SL	1996	Glyphosate acid: Comparison of salivary gland effects in three strains of rat.	Unpublished report no. CTL/P/5160, study no. PR 1029, dated 18 August 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1359	1:ヒトに対する毒性	Alvarez-Moya C, Silva MR, Ramirez CV, Gallardo DG, Sanchez RL, Aguirre AC et al.	2014	Comparison of the in vivo and in vitro genotoxicity of glyphosate isopropylamine salt in three different organisms.	Genet Mol Biol. 37(1):105–10.	JMPR	④
1360	1:ヒトに対する毒性	Amer SM, Aly FAE, Farghaly AA, Ibrahim AAE	2006	In vitro and in vivo evaluation of the genotoxicity of the herbicide glyphosate in mice.	B Natl Res Cent (Cairo). 31:427–46.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1361	1:ヒトに対する毒性	Anadón A, Martínez-Larrañaga MR, Martínez MA, Castellano VJ, Martínez M, Martín MT et al	2009	Toxicokinetics of glyphosate and its metabolite aminomethyl phosphonic acid in rats.	Toxicol Lett. 190(1): 91–5.	JMPR	④
1362	1:ヒトに対する毒性	Arcelin G	2007	Glyphosate technical material acute oral toxicity in the rat (Up and Down procedure).	RCC Ltd. Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. Laboratory report no. B02755, Syngenta task no. T007035-05, dated February 2007. February 2007. Unpublished report.	JMPR	④
1363	1:ヒトに対する毒性	Arcelin G	2007	Glyphosate technical material acute dermal toxicity study in rats.	RCC Ltd. Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. Laboratory report no. T007036-05 dated February 2007. Unpublished report.	JMPR	④
1364	1:ヒトに対する毒性	Arcelin G	2007	Glyphosate technical material: Primary skin irritation study in rabbits (4-hour semi-occlusive application).	RCC Ltd., Toxicology, Füllinsdorf, Switzerland. Data owner: Syngenta report no.: R61837/1010, dated 8 February 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1365	1:ヒトに対する毒性	Arcelin G	2007	Glyphosate technical material: Primary eye irritation study in rabbits.	RCC Ltd., Toxicology, Füllinsdorf, Switzerland. Data owner: Syngenta report no.: B02788, dated 26 March 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1366	1:ヒトに対する毒性	Ashby J, Tennant RW, Zeiger E, Stasiewicz S	1989	Classification according to chemical structure, mutagenicity to Salmonella and level of carcinogenicity of a further 42 chemicals tested for carcinogenicity by the U.S. National Toxicology Program.	Mutat Res. 223(2):73–103.	JMPR	④
1367	1:ヒトに対する毒性	Atkinson C, Martin T, Hudson P, Robb D	1993	Glyphosate: 104 week dietary carcinogenicity study in mice.	Unpublished report No. 7793. IRI project No. 438618, dated 12 April 1991. Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1368	1:ヒトに対する毒性	Atkinson C, Perry CJ, Hudson P, Snodgrass E	1989	Glyphosate: 4 Week dietary toxicity study in rats.	Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Report no.: 5626. Cheminova report no.: 49 GLY.	JMPR	④
1369	1:ヒトに対する毒性	Atkinson C, Strutt AV, Henderson W, Finch J, Hudson P	1993	Glyphosate: 104 week combined chronic feeding/oncogenicity study in rats with 52 week interim kill (results after 104 weeks.).	Unpublished report no. 7867. IRI project no. 438623, dated 7 April 1993. From Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1370	1:ヒトに対する毒性	Axelrad JC, Howard CV, McLean WG	2003	The effects of acute pesticide exposure on neuroblastoma cells chronically exposed to diazinon.	Toxicology. 185:67-78.	JMPR	④
1371	1:ヒトに対する毒性	Bakke JP	1991	Evaluation of the potential of AMPA to induce unscheduled DNA synthesis in the in vitro hepatocyte DNA repair assay using the male F-344 rats.	Monsanto Report No. SR-91-234. Unpublished study.	JMPR	④
1372	1:ヒトに対する毒性	Band PR, Abanto Z, Bert J, Lang B, Fang R, Gallagher RP et al.	2011	Prostate cancer risk and exposure to pesticides in British Columbia farmers.	Prostate. 71(2):168-83. doi:10.1002/pros.21232.	JMPR	④
1373	1:ヒトに対する毒性	Baldrick P, Reeve L	2007	Carcinogenicity evaluation: comparison of tumor data from dual control groups in the CD-1 mouse.	Toxicol Pathol. 35(4):562-9.	JMPR	④
1374	3:生活環境動植物及び家畜に対する毒性	Balthazor TM, Hallas LE	1986	Glyphosate-degrading microorganisms from industrial activated sludge.	Appl Environ Microbiol. 51(2):432-4.	JMPR	④
1375	1:ヒトに対する毒性	Beane Freeman LE, Bonner MR, Blair A, Hoppin JA, Sandler DP, Lubin JH et al.	2005	Cancer incidence among male pesticide applicators in the Agricultural Health Study cohort exposed to diazinon.	Am J Epidemiol. 162:1070-9.	JMPR	④
1376	1:ヒトに対する毒性	Benachour N, Sipahutar H, Moslemi S, Gasnier C, Travert C, S éralini GE	2007	Time- and dose-dependent effects of Roundup on human embryonic and placental cells. doi:10.1007/s00244-006-0154-8.	Arch Environ Contam Toxicol. 53(1):126-33.	JMPR	④
1377	1:ヒトに対する毒性	Betts CJ	2007	Glyphosate technical material: Skin sensitisation (local lymph node assay in the mouse).	Syngenta Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Data owner: Syngenta report no.: R61837/1004, dated 9 February 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1378	1:ヒトに対する毒性	Bhide MB	1988	Carcinogenicity and chronic toxicity study of glyphosate (technical) in mice.	Excel Industries Ltd., Bombay, India.	JMPR	④
1379	1:ヒトに対する毒性	Bhide RM	1997	Combined chronic toxicity/carcinogenicity study of glyphosate technical in Sprague Dawley Rat.	Indian Institute of Toxicology, Pune, India. Study no.: 1231. Sankyo Co. Ltd., Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1380	1:ヒトに対する毒性	Bhide MB, Patil UM	1989	Rabbit teratology study with glyphosate technical.	Indian Institute of Toxicology, Sanpada, New Bombay, India. Data owner: Excel. Study no.: IIT project no. 1086, November 3, 1989. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1381	1:ヒトに対する毒性	Blair A, Thomas K, Coble J, Sandler DP, Hines CJ, Lynch CF et al.	2011	Impact of pesticide exposure misclassification on estimates of relative risks in the Agricultural Health Study.	Occup Environ Med. 68(7):537-41. doi:10.1136/oem.2010.059469.	JMPR	④
1382	1:ヒトに対する毒性	Blakley BR	1997	Effect of roundup and tordon 202C herbicides on antibody production in mice.	Vet Hum Toxicol. 39(4):204-6.	JMPR	④
1383	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak DL	1988	Acute oral toxicity study in rats. Test material: glyphosate wet cake.	Unpublished report, Bio/dynamics project no. 4885-88, Monsanto reference no. BD-88-114, dated 20 September 1988. From Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1384	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak DL	1988	Acute dermal toxicity study in rabbits. Test material: glyphosate wet cake.	Unpublished report, Bio/dynamics project no. 4886-88, Monsanto reference no. BD-88-114, dated 20 September 1988. From Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1385	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak DL	1988	Primary dermal irritation study in rabbits (4-hour exposure/semi-occlusive covering). Test material: glyphosate wet cake.	Unpublished report. Bio/dynamics project no. 4887-88. Monsanto reference no. BD-88-114, dated 20 September 1988. From Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1386	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak DL	1988	Eye irritation study in rabbits. Test material: Glyphosate wet cake.	Unpublished report, Bio/dynamics project No. 4888-88, Monsanto reference No. BD-88-114, dated 20 September 1988, from Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1387	1:ヒトに対する毒性	Blaszczak DL	1998	MON 77945: Primary eye irritation study in rabbits.	Unpublished report, study no. 971728, Monsanto reference no. HU-97-242, dated 24 March 1998, from Huntingdon Life Sciences, East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1388	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi C, Carrasquilla G, Volpi S, Solomon KR, Marshall ER	2009	Biomonitoring of genotoxic risk in agricultural workers from five Colombian regions: association to occupational exposure to glyphosate.	J Toxicol Environ Health A. 72(15-16):986-97.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1389	1:ヒトに対する毒性	Bolognesi C, Bonatti S, Degan P, Gallerani E, Peluso M, Rabboni R et al	1997	Genotoxic activity of glyphosate and its technical formulation roundup.	J Agric Food Chem. 45(5):1957-62.	JMPR	④
1390	1:ヒトに対する毒性	Bonassi S, Fenech M, Lando C, Lin YP, Ceppi M, Chang WP et al.	2001	HUman MicroNucleus project: international database comparison for results with the cytokinesis-block micronucleus assay in human lymphocytes: I. Effect of laboratory protocol, scoring criteria, and host factors on the frequency of micronuclei.	Environ Mol Mutagen. 37(1):31-45.	JMPR	④
1391	1:ヒトに対する毒性	Bonnette KL	2001	A primary eye irritation study in rabbits with MON 78623. SLI study no. 3044.813, Monsanto study no. SB-2000-248, dated 6 August 1979, from Springborn Laboratories Inc., Spencerville, OH, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium. Unpublished report.		JMPR	④
1392	1:ヒトに対する毒性	Bonnette K	2004	An acute nose-only inhalation study in rats with MON 78623.	Charles River Laboratories Inc., Spencerville, OH, USA. Laboratory report no. 3044.969, Monsanto study no. SB-2003-116. Unpublished report.	JMPR	④
1393	1:ヒトに対する毒性	Botham PA	1996	First revision to glyphosate acid: 90 Day feeding study in rats.	Unpublished report no. CTL/P/1599, study no. PR 0663, dated 7 November 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1394	1:ヒトに対する毒性	Bradberry SM, Proudfoot AT, Vale JA	2004	Glyphosate poisoning.	Toxicol Rev. 23(3):159-67.	JMPR	④
1395	1:ヒトに対する毒性	Brammer A	1996	Glyphosate acid: 1 Year dietary toxicity study in dogs.	Unpublished report no. CTL/P/5079, study no. PD 1006, dated 24 September 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1396	1:ヒトに対する毒性	Brammer A	2001	Glyphosate acid: Two year dietary toxicity and oncogenicity study in rats.	Unpublished report no. CTL/PR1111, study no. PR1111, dated 15 March 2001, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1397	1:ヒトに対する毒性	Branch DK	1981	Primary eye irritation of MON 0139 to rabbits.	Unpublished report, study no. 800260, DMEH project no. ML-80-261, dated 17 March 1981, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1398	1:ヒトに対する毒性	Brooker AJ, John DM, Anderson A, Dawe IS	1991	The effect of glyphosate on pregnancy of the rat (incorporates preliminary investigation).	Unpublished report No. CHV 43 & 41/90716, dated 14 October 1991, from Huntingdon Research Centre Ltd., Huntingdon, England, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1399	1:ヒトに対する毒性	Brooker AJ, Brennan C, John DM, Anderson A, Dawe IS (1991b).	1991	The effect of glyphosate on pregnancy of the rabbit (incorporates preliminary investigations).	Unpublished report no. CHV 45 & 39 & 40/901303, dated 14 October 1991, from Huntingdon Research Centre Ltd., Huntingdon, England, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1400	1:ヒトに対する毒性	Brooker AJ, Myers DP, Parker CA, Offer JM, Singh H, Anderson A et al.	1992	The effect of dietary administration of glyphosate on reproductive function of two generations in the rat.	Unpublished report no. CHV 47/911129, dated 14 May 1992, from Huntingdon Research Centre Ltd., Huntingdon, England, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1401	1:ヒトに対する毒性	Brown LM, Blair A, Gibson R, Everett GD, Cantor KP, Schuman LM et al.	1990	Pesticide exposures and other agricultural risk factors for leukemia among men in Iowa and Minnesota.	Cancer Res, 50(20):6585– 91.	JMPR	④
1402	1:ヒトに対する毒性	Brewster DW, Warren J, Hopkins WE 2nd	1991	Metabolism of glyphosate in Sprague–Dawley rats: Tissue distribution, identification, and quantitation of glyphosate-derived materials following a single oral dose.	Fundam Appl Toxicol. 17(1):43–51.	JMPR	④
1403	1:ヒトに対する毒性	Busch B	1987	Primary eye irritation study of MON-8722 in New Zealand White rabbits.	Unpublished report, FDRL study no. 9307A, Monsanto study no. FD-86-430, dated 29 January 1987, from Food & Drug Research Laboratories, Waverly, NY, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1404	1:ヒトに対する毒性	Busch B	1987	Primary eye irritation study of MON-8750 in New Zealand White rabbits.	Unpublished report, FDRL study no. 9308A, Monsanto study no. FD-86-431, dated 30 January 1987, from Food & Drug Research Laboratories, Waverly, NY, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1405	1:ヒトに対する毒性	Callander RD	1988	ICIA 0224 - An evaluation of mutagenic potential using S. typhimurium and E. coli.	ICI Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Report no. CTL/P/2203, dated 20 February 1988. Sponsored by ICI Agrochemicals. Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1406	1:ヒトに対する毒性	Callander, RD	1988	Aminomethyl phosphonic acid: An evaluation of the mutagenic potential using S. typhimurium and E. coli.	Unpublished report no. CTL/P/2206, study No. YV2280 and YV2281, dated 21 September 1988, from ICI Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1407	1:ヒトに対する毒性	Callander RD	1993	TMSC – An evaluation of mutagenic potential using S. typhimurium and E. coli.	Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park Macclesfield, Cheshire, England, UK. Report no. CTL/P/3992, dated 2 April 1993. Sponsored by ICI Agrochemicals, submitted by Syngenta, Basel. Unpublished study.	JMPR	④
1408	1:ヒトに対する毒性	Callander RD	1996	Glyphosate acid: An evaluation of mutagenic potential using S. typhimurium and E. coli.	Unpublished report no. CTL/P/4874, study no. YV3611, dated 16 February 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1409	1:ヒトに対する毒性	Canabrava Frossard de Faria B	2008	Acute dermal irritation/corrosion study in rabbits with glyphosate technical.	Bioagri Laboratorios, Sao Paulo, Brazil. Laboratory report no. RF – 3996.311.476.07, dated 23 September 2008. Unpublished report.	JMPR	④
1410	1:ヒトに対する毒性	Canabrava Frossard de Faria BC	2008	Acute eye irritation/corrosion study in rabbits with glyphosate technical.	Bioagri Laboratórios, Sao Paulo, Brazil. Data owner: Helm AG. Report no.: RF-3996.312.599.07, dated 12 September 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1411	1:ヒトに対する毒性	Cantor KP, Blair A, Everett G, Gibson R, Burmeister LF, Brown LM et al.	1992	Pesticides and other agricultural risk factors for non-Hodgkin's lymphoma among men in Iowa and Minnesota.	Cancer Res. 52:2447–55.	JMPR	④
1412	1:ヒトに対する毒性	Carpenter C	2007	IN-EY252: Acute oral toxicity study in rats-up-and-down procedure.	Unpublished report no. DuPont-22229. DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Unpublished study.	JMPR	④
1413	1:ヒトに対する毒性	Carter L	2009	Acute inhalation toxicity study in rats.	Stillmeadow, Inc., Sugar Land, TX, USA. Laboratory report no. 12107-08. Unpublished report, dated 9 March 2009.	JMPR	④
1414	1:ヒトに対する毒性	Carvalho Marques MF	1999	A micronucleus study in mice for glyphosate técnico.	Nufarm Bioagri Laboratorios, Sao Paulo, Brazil. Data owner: Nufarm study no.: RF-G12.79/99, dated 27 December 1999. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1415	1:ヒトに対する毒性	Centre de Toxicologie du Quebec	1988	Etude de l'exposition professionnelle des travailleurs forestiers exposés au glyphosate [Study of occupational exposure of forestry workers exposed to glyphosate].	Québec (QC): Centre de Toxicologie du Quebec; August 1988. (In French)	JMPR	④
1416	1:ヒトに対する毒性	Cerdeira A, Duke S	2006	The current status and environmental impacts of glyphosate-resistant crops: a review.	J Environ Qual. 35(5):1633-58.	JMPR	④
1417	1:ヒトに対する毒性	Chan PO, Mahler JF	1992	NTP technical report on toxicity studies of glyphosate (CAS No. 1071-83-6) administered in dosed feed to F344/N rats and B6C3F1 mice.	National Toxicology Program, Research Triangle Park, NC, USA. NTP Toxicity Report Series No. 16, NIH Publication 92-3135, dated July 1992. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1418	1:ヒトに対する毒性	Chandra M, Frith CH	1994	Spontaneous renal lesions in CD-1 and B6C3F1 mice.	Exp Toxicol Pathol. 46:189-98.	JMPR	④
1419	1:ヒトに対する毒性	Chandra M, Riley MG, Johnson DE	1992	Spontaneous neoplasms in aged Sprague-Dawley rats.	Arch Toxicol. 66:496-502.	JMPR	④
1420	1:ヒトに対する毒性	Chen L, Xie M, Bi Y, Wang G, Deng S Liu Y	2012	The combined effects of UV-B radiation and herbicides on photosynthesis, antioxidant enzymes and DNA damage in two bloom-forming cyanobacteria.	Ecotoxicol Environ Saf. 80:224-30.	JMPR	④
1421	1:ヒトに対する毒性	Cheng T, Howard S	2004	Mass balance, metabolism, and pharmacokinetics of [14C]N-acetyl-glyphosate following administration of a single oral dose to rats.	Unpublished report no. Covance 7535-100, amended report. Covance Laboratories, Inc., Vienna, VA, USA. Submitted to WHO by EI du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1422	1:ヒトに対する毒性	Chester G, Hart TB	1986	Biological monitoring of a herbicide applied through backpack and vehicle sprayers.	Toxicol Lett. 33:137-49.	JMPR	④
1423	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska K, Brzezinski J, Kita K, Kalhorn D, Kita I, Graffstein B et al.	2000	Glyphosate - Evaluation of chronic activity and possible far-reaching effects. Part 1. Studies on chronic toxicity.	Pestycydy (Warsaw). 3-4:11-20.	JMPR	④
1424	1:ヒトに対する毒性	Chruscielska K, Graffstein B, Szarapinska - Kwaszewska J, Brzezinski J, Kalhorn D	2000	Glyphosate: Evaluation of chronic activity and possible far-reaching effects. Part 2. Studies on mutagenic activity.	Pestycydy (Warsaw). 3-4: 21-5.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1425	1:ヒトに対する毒性	Clair E, Linn L, Travert C, Amiel C, Séralini GE, Panoff JM	2012	Effects of Roundup and glyphosate on three food microorganisms: <i>Geotrichum candidum</i> , <i>Lactococcus lactis</i> subsp. <i>cremoris</i> and <i>Lactobacillus delbrueckii</i> subsp. <i>bulgaricus</i> .	Curr Microbiol. 64:486–91.	JMPR	④
1426	1:ヒトに対する毒性	Clay P	1996	Glyphosate acid: L5178Y TK+/- mouse lymphoma gene mutation assay.	CTL/P/4991, study no. VV0123, dated 24 May 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland. Unpublished report.	JMPR	④
1427	1:ヒトに対する毒性	Clegg ED, Cook JC, Chapin RE, Foster PM, Daston GP	1997	Leydig cell hyperplasia and adenoma formation: Mechanisms and relevance to humans.	Reprod Toxicol. 11:107–21.	JMPR	④
1428	1:ヒトに対する毒性	Clewell HJ, Crump KS	2005	Quantitative estimates of risk for noncancer endpoints.	Risk Anal. 25:285–9.	JMPR	④
1429	1:ヒトに対する毒性	Coble J, Arbuckle T, Lee W, Alavanja M, Dosemeci M	2005	The validation of a pesticide exposure algorithm using biological monitoring results.	J Occup Environ Hyg. 2:194–201.	JMPR	④
1430	1:ヒトに対する毒性	Coble J, Thomas KW, Hines CJ, Hoppin JA, Dosemeci M, Curwin B et al.	2011	An updated algorithm for estimation of pesticide exposure intensity in the Agricultural Health Study.	Int J Environ Res Public Health. 8(12):4608–22.	JMPR	④
1431	1:ヒトに対する毒性	Coles LJ, Thomas ON, Bartlett AJ, Brooks PN	1996	Technical glyphosate: Ninety day sub-chronic oral (dietary) toxicity study in the rat.	SafePharm Laboratories Limited, Shardlow, Derbyshire, England, UK. SPL project no. 434/016. Sponsored by by Mastra Industries Sdn. Bhd., Port Klang, Malaysia and Maruzen Kako Co., Ltd., Tokyo, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1432	1:ヒトに対する毒性	Coles RJ, Doleman N	1996	Glyphosate technical: Oral gavage teratology study in the rabbit.	SafePharm Laboratories Limited, Shardlow, Derbyshire, England, UK. Data owner: Nufarm, SPL project no.: 434/020. Unpublished study.	JMPR	④
1433	1:ヒトに対する毒性	Colvin LB, Miller JA	1973	CP 67573 Residue and metabolism. Part 8: the gross metabolism of N- phosphonomethylglycine-14C (CP 67573-14C) in the laboratory rat following a single dose.	Unpublished report No. 297, study No. 9-23-760.06-7863, dated 15 June 1973, from Monsanto Commercial Products Co., Agricultural Division, Research Department. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1434	1:ヒトに対する毒性	Colvin LB, Miller JA	1973	CP 67573 Residue and Metabolism. Part 13: The dynamics of accumulation and depletion of orally ingested N-phosphonomethylglycine-14C.	Monsanto report MSL-309.	JMPR	④
1435	1:ヒトに対する毒性	Colvin LB, Miller JA	1973	CP 67573 Residue and metabolism. Part 9: The metabolism of N- phosphonmethylglycine-14C (CP 67573-14C) in the rabbit.	Unpublished report no. 298, study no. 9-23- 760.06-7863, dated 20 June 1973, from Monsanto Commercial Products Co., Agricultural Division. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1436	1:ヒトに対する毒性	Cook JC, Klinefelter GR, Hardisty JF, Sharpe RM, Foster PM	1999	Rodent Leydig cell tumorigenesis: A review of the physiology, pathology, mechanisms, and relevance to humans.	Crit Rev Toxicol. 29:169-261.	JMPR	④
1437	1:ヒトに対する毒性	Costa KC	2008	Evaluation of the mutagenic potential of glyphosate technical micronucleus assay in mice Bioagri Laboratories, Sao Paulo, Brazil.	Data owner: HAG. Report no.: RF - 3996.402.395.07, dated 29 September 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1438	1:ヒトに対する毒性	Cowell JE, Steinmetz JR	1990	Assessment of forestry nursery workers exposure to glyphosate during normal operations.	Monsanto report no. MSL-9655. Monsanto Co., St. Louis, MO, USA.	JMPR	④
1439	1:ヒトに対する毒性	Cross MF	1988	ICIA 0224: Assessment of mutagenic potential using L5178Y mouse lymphoma cells.	ICI Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Report no. CTL/P/2228, dated 2 August 1988. Sponsored by ICI Agrochemicals. Unpublished study.	JMPR	④
1440	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert JA, Jackson D	1989	Glyphosate technical: Acute oral toxicity (limit) test in rats.	Unpublished report no. 5883, IRI project no. 243268, dated 22 June 1989, from Inveresk Research International, Musselburgh, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1441	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert JA, Jackson D	1993	AMPA: Acute oral toxicity (limit) test in rats.	Unpublished report no. 8763, IRI project no. 552409, dated 28 January 1993, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1442	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert JA, Jackson D	1993	AMPA: Acute dermal toxicity (limit) test in rats.	Unpublished report no. 8764, IRI project no. 552409, dated 28 January 1993, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1443	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert JA, Jackson D	1993	AMPA: Magnusson-Kligman maximisation test in guinea pigs.	Unpublished report no. 8765, IRI project no. 552409, dated 28 January 1993, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1444	1:ヒトに対する毒性	Cuthbert JA, D Jackson	1989	Glyphosate technical: Acute dermal toxicity (limit) test in rats.	IRI Project No. 243268. Inveresk Research International, Musselburgh, Scotland, UK. Laboratory report no. 5884. Unpublished Report.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1445	1:ヒトに対する毒性	Dallago BS	2008	Acute inhalation toxicity test of glyphosate technical in rats (<i>Rattus norvegicus</i>).	Bioagri Laboratories, Sao Paulo, Brazil. Laboratory report no. RF – 3996.309.377.07. Unpublished report, dated 11 September 2008.	JMPR	④
1446	1:ヒトに対する毒性	Davies DJ	1996	Glyphosate acid: excretion and tissue retention of a single oral dose (10 mg/kg) in the rat.	Unpublished report no. CTL/P/4940, dated 26 April 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1447	1:ヒトに対する毒性	Davies DJ	1996	Glyphosate acid: excretion and tissue retention of a single oral dose (1000 mg/kg) in the rat.	Unpublished report no. CTL/P/4942, dated 19 June 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1448	1:ヒトに対する毒性	Davies DJ	1996	Glyphosate acid: excretion and tissue retention of a single oral dose (10 mg/kg) in the rat following repeat dosing.	Unpublished report no. CTL/P/4944, dated 22 May 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1449	1:ヒトに対する毒性	Davies DJ	1996	Glyphosate acid: whole body autoradiography in the rat (10 mg/kg).	Unpublished report No. CTL/P/4943, dated 10 June 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1450	1:ヒトに対する毒性	Davies DJ	2003	Glyphosate SL (360 g/L) formulation (A12798Q). In vitro absorption through human epidermis CTL/JV1732/Regulatory/Report.	Syngenta UK Limited, Fulbourn, Cambridgeshire, England, UK. CTL study no.: JV1732, Document no. CTL/JV1732/REG/REPT, Unpublished study.	JMPR	④
1451	1:ヒトに対する毒性	De Roos AJ, Blair A, Rusiecki JA, Hoppin JA, Svec M, Dosemeci M et al.	2005	Cancer incidence among glyphosate-exposed pesticide applicators in the Agricultural Health Study.	Environ Health Perspect. 113:49–54.	JMPR	④
1452	1:ヒトに対する毒性	De Roos AJ, Zahm SH, Cantor KP, Weisenburger DD, Holmes FF, Burmeister LF et al.	2003	Integrative assessment of multiple pesticides as risk factors for non-Hodgkin's lymphoma among men.	Occup Environ Med. 60:E11. doi:10.1136/oem.60.9.e11.	JMPR	④
1453	1:ヒトに対する毒性	Decker J	2007	Glyphosate technical (NUP 05068): 4-Hour acute inhalation toxicity study in rats.	RCC Ltd, Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. Lab report no. RCC study no.: B05068). Unpublished report dated 2 April 2007.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1454	1:ヒトに対する毒性	Defarge N, Takács E, Lozano VL, Mesnage R, Spiroux de Vendômois J, Séralini GE et al.	2016	Coformulants in glyphosate-based herbicides disrupt aromatase activity in human cells below toxic levels.	Int J Environ Res Public Health. 13(3): 264. doi.org/10.3390/ijerph13030264.	JMPR	④
1455	1:ヒトに対する毒性	Dhinsa NK, Watson P, Brooks PN	2007	Glyphosate technical: Dietary two generation reproduction study in the rat.	SafePharm Laboratories Limited, Shardlow, Dernityshire, England, UK. Data owner: Nufarm. SPL project no.: 2060/0013, amended 8 April 2008 and 8 August 2008. Unpublished study. Dideriksen LH (1991). Assessment of acute oral toxicity of "glyphosate technical" to mice. Unpublished report.	JMPR	④
1456	1:ヒトに対する毒性	Dideriksen LH	1991	Assessment of acute oral toxicity of "glyphosate technical" to mice.	Unpublished report. Laboratory report no. 12321, dated 7 January 1991, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1457	1:ヒトに対する毒性	Dimitrov BD, Gadeva PG, Benova DK, Bineva MV	2006	Comparative genotoxicity of the herbicides Roundup, Stomp and Reglone in plant and mammalian test systems.	Mutagenesis. 21(6):375-82.	JMPR	④
1458	1:ヒトに対する毒性	Do Amaral Guimarães SD	2008	Acute oral toxicity study in Wistar Hannover rats for glyphosate technical.	Bioagri Laboratórios, Sao Paulo, Brazil. Data owner: Helm AG report no.: RF-3996.305.475.07, dated 16 September 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1459	1:ヒトに対する毒性	Do Amaral Guimaraes S	2008	Acute dermal toxicity study in Wistar Hannover rats for glyphosate technical.	Bioagri Laboratórios, Sao Paulo, Brazil. Lab report no. RF-3996.310.456.07, dated 4 July 2008. Unpublished report.	JMPR	④
1460	1:ヒトに対する毒性	Donath C	2010	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium) with Glyphosate TC.	BSL Bioservice, Planegg, Germany. BSL Bioservice study no. 104039, dated 18 October 2010. Sponsored by Helm AG, Hamburg, Germany. Unpublished study.	JMPR	④
1461	1:ヒトに対する毒性	Donath C	2011	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium and Escherichia coli) with Glyphosate Technical. BSL Bioservice, Planegg, Germany.	BSL Bioservice study no. 111608, dated 18 May 2011. Sponsored by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1462	1:ヒトに対する毒性	Donath C	2011	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium and Escherichia coli) with Glyphosate Technical. BSL Bioservice, Planegg, Germany.	BSL Bioservice study no. 110385, dated 30 March 2011. Sponsored by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1463	1:ヒトに対する毒性	Donath C	2011	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium and Escherichia coli) with Glyphosate Technical. BSL Bioservice, Planegg, Germany.	BSL Bioservice study no. 111608, dated 18 May 2011. Sponsored by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark. Unpublished study.	JMPR	④
1464	1:ヒトに対する毒性	Donner EM	2006	IN-MCX20: Mouse bone marrow micronucleus test.	Unpublished report no. DuPont-20154, DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1465	1:ヒトに対する毒性	Donner EM	2007	IN-EY252: Mouse bone marrow micronucleus test.	Unpublished report no. DuPont-22226. DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Com- pany, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1466	1:ヒトに対する毒性	Dosemeci M, Alavanja MC, Rowland AS, Mage D, Zahm SH, Rothman N et al.	2002	A quantitative approach for estimating exposure to pesticides in the Agricultural Health Study.	Ann Occup Hyg. 46:245- 60.	JMPR	④
1467	1:ヒトに対する毒性	Dourson M, Reichard J, Nance P, Burleigh-Flayer H, Parker A, Vincent M et al.	2014	Mode of action analysis for liver tumors from oral 1,4-dioxane exposures and evidence-based dose response assessment.	Regul Toxicol Pharmacol. 68(3):387-401. doi: 10.1016/j.yrtph.2014.01.011.	JMPR	④
1468	1:ヒトに対する毒性	Doyle CE	1996	Glyphosate acid: acute oral toxicity study in rats.	Unpublished report no. CTL/P/4660, study No. AR5959, dated 23 August 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1469	1:ヒトに対する毒性	Doyle CE	1996	Glyphosate acid: Acute dermal toxicity study in the rat.	Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Laboratory report no. CTL/P/4664. Unpublished report, dated 23 August 1996.	JMPR	④
1470	1:ヒトに対する毒性	Doyle CE	1996	Glyphosate acid: skin irritation to the rabbit.	Unpublished report no. CTL/P/4695, study no. EB4365, dated 23 August 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1471	1:ヒトに対する毒性	Doyle CE	1996	Glyphosate acid: Skin sensitisation to the guinea pig.	Unpublished report no. CTL/P/4699, study No. GG6427, dated 23 August 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1472	1:ヒトに対する毒性	Durward R	2006	Glyphosate technical: Micronucleus test in the mouse.	SafePharm Laboratories Ltd, Shardlow, Derbyshire, England, UK. Data owner: Nufarm report no.: 2060/014, dated 8 February 2006. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1473	1:ヒトに対する毒性	Enami T, Nakamura H	1995	Acute toxicity study of MON 0139 by oral administration in mice.	Bozo Research Center Inc., Tokyo, Japan. Data owner: Monsanto, Monsanto report no.: XX-95-205 dated 5 October 1995. Unpublished study.	JMPR	④
1474	1:ヒトに対する毒性	Enomoto K	1997	HR-001: 24-Month oral chronic toxicity and oncogenicity study in rats.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Arysta Life Sciences. Study no.:IET 94-0150. Also referred to as Arysta Life Sciences, 1997. Unpublished study.	JMPR	④
1475	1:ヒトに対する毒性	Erexson GL	2003	In Vivo mouse micronucleus assay with MON 78634.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-2002-189, dated 24 April 2003. Unpublished report.	JMPR	④
1476	1:ヒトに対する毒性	Eriksson M, Hardell L, Carlberg M, Akerman M	2008	Pesticide exposure as risk factor for non-Hodgkin lymphoma including histopathological subgroup analysis.	Int J Cancer. 123(7):1657-63. doi:10.1002/ijc.23589.	JMPR	④
1477	1:ヒトに対する毒性	Escande A, Pillon A, Servant N, Cravedi JP, Larrea F, Muhn P et al.	2006	Evaluation of ligand selectivity using reporter cell lines stably expressing estrogen receptor alpha or beta.	Biochem Pharmacol. 71:1459-69.	JMPR	④
1478	1:ヒトに対する毒性	Eskenazi B, Harley K, Bradman A, Weltzien E, Jewell NP, Barr DB et al.	2004	Association of in utero organophosphate pesticide exposure and fetal growth and length of gestation in an agricultural population.	Environ Health Perspect. 112: 1116-24.	JMPR	④
1479	1:ヒトに対する毒性	Evans N, Gray LE, Wilson VS	2012	Validation of T47D-KBluc cell assay for detection of estrogen receptor agonists and antagonists.	Society of Toxicology (SOT) Annual Meeting, San Francisco, CA, USA. 11-15 March 2012.	JMPR	④
1480	1:ヒトに対する毒性	Flügge C	2009	Mutagenicity study of glyphosate TC in the Salmonella typhimurium reverse mutation assay (in vitro).	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co. KG, Hamburg, Germany. Report no.: LPT 23916, dated 30 April 2009. Sponsored by Helm AG, Hamburg, Germany. Unpublished study.	JMPR	④
1481	1:ヒトに対する毒性	Flügge C	2009	Micronucleus test of Glyphosate TC in bone marrow cells of the CD rat by oral administration.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co. KG, Hamburg, Germany. Sponsored by Helm AG, Hamburg, Germany. Report no.: LPT 23917, dated 18 May 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1482	1:ヒトに対する毒性	Flügge C	2010	Mutagenicity study of glyphosate TC in the Salmonella typhimurium reverse mutation assay (in vitro).	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co. KG, Hamburg, Germany. Report no.: LPT 24880, dated 25 January 2010. Sponsored by Helm AG, Hamburg, Germany. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1483	1:ヒトに対する毒性	Forgacs AL, Ding Q, Jaremba RG, Huhtaniemi IT, Rahman NA, Zacharewski TR	2012	BLTK1 murine Leydig cells: a novel steroidogenic model for evaluating the effects of reproductive and developmental toxicants.	Toxicol Sci. 127(2):391-402. doi:10.1093/toxsci/kfs121.	JMPR	④
1484	1:ヒトに対する毒性	Fox V	1998	Glyphosate acid: In vitro cytogenetic assay in human lymphocytes.	Unpublished report no. CTL/P/6050, study no. SV0777, dated 29 October 1998, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1485	1:ヒトに対する毒性	Fox V, Mackay JM	1996	Glyphosate acid: mouse bone marrow micronucleus test.	Unpublished report no. CTL/P/4954, study no. SM0796, dated 21 March 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1486	1:ヒトに対する毒性	Franklin CA, Muir NI, Moody RP	1986	The use of biological monitoring in the estimation of exposure during the application of pesticides.	Toxicol Lett. 33:127-36.	JMPR	④
1487	1:ヒトに対する毒性	Franz JJ, Mao MK, Sikorski JA	1997	Glyphosate: a unique global herbicide.	ACS Monograph Series no. 189. Washington (DC): American Chemical Society. 1-678.	JMPR	④
1488	1:ヒトに対する毒性	Gaou I	2007	13-Week toxicity study by oral route (capsule) in beagle dogs.	CIT, Evreux, France. Laboratory study no. 29646 TTC, dated 1 June 2007. Submitted by Nufarm Asi Sdn Bhd, Selangor, Malaysia. Unpublished study.	JMPR	④
1489	1:ヒトに対する毒性	Gasnier C, Dumont C, Benachour N, Clair E, Chagnon MC, Séralini GE	2009	Glyphosate-based herbicides are toxic and endocrine disruptors in human cell lines.	Toxicology. 262:184-91. doi:10.1016/j. tox.2009.06.006.	JMPR	④
1490	1:ヒトに対する毒性	Gava MA	2000	Evaluation of the mutagenic potential of the test substance GLIFOSATO IPA TECNICO NUFARM by micronucleus assay in mice.	Unpublished report no. RF-G12.022/00, dated 13 July 2000. Nufarm do Brasil LTDA, Curitiba, Brazil.	JMPR	④
1491	1:ヒトに対する毒性	George J, Prasad S, Mahmood Z, Shukla Y	2010	Studies on glyphosate-induced carcinogenicity in mouse skin: A proteomic approach.	J Proteomics. 73:951-64.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1492	1:ヒトに対する毒性	Glatt CM	2006	IN-MCX20: In vitro mammalian cell gene mutation test (CHO/HGPRT).	Unpublished report no. DuPont-20155. DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1493	1:ヒトに対する毒性	Glatt CM	2007	IN-EY252: In vitro mammalian cell gene mutation test (CHO/HGPRT).	Unpublished report no. DuPont-22224. DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1494	1:ヒトに対する毒性	Goburdhun R	1991	Glyphosate: 52 Week oral toxicity study in dogs. X	Goburdhun R (1991).	JMPR	④
1495	1:ヒトに対する毒性	Goburdhun R, Oshodi RO	1989	Glyphosate: Oral maximum tolerated dose study in dogs.	Unpublished report no. 5660, IRI project no. 640683, dated 22 June 1989, from Inveresk Research International, Musselburgh, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1496	1:ヒトに対する毒性	Griffiths DJ	2009	Glyphosate tech: Acute inhalation toxicity (nose only) study in the rat.	Harlan Laboratories Ltd., Shardlow, Derbyshire, England, UK. Laboratory report no. 2743/0001. Unpublished Report. 23 June 2009.	JMPR	④
1497	1:ヒトに対する毒性	Griffiths K, Mackay J	1993	TMSC An evaluation in the in vitro cytogenetic assay in human lymphocytes.	Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Report no. CTL/P/4072, dated 13 August 1993. Sponsored by Zeneca Agrochemicals. Unpublished study.	JMPR	④
1498	1:ヒトに対する毒性	Grisolia CK	2002	A comparison between mouse and fish micronucleus test using cyclophosphamide, mitomycin C and various pesticides.	Mutat Res. 518(2):145-50.	JMPR	④
1499	1:ヒトに対する毒性	Gudi R, Rao M	2007	IN-EY252: In vitro mammalian chromosome aberration test in human peripheral blood lymphocytes.	Unpublished report no. DuPont-22225. BioReliance, Rockville, MD, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1500	1:ヒトに対する毒性	Guilherme S, Gaivao I, Santos MA, Pacheco M	2012	DNA damage in fish (<i>Anguilla anguilla</i>) exposed to a glyphosate-based herbicide – elucidation of organ-specificity and the role of oxidative stress.	Mutat Res. 743(1-2):1-9.	JMPR	④
1501	1:ヒトに対する毒性	Guyatt GH, Oxman AD, Vist GE, Kunz R, Falck-Ytter Y, Alonso-Coello P et al.	2008	GRADE: an emerging consensus on rating quality of evidence and strength of recommendations.	BMJ. 336:924-6.	JMPR	④
1502	1:ヒトに対する毒性	Haag V	2008	52-Week toxicity study by oral route (capsule) in beagle dogs.	CIT, Evreux, France, Laboratory study no. 29647 TTC. Sponsored by Nufarm Asia Sdn Bhd, Selangor, Malaysia. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1503	1:ヒトに対する毒性	Haas MC	2010	An 8-week oral (diet and gavage) toxicity study of citric acid in male rats,	WIL Research Laboratory, Ashland, OH, USA. Laboratory project no. WIL-50361, Sponsor Monsanto Company on behalf of glyphosate task force, dated 8 January 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1504	1:ヒトに対する毒性	Haas MC	2012	Glyphosate – A 28-day oral (dietary) immunotoxicity study in female B6C3F1 mice.	WIL Research Laboratories, LLC, Ashland, OH, USA, ImmunoTox, Inc., Virginia Bio Technology Research Park, Richmond, VA, USA. Project no.: WI-10-460 (study no.: WIL-50393). Data owner: Monsanto, Unpublished study.	JMPR	④
1505	1:ヒトに対する毒性	Hadfield N	2012	Glyphosate acid: In vitro absorption through abraded rabbit skin using [14C]glyphosate.	Dermal Technology Laboratory Ltd., Keele, Staffordshire, England, UK. Study no.: JV2182, Report no.: JV2182-REG. Date: 2012-04-18. Unpublished study.	JMPR	④
1506	1:ヒトに対する毒性	Hadfield N	2012	Glyphosate: Glyphosate 360IPA salt (CA2273): In vitro penetration through human epidermis using 14C-glyphosate.	Dermal Technology Laboratory Ltd., Keele, Staffordshire, England, UK. Study no.: JV2147, Report no.: JV2147-REG. Unpublished study.	JMPR	④
1507	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2009	Acute oral toxicity study of glyphosate TC in rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology, GmbH & Co., Hamburg, Germany. Laboratory report no. 23910, dated 16 June 2009. Unpublished report.	JMPR	④
1508	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2009	Acute dermal toxicity study of glyphosate TC in CD rats.	Laboratory report no 23912. LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology, GmbH & Co., Hamburg, Germany. Unpublished report, dated 16 June 2009	JMPR	④
1509	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2009	Acute inhalation toxicity study of glyphosate TC in rats..	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Laboratory report no. 23911. Unpublished report, dated 9 November 2009.	JMPR	④
1510	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2009	Examination of glyphosate TC in the skin sensitization test in guinea pigs according to Magnusson and Kligman (Maximisation test).	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Laboratory report no. 23915. Unpublished report, dated 19 May 2009.	JMPR	④
1511	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Acute oral toxicity study of glyphosate TC in rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. LPT Laboratory report no. 24602, dated 19 February 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1512	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Acute oral toxicity study of glyphosate TC in rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Laboratory report no. 24874. Unpublished report, dated 6 January 2010.	JMPR	④
1513	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Acute dermal toxicity study of glyphosate TC in CD rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Lab report no. 24876, dated 6 January 2010.	JMPR	④
1514	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Acute dermal toxicity study of glyphosate TC in CD rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Lab report No. 24604, dated 19 February 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1515	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Acute inhalation toxicity study of glyphosate TC in rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Lab. report no. 24603, dated 3 June 2010. Unpublished report.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1516	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Acute inhalation toxicity study of glyphosate TC in rats.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Lab. report no. 24875, dated 3 June 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1517	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Examination of glyphosate TC in the skin sensitization test in guinea pigs according to Magnusson and Kligman (Maximisation Test).	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Laboratory report no. 24607, dated 19 April 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1518	1:ヒトに対する毒性	Haferkorn J	2010	Examination of glyphosate TC in the skin sensitisation test in guinea pigs according to Magnusson and Kligman (maximisation test).	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Data owner: Helm AG. Report no.: 24879, dated 22 January 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1519	1:ヒトに対する毒性	Hardell L, Eriksson M	1999	A case-control study of non-Hodgkin lymphoma and exposure to pesticides.	Cancer. 85(6):1353-60.	JMPR	④
1520	1:ヒトに対する毒性	Hardell L, Eriksson M, Nordstrom M	2002	Exposure to pesticides as risk factor for non-Hodgkin's lymphoma and hairy cell leukemia: pooled analysis of two Swedish case-control studies.	Leuk Lymphoma. 2002 May;43(5):1043-9.	JMPR	④
1521	1:ヒトに対する毒性	Hardisty JF	2013	Pathology Working Group review of the histopathologic changes in the kidney: a combined chronic toxicity/carcinogenicity study of AK-01 bulk substance [glyphosate] by dietary administration in rats.	Nippon Experimental Medical Research Institute Co., Ltd, Agatsuma, Gunma, Japan. Study no.: H95053, EPL project no.: 911-004, dated 7 October 2013. Unpublished study.	JMPR	④
1522	1:ヒトに対する毒性	Hatakenaka N	1995	HR-001: Teratogenicity study in rats.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Data owner: Arysta LifeScience. Study no.: IET 94-0152. Unpublished study.	JMPR	④
1523	1:ヒトに対する毒性	Hazelden KP	1992	AMPA: Teratogenicity study in rats.	Unpublished report no 7891, IRI project no. 490421, dated 29 December 1992, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1524	1:ヒトに対する毒性	Heath J, Strutt A, Iswariah V	1993	AMPA: 4 Week dose range finding study in rats with administration by gavage.	Unpublished report no. 7803, IRI project no. 450860, dated 16 March 1993, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1525	1:ヒトに対する毒性	Hecker M, Hollert H, Cooper R, Vinggaard AM, Akahori Y, Murphy M et al.	2011	The OECD validation program of the H295R steroidogenesis assay: phase 3. Final inter-laboratory validation study.	Environ Sci Pollut Res. 18:503-15.	JMPR	④
1526	1:ヒトに対する毒性	Heenehan PR	1979	Acute oral toxicity study in rats. Compound: glyphosate technical.	Unpublished report no. BDN-77-428, Bio/dynamics project no. 4880-77, dated 6 August 1979, from Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1527	1:ヒトに対する毒性	Heenehan PR	1979	Acute dermal toxicity study in rabbits. Compound: glyphosate technical.	Unpublished report, no. BDN-77-428, Bio/dynamics project no. 4881-77, dated 6 August 1979, from Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1528	1:ヒトに対する毒性	Heenehan PR	1979	Primary dermal irritation study in rabbits. Compound: glyphosate technical.	Unpublished report no. BDN-77-428, Bio/dynamics project No. 4883-77, dated 6 August 1979, from Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1529	1:ヒトに対する毒性	Heenehan PR	1979	Rabbit eye irritation study. Compound: Glyphosate technical.	Unpublished report no. BDN-77-428, Bio/dynamics project no. 4882-77, dated 6 August 1979, from Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1530	1:ヒトに対する毒性	Heenehan PR, Rinehart WE, Braun WG	1979	Acute oral toxicity study in rats. Compound: glyphosate technical.	Unpublished report no. BDN-77-428, Bio/dynamics project No. 4880-77, dated 6 August 1979, from Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1531	1:ヒトに対する毒性	Heydens WF, Healy CE, Hotz KJ, Kier LD, Martens MA, Wilson AG et al.	2008	Genotoxic potential of glyphosate formulations: Mode-of-action investigations.	J Agric Food Chem. 56(4):1517-23.	JMPR	④
1532	1:ヒトに対する毒性	Hideo U	1995	HR-001: Primary dermal irritation study in rabbits.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory report no. IET 95-0035, dated 28 June 1995. Unpublished report.	JMPR	④
1533	1:ヒトに対する毒性	Hideo U	1995	HR-001: Primary eye irritation study in rabbits.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Report no.: IET 95-0034, Data owner: Arysta LifeScience, dated 29 June 1995. Unpublished study.	JMPR	④
1534	1:ヒトに対する毒性	Hideo U	1995	HR-001: Dermal sensitisation study in guinea pigs.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Study no.: IET 95-0036, Data owner: Arysta LifeScience, dated 28 June 1995. Unpublished study.	JMPR	④
1535	1:ヒトに対する毒性	Higgins JP, Green S (editors).	2011	Cochrane handbook for systematic reviews of interventions version 5.1.0.	The Cochrane Collaboration, 2011(www.cochrane-handbook.org). http://handbook.cochrane.org/chapter_10/10_4_3_1_recommendations_on_testing_for_funnel_plot_asymmetry.htm , accessed May 2016).	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1536	1:ヒトに対する毒性	Higgs P	1994	Armoblen 557: Toxicity study by oral (gavage) administration to CD rats for four weeks:	Pharmaco LSR LTD, Suffox, UK, Final report. Project no.: AKL/247, 94/AKL247/0280, 94/0280, dated 4 July 1994. Unpublished study prepared by AKZO Chemicals BV, Amersfoort, Netherlands,	JMPR	④
1537	1:ヒトに対する毒性	Hines CJ, Deddens JA, Jaycox LB, Andrews RN, Striley CAF, Alavanja MC	2008	Captan exposure and evaluation of a pesticide exposure algorithm among orchard pesticide applicators in the Agricultural Health Study.	Ann Occup Hyg. 52:153–66. doi:10.1093/annhyg/men001.	JMPR	④
1538	1:ヒトに対する毒性	Hoar SK, Blair A, Holmes FF, Boysen CD, Robel RJ, Hoover R et al.	1986	Agricultural herbicide use and risk of lymphoma and soft-tissue sarcoma.	JAMA. 256(9):1141–7. doi:10.1001/jama.1986.03380090081023.	JMPR	④
1539	1:ヒトに対する毒性	Hodge MCE	1996	First revision to glyphosate acid: 90 Day oral toxicity study in dogs.	Unpublished report no. CTL/P/1802, study no. PD 0674, dated 14 November 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1540	1:ヒトに対する毒性	Hojo H.	1995	HR-001: A teratogenicity study in rabbits.	Institute of Environmental Toxicology, Kodaira-shi, Tokyo, Japan. Data owner: Arysta Life Sciences. Study no.: IET 94-0153. Unpublished study.	JMPR	④
1541	1:ヒトに対する毒性	Holson J	2006	A developmental toxicity study of (inert ingredient) in rats.	WIL Research Laboratories, Inc., Ashland, OH, Lab Project no.: WI/89/388, WIL/50097, 1663. Sponsor by Monsanto Company, dated 31 July 2006. Unpublished study.	JMPR	④
1542	1:ヒトに対する毒性	Honarvar N	2005	Glyphosate technical – Micronucleus assay in bone marrow cells of the mouse.	RCC Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Data owner: Syngenta report no.: 1158500, dated 9 June 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1543	1:ヒトに対する毒性	Honarvar N	2008	Glyphosate technical – Micronucleus assay in bone marrow cells of the mouse.	RCC Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Data owner: Syngenta. Report no.: 1158500, dated 9 June 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1544	1:ヒトに対する毒性	Horner SA	1996	Glyphosate acid: Acute neurotoxicity study in rats.	Unpublished report no. CTL/P/4866, study no. AR5968, dated 11 March 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1545	1:ヒトに対する毒性	Horner SA	1996	Glyphosate acid: Subchronic neurotoxicity study in rats.	Unpublished report no. CTL/P/4867, study No. PR1009, dated 11 March 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1546	1:ヒトに対する毒性	Howe RK, Chott RC, McClanahan RH	1988	The metabolism of glyphosate in Sprague-Dawley rats. Part II. Identification, characterisation and quantitation of glyphosate and its metabolites after intravenous and oral administration.	Unpublished report no. MSL-7206, study no. 206300, dated February 1988, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA and Monsanto Life Sciences Research Center, Chesterfield, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1547	1:ヒトに対する毒性	Howe CM, Berrill M, Pauli BD, Helbing CC, Werry K, Veldhoen N	2004	Toxicity of glyphosate-based pesticides to four North American frog species.	Environ Toxicol Chem. 23(8):1928-38.	JMPR	④
1548	1:ヒトに対する毒性	IARC	1987	1,4-Dioxane. In: IARC monographs on the evaluation of carcinogenic risks to humans.		JMPR	④
1549	1:ヒトに対する毒性	Inoue T	2004	Micronucleus study in mice with AK-01 Technical.	Kobuchisawa Laboratories, Fuji Biomedix Co. Ltd, Japan. Study no. FBM 03-8152 (2), dated 11 December 2004. Submitted by TAC Group, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1550	1:ヒトに対する毒性	International Agency for Research on Cancer	2015	Volume 112: Some organophosphate insecticides and herbicides: tetrachlorvinphos, parathion, malathion, diazinon and glyphosate.	IARC Working Group. Lyon: IARC Monogr Eval Carcinog Risk Chem Hum; 3-10 March 2015.	JMPR	④
1551	1:ヒトに対する毒性	International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use	2011	ICH Harmonised Tripartite Guideline: Guidance on genotoxicity testing and data interpretation for pharmaceuticals intended for human use.	S2(R1). Current Step 4 version dated 9 November 2011. Geneva: ICH.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1552	1:ヒトに対する毒性	Jauhainen A, Räsänen K, Sarantila R, Nuutinen J, Kangas J	1991	Occupational exposure of forest workers to glyphosate during brush saw spraying work.	Am Ind Hyg Assoc J. 52:61-4.	JMPR	④
1553	1:ヒトに対する毒性	Jensen JC	1991	Mutagenicity test: Ames Salmonella assay with glyphosate, batch 206-JaK-25-1.	Laboratory report no. 12323, dated 10 September 1991, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark. Unpublished report.	JMPR	④
1554	1:ヒトに対する毒性	Jensen JC	1991	Mutagenicity test: in vitro mammalian cell gene mutation test with glyphosate, batch 206JaK-25-1.	Unpublished report. Laboratory report no. 12325, dated 10 September 1991, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1555	1:ヒトに対する毒性	Jensen JC	1991	Mutagenicity test: micronucleus test with glyphosate, batch 206-JaK-25-1.	Unpublished report. Laboratory report no. 12324, dated 12 September 1991, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1556	1:ヒトに対する毒性	Jensen JC	1993	Mutagenicity test: Ames Salmonella test with AMPA, batch 286-JRJ-73-4.	Unpublished report. Laboratory report no. 13269, dated 18 February 1993, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1557	1:ヒトに対する毒性	Jensen JC	1993	Mutagenicity test: In vitro mammalian cell gene mutation test performed with mouse lymphoma cells (L5178Y).	Test compound: AMPA, batch 286-JRJ-73-4. Unpublished report. Laboratory report no. 13270, dated 18 February 1993, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1558	1:ヒトに対する毒性	Jensen JC	1993	Mutagenicity test: Micronucleus test with AMPA, batch 286-JRJ-73-4.	Unpublished report Laboratory report no. 13268, dated 18 February 1993, from Scantox A/S, Lille Skensved, Denmark. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1559	1:ヒトに対する毒性	Johnson AJ	1996	Glyphosate acid: Acute delayed neurotoxicity study in the domestic hen.	Unpublished report No. CTL/C/3122, project no. ISN 361/960244, dated 23 August 1996, from Huntingdon Life Sciences Ltd., Huntingdon, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1560	1:ヒトに対する毒性	Johnson AJ	1982	Glyphosate: 21-Day dermal toxicity study with rabbits.	International Research and Development Corporation. Sponsored by Monsanto, St. Louis, MO, USA. Monsanto no.: IR-81-195. Unpublished study.	JMPR	④
1561	1:ヒトに対する毒性	Johnson IR	1997	Glyphosate acid: Eye irritation to the rabbit.	Unpublished report no. CTL/P/5138, study no. FB5378, dated 18 March 1997, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1562	1:ヒトに対する毒性	Jones E	1999	Potassium salt of glyphosate: Mouse bone marrow micronucleus test.	Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, United Kingdom. Report no. CTL/P/6244, Sponsored by Zeneca Agrochemicals, Surrey, England, UK. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1563	1:ヒトに対する毒性	Jones RR, Barone-Adesi F, Koutros S, Lerro CC, Blair A, Lubin J et al.	2015	Incidence of solid tumours among pesticide applicators exposed to the organophosphate insecticide diazinon in the Agricultural Health Study: an updated analysis.	Occup Environ Med. 72:496-503. doi: 10.1136/oemed-2014-102728.	JMPR	④
1564	1:ヒトに対する毒性	Kamijo Y, Takai M, Sakamoto T	2016	A multicenter retrospective survey of poisoning after ingestion of herbicides containing glyphosate potassium salt or other glyphosate salts in Japan.	Clin Toxicol (Phila). 54:147-51. http://dx.doi.org/10.3109/15563650.2015.1121271 .	JMPR	④
1565	1:ヒトに対する毒性	Kennelly JC	1990	ICIA 0224 :Assessment for the induction of unscheduled DNA synthesis in rat hepatocytes in vivo.	ICI Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Report no. CTL/P/2789, dated 7 February 1990. Sponsored by ICI Agrochemicals. Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1566	1:ヒトに対する毒性	Kier LD	1978	Final report on Salmonella mutagenicity assay of glyphosate.	Unpublished report no. LF-78161, dated 23 October 1978. From Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1567	1:ヒトに対する毒性	Kier LD, Kirkland DJ	2013	Review of genotoxicity studies of glyphosate and glyphosate-based formulations.	Crit Rev Toxicol. 43(4):283-315.	JMPR	④
1568	1:ヒトに対する毒性	Kier LD, Stegeman SD	1993	Mouse micronucleus study of AMPA.	Report no. MSL-13243, dated 8 December 1993. Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Unpublished report.	JMPR	④
1569	1:ヒトに対する毒性	Kier LD, Flowers LJ, Huffman MB	1992	Mouse micronucleus study of RODEO herbicide formulation.	EHL study no. 91201/91205, dated 25 February 1992. Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Unpublished report.	JMPR	④
1570	1:ヒトに対する毒性	Kier LD, Stegeman SD, Costello JG, Schermes S	1992	Ames/Salmonella mutagenicity assay of RODEO.	EHL study no. 91184, dated 7 February 1992. Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Unpublished report.	JMPR	④
1571	1:ヒトに対する毒性	Kinoshita M	1995	HR-001: 13-Week subchronic oral toxicity study in rats.	The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET-94-0138, dated 20 July 1995. Sponsored by Sankyo Co., Ltd., Tokyo, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1572	1:ヒトに対する毒性	Knapp J	2007	Reproduction/developmental toxicity screening study of MON 0818 in Rats.	WIL Research Laboratories, LLC., Ashland, OH, USA. Study no. WIL-50282, dated 4 January 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1573	1:ヒトに対する毒性	Knapp JF	2008	A combined 28-day repeated dose oral (dietary) toxicity study with the reproduction/developmental toxicity screening test of MON 8109 and MON 0818 in rats.	WIL Research Laboratories, LLC., Ashland, OH, USA. Study no. WIL-50337, dated 3 April 2008. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1574	1:ヒトに対する毒性	Knezevich A, Hogan G	1983	A chronic feeding study of glyphosate (Roundup Technical) in mice:	Project no. 77-2061: Monsanto report BDN-77- 420, dated 21 July 1983. Unpublished study.	JMPR	④
1575	1:ヒトに対する毒性	Knowles SL, Mookherjee CR	1996	[14C]Glyphosate: Absorption, distribution, metabolism and excretion following oral administration to the rat.	Corning Hazleton Europe, Harrogate, North Yorkshire, England, UK. Data owner: Nufarm. Unpublished report no.: 1413/2-1011, dated 23 October 1996.	JMPR	④
1576	1:ヒトに対する毒性	Koakoski G, Quevedo RM, Ferreira D, Oliveira TA, da Rosa JG, de Abreu MS et al.	2014	Agrichemicals chronically inhibit the cortisol response to stress in fish.	Chemosphere. 112:85-91. doi.org/http://dx.doi.org/10.1016/j.chemosphere.2014.02.083.	JMPR	④
1577	1:ヒトに対する毒性	Koichi E	1995	HR-001: Acute inhalation toxicity study in rats.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET 94-0155. Unpublished report.	JMPR	④
1578	1:ヒトに対する毒性	Kojima H, Takeuchi S, Nagai T	2010	Endocrine disrupting potential of pesticides via nuclear receptors and aryl hydrocarbon receptor.	J Health Sci. 56(4):374-86. doi:10.1248/jhs.56.374.	JMPR	④
1579	1:ヒトに対する毒性	Kojima H, Katsura E, Takeuchi S, Niiyama K, Kobayashi K	2004	Screening for estrogen and androgen receptor activities in 200 pesticides by in vitro reporter gene assays using Chinese hamster ovary cells.	Environ Health Perspect. 112(5):524-31. doi:10.1289/ehp.6649.	JMPR	④
1580	1:ヒトに対する毒性	Koller VJ, Furhacker M, Nersesyan A, Misik M, Eisenbauer M, Knasmueller S	2012	Cytotoxic and DNAdamaging properties of glyphosate and Roundup in human-derived buccal epithelial cells.	Arch Toxicol. 86:805-13.	JMPR	④
1581	1:ヒトに対する毒性	Komura H	1995	HR-001: Acute oral toxicity study in mice. USEPA FIFRA Guideline Subdivision F, 81-1.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID no. IET 94-0133, dated 20 February 1995. Unpublished report.	JMPR	④
1582	1:ヒトに対する毒性	Komura H	1995	HR-001: Acute oral toxicity study in rats.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory Project no. IET 94-0134, dated 20 February 1995. Unpublished report..	JMPR	④
1583	1:ヒトに対する毒性	Komura H	1995	HR-001: Acute dermal toxicity study in rats.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET 94-0154, dated 14 March 1995. Unpublished report.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1584	1:ヒトに対する毒性	Komura H	1996	AMPA: Acute oral toxicity study in mice.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID no. IET 96-0075, dated 11 November 1996. Sponsor: Sankyo Co., Ltd, Tokyo, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1585	1:ヒトに対する毒性	Koureas M, Tsezou A, Tsakalof A, Orfanidou T, Hadjichristodoulou C	2014	Increased levels of oxidative DNA damage in pesticide sprayers in Thessaly Region (Greece).	Implications of pesticide exposure. Sci Total Environ. 496:358–64.	JMPR	④
1586	1:ヒトに対する毒性	Koutros S, Beane Freeman LE, Lubin JH, Heltshe SL, Andreotti G, Barry KH et al.	2013	Risk of total and aggressive prostate cancer and pesticide use in the Agricultural Health Study.	Am J Epidemiol. 177:59–74. doi:10.1093/aje/kws225.	JMPR	④
1587	1:ヒトに対する毒性	Koutros S, Silverman DT, Alavanja MC, Andreotti G, Lerro CC, Heltshe S et al.	2015	Occupational exposure to pesticides and bladder cancer risk.	Int J Epidemiol. 45(3):792–805. doi: 10.1093/ije/dyv195.	JMPR	④
1588	1:ヒトに対する毒性	Krüger M, Shehata AA, Schrödl W, Rodloff	2013	Glyphosate suppresses the antagonistic effect of Enterococcus spp. on Clostridium botulinum.	Anaerobe. 20:74–8.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1589	1:ヒトに対する毒性	Kryuchkova YV, Burygin GL, Gogoleva NE, Gogolev YV, Chernyshova MP, Makarov OE et al.	2014	Isolation and characterization of a glyphosate-degrading rhizosphere strain, <i>Enterobacter cloacae</i> K7.	Microbiol Res. 169(1):99-105. doi: 10.1016/j.micres.2013.03.002.	JMPR	④
1590	1:ヒトに対する毒性	Kuiper GG, Lemmen JG, Carlsson B, Corton JC, Safe SH, van der Saag PT et al.	1998	Interaction of estrogenic chemicals and phytoestrogens with estrogen receptor beta.	Endocrinology. 139:4252-63.	JMPR	④
1591	1:ヒトに対する毒性	Kumar DP	2001	Carcinogenicity study with glyphosate technical in swiss albino mice.	Toxicology Department, Rallis Research Centre, Rallis India Limited, Bangalore, India. Data owner: Feinchemie Schwebda GmbH. Study no.: Toxi:1559.CARCI-M. Unpublished study.	JMPR	④
1592	1:ヒトに対する毒性	Kumar S, Khodoun M, Kettleson EM, McKnight C, Reponen T, Grinshpun SA et al.	2014	Glyphosate-rich air samples induce IL-33, TSLP and generate IL-13 dependent airway inflammation.	Toxicology. 325:42-51.	JMPR	④
1593	1:ヒトに対する毒性	Kuwahara M	1995	HR-001: 13-Week subchronic oral toxicity study in mice.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory report no.: IET 94-0136, dated 24 April 1995. Data owner: Arysta LifeScience. Unpublished study.	JMPR	④
1594	1:ヒトに対する毒性	Lancot C, Navarro-Martin L, Robertson C, Park B, Jackman P, Pauli BD et al.	2014	Effects of glyphosatebased herbicides on survival, development, growth and sex ratios of wood frog (<i>Lithobates sylvaticus</i>) tadpoles. II: agriculturally relevant exposures to Roundup WeatherMax® and Vision® under laboratory conditions.	Aquat Toxicol. 154:291-303. http://dx.doi.org/10.1016/j.aquatox.2014.05.025 .	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1595	1:ヒトに対する毒性	Lankas GR	1981	A lifetime feeding study of glyphosate (ROUNDUP Technical) in rats.	Bio/dynamics Inc., East Millstone, NJ, USA. Data owner: Monsanto. Study/project no.: 77-2062 (BDN 77-416). Unpublished study.	JMPR	④
1596	1:ヒトに対する毒性	Lau J, Ioannidis JP, Terrin N, Schmid CH, Olkin I	2006	The case of the misleading funnel plot.	BMJ. 333(7568):597-600.	JMPR	④
1597	1:ヒトに対する毒性	Lavy TL, Cowell JE, Steinmetz JR, Massey JH	1992	Conifer seedling nursery worker exposure to glyphosate.	Arch Environ Contam Toxicol. 22:6-13.	JMPR	④
1598	1:ヒトに対する毒性	Lawlor TE	2000	Mutagenicity test with MON 59112 in the Salmonella-Escherichia coli/mammalianmicrosome reverse mutation assay with a confirmatory assay.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Covance study no. 19022-0-409OECD; Monsanto study no. HL-97-235, dated 22 May 2000. Unpublished study.	JMPR	④
1599	1:ヒトに対する毒性	Leah AM	1988	Aminomethyl phosphonic acid: acute oral toxicity to the rat.	Unpublished report no. CTL/P/2266, study no. AR4690, dated 26 August 1988, from ICI Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1600	1:ヒトに対する毒性	Lee WJ, Cantor KP, Berzofsky JA, Zahm SH	2004	Non hodgkin's lymphoma among asthmatics exposed to pesticides.	Int J Cancer. 111:298-302.	JMPR	④
1601	1:ヒトに対する毒性	Lee HI, Chen KW, Chi CH, Huang JJ, Tsai LM	2000	Clinical presentations and prognostic factors of a glyphosate-surfactant herbicide intoxication: a review of 131 cases.	Acad Emerg Med. 7:906-10.	JMPR	④
1602	1:ヒトに対する毒性	Lerro CC, Koutros S, Andreotti G, Friesen MC, Alavanja MC, Blair A et al.	2015	Organophosphate insecticide use and cancer incidence among spouses of pesticide applicators in the Agricultural Health Study.	Occup Environ Med. 72(10):736-44.	JMPR	④
1603	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2002	Acute toxicity of AMPA (aminomethyl phosphonic acid) in CD rats by dermal administration-Limit test.	LPT Laboratory of Pharmacology, Hamburg, Germany. LPT report no. 16168/02. Sponsored by Agan Chemical Manufacturers Ltd., Ashdod, Israel.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1604	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2002	Examination of AMPA (aminomethyl phosphonic acid) in the skin sensitization test in guinea pigs according to Magnusson and Kligman (Maximisation test).	LPT Laboratory of Pharmacology, Hamburg, Germany. LPT report no. 16169/02. Sponsored by Agan Chemical Manufacturers Ltd., Ashdod, Israel.	JMPR	④
1605	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2009	Acute dermal irritation/corrosion test (Patch Test) of glyphosate TC in rabbits.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. Laboratory report no. LPT report no. 24877, dated 27 November 2009. Unpublished report.	JMPR	④
1606	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2009	Acute eye irritation/corrosion test of glyphosate TC in rabbits.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. LPT report no. 24878, dated 27 November 2009. Unpublished report.	JMPR	④
1607	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2009	Acute dermal irritation/corrosion test (patch test) of glyphosate TC in rabbits.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. LPT report no. 23913, dated 30 April 2009. Unpublished report.	JMPR	④
1608	1:ヒトに対する毒性	Leuschner J.	2009	Acute eye irritation/corrosion test of glyphosate TC in rabbits.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology, GmbH & Co. KG, Hamburg, Germany. Data owner: Helm AG. Report no.: LPT 23914, dated 30 April 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1609	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2010	Acute dermal irritation/corrosion test (Patch Test) of glyphosate TC in rabbits.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co., Hamburg, Germany. LPT report no. 24605, dated 6 January 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1610	1:ヒトに対する毒性	Leuschner PJ	2010	Acute eye irritation/corrosion test of glyphosate TC in rabbits.	LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology GmbH & Co. Hamburg, Germany. Data owner: Helm AG. LPT report no. 24606 - 185, dated 6 January 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1611	1:ヒトに対する毒性	Li P, Long TJ	1988	An evaluation of the genotoxic potential of glyphosate.	Fundam Appl Toxicol. 10:537- 46.	JMPR	④
1612	1:ヒトに対する毒性	Lima Dallago BS	2008	Skin sensitisation test for glyphosate technical in guinea pigs. Buehler Test.	Bioagri Laboratórios, Sao Paulo, Brazil. Data owner: Helm AG report no.: RF-3996.318.431.07, dated 30 September 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1613	1:ヒトに対する毒性	Lioi MB, Scarfi MR, Santoro A, Barbieri R, Zeni O, Di Berardino D et al.	1998	Genotoxicity and oxidative stress induced by pesticide exposure in bovine lymphocyte cultures in vitro.	Mutat Res. 403(1-2):13-20.	JMPR	④
1614	1:ヒトに対する毒性	Lioi MB, Scarfi MR, Santoro A, Barbieri R, Zeni O, Salvemini F et al.	1998	Cytogenetic damage and induction of pro-oxidant state in human lymphocytes exposed in vitro to glyphosate, vinclozolin, atrazine, and DPX-EP636.	Environ Mol Mutagen. 32:39-46.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1615	1:ヒトに対する毒性	Lopez MS, Monroy CM, Sicard DM, Groot H	2005	[Cytotoxicity and genotoxicity of human cells exposed in vitro to glyphosate].	Biomédica: revista del Instituto Nacional de Salud. 25:335-45 (in Spanish).	JMPR	④
1616	1:ヒトに対する毒性	Lueken A, Juhl-Strauss U, Krieger G, Witte I	2004	Synergistic DNA damage by oxidative stress (induced by H ₂ O ₂) and nongenotoxic environmental chemicals in human fibroblasts.	Toxicol Lett. 147:35-43.	JMPR	④
1617	1:ヒトに対する毒性	MacKenzie SA	2007	IN-MCX20: Subchronic toxicity 90-day feeding study in rats.	Unpublished report no. DuPont-19008. DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA, dated 22 February 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1618	1:ヒトに対する毒性	Macpherson D	1996	Glyphosate acid: biotransformation in the rat.	Unpublished report no. CTL/P/5058, dated 28 June 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1619	1:ヒトに対する毒性	Maibach HI	1983	(a) Elimination of ¹⁴ C-glyphosate in Rhesus monkeys following a single parenteral dose. (b) Percutaneous absorption of ¹⁴ C-glyphosate in Roundup formulation in Rhesus monkeys following a single topical dose.	Unpublished report No. MA-81-349, dated 1 April 1983, from University of California, School of Medicine; San Francisco, CA, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1620	1:ヒトに対する毒性	Majeska JB	1982	SC-0224 Mutagenicity evaluation in bone marrow cytogenetic analysis in rats.	Report No. T-10884, dated 9 September 1982. The In Vitro Toxicology Section, Environmental Health Center, Stauffer Chemical Company, Farmington, CT, USA. Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1621	1:ヒトに対する毒性	Majeska JB	1985	Mutagenicity evaluation in Chinese Hamster Ovary Cytogenic assay.	The In Vitro Toxicology Section, Environmental Health Center, Stauffer Chemical Company, Farmington, CT, USA. Report no. T-12663 SC-0224, dated 18 December 1985. Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1622	1:ヒトに対する毒性	Majeska JB	1986	SC-0224 (Lot no. JHC 8865-20-1) mutagenicity evaluation in bone marrow micronucleus.	The In Vitro Toxicology Section, Stauffer Chemical Company, Farmington, CT, USA. Report no. T-12589, dated 8 April 1986. Submitted by Syngenta. Unpublished study.	JMPR	④
1623	1:ヒトに対する毒性	Manas FL, Peralta L, Raviolo J, Ovando HG, Weyers A, Ugnia L et al.	2009	Genotoxicity of glyphosate assessed by the comet assay and cytogenetic tests.	Environ Toxicol Pharmacol. 28(1):37-41.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1624	1:ヒトに対する毒性	Manas F, Peralta L, Raviolo J, Ovando HG, Weyers A, Ugnia L et al.	2009	Genotoxicity of AMPA, the environmental metabolite of glyphosate, assessed by the Comet assay and cytogenetic tests.	Ecotoxicol Environ Saf. 72(3):834-7.	JMPR	④
1625	1:ヒトに対する毒性	Mandel JS, Alexander BH, Baker BA, Acquavella JF, Chapman P, Honeycutt R	2005	Biomonitoring for farm families in the Farm Family Exposure Study.	Scan J Work Environ Health. 31(Suppl 1): 98-104.	JMPR	④
1626	1:ヒトに対する毒性	Matheson DW	1982	SC-0224 (Lot no. 6841-48-3) Mutagenicity evaluation in bone marrow micronucleuscytogenetic analysis in rats.	The In Vitro Toxicology Section, Stauffer Chemical Company, Farmington, CT, USA. Report no. T-10884. Submitted by Syngenta. Unpublished study.	JMPR	④
1627	1:ヒトに対する毒性	Matsumoto K	1995	HR-001: In Vitro Cytogenetics Test.	The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Report no. IET 94-0143. Sponsored by Sankyo Co., Tokyo, Japan.	JMPR	④
1628	1:ヒトに対する毒性	Mavournin KH, Blakey DH, Cimino MC, Salamone MF, Heddle JA	1990	The in vivo micronucleus assay in mammalian bone marrow and peripheral blood.	A report of the U.S. Environmental Protection Agency Gene-Tox Program. Mutation Res. 239:29-80.	JMPR	④
1629	1:ヒトに対する毒性	McDuffie HH, Pahwa P, McLaughlin JR, Spinelli JJ, Fincham S, Dosman JA et al.	2001	Non-Hodgkin's lymphoma and specific pesticide exposures in men: cross-Canada study of pesticides and health.	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 10(11):1155-63.	JMPR	④
1630	1:ヒトに対する毒性	McEwen AB	1995	HR-001: Metabolism in the rat.	Huntingdon Research Centre Ltd., Huntingdon, Cambridgeshire, England, UK. Data owner: Arysta Lifescience SAS, Report No.: SNY 332/951256, dated 16 August 1995. Unpublished study no. ASB2012-11379.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1631	1:ヒトに対する毒性	Mecchi MS	2004	Salmonella-Escherichia coli/mammalian-microsome reverse mutation assay with a confirmatory assay with N-acetyl-glyphosate.	Unpublished report no. Covance 7535-101. Covance Laboratories, Inc., Vienna, VA, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1632	1:ヒトに対する毒性	Merkel DJ	2005	Acute oral toxicity up and down procedure in rats.	Product Safety Laboratories, Dayton, NJ, USA. Laboratory study no. 15274, dated 4 April 2005. Unpublished report.	JMPR	④
1633	1:ヒトに対する毒性	Merkel DJ	2005	Acute dermal toxicity study in rats – Limit Test.	Product Safety Laboratories, Dayton, NJ, USA. Laboratory report no. 15275, dated 4 April 2005. Unpublished report.	JMPR	④
1634	1:ヒトに対する毒性	Merkel DJ	2005	Acute inhalation toxicity study in rats – Limit Test.	Product Safety Laboratories, Dayton, NJ, USA. Laboratory report no. 15276, dated 4 April 2005. Unpublished report.	JMPR	④
1635	1:ヒトに対する毒性	Merkel DJ	2005	Primary skin irritation study in rabbits.	Product Safety Laboratories, Dayton, NJ, USA. Laboratory report no. 15278, dated 14 April 2005. Unpublished report.	JMPR	④
1636	1:ヒトに対する毒性	Merkel D	2005	Eye irritation/corrosion effects in rabbits (Oryctolagus cuniculus) of glyphosate 95 TC	Product Safety Laboratories, Dayton, NJ, USA. Data owner: Helm AG, report no.: PSL 15277 dated 4 April 2005. Unpublished study.	JMPR	④
1637	1:ヒトに対する毒性	Merkel D	2005	Glyphosate acid technical – Dermal sensitization in guinea pigs (Buehler Method).	Product Safety Laboratories, Dayton, NJ, USA. Data owner: Helm AG report no.: PSL 15279, dated 4 April 2005. Unpublished study.	JMPR	④
1638	1:ヒトに対する毒性	Milburn GM	1996	Glyphosate acid: One year dietary toxicity study in rats.	Unpublished report no. CTL/P/5143. Study no. PR 1012, dated 2 October 1996. From Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1639	1:ヒトに対する毒性	Mills PK, Yang R	2003	Prostate cancer risk in California farm workers.	J Occup Environ Med. 45(3):249–58.	JMPR	④
1640	1:ヒトに対する毒性	Mills PK, Yang R, Riordan D	2005	Lymphohematopoietic cancers in the United Farm Workers of America (UFW), 1988–2001.	Cancer Causes Control. 16(7):823–830. doi:10.1007/s10552-005-2703-2.	JMPR	④
1641	1:ヒトに対する毒性	Ming Z, Ting H, Yiping Y, Caigao Z, Lan G, Wang A et al.	2014	Cytotoxicity of glyphosate to GC-1 mice spermatogonium and antagonistic effects of N-acetylcysteine.	Asian J Ecotoxicol. 9(1):159–66. doi:10.7524/AJE.1673-5897.20130906001.	JMPR	④
1642	1:ヒトに対する毒性	Miyaji CK	2008	Evaluation of the mutagenic potential of the test substance Glyphosate Technical by reverse mutation assay in Salmonella typhimurium (Ames Test).	Bioagri Laboratorios, Sao Paulo, Brazil. Study no. 3996.401.392.07, RF-3996.401.392.07, dated 15 September 2008. Sponsored by Jingma Chemicals Co., Ltd, Zhejiang, China. Unpublished study.	JMPR	④
1643	1:ヒトに対する毒性	Mizuyama K	1987	Irritating effect of glyphosate, surfactant and roundup on stomach and small intestine in dogs.	University of Tsukuba, Clinic medicine, Tsukuba, Japan. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1644	1:ヒトに対する毒性	Mladinic M, Berend S, Vrdoljak AL, Kopjar N, Radic B, Zeljezic D	2009	Evaluation of genome damage and its relation to oxidative stress induced by glyphosate in human lymphocytes in vitro.	Environ Mol Mutagen. 50(9):800-7.	JMPR	④
1645	1:ヒトに対する毒性	Moore GE	1999	NUP5a99 62% glyphosate MUP: Acute oral toxicity study in rats – Limit test	Product Safety Labs, NJ, USA study no.: 7907, dated 16 September 1999, Unpublished study.	JMPR	④
1646	1:ヒトに対する毒性	Morgan RL, Thayer KA, Bero L, Bruce N, Falck-Ytter Y, Ghersi D et al.	2016	GRADE: Assessing the quality of evidence in environmental and occupational health.	Environ Int. 92-3:611-6. doi: 10.1016/j.envint.2016.01.004.	JMPR	④
1647	1:ヒトに対する毒性	Moxon ME	1996	Glyphosate acid: Developmental toxicity study in the rat.	Unpublished report No.CTL/P/4819, study No. RR0690, dated 27 March 1996, CTL/P/4819/amendment-001, dated 20 November 2002, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1648	1:ヒトに対する毒性	Moxon ME	1996	Glyphosate acid: Developmental toxicity study in the rabbit.	Unpublished report no. CTL/P/5009, study no. RB0709, dated 2 July 1996, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1649	1:ヒトに対する毒性	Moxon ME	2000	Glyphosate acid: Multigeneration reproduction toxicity study in rats.	Unpublished report no. CTL/P/6332, study no. RR0784, dated 16 June 2000, from Zeneca Agrochemicals, Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Submitted to WHO by Syngenta Crop Protection AG, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1650	4:環境動態	Mueller MM, Rosenberg C, Siltanen H, Wartiovaara T	1981	Fate of glyphosate and its influence on nitrogen cycling in two Finnish agriculture soils.	Bull Environ Contamin Toxicol. 27:724-30.	JMPR	④
1651	1:ヒトに対する毒性	Murli H	2004	Chromosomal aberrations in Chinese hamster ovary (CHO) cells.	Unpublished report no. Covance 7535-102. Covance Laboratories, Inc., Vienna, VA, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1652	1:ヒトに対する毒性	Myhr BC	2000	Mutagenicity test on MON 59112 in the in vivo mouse micronucleus assay.	Covance Laboratories, Inc., Covance, Vienna, VA, USA. Project no.: Covance 19022-0-455OECD, dated 31 May 2000. MRID 46930503. Unpublished study.	JMPR	④
1653	1:ヒトに対する毒性	Nachman KE, Fox MA, Sheehan MC, Burke TA, Rodricks JV, Woodruff TJ	2011	Leveraging epidemiology to improve risk assessment.	Open Epidemiol J. 4:3-29.	JMPR	④
1654	1:ヒトに対する毒性	Nagy K	2011	Glyphosate technical – Acute inhalation toxicity study (nose-only) in the rat.	LAB Research Ltd., Szabadsagpuszta, Hungary. Lab report no. 11/054-004P, dated 6 June 2011. Unpublished report.	JMPR	④
1655	1:ヒトに対する毒性	Nakashima N	1997	HR-001: 12-month oral chronic toxicity study in dogs.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Study no.: IET 94-0157. Data owner: Arysta LifeScience, dated 20 May 1997. Unpublished study.	JMPR	④
1656	1:ヒトに対する毒性	Nascimento A, Grisolia CK	2000	Analise Comparativa Entre os Testes de Micronucleos em Camundongos E em Eritrocitos Perifericos de Oreochromis niloticus na Avaliacao do Potencial Mutagenico dos Agrototoxicos Deltametrian, Dicofof, Glifosato E Imazapyr.	Pesticidas R. Ecotoxicol. E Meio Ambiente, Curitiba, v. 10, p. 41-48 jan/dez 2000.	JMPR	④
1657	1:ヒトに対する毒性	Navarro CD, Martinez CB	2014	Effects of the surfactant polyoxyethylene amine (POEA) on genotoxic, biochemical and physiological parameters of the freshwater teleost Prochilodus lineatus.	Comp Biochem Physiol C Toxicol Pharmacol. 165:83-90.	JMPR	④
1658	1:ヒトに対する毒性	Naydenova E, Troev K, Topashka-Ancheva M, Hagele G, Ivanov I, Kril A	2007	Synthesis, cytotoxicity and clastogenicity of novel alpha-aminophosphonic acids.	Amino Acids. 33(4):695-702.	JMPR	④
1659	1:ヒトに対する毒性	Negro Silva LF	2009	Glyphosate A17035A-mammalian erythrocyte micronucleus test.	TECAM Tecnologia Ambiental Sao Roques Ltd. Sao Roque, SP, Brazil. Report no. RL 7459/2008-14.0MN-B, Study no. 7459/2008-14.0MN, dated January 2009. Sponsored by Syngenta Protecao de Cultivos, Ltda., Sao Paulo, Brazil. Unpublished study.	JMPR	④
1660	1:ヒトに対する毒性	Negro Silva LF (	2011	Glyphosate: Glyphosate SL (A13013Z)-mammalian erythrocyte micronucleus test.	TECAM Tecnologia Ambiental Sao Roque Ltda, Sao Roque, SP, Brasil. Report no. RL69575MN-B, February 18, 2011. Sponsored by Syngenta Protecao De Cultivos LTDA, Sao Paulo-SP, Brazil, Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1661	1:ヒトに対する毒性	Nesslany F	2002	Measurement of unscheduled DNA synthesis (UDS) in rat hepatocyte using an in vitro procedure with AMPA (aminomethylphosphonic acid).	Institut Pasteur DElille, Genetic Toxicology Laboratory, Lille Cedex. Report no. IPL-R 020625/AMPA (aminomethylphosphonic acid)/Calliope SAS. Sponsored by Mrs. Florence Leconte. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1662	1:ヒトに対する毒性	Nippon Experimental Medical Research Institute	2012	Responses to Inquiries from Pesticide Expert Panel,	Food Safety Commission of Japan (held on 20 December 2012).	JMPR	④
1663	1:ヒトに対する毒性	Nord PJ	2008	A combined 28-day repeated dose oral (dietary) toxicity study with the reproduction/developmental toxicity screening test of MON 8109 and MON 0818 in rats- Sub-report on analysis of dietary formulations.	Monsanto, St. Louis, MO, USA. Study no.: WI-2007-013, dated 17 January 2008. Unpublished study.	JMPR	④
1664	1:ヒトに対する毒性	Nordström M, Hardell L, Magnuson A, Hagberg H, Rask-Andersen A.	1998	Occupational exposures, animal exposure and smoking as risk factors for hairy cell leukaemia evaluated in a case-control study.	Br J Cancer. 1998 Jun;77(11):2048-52.	JMPR	④
1665	1:ヒトに対する毒性	NTP	2016	Report on Carcinogens, Fourteenth Edition. 1,4-Dioxane CAS No. 123-91-1.	Research Triangle Park, NC: National Toxicology Program. (http://ntp.niehs.nih.gov/ntp/roc/content/profiles/dioxane.pdf ; accessed 3 December 2016).	JMPR	④
1666	1:ヒトに対する毒性	OECD	2014	OECD guidelines for testing of chemicals Section 4: Mammalian erythrocyte micronucleus test.	TG 474. Paris: Organisation for Economic Cooperation and Development; pp. 21. doi: http://dx.doi.org/10.1787/9789264224292-en .	JMPR	④
1667	1:ヒトに対する毒性	Ogrowsky D	1989	Four-week feeding study of (inert ingredient) in Sprague-Dawley rats.	Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Project no.: ML/88/273, MSL/9238, 1663, dated 31 July 2006. Unpublished study.	JMPR	④
1668	1:ヒトに対する毒性	Omoike OE, Lewis RC, Meeker JD	2015	Association between urinary biomarkers of exposure to organophosphate insecticides and serum reproductive hormones in men from NHANES 1999-2002.	Reprod Toxicol. 53:99-104.	JMPR	④
1669	1:ヒトに対する毒性	Orsi L, Delabre L, Monnereau A, Delval P, Berthou C, Fenaux P et al.	2009	Occupational exposure to pesticides and lymphoid neoplasms among men: results of a French case-control study.	Occup Environ Med. 66(5):291-8. doi: 10.1136/oem.2008.040972.	JMPR	④
1670	1:ヒトに対する毒性	Osheroff M.	1991	13-Week subchronic toxicity study in dogs with ATMER 163.	Hazeltan Washington, Inc., Vienna, VA, USA. HWA study no. 564-164, dated 18 April 1991 (study completion date). Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1671	1:ヒトに対する毒性	Paganelli A, Gnazzo V, Acosta H, López SL, Carrasco AE	2010	Glyphosate-based herbicides produce teratogenic effects on vertebrates by impairing retinoic acid signalling.	Chem Res Toxicol. 23(10):1586–95. doi:10.1021/tx1001749.	JMPR	④
1672	1:ヒトに対する毒性	Pahwa M, Harris SA, Hohenadel K, McLaughlin JR, Spinelli JJ, Pahwa P et al.	2012	Pesticide use, immunologic conditions, and risk of non-Hodgkin lymphoma in Canadian men in six provinces.	Int J Cancer. 131(11):2650–9. doi:10.1002/ijc.27522.	JMPR	④
1673	1:ヒトに対する毒性	Parker RM	1993	90 Day range finding study of glyphosate in rats.	TSI Redfield Laboratories, Redfield, AR, USA. Laboratory project no. 011-0001. Submitted/sponsored by by Alkaloida Co. Ltd., Hungary. Unpublished study.	JMPR	④
1674	1:ヒトに対する毒性	Patel NN	2012	Micronucleus test of glyphosate TGAI in mice.	Jai Research Foundation, Toxicology and Environmental Research Consulting (TERC), Valsad, Gujarat India. Study no. 120709, 485-1-06-4696, dated 13 September 2012. Sponsored by Dow AgroScience LLC, Indianapolis, IN, USA. Unpublished study.	JMPR	④
1675	1:ヒトに対する毒性	Pavkov KL, Turnier JC	1987	Two-year chronic toxicity and oncogenicity dietary study with SC-0224 in mice.	Stauffer Laboratory Farmington, CT, USA. Study no. T-11813. Unpublished study. Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1676	1:ヒトに対する毒性	Pavkov KL, Wyand S	1987	Two-year chronic toxicity and oncogenicity dietary study with SC-0224 in rats.	Stauffer Laboratory, Farmington, CT, USA. Study no. T-11082. Unpublished study. Submitted by Syngenta, Basel, Switzerland.	JMPR	④
1677	1:ヒトに対する毒性	Paz-y-Mino C, Sanchez ME, Arevalo M, Munoz MJ, Witte T, De-la-Carrera GO, Leone PE	2007	Evaluation of DNA damage in an Ecuadorian population exposed to glyphosate.	Genet Mol Biol. 30(2):456–60.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1678	1:ヒトに対する毒性	Paz-y-Mino C, Munoz MJ, Maldonado A, Valladares C, Cumbal N, Herrera C et al.	2011	Baseline determination in social, health, and genetic areas in communities affected by glyphosate aerial spraying on the northeastern Ecuadorian border.	Rev Environ Health. 26(1):45-51.	JMPR	④
1679	1:ヒトに対する毒性	Perry CJ, Atkinson C, Strutt A, Hudson P, Jones M	1991	Glyphosate: 13 Week dietary toxicity study in mice.	Unpublished report no 7024, IRI project no. 437918, dated 7 March 1991, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1680	1:ヒトに対する毒性	Perry CJ, Atkinson C, Strutt A, Henderson W, Hudson P	1991	Glyphosate: 13 Week dietary toxicity study in rats.	Unpublished report no. 7136, IRI project no. 437876, dated 7 March 1991, from Inveresk Research International, Musselburgh, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1681	1:ヒトに対する毒性	Pesatori AC, Sontag JM, Lubin JH, Consonni D, Blair A	1994	Cohort mortality and nested case-control study of lung cancer among structural pest control workers in Florida (United States).	Cancer Causes Control. 5(4):310-8. doi:10.1007/BF01804981.	JMPR	④
1682	4:環境動態	Piccolo A, Celano G, Conte P	1996	Adsorption of glyphosate by humic substances.	J Agric Food Chem. 44:2442-6.	JMPR	④
1683	4:環境動態	Piccolo A, Gatta L, Campanella L	1995	Interactions of glyphosate herbicide with a humic acid and its iron complex.	Ann Chim. 85:31-40.	JMPR	④
1684	1:ヒトに対する毒性	Piesova E	2004	The influence of different treatment length on the induction of micronuclei in bovine lymphocytes after exposure to glyphosate.	Folia Veterinaria. 48(3):130-4.	JMPR	④
1685	1:ヒトに対する毒性	Piesova E	2005	The effect of glyphosate on the frequency of micronuclei in bovine lymphocytes in vitro.	Acta veterinaria (Beograd). 55(2):101-9. doi: 10.2298/AVB0503101P.	JMPR	④
1686	1:ヒトに対する毒性	Pinto PJ	1996	Glyphosate acid: 21 Day dermal toxicity study in rats.	Central Toxicology Laboratory, Alderley Park, Macclesfield, Cheshire, England, UK. Report no.: CTL/P/4985, dated 24 June 1996. Data owner: Syngenta. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1687	1:ヒトに対する毒性	Powles P	1992	14C-Glyphosate: Absorption and distribution in the rat – preliminary study.	Unpublished report no. 6365-676/1, dated 10 June 1992, from Hazleton UK, Harrogate, England, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1688	1:ヒトに対する毒性	Powles P	1992	14C-Glyphosate: absorption, distribution, metabolism, and excretion in the rat.	Unpublished report no. 7006-676/2, dated 30 June 1992, from Hazleton UK, Harrogate, England, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1689	1:ヒトに対する毒性	Prakash PJ	1999	Subchronic (90 day) oral toxicity study with glyphosate technical in beagle dogs. Test compound: Glyphosate technical.	Rallis Research Center, Rallis India Limited, Bangalore, India. Study no. 1816. Sponsored by M/s Feinchemie Schwebda GmbH, Koln, Germany. Unpublished study.	JMPR	④
1690	1:ヒトに対する毒性	Prasad S, Srivastava S, Singh M, Shukla Y	2009	Clastogenic effects of glyphosate in bone marrow cells of swiss albino mice.	J Toxicol. 2009;308985. doi: 10.1155/2009/308985.	JMPR	④
1691	1:ヒトに対する毒性	Raipulis J, Toma MM, Balode M	2009	Toxicity and genotoxicity testing of Roundup.	Proceedings of the Latvian Academy of Sciences, Section B. Nat Exact Appl Sci. 63(1/2):29–32.	JMPR	④
1692	1:ヒトに対する毒性	Rank J, Jensen AG, Skov B, Pedersen LH, Jensen K.	1993	Genotoxicity testing of the herbicide Roundup and its active ingredient glyphosate isopropylamine using the mouse bone marrow micronucleus test, Salmonella mutagenicity test, and Allium anaphase-telophase test.	Mutat Res. 300(1):29–36.	JMPR	④
1693	1:ヒトに対する毒性	Rattray NJ	1996	Glyphosate Acid: 4-Hour Acute Inhalation Toxicity Study in Rats.	Central Toxicology Laboratory, Alderley Park Macclesfield, Cheshire, England, UK. Laboratory report no. CTL/P/4882. Unpublished report, dated 29 April 1996.	JMPR	④
1694	1:ヒトに対する毒性	Reagan EL	1988	Acute dermal toxicity study of glyphosate batch/lot/nbr. No. XLI-55 in New Zealand White rabbits.	Unpublished report, FDRL study No. 88.2053.008, Monsanto study No. FD-88-29, dated 8 June 1988, from Feed & Drug Research Laboratories, Waverly, NY, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1695	1:ヒトに対する毒性	Reagan EL	1988	Primary eye irritation study of glyphosate batch/lot/nbr No. XLI-55 in New Zealand White rabbits.	Unpublished report, FDRL study No. 88.2053.009, Monsanto study No. FD-88-29, dated 8 June 1988, from Food & Drug Research Laboratories, Waverly, NY, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1696	1:ヒトに対する毒性	Reagan EL, Laveglia J	1988	Acute oral toxicity study of glyphosate batch/lot/NBR No. XLI-55 in SpragueDawley rats.	Feed and Drug Research Laboratory, Waverly, NY, USA. FDRL study no. 88.2053.007, Monsanto study no. FD-88-29. Submitted by Monsanto Company, St. Louis, MO, USA, 8 June 1988. Unpublished study.	JMPR	④
1697	1:ヒトに対する毒性	Reagan EL, Laveglia J	1988	Primary dermal irritation study of glyphosate batch/lot/NBR No. XLI-55 in New Zealand White Rabbits.	Feed and Drug Research Laboratories, Waverly, NY, USA. Data owner: Monsanto, Monsanto Report No.: FD-88-29, dated 8 June 1988. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1698	1:ヒトに対する毒性	Reagan EL, Laveglia J	1988	Primary irritation study of glyphosate, Guideline 81-4: Primary eye irritation.	Rabbit Feed and Drug Research Laboratories, Waverly, NY, USA. Data owner: Monsanto, Monsanto Report No.: FD-88-2053.009 (FD-88-29), dated 28 September 1988. Unpublished study.	JMPR	④
1699	1:ヒトに対する毒性	Reyna MS	1990	Glyphosate: Two generation reproduction feeding study with glyphosate in Sprague-Dawley Rats.	Monsanto Company Environmental Health Laboratory, MO, USA. Monsanto unpublished report no. ML-88106, Unpublished Study.	JMPR	④
1700	1:ヒトに対する毒性	Reyna MS, Ruecker FA	1985	Twelve-month study of glyphosate administered by gelatin capsule to beagle dogs,	Monsanto report ML-83-137.	JMPR	④
1701	1:ヒトに対する毒性	Reyna MS, Thake DC	1989	Range finding study of glyphosate administered in feed to Sprague-Dawley rats.	Unpublished report No. ML-88-272, study No. 88181, dated April 1989, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1702	1:ヒトに対する毒性	Riberri do Val R	2007	Bacterial reverse mutation test (Ames Test) for Glifosato Técnico Helm TECAM Tecnologia Ambiental Ltda.,	Brazil. Report no.: 3393/2007-2.0AM-B, dated 13 December 2007. Sponsored by Helm do Brasil Mercantil LTDA, Sao Paulo, Brazil. Unpublished study.	JMPR	④
1703	1:ヒトに対する毒性	Richard S, Moslemi S, Sipahutar H, Benachour N, Seralini GE	2005	Differential effects of glyphosate and roundup on human placental cells and aromatase.	Environ Health Perspect. 113(6): 716-20. doi: 10.1289/ehp.7728.	JMPR	④
1704	1:ヒトに対する毒性	Richeux F	2006	Glyphosate technical: Skin sensitisation in the guinea pig – Magnusson and Kligman maximisation method.	Data owner: Nufarm. Study no.: SMK-PH-05/2018, Report no.: 2060/009, dated 13 January 2006. GLP: Unpublished study.	JMPR	④
1705	1:ヒトに対する毒性	Ridley WP, Mirly K	1988	The metabolism of glyphosate in Sprague-Dawley rats. Part I. Excretion and tissue distribution of glyphosate and its metabolites following intravenous and oral administration.	Unpublished report, study no. 86139, project no. ML-86-438, dated March 1988, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1706	1:ヒトに対する毒性	Ridley WP	1983	A study of the plasma and bone marrow levels of glyphosate following intraperitoneal administration in the rat.	Unpublished report, study No. 830109, project no. ML-83-218, dated 24 October 1988, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1707	1:ヒトに対する毒性	Rodrigues HG, Penha-Silva N, deAraujo M, Nishijo H, Aversi-Ferreira TA	2011	Effects of Roundup pesticide on the stability of human erythrocyte membranes and micronuclei frequency in bone marrow cells of Swiss mice.	Open Biol J. 4:54-9.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1708	1:ヒトに対する毒性	Rodwell DE	1980	Dominant lethal study in mice.	Unpublished report, study no. 401-064, IR-79-014, dated 16 April 1980, from International Research and Development Corporation, Mattawan, MI, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1709	1:ヒトに対する毒性	Rossberger S	1994	DNA repair test with primary rat hepatocytes.	ANAWA Munchen AG, Planegg, Germany. Report no. 931564, Study completion 18 March 1994. Sponsored by Feinchemie Schwabda GmbH. Unpublished study.	JMPR	④
1710	1:ヒトに対する毒性	Roth M	2012	Glyphosate technical - Micronucleus assay in bone marrow cells of the mouse.	Harlan Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Report no. 1479200, dated 28 September 2012. Sponsored by Syngenta Ltd., Jealott's Hill International Research Centre, Berkshire, England, UK. Unpublished study.	JMPR	④
1711	1:ヒトに対する毒性	Roustan A, Aye M, De Meo M, Di Giorgio C	2014	Genotoxicity of mixtures of glyphosate and atrazine and their environmental transformation products before and after photoactivation.	Chemosphere. 108:93-100.	JMPR	④
1712	4:環境動態	Rueppel M, Brightwell BB, Schaefer J, Marvel JT	1977	Metabolism and degradation of glyphosate in soil and water.	J Agric Food Chem. 25:517-28.	JMPR	④
1713	1:ヒトに対する毒性	Sawada Y, Nagai Y, Ueyama M, Yamamoto I	1988	Probable toxicity of surface-active agent in commercial herbicide containing glyphosate.	Lancet. 1(8580):299.	JMPR	④
1714	1:ヒトに対する毒性	Schinasi L, Leon ME	2014	Non-Hodgkin lymphoma and occupational exposure to agricultural pesticide chemical groups and active ingredients: a systematic review and meta-analysis.	Int J Environ Res Public Health. 11(4):4449-527. doi:10.3390/ijerph110404449.	JMPR	④
1715	1:ヒトに対する毒性	Schreib G	2010	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium and Escherichia coli) with glyphosate technical.	BSL Bioservice Scientific Laboratories GmbH, Planegg, Germany. Report no.: 102025, dated 18 June 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1716	1:ヒトに対する毒性	Schreib G	2012	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium) with Glyphosate Tech.	BSL Bioservice study no., 126159, dated 17 December 2012. Sponsor: Industrias Afrsa, S. A., Paterna, Spain.	JMPR	④
1717	1:ヒトに対する毒性	Schreib G	2015	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium and Escherichia coli) with Glyphosate technical.	BSL Bioservice study no. 150099, dated 27 March 2015. Sponsor: Cheminova A/S, Levmvig, Denmark. Unpublished study.	JMPR	④
1718	1:ヒトに対する毒性	Schroeder RE, Hogan GK	1981	Glyphosate: A three generation reproduction study in rats with glyphosate.	Bio/Dynamics, Inc., East Millstone, NJ, USA. Bio/Dynamics Unpublished report no. BDN-77-417, dated 31 March 1981. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1719	1:ヒトに対する毒性	Séralini GE, Clair E, Mesnage R, Gress S, Defarge N, Manuela Malatesta M et al.	2014	Republished study: Long-term toxicity of a Roundup herbicide and a Roundup-tolerant genetically modified maize.	Environ Sci Europe, 26(1):1-14.	JMPR	④
1720	4:環境動態	Shehata AA, Kühnert M, Haufe S, Krüger M	2014	Neutralization of the antimicrobial effect of glyphosate by humic acid in vitro.	Chemosphere. 104:258-61.	JMPR	④
1721	1:ヒトに対する毒性	Shehata A, Schrödl W, Neuhaus J, Krüger M	2013	Antagonistic effect of different bacteria on Clostridium botulinum types A, B, C, D and E in vitro.	Vet Rec. 172(2):47.	JMPR	④
1722	1:ヒトに対する毒性	Shehata AA, Schrödl W, Aldin AA, Hafez HM, Krüger M	2013	The effect of glyphosate on potential pathogens and beneficial members of poultry microbiota in vitro.	Curr Microbiol. 66(4):350-8.	JMPR	④
1723	1:ヒトに対する毒性	Shen ZA	2007	IN-MCX20: Subchronic toxicity 90-day feeding study in rats.	Unpublished report no. DuPont19008, Supplement No. 1. DuPont Haskell Laboratory, Newark, DE, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1724	1:ヒトに対する毒性	Shirasu Y, Takahashi K	1975	Acute toxicity of Roundup (correction: CP67573) in mice.	Unpublished report no. ET-19-105, dated 5 March 1975. Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1725	1:ヒトに対する毒性	Simon C	2009	Acute oral toxicity study in rats.	Harlan Laboratories Ltd., Fullinsdorf, Switzerland. Laboratory report no. Harlan Laboratories Study C22864, dated 2 April 2009. Unpublished Report.	JMPR	④
1726	1:ヒトに対する毒性	Simon C	2009	Acute dermal toxicity study in rats.	Harlan Laboratories Ltd., Fullinsdorf, Switzerland. Laboratory report no. Harlan Laboratories Study C22875. Unpublished report. 02 April 2009.	JMPR	④
1727	1:ヒトに対する毒性	Simon C	2009	Expert statement glyphosate technical: Primary eye irritation study in rat	Harlan Laboratories Ltd., Füllinsdorf, Switzerland. Data owner: Excel report no.: C22897, dated 23 January 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1728	1:ヒトに対する毒性	Simon C	2009	Glyphosate technical: Contact hypersensitivity in albino guinea pigs – maximization test.	Harlan Laboratories Ltd. Füllinsdorf, Switzerland. Data owner: Excel report no.: C22908, dated 15 May 2009. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1729	1:ヒトに対する毒性	Sivikova K, Dianovsky J	2006	Cytogenetic effect of technical glyphosate on cultivated bovine peripheral lymphocytes.	Int J Hyg Environ Health. 209:15-20.	JMPR	④
1730	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski A	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli reverse mutation assay with glyphosate technical (NUP-05068).	RCC Ltd., Itingen, Switzerland. Data owner: Nufarm. RCC study no.: 1061401, dated 16 March 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1731	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski A	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli reverse mutation assay with glyphosate technical (NUP-05070).	RCC Ltd., Itingen, Switzerland. Data owner: Nufarm. RCC study no.: 1061401, dated 16 March 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1732	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski A	2007	Salmonella typhimurium and Escherichia coli reverse mutation assay with glyphosate technical (NUP-05067).	RCC Ltd., Itingen, Switzerland. Data owner: Nufarm. RCC study no.: 1061402, dated 16 March 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1733	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski A	2009	Salmonella typhimurium and Escherichia coli reverse mutation assay.	Harlan Cytotest Cell Research GmbH, Rossdorf, Germany. Data owner: Syngenta report no.: 1264500, dated 18 December 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1734	1:ヒトに対する毒性	Sokolowski A	2010	Salmonella typhimurium and Escherichia coli reverse mutation assay with solution of glyphosate TC spiked with glyphosine.	Harlan Cytotest Cell Research GmbH (Harlan CCR), Rossdorf, Germany. Data owner: HAG, report no.: 1332300, dated 7 April 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1735	1:ヒトに対する毒性	Song W, Liu MG, Zhang JB, Zhang JJ, Sun MM, Yu QK	2016	Mechanism of action of EBV, Bcl-2, p53, cMyc and Rb in non-Hodgkin's lymphoma.	Eur Rev Med Pharmacol Sci. 20(6):1093-7.	JMPR	④
1736	4:環境動態	Sprankle P, Meggitt WF, Penner D	1975	Adsorption, mobility, and microbial degradation of glyphosate in soil.	Weed Sci. 23(3):229-34.	JMPR	④
1737	1:ヒトに対する毒性	Stegeman SD, Kier LD	1998	Mouse micronucleus screening assay of MON 0818.	Monsanto Co. Environmental Health Laboratory (EHL), St.Louis, MO, USA. Project no.: ML-89-463, EHL-89182, R.D. no. 1663, dated 26 March 1998. Unpublished study.	JMPR	④
1738	1:ヒトに対する毒性	Stegeman SD, Li AP	1990	Ames/Salmonella mutagenicity assay of MON 0818.	Monsanto Co. Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Project no. ML-89-461; Study no. 89178, dated 12 November 1990; Registrant submission dated 31 July 2006. Unpublished study.	JMPR	④
1739	1:ヒトに対する毒性	Sterne JA, Sutton AJ, Ioannidis JP, Terrin N, Jones DR, Lau J et al.	2011	Recommendations for examining and interpreting funnel plot asymmetry in meta-analyses of randomised controlled trials.	BMJ. 22;343:d4002. doi: http://dx.doi.org/10.1136/bmj.d4002.	JMPR	④
1740	1:ヒトに対する毒性	Stout L.	1990	Ninety-day study of (inert ingredient) administered in feed to albino rats.	Project no: ML/89/359, MSL/10468, 1663, dated 14 September 1990. Unpublished study prepared by Monsanto Company.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket Number EPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1741	1:ヒトに対する毒性	Stout LD, Johnson CW	1987	90-Day study of glyphosate administered in feed to Sprague/Dawley rats.	Unpublished report no. ML-86-351, study no. EHL 86128, dated 30 November 1987, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1742	1:ヒトに対する毒性	Stout LD, Ruecker FA	1990	Chronic study of glyphosate administered in feed to albino rats.	Unpublished report no. MSL-10495. Job/project no. ML-87-148/EHL 87122, dated 22 October 1990, from Monsanto Environmental Health Laboratory, St. Louis, MO, USA. Submitted to WHO by Monsanto Int. Services SA, Brussels, Belgium.	JMPR	④
1743	1:ヒトに対する毒性	Strutt AV, Atkinson C, Hudson P, Snodgrass E	1993	AMPA: 13 Week toxicity study in rats with administration by gavage.	Unpublished report no. 7866, IRI project no. 450876, dated 16 April 1993, from Inveresk Research International, Tranent, Scotland, UK. Submitted to WHO by Cheminova A/S, Lemvig, Denmark.	JMPR	④
1744	1:ヒトに対する毒性	Stump DG	2012	A Hershberger assay of glyphosate administered orally in peripubertal orchidopidymectomized rats.	WIL Research Laboratories, LLC, Ashland, OH. Laboratory report no.: WIL-843003, dated 6 January 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1745	1:ヒトに対する毒性	Stump DG	2012	A uterotrophic assay of glyphosate administered orally in ovariectomized rats.	WIL Research Laboratories, LLC, Ashland, OH, USA. Laboratory report no.: WIL-843002, dated 6 January 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1746	1:ヒトに対する毒性	Stump DG	2012	A pubertal development and thyroid function assay of glyphosate administered orally in intact juvenile/peripubertal male rats.	WIL Research Laboratories, LLC, Ashland, OH, USA. Laboratory project ID: WIL-843005, April 10, 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1747	1:ヒトに対する毒性	Stump DG	2012	A pubertal development and thyroid function assay of glyphosate administered orally in intact juvenile/peripubertal female rats.	WIL Research Laboratories, LLC, Ashland, Ohio, USA. Laboratory project ID: WIL-843007, dated 10 April 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1748	1:ヒトに対する毒性	Sugimoto K	1997	HR-001: 18-month oral oncogenicity study in mice.	The Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET 94-0151, Sankyo Co., Ltd., Tokyo, Japan. Unpublished study. Also referred to as Arysta Life Sciences, 1997.	JMPR	④
1749	1:ヒトに対する毒性	Suresh TP	1993	Mutagenicity – Micronucleus test in Swiss Albino mice.	Rallis India Limited, Bangalore, India. Study no. TOXI:889-MUT-CH.MN, dated 6 May 1993. Sponsor: M/s Feinchemie Schwebda GmbH, Schwebda, Germany. Unpublished study.	JMPR	④
1750	1:ヒトに対する毒性	Suresh TP	1993	Two generation reproduction study in Wistar Rats.	Toxicology Department, Rallis India Ltd., Rallis Agrochemical Research Station, Bangalore, India. Data owner: Feinchemie Schwebda GmbH, Study no.: TOXI 885-RP-G2, dated 27 August 1993. Unpublished study.	JMPR	④
1751	1:ヒトに対する毒性	Suresh TP	1993	Teratogenicity study in rabbits – Test compound: Glyphosate technical (FSG 03090 H/05 March 1990).	Rallis India Limited, Rallis Agrochemical Research Station, Bangalore, India. Data owner: Feinchemie Schwebda GmbH. Study no.: TOXI: 884-TER-RB, amended 18 June 1994. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1752	1:ヒトに対する毒性	Suresh TP	1994	Genetic toxicology – In vivo mammalian bone marrow cytogenetic test - Chromosomal analysis.	Rallis India Limited, Bangalore, India. Study no. TOXI:890-MUT-CH.AB, dated 22 January 1994. Sponsor: M/s Feinchemie Schwebda GmbH, Schwebda, Germany. Unpublished study.	JMPR	④
1753	1:ヒトに対する毒性	Suresh TP	1996	Combined chronic toxicity and carcinogenicity study with glyphosate technical in Wistar Rats.	Rallis Research Centre, Rallis India Ltd., Bangalore, India. Data owner: Feinchemie Schwebda GmbH, Study no.: 886.C.C-R., dated 20 July 1996. Unpublished study.	JMPR	④
1754	1:ヒトに対する毒性	Takahashi M	1997	HR-001: A two-generation reproduction study in rats.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Data owner: Arysta Life Sciences, Study no.: IET 96-0031, dated 19 June 1997. Unpublished study.	JMPR	④
1755	1:ヒトに対する毒性	Takahashi M	1999	Oral feeding carcinogenicity study in mice with AK-01,	Nippon Experimental Medical Research Institute Co. Ltd., Agatsuma, Gunma, Japan. Technical project no. H-95056, 3303-58	JMPR	④
1756	1:ヒトに対する毒性	Takahashi M	1999	A combined chronic toxicity/carcinogenicity study of AK-01 bulk substance by dietary administration in rats.	Nippon Experimental Medical Research Institute Co. Ltd, Agatsuma, Gunma, Japan. Project no. H-95053. Unpublished study.	JMPR	④
1757	1:ヒトに対する毒性	Takeuchi S, Iida M, Yabushita H, Matsuda T, Kojima H	2008	In vitro screening for aryl hydrocarbon receptor agonistic activity in 200 pesticides using a highly sensitive reporter cell line, DR-EcoScreen cells, and in vivo mouse liver cytochrome P450-1A induction by propanil, diuron and linuron.	Chemosphere. 74(1):155– 65. doi: 10.1016/j.chemosphere.2008.08.015.	JMPR	④
1758	1:ヒトに対する毒性	Talbot AR, Shiaw MH, Huang JS, Yang SF, Goo TS, Wang SH et al	1991	Acute poisoning with a glyphosate-surfactant herbicide ('Round-up'): a review of 93 cases.	Human & Experimental Toxicology (1991), 10,1-8	JMPR	④
1759	1:ヒトに対する毒性	Talvioja K	2007	Glyphosate technical (NUP05068): Acute oral toxicity in rats.	RCC Ltd. Toxicology, Füllinsdorf, Switzerland. Data owner: Nufarm, Report no.: B02272, dated 1 March 2007. Unpublished report.	JMPR	④
1760	1:ヒトに対する毒性	Talvioja K	2007	Glyphosate technical (NUP 05068): Acute dermal toxicity study in rats.	RCC Ltd. Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. RCC study no.: B02283 Glyphosate Technical (NUP 05068), dated January 2007. Unpublished report.	JMPR	④
1761	1:ヒトに対する毒性	Talvioja K	2007	Glyphosate technical (NUP 05069): Primary skin irritation study in rabbits (4-hour semioclusive application).	RCC Ltd. Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. RCC study no. B02294, dated 15 January 2007. Unpublished report.	JMPR	④
1762	1:ヒトに対する毒性	Talvioja K	2007	Glyphosate technical (NUP 05068): Primary eye irritation study in rabbits (4-hour semioclusive application).	RCC Ltd. Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. RCC study no. B02305. Data owner: Nufarm Asia Sdn Bhd, Selangor, Malaysia, dated 5 March 2007. Unpublished report.	JMPR	④
1763	1:ヒトに対する毒性	Talvioja K	2007	Glyphosate technical (NUP 05068): Contact hypersensitivity in albino guinea pigs, Maximization test.	RCC Ltd. Toxicology, Fullinsdorf, Switzerland. RCC study no. B02316. Data owner: Nufarm Asia Sdn Bhd, Selangor, Malaysia, dated 8 March 2007. Unpublished report.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1764	1:ヒトに対する毒性	Tasker EJ, Rodwell DE, Jessup DC	1980	Glyphosate: Teratology study in rats with technical glyphosate.	International Research and Development Corp., MI, USA. Monsanto unpublished report no. IR-79-016, March 21, 1980. Unpublished study.	JMPR	④
1765	1:ヒトに対する毒性	Tasker EJ, Rodwell DE, Jessup, DC	1980	Technical glyphosate: Teratology study in rabbits.	International Research and Development Corporation, MI, USA. Monsanto report no.: IR-79-016, dated 29 February 1980. Unpublished study.	JMPR	④
1766	1:ヒトに対する毒性	Tavaszi J	2011	Glyphosate technical: Acute oral toxicity study in the rat (Up and Down procedure)	LAB Research Ltd., Szabadságpuszta, Hungary. Data owner: Syngenta report no.: 10/218-001P, dated 15 April 2011. Unpublished study.	JMPR	④
1767	1:ヒトに対する毒性	Tavaszi J	2011	Glyphosate technical: Acute eye irritation study in rabbits.	LAB Research Ltd., Szabadságpuszta, Hungary. Data owner: Syngenta report no.: 10/218-005N, dated 13 May 2011. Unpublished study.	JMPR	④
1768	1:ヒトに対する毒性	Teramoto I	1998	A 12-month chronic toxicity study of AK-01 bulk substance by oral gavage administration in dogs.	Nippon Experimental Medical Research Institute Co., Ltd., Agatsuma, Gunma, Japan Project no. H-95059.	JMPR	④
1769	1:ヒトに対する毒性	Thomas KW, Dosemeci M, Coble JB, Hoppin JA, Sheldon LS, Chapa G et al.	2010	Assessment of a pesticide exposure intensity algorithm in the Agricultural Health Study.	J Expo Sci Environ Epidemiol. 20:559-69.	JMPR	④
1770	1:ヒトに対する毒性	Thompson P	2014	Glyphosate: Reverse mutation assay 'Ames Test' using Salmonella typhimurium and Escherichia coli.	Harlan Laboratories Ltd., Derbyshire, England, UK. Harlan study no.: 41401854, dated 18 July 2014. Sponsor: Albaugh Europe Sarl, Lausanne, Switzerland. Unpublished study.	JMPR	④
1771	1:ヒトに対する毒性	Thompson PW	1996	Technical glyphosate: Reverse mutation assay "Ames test" using Salmonella typhimurium and Escherichia coli.	SafePharm Laboratories, Shardlow, Derbyshire, England, UK. Data owner: Nufarm. SPL project no.: 434/014, dated 20 February 1996. Unpublished study.	JMPR	④
1772	1:ヒトに対する毒性	Thongprakaisang S, Thiantanawat A, Rangkadilok N, Suriyo T, Satayavivad J	2013	Glyphosate induces human breast cancer cells growth via estrogen receptors.	Food Chem Toxicol. 59:129-36. doi:10.1016/j.fct.2013.05.057.	JMPR	④
1773	1:ヒトに対する毒性	Tierney WJ, Rinehart WE	1979	A three month feeding study of glyphosate (Roundup Technical) in mice.	Monsanto report BDN-77-419, dated 31 December 1979. Unpublished study.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1774	1:ヒトに対する毒性	Tominack RL, Conner P, Yamashita M	1989	Clinical management of Roundup herbicide exposure.	Jpn J Toxicol. 33:553.	JMPR	④
1775	1:ヒトに対する毒性	Tominack RL, Yang GY, Tsai WJ, Chung HM,Deng, JF	1991	Taiwan National Poison Center survey of glyphosate-surfactant herbicide ingestions.	J Toxicol Clin Toxicol. 29:91-109.	JMPR	④
1776	1:ヒトに対する毒性	Tornai A	1994	Glyphosate technical - Repeated dose twenty-eight day toxicity study in rabbits,	Institute of Toxicology, Keszthely, Hungary. Testing facility code GLY-94-410/N, Sponsored by Alkaloida Co. Ltd., Tiszavasvari, Hungary. Report no. MUF 214/94. Unpublished study.	JMPR	④
1777	1:ヒトに対する毒性	Török-Bathó M	2011	Glyphosate technical: Local lymph node assay in the mouse.	LAB Research Ltd., Szabadságpuszt, Hungary. Data owner: Syngenta. Report no.: 10/218-037E, dated 21 April 2011. Unpublished study.	JMPR	④
1778	1:ヒトに対する毒性	USEPA-SAP (US Environment al Protection Agency- FIFRA Scientific Advisory Panel)	2009	An effects-based expert system to predict estrogen receptor binding affinity for food use inert ingredients and antimicrobial pesticides: Application in a prioritization scheme for endocrine disruptor screening, meeting materials	(https://www.regulations.gov/#!docketDetail;D=EPA-HQ-OPP-2009-0322 , accessed 8 November 2016).	JMPR	④
1779	1:ヒトに対する毒性	USEPA-SAP (US Environment al Protection Agency- FIFRA Scientific Advisory Panel)	2009	An effectsbased expert system to predict estrogen receptor binding affinity for food use inert ingredients and antimicrobial pesticides: application in a prioritization scheme for endocrine disruptor screening, Meeting minutes.	EPA-HQ-OPP-2009-0322, 70 pp.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1780	1:ヒトに対する毒性	USEPA-SAP (US Environmental Protection Agency-FIFRA Scientific Advisory Panel)	2013	Scientific issues associated with prioritizing the universe of endocrine disruptor screening program (EDSP) chemicals using computational toxicology tools	EPA-HQ-OPP-2012-0818. May 2013.	JMPR	④
1781	1:ヒトに対する毒性	Vainio H, Linnainmaa K, Kähkönen M, Nickels J, Hietanen E, Marniemi J et al.	1983	Hypolipidemia and peroxisome proliferation induced by phenoxyacetic acid herbicides in rats.	Biochem Pharmacol. 32(18):2775-9. doi:10.1016/0006-2952(83)90091-6.	JMPR	④
1782	1:ヒトに対する毒性	Vargas AAT	1996	The Salmonella typhimurium reverse mutation by GLIFOS.	BioAgri (Biotecnologia Agricola Ltda.), Sao Paulo, Brazil. On behalf of Cheminova; BioAgri Report G.1.1 - 050/96. Dated 12 October 1996-23 December 1996. Unpublished study.	JMPR	④
1783	1:ヒトに対する毒性	Van de Waart EJ	1995	Evaluation of the ability of glyphosate to induce chromosome aberrations in cultured peripheral human lymphocytes (with independent repeat).	NOTOX B.V's-Hertogenbosch, Netherlands. Notox project no. 141918, dated 30 June 1995. Unpublished report.	JMPR	④
1784	1:ヒトに対する毒性	Vegarra MM	2004	Acute oral toxicity study in rats with N-acetyl-glyphosate, sodium salt (acute toxic class method).	Unpublished report no. Covance 7535-103. Covance Laboratories, Inc., Vienna, VA, USA. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1785	1:ヒトに対する毒性	Vereczkey L, Csanyi E	1992	18-month carcinogenicity study of glyphosate in mice (revised version).	-	JMPR	④
1786	1:ヒトに対する毒性	Vigfusson NV, Vyse ER	1980	The effect of the pesticides, Dexon, Captan and Roundup, on sister-chromatid exchanges in human lymphocytes in vitro.	Mutat Res. 79(1):53-7.	JMPR	④
1787	1:ヒトに対する毒性	Viljoen KS, Dakshinamurthy A, Goldberg P, Blackburn JM	2015	Quantitative profiling of colorectal cancer-associated bacteria reveals associations between fusobacterium spp., enterotoxigenic Bacteroides fragilis (ETBF) and clinicopathological features of colorectal cancer.	PLoS One. 10:e0119462. http://dx.doi.org/10.1371/journal.pone.0119462 .	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1788	1:ヒトに対する毒性	Waddell BL, Zahm SH, Baris D, Weisenburger DD, Holmes F, Burmeister LF et al.	2001	Agricultural use of organophosphate pesticides and the risk of non-Hodgkin's lymphoma among male farmers (United States).	Cancer Causes Control. 12:509-17. doi:10.1023/A:1011293208949.	JMPR	④
1789	1:ヒトに対する毒性	Wagner VO, Klug ML	2007	IN-EY252: bacterial reverse mutation assay.	Unpublished report no. DuPont22227. BioReliance, Rockville, MD, USA. Dated 23 July 2007. Submitted to WHO by El du Pont de Nemours and Company, Wilmington, DE, USA.	JMPR	④
1790	1:ヒトに対する毒性	Wallner B	2010	Reverse mutation assay using bacteria (Salmonella typhimurium) with Glyphosate TC.	BSL Bioservice Scientific Laboratories GmbH, Planegg, Germany. Data owner: Helm AG, Report no.: BSL 101268, dated 8 April 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1791	1:ヒトに対する毒性	Walsh LP, McCormick C, Martin C, Stocco DM	2000	Roundup inhibits steroidogenesis by disrupting steroidogenic acute regulatory (StAR) protein expression.	Environ Health Perspect. 108(8):769-76. doi:10.1289/ehp.00108769.	JMPR	④
1792	1:ヒトに対する毒性	Wang G, Deng S, Li C, Liu Y, Chen L, Hu C	2012	Damage to DNA caused by UV-B radiation in the desert cyanobacterium Scytonema javanicum and the effects of exogenous chemicals on the process.	Chemosphere. 88(4):413-7.	JMPR	④
1793	1:ヒトに対する毒性	Ward RJ	2010	450 g/L Glyphosate SL formulation (MON 79545). In vitro absorption of glyphosate through human epidermis.	Dermal Technology Laboratory Ltd., Keele, Staffordshire, England, UK. Study no.: JV2083, Report no.: JV2083-REG, dated 19 February 2010. Unpublished study.	JMPR	④
1794	1:ヒトに対する毒性	Ward RJ	2010	480 g/L Glyphosate SL formulation (MON 79351). In vitro absorption of glyphosate through human epidermis.	Dermal Technology Laboratory Ltd., Keele, Staffordshire, England, UK. Study no.: JV2085, Report no.: JV2085-REG, dated 19 February 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1795	1:ヒトに対する毒性	Wilga PC	2012	Glyphosate: Human recombinant aromatase assay.	CeeTox, Inc., Kalamazoo, MI, USA. Laboratory study no.: 6500V-100334AROM, dated 9 March 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1796	1:ヒトに対する毒性	Williams GM, Kroes R, Munro IC	2000	Safety evaluation and risk assessment of the herbicide Roundup and its active ingredient, glyphosate, for humans.	Regul Toxicol Pharmacol. 31:117-65.	JMPR	④
1797	1:ヒトに対する毒性	Willoughby JA	2012	Glyphosate: Androgen receptor binding (rat prostate cytosol) screening assay.	CeeTox, Inc., Kalamazoo, MI, USA. Laboratory study no.: 6500V-100334ARB, dated 8 March 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1798	1:ヒトに対する毒性	Willoughby JA	2012	Glyphosate: Estrogen receptor binding (rat uterine cytosol).	CeeTox, Inc., Kalamazoo, MI, USA. Laboratory study no.: 6500V-100364ERB, dated 8 March 2012. Unpublished study.	JMPR	④
1799	1:ヒトに対する毒性	Willoughby JA	2012	Estrogen receptor transcriptional activation (human cell line (HeLa-9903)) screening assay with glyphosate.	CeeTox, Inc., Kalamazoo, MI, USA. Laboratory report no.: 6500V-100334ERTA, dated 8 March 2012. Unpublished report.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1800	1:ヒトに対する毒性	Wnorowski, G.	1999	Acute inhalation toxicity study in rats – Limit Test.	Product Safety Labs, East Brunswick, NJ, USA. Laboratory report no. 7909, dated 18 October 1999. Unpublished report.	JMPR	④
1801	1:ヒトに対する毒性	Wood E.	1996	Glyphosate technical: Pharmacology screening study in the rat.	SafePharm Laboratories Ltd., Shardlow, Derbyshire, England, UK. Data owner: Nufarm, Study no.: 434/021, dated 28 June 1996. Unpublished study.	JMPR	④
1802	1:ヒトに対する毒性	Wood E, Dunster J, Watson P, Brooks P	2009	Glyphosate technical: Dietary carcinogenicity study in the mouse.	Harlan Laboratories Limited, Shardlow, Derbyshire, England, UK. SPL project no.: 2060-0011, dated 22 April 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1803	1:ヒトに対する毒性	Wood E, Dunster J, Watson P, Brooks P	2009	Glyphosate technical: Dietary combined chronic toxicity/carcinogenicity in the rat.	Harlan Laboratories Ltd., Shardlow, Derbyshire, England, UK. Study no.: 2060-0012, dated 8 May 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1804	1:ヒトに対する毒性	Wright NP	1996	Technical glyphosate: Chromosome aberration test in CHL cells in vitro.	SafePharm Laboratories, Shardlow, Derbyshire, England, UK. Data owner: Nufarm. SPL project no.: 434/015, dated 13 March 1996. Unpublished study.	JMPR	④
1805	1:ヒトに対する毒性	Xie L, Thrippleton K, Irwin MA, Siemering GS, Mekebri A, Crane D et al.	2005	Evaluation of estrogenic activities of aquatic herbicides and surfactants using an rainbow trout vitellogenin assay.	Toxicol Sci. 87(2):391–8. doi:10.1093/toxsci/kfi249.	JMPR	④
1806	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2008	In vivo mouse bone marrow micronucleus assay.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-08-031, dated 07 October 2008. Unpublished report.	JMPR	④
1807	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2008	In vivo mouse bone marrow micronucleus assay.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-08-031, dated 03 December 2008. Unpublished report.	JMPR	④
1808	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2008	In vivo bone marrow micronucleus assay with MON 76171.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-2007-103, dated 30 December 2008. Unpublished report.	JMPR	④
1809	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2009	In vivo mouse bone marrow micronucleus assay with MON 79991.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-2007-083, dated 23 January 2009. Unpublished report.	JMPR	④
1810	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2009	In vivo mouse bone marrow micronucleus assay with MON 76138.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-2007-095, dated 9 February 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1811	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2010	Amendment 1 to final report: In vivo mouse bone marrow micronucleus assay.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV2005-120, dated 1 December 2010. Amended report issued Dec. 1, 2010. Unpublished report.	JMPR	④
1812	1:ヒトに対する毒性	Xu Y	2011	Amended final report: In vivo mouse micronucleus assay with MON 78239.	Covance Laboratories Inc., Vienna, VA, USA. Monsanto study no. CV-2002-187, dated February 2011. Unpublished report.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1813	1:ヒトに対する毒性	Yanagimoto Y	1991	Bacterial reverse mutation assay with AK-01 technical.	Life Sciences Laboratory, Osaka, Japan. Study code: 91-VII-0101, dated 28 September 1991. Submitted by TAC Group, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1814	1:ヒトに対する毒性	Yanagimoto Y	1992	In vitro mammalian cytogenetic assay with AK-01 Technical.	Life Sciences Laboratory, Osaka, Japan. Study code: 91-VII-0903, dated 13 January 1992. Submitted by TAC Group, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1815	1:ヒトに対する毒性	Yanagimoto Y	1992	Bacterial DNA repair assay with AK-01 technical.	Life Sciences Laboratory, Osaka, Japan. Study code: 91-VII-0902, dated 10 January 1992. Submitted by TAC Group, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1816	1:ヒトに対する毒性	Yoshida A	1996	HR-001: 13 Week oral subchronic toxicity study in dogs.	Institute of Environmental Toxicology, Tokyo, Japan. Laboratory project ID IET 94-0158, dated 9 July 1996. Sponsored by Sankyo Co. Ltd., Tokyo, Japan. Unpublished study.	JMPR	④
1817	1:ヒトに対する毒性	You J	2009	Acute oral toxicity study (UDP) in rats. OPPTS No 870.110.	Stillmeadow Inc., Sugar Land, TX, USA. Laboratory study no. 12170-08, dated 11 March 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1818	1:ヒトに対する毒性	You J	2009	Acute dermal toxicity study in rats.	Stillmeadow Inc., Sugar Land, TX, USA. Laboratory report no. 12171-08, dated March 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1819	1:ヒトに対する毒性	You J	2009	Acute dermal irritation study in rabbits.	Stillmeadow, Inc., Sugar Land, TX, USA. Laboratory report no. 12173-08, dated 11 March 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1820	1:ヒトに対する毒性	You J	2009	Glyphosate - Acute eye irritation study in rabbits.	Stillmeadow Inc., Sugar Land, TX, USA. Laboratory report no. 12172-08, dated 11 March 2009. Data owner: Helm AG. Unpublished study.	JMPR	④
1821	1:ヒトに対する毒性	You J	2009	Glyphosate – Skin sensitization study in guinea pigs. Buehler test.	Stillmeadow Inc., Sugar Land, TX, USA. Data owner: Helm AG report no. 12174-08, dated 11 March 2009. Unpublished study.	JMPR	④
1822	1:ヒトに対する毒性	Zaccaria CB	1996	A micronucleus study in mice for the product GLIFOS.	BioAgri (Biotecnologia Agricola Ltda.), Piracicaba, Sao Paulo, Brazil, on behalf of Cheminova; BioAgri Report G.1.2 - 060/96. Dates of experimental work: 08 October 1996–19 November 1996. Unpublished study.	JMPR	④
1823	1:ヒトに対する毒性	Zahm SH, Weisenburger DD, Babbitt PA, Saal RC, Vaught JB, Cantor KP et al.	1990	A case control study of non-Hodgkin's lymphoma and agricultural factors in Eastern Nebraska.	Epidemiology. 1:349–56. doi:10.1097/00001648-199009000-00004.	JMPR	④
1824	4:環境動態	Zaranyika MF, Nyandoro MG	1993	Degradation of glyphosate in the aquatic environment - an enzymatic kinetic-model that takes into account microbial-degradation of both free and colloidal (or sediment) particle adsorbed glyphosate.	J Agric Food Chem. 41(5): 838–42.	JMPR	④

付録1 海外評価書の引用文献リスト

参考とした海外評価書 ①Glyphosate List of information, tests and studies relied upon Version 2 (15 December 2017)

②Registration Review - Preliminary Ecological Risk Assessment for Glyphosate and Its Salts (8 September 2015)

③Revised Glyphosate Issue Paper: Evaluation of Carcinogenic Potential (Docket NumberEPA-HQ-OPP-2009-0361-0073)

④Pesticide residues in food 2016 Evaluations Part II - Toxicological (9-13 May 2016)

リスト	データ要求	著者	発表年	タイトル	掲載紙名、号、ページ等	評価機関	評価書情報
1825	1:ヒトに対する毒性	Zelenak V	2011	Glyphosate technical: Acute dermal toxicity study in rats; Final report amendment 1.	LAB Research Ltd., Szabadságpusztá, Hungary. Data owner: Syngenta. Report no.: 10/218-002P, dated 13 April 2011. Unpublished study.	JMPR	④
1826	1:ヒトに対する毒性	Zelenak V	2011	Glyphosate: Glyphosate technical-Primary skin irritation study in rabbits. Final Report Amendment I.	LAB Research Ltd., Szabadságpusztá, Hungary. Data owner: Syngenta. Report no.: 10/218006N, dated 13 April 2011. Unpublished study.	JMPR	④
1827	1:ヒトに対する毒性	Zoetis T	1991	Subchronic toxicity study in rats with AMTER 163.	Hazelton Washington, Inc., Vienna, VA, USA. HWA study no. 564-162, dated 6 May 1991 (study completion date). Unpublished study.	JMPR	④
1828	1:ヒトに対する毒性	Zoriki Hosomi R	2007	Mammalian erythrocyte micronucleus test for Glifosato	Técnico Helm TECAM Tecnologia Ambiental Ltda., São Paulo, Brazil. Data owner: HAG report no.: 3393/2007-3.0MN-B, dated 13 December 2007. Unpublished study.	JMPR	④
1829	1:ヒトに対する毒性	WHO	1987	IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISKS TO HUMANS	Volume 71 Supplement 7. Overall evaluations of carcinogenicity: An updating of IARC monographs, Volumes 1 to 42Lyon: International Agency for Research on Cancer. pp. 201(http://monographs.iarc.fr/ENG/Monographs/suppl7/Suppl7.pdf ; accessed 8 November 2016)	JMPR	④